地域産業委員会　案件一覧

（令和７年７月 15 日開催分）

〇所管事務報告　６件

部局	報告順	件　　名	資料番号	説明者（所管課長名等）
地域未来創造部	1	令和７年度 地域未来創造部事業概要	3	長沼　地域力推進課長
	2	臨海斎場の火葬料・使用料について（予定）	4	
	3	地域力応援基金助成事業（スタートアップ助成・ステップアップ助成）について	5	井上　区民協働・多文化共生担当課長
	4	大田区コミュニティセンター羽田旭指定管理者募集について	6	清水　羽田特別出張所長
産業経済部	5	View2025　大田区産業経済部事業概要	2	石川　産業振興課長
	6	オープンイノベーション促進事業について	3	中谷　イノベーション事業担当課長

地域産業委員会
令和７年７月 15 日
地域未来創造部　資料３番
所管　地域力推進課

令和７年度

地域未来創造部
事業概要

令和７年７月

大田区

目次

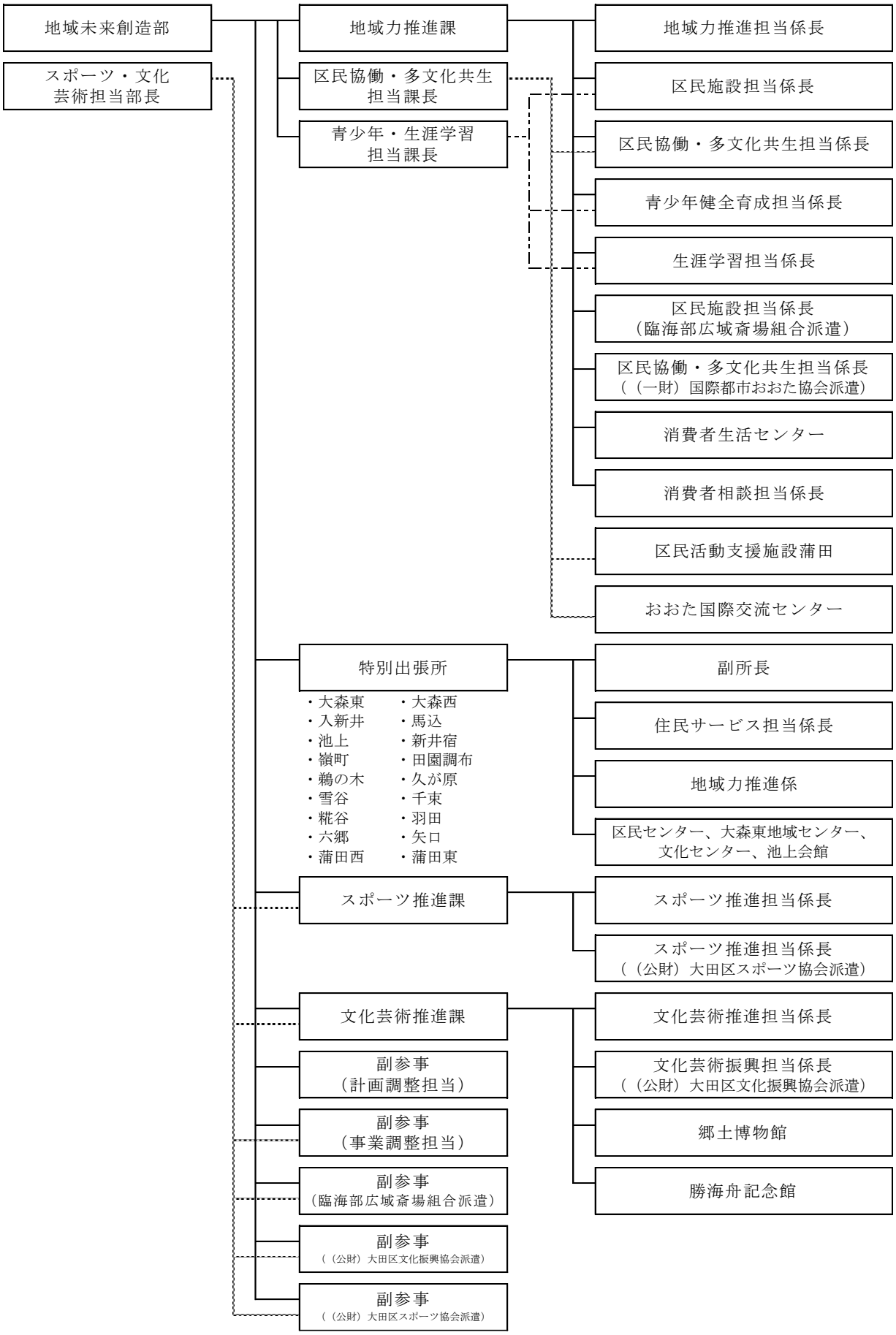
第１　地域未来創造部の組織　・・・・・・・ 1頁
第２　地域未来創造部の事務分掌　・・・・・・・ 4頁
第３　令和７年度 地域未来創造部の目標および職員の行動指針　・・・・・・・ 7頁
第４　令和７年度 地域未来創造部重要事務事業　・・・・・・・10頁
第５　令和７年度　当初予算　・・・・・・・12頁
第６　各課の事務事業　・・・・・・・14頁
Ⅰ　地域力推進課　・・・・・・・14頁
１　地域力推進担当　・・・・・・・14頁
２　区民施設担当　・・・・・・・21頁
３　区民協働・多文化共生担当　・・・・・・・27頁
４　青少年健全育成担当　・・・・・・・35頁
５　生涯学習担当　・・・・・・・39頁
６　消費者生活センター　・・・・・・・43頁
Ⅱ　スポーツ推進課　・・・・・・・46頁
１　スポーツ推進担当　・・・・・・・46頁
Ⅲ　文化芸術推進課　・・・・・・・59頁
１　文化芸術推進担当　・・・・・・・59頁
２　郷土博物館　・・・・・・・67頁
３　勝海舟記念館　・・・・・・・76頁
Ⅳ　特別出張所　・・・・・・・78頁
１　特別出張所の役割　・・・・・・・78頁
２　18色の特色ある地域づくり　・・・・・・・79頁
1.大森東特別出張所　2.大森西特別出張所　・・・・・・・79頁
3.入新井特別出張所　4.馬込特別出張所　・・・・・・・80頁
5.池上特別出張所　6.新井宿特別出張所　・・・・・・・81頁
7.嶺町特別出張所　8.田園調布特別出張所　・・・・・・・82頁
9.鵜の木特別出張所　10.久が原特別出張所　・・・・・・・83頁
11.雪谷特別出張所　12.千束特別出張所　・・・・・・・84頁
13.糀谷特別出張所　14.羽田特別出張所　・・・・・・・85頁
15.六郷特別出張所　16.矢口特別出張所　・・・・・・・86頁
17.蒲田西特別出張所　18.蒲田東特別出張所　・・・・・・・87頁
３　地域の緑づくり　・・・・・・・88頁
４　地域情報紙　・・・・・・・89頁
５　地域の主な関係団体　・・・・・・・90頁
６　学校防災活動拠点・防災訓練　・・・・・・・91頁
７　特別出張所所管施設　・・・・・・・92頁
第７　統計　・・・・・・・93頁

※本事業概要は、特段の記載がない限り、令和７年４月１日現在の内容を記載しています。
※実績については、特段の記載がない限り、令和６年度実績となります。

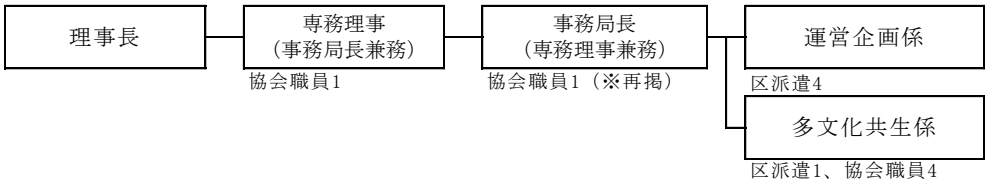
第１　地域未来創造部の組織

１　組織図

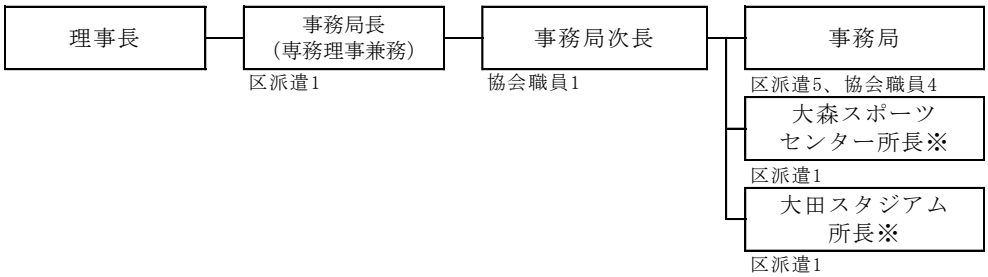
○地域未来創造部



○一般財団法人　国際都市おおた協会（区派遣5　協会職員5）

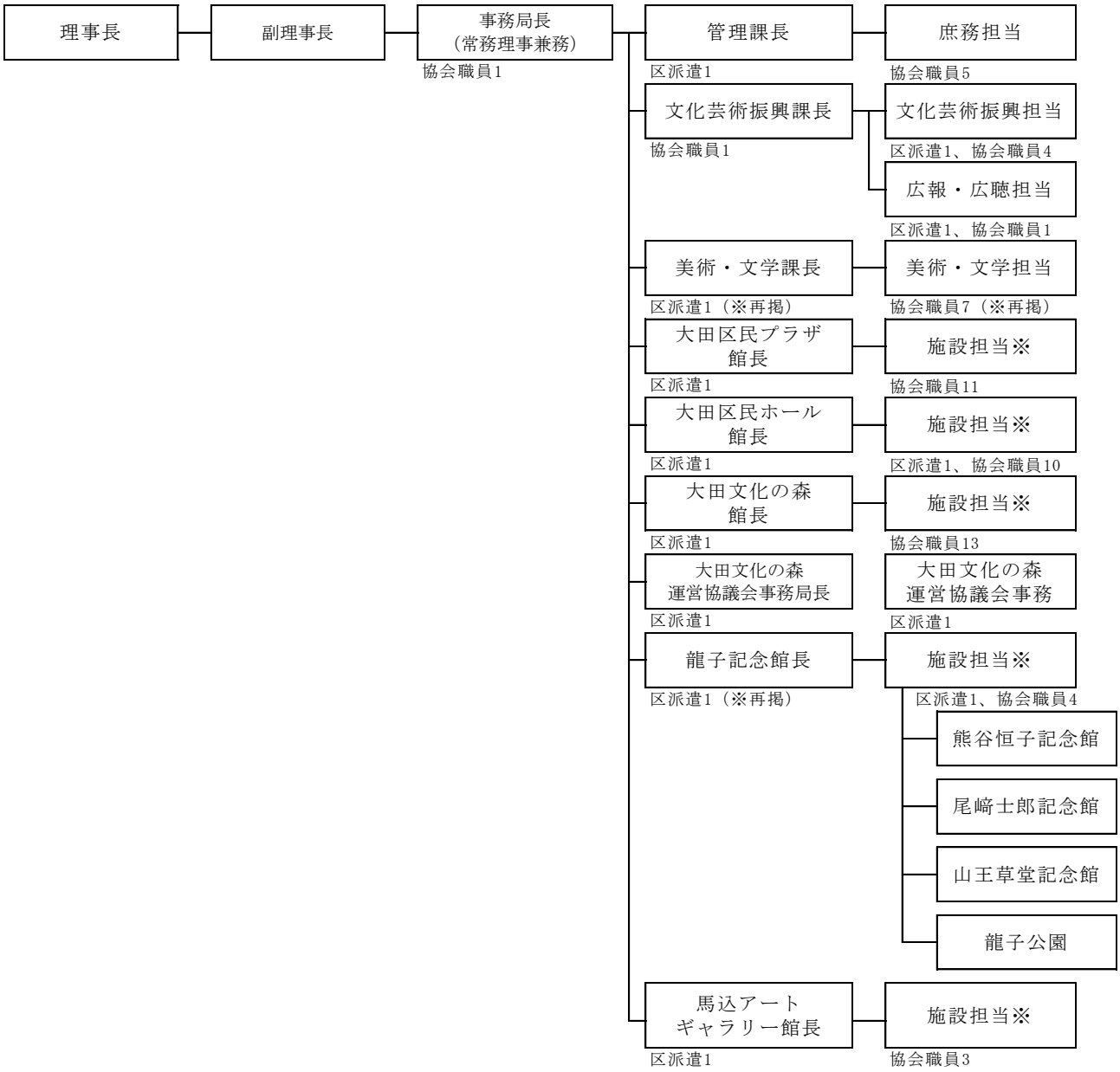


○公益財団法人　大田区スポーツ協会（区派遣8　協会職員5）



※大田スタジアム・大森スポーツセンターは共同事業体で指定管理業務を受託

○公益財団法人　大田区文化振興協会（区派遣11　協会職員53）



※大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森、龍子記念館、馬込アートギャラリーは共同事業体で指定管理業務を受託

2　職員配置数（令和７年６月１日現在）

部局	所属課	担当・係	総数	一般事務	社会教育	学芸員	再任用※1	行政サービス支援員	備考
地域未来創造部（本庁）	部長		1	1					
	地域力推進課								
		課長	1	1					
		区民協働・多文化共生担当課長	1	1					
		青少年・生涯学習担当課長	1	1					
		副参事（事業調整担当）	1	1					
		副参事（計画調整担当）		(1)					
		副参事	1	1					
		庶務	8	8					
		経営計画	2	2					
		地域力推進	6	6					
		区民施設	10	9				1	※2
		区民協働	4	4					
		多文化共生	12	12					※3
		青少年健全育成	7	6				1	
		生涯学習	5	4	(2)		1		※4
		消費者生活センター	10	10					
		区民活動支援施設蒲田		(2)					
		＜計＞	70	67	(2)		1	2	
	スポーツ推進課								
		課長	1	1					
		副参事	1	1					
		スポーツ推進	23	22			1		※5
		＜計＞	25	24			1		
	文化芸術推進課								
		課長	1	1					
		副参事	1	1					
		文化芸術推進	23	22			1		※6
		郷土博物館	11	4		6		1	
		勝海舟記念館	6	2		1	1	2	
		＜計＞	42	30		7	2	3	
地域未来創造部（特別出張所）	大森東								
		所長	1	1					
		地域力推進係	9	9					
		住民サービス	1	1					
		＜計＞	11	11					
	大森西								
		所長	1	1					
		地域力推進係	16	13				3	
		住民サービス	1	1					
		大森西区民センター		(1)					
		大森東地域センター		(1)					
		美原文化センター	6	1			1	4	
		＜計＞	24	16			1	7	
	入新井								
		所長	1	1					
		地域力推進係	17	14				3	
		住民サービス	1	1					
		＜計＞	19	16				3	
	馬込								
		所長	1	1					
		地域力推進係	15	12				3	
		住民サービス	1	1					
		馬込区民センター		(1)					
		馬込文化センター	4	1			1	2	
		南馬込文化センター	6	1			1	4	
		＜計＞	27	16			2	9	
	池上								
		所長	1	1					
		地域力推進係	13	11				2	
		住民サービス	1	1					
		池上会館		(1)					
		池上文化センター	4	1				3	
		＜計＞	19	14				5	
	新井宿								
		所長	1	1					
		地域力推進係	9	9					
		住民サービス	1	1					
		＜計＞	11	11					
	嶺町								
		所長	1	1					
		地域力推進係	13	11				2	
		住民サービス	1	1					
		嶺町文化センター	5	(1)			1	4	
		＜計＞	20	13			1	6	
地域未来創造部（特別出張所）	田園調布								
		所長	1	1					
		地域力推進係	11	10				1	
		住民サービス	1	1					
		＜計＞	13	12				1	
	鵜の木								
		所長	1	1					
		地域力推進係	9	9					
		住民サービス	1	1					
		＜計＞	11	11					
	久が原								
		所長	1	1					
		地域力推進係	9	8				1	
		住民サービス	1	1					
		雪谷文化センター	5	1				4	
		＜計＞	16	11				5	
	雪谷								
		所長	1	1					
		地域力推進係	11	10				1	
		住民サービス	1	1					
		＜計＞	13	12				1	
	千束								
		所長	1	1					
		地域力推進係	12	9				3	
		住民サービス	1	1					
		石川町文化センター	4	1			1	2	
		＜計＞	18	12			1	5	
	糀谷								
		所長	1	1					
		課務	1	1					
		地域力推進係	9	9					
		住民サービス	1	1					
		糀谷文化センター	4	1				3	
		＜計＞	16	13				3	
	羽田								
		所長	1	1					
		地域力推進係	11	9				2	
		住民サービス	1	1					
		萩中集会所		(1)					
		羽田文化センター	4	1			1	2	
		萩中文化センター	5	1			1	3	
		＜計＞	22	13			2	7	
	六郷								
		所長	1	1					
		地域力推進係	14	13				1	
		住民サービス	1	1					
		六郷文化センター	4	1			1	2	
		＜計＞	20	16			1	3	
	矢口								
		所長	1	1					
		地域力推進係	11	10				1	
		住民サービス	1	1					
		矢口区民センター		(1)					
		＜計＞	13	12				1	
	蒲田西								
		所長	1	1					
		地域力推進係	14	11				3	
		住民サービス	1	1					
		＜計＞	16	13				3	
	蒲田東								
		所長	1	1					
		地域力推進係	8	8					
		住民サービス	1	1					
		＜計＞	10	10					
＜合計＞			436	353	(2)	7	12	64	

【凡例】
・（数字）は兼務による再掲者数
※１：再任用フルタイムは「一般事務」としてカウント
※２：区民施設一般事務に臨海部広域斎場組合派遣１名を含む
※３：多文化共生一般事務に（一財）国際都市おおた協会派遣５名を含む
※４：社会教育２名は教育総務課と兼務
※５：スポーツ推進一般事務に東京都スポーツ文化事業団派遣１名、大田区スポーツ協会派遣７名を含む
※６：文化芸術推進一般事務に大田区文化振興協会派遣９名、再任用に大田区文化振興協会派遣１名を含む

第２　地域未来創造部の事務分掌

１大田区組織規則

地域力推進課

地域力推進担当係長（庶務・地域力推進・経営計画）

（１）　部の政策立案、事業執行方針、事業計画及び事業の進行管理に関すること。
（２）　部の事務事業の改善に関すること。
（３）　行政組織及び職員定数に関する部の総括に関すること。
（４）　部の事業に係る調査研究に関すること。
（５）　議会に関する他部及び部内他課との連絡調整に関すること。
（６）　部の庶務に関すること。
（７）　予算及び決算に関する部の総括に関すること。
（８）　危機管理に関すること。
（９）　議会に関する部の総括に関すること。
(10)　特別出張所の連絡調整に関すること。
(11)　臨海部広域斎場組合に関すること。
(12)　地縁団体等との連絡総括に関すること。
(13)　地域力推進に関すること。
(14)　女性団体に関すること。
(15)　国内友好都市に関すること。
(16)　掲示板の総括管理に関すること。
(17)　開発事業者等への指導等に関すること（地域住民施設に関するものに限る。）。
(18)　自衛官募集に関すること。
(19)　小規模災害の援助に関すること。
(20)　漂流物、海難の証明に関すること。
(21)　区民葬儀に関すること。
(22)　他部及び部内他課との連絡調整に関すること（他係に属するものを除く。）。
(23)　部内他課及び課内他係に属しないこと。

区民施設担当係長

（１）　部の施設の整備及び調整等に関すること（他の主管に属するものを除く。）。
（２）　公共施設利用システムに関すること。
（３）　平和の森会館の管理運営及び利用に関すること。
（４）　大田区休養村とうぶの管理運営及び利用に関すること。
（５）　指定保養施設に関すること。
（６）　伊豆高原学園の区民利用に関すること。

区民協働・多文化共生担当係長

（１）　区民協働の計画及び調整に関すること。
（２）　区民活動の育成に関すること。
（３）　区民団体の活動の支援に関すること。
（４）　区民活動支援施設に関すること。
（５）　国際交流に関すること。
（６）　多文化共生に関すること。
（７）　一般財団法人国際都市おおた協会に関すること。

青少年健全育成担当係長

（１）　青少年健全育成に係る計画及び調整に関すること。
（２）　青少年問題対策地区委員会及び青少年委員に関すること。
（３）　青少年健全育成事業の推進に関すること。
（４）　青少年団体の支援に関すること。
（５）　青少年交流センターに関すること。
（６）　こどもの安全に関すること（大田区こども SOS の家事業に関するものに限る。）。

生涯学習担当係長

（１）　生涯学習の計画及び調整に関すること。
（２）　生涯学習に関すること。

消費者生活センター（処務規程）

（１）　公印の管守及び文書に関すること。
（２）　職員の服務に関すること。
（３）　庶務及び経理に関すること。
（４）　集会室等の利用に関すること。
（５）　消費者生活センターの施設設備の維持管理に関すること。
（６）　消費者行政の計画及び調整に関すること。
（７）　消費者団体の支援に関すること。
（８）　消費者教育に関すること。
（９）　消費生活に係る資料の収集及び情報の提供に関すること。
(10)　展示場の運営管理に関すること。
(11)　その他必要と認める事業の実施に関すること。

消費者生活センター消費者相談担当係長（処務規程）

（１）　消費生活相談に関すること。
（２）　消費者被害の未然防止及び救済に関すること。
（３）　消費者啓発に関すること。

おおた国際交流センター（処務規程）

（１）　公印の管守及び文書に関すること。
（２）　服務、庶務及び経理に関すること。
（３）　会議室、情報・交流コーナー等の利用に関すること。
（４）　センター内取締り及び施設の維持管理に関すること。
（５）　その他センターの設置目的を達成するために必要と認めること。

一般財団法人　国際都市おおた協会

（１）　多文化共生の推進に関する事業。
（２）　国際交流の推進に関する事業。
（３）　国際人材育成に関する事業。
（４）　国際協力に関する事業。
（５）　上記各事業に関する情報収集、調査研究及び広報。
（６）　上記各事業の推進のため、大田区及び他の公共機関等から受託する事業。
（７）　その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

スポーツ推進課

スポーツ推進担当係長

（１） 課の庶務に関すること。

（２） スポーツ推進に係る計画等及び調整に関すること。

（３） スポーツ推進委員に関すること。

（４） スポーツ推進に関すること。

（５） 公益財団法人大田区スポーツ協会に関すること。

（６） 大田区総合体育館に関すること。

（７） 大森スポーツセンター（大森本町複合施設の共有部分を含む。）に関すること。

（８） 大田スタジアムに関すること。

（９） 平和島公園、東調布公園及び萩中公園内に存する水泳場の維持管理に関すること。

(10) 多摩川緑地広場管理公社に関すること。

(11) 西蒲田三丁目複合施設に関すること（他の主管に属するものを除く。）。

文化芸術推進課

文化芸術推進担当係長

（１） 課の庶務に関すること。

（２） 文化芸術の推進に係る計画及び調整に関すること。

（３） 文化芸術の推進に関すること。

（４） 文化施設の管理運営に関すること。

（５） 公益財団法人大田区文化振興協会に関すること。

（６） 区営アロマ地下駐車場に関すること。

（７） OTA ふれあいフェスタに関すること。

（８） 平和都市宣言記念事業に関すること。

（９） 絵画等の保管拠点に関すること。

郷土博物館（処務規程）

（１） 公印の管守及び文書に関すること。

（２） 庶務及び経理に関すること。

（３） 職員の服務に関すること。

（４） 館内取締り並びに施設及び設備の維持管理に関すること。

（５） 調査及び統計に関すること。

（６） 寄贈及び寄託資料の選定並びに受納及び返納に関すること。

（７） 関係機関及び団体との連絡に関すること。

（８） 資料（大田区立郷土博物館条例第２条第１号に規定する資料をいう。以下同じ。）の収集、整理及び保管に関すること。

（９） 資料の目録、館報、報告書等の作成に関すること。

(10) 資料の調査、研究及び展示に関すること。

(11) 特別展、講習会、講演会、研究会等の開催に関すること。

(12) 館の運営、利用促進等の協議会に関すること。

(13) 大田区立大森海苔のふるさと館に関すること。

(14) 他の博物館、学校、図書館等との協力に関すること。

勝海舟記念館（処務規程）

（１） 公印の管守及び文書に関すること。

（２） 庶務及び経理に関すること。

（３） 職員の服務に関すること。

（４） 資料の収集及び保管に関すること。

（５） 資料の調査、研究、目録作成及び展示に関すること。

（６） 館の情報発信及び事業の実施に関すること。

（７） 館内取締り並びに施設の利用及び維持管理に関すること。

（８） 他の博物館、学校、図書館等の教育、学術又は文化に関する関係機関等との連携に関すること。

（９） 勝海舟基金に関すること。

(10) 資料の寄贈及び寄託に関すること。

(11) その他館の設置目的を達成するために必要と認めること。

公益財団法人　大田区スポーツ協会

（１） スポーツ、レクリエーションの推進及び健康増進のための事業。

（２） スポーツ、レクリエーションに関する普及啓発及び顕彰に関する事業。

（３） スポーツ、レクリエーションの指導者及び団体の育成に関する事業。

（４） スポーツ、レクリエーションに関する各種教室及び大会の開催。

（５） 大田区から受託する区立スポーツ施設の管理運営に関する事業。

（６） その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人　大田区文化振興協会

（１） 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業

（２） 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業。

（３） 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業。

（４） 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業。

（５） 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業。

（６） その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

２大田区特別出張所処務規程

特別出張所

副所長

（１）所長の代理に関すること（事案の決定に関することを除く。）。

（２）その他特命に関すること。

住民サービス担当係長

（１）窓口サービス及びその統括に関すること。

（２）窓口での収納及びその統括に関すること。

（３）所管区域内の付属施設の利用に係る窓口サービス及びその総括に関すること。

（４）所管区域内の付属施設の使用料等の収納及び還付並びにその統括に関すること。

（５）公共施設利用システムによる窓口サービス及びそれに伴う使用料等の収納並びにその統括に関すること。（入新井特別出張所、馬込特別出張所、新井宿特別出張所、嶺町特別出張所、田園調布特別出張所及び六郷特別出張所に限る。）。

（６）特別出張所長が定める事務事業に関すること。

地域力推進係

（１）特別出張所の庶務に関すること。

（２）遺家族の援護事業に関すること。

（３）特別出張所の維持管理に関すること（蒲田東特別出張所を除く。）。

（４）所管区域内の地域施設の維持管理並びに付属施設の運営、維持管理及び利用に関すること（他の主管に属するものを除く。）。

（５）所管区域内の地域施設の事務運営の調整及び支援に関すること。

（６）地域団体等との連絡調整に関すること。

（７）地域の青少年健全育成に関すること。

（８）地域防災に関すること。

（９）火災及び風水害の援助等に関すること。

（10）所管区域内の公共施設との連絡に関すること。

（11）地域福祉、地域力推進に関すること（他の主管に属するものを除く。）。

（12）民生委員及び児童委員との連絡に関すること（地域福祉課の主管に属するものを除く。）。

（13）窓口サービスに関すること。

（14）窓口での収納に関すること。

（15）所管区域内の付属施設の利用に係る窓口サービス並びにそれに伴う使用料等の収納及び還付に関すること。

（16）公共施設利用システムによる窓口サービス及びそれに伴う使用料等の収納に関すること。（入新井特別出張所、馬込特別出張所、新井宿特別出張所、嶺町特別出張所、田園調布特別出張所及び六郷特別主張所に限る。）

（17）所管区域内の地域施設及び付属施設の利用並びに所管区域内の地域施設の使用申請受付に伴う使用料の収納及び還付等に係る統計等の事務処理に関すること。

（18）特別出張所内他係及び所管区域内の地域施設に属しないこと。

地域施設

（１）庶務及び経理に関すること。

（２）公印の管守に関すること。

（３）施設の維持管理に関すること。

（４）施設の運営に関すること。

（５）施設の利用に関すること。

（６）窓口サービスに関すること。

（７）施設の使用料等の収納及び還付に関すること。

（８）公共施設利用システムによる窓口サービス及びそれに伴う使用料等の収納に関すること。

池上会館の分掌事務は池上特別出張所地域力推進係がつかさどり、洗足区民センター分掌事務（大田区立区民センター条例（昭和44年条例第33号）第15条第１項の規定により指定された指定管理者が行う業務を除く。）は雪谷特別出張所地域力推進係がつかさどり、大森西区民センターの分掌事務は大森西特別出張所地域力推進係がつかさどり、矢口区民センターの分掌事務は矢口特別出張所地域力推進係がつかさどり、嶺町文化センターの分掌事務は嶺町特別出張所地域力推進係がつかさどるものとする。

第３　令和７年度　地域未来創造部の目標および職員の行動指針

Ⅰ　地域未来創造部の目標

１　目標

誰もが地域の一員として、いきいき暮らせるまちの実現に向けて、これまでの取組に加え、多文化共生や友好都市・国際交流、区民の心身の充実と地域の活性化の促進を図るためのスポーツ振興や文化芸術活動を促進する必要があります。

この認識のもと、今年度新設された地域未来創造部の職員一人ひとりは、以下の経営方針と重点取組事項を意識し、創意工夫を凝らすとともにコミュニケーションと連携を一層意識して、これらの施策を相互に有機的に進める戦略と意図をもって職務を遂行します。

こうした取組により、地域住民の生活の質を向上させ、持続的な発展につながるまちづくりを着実に推進します。

２　経営方針

① スピード感を持ち時機を逃さない対応
② 接遇とサービスの向上
③ プロモーションの推進
④ 連携・協働の強化
⑤ デジタル技術の活用
⑥ 基本計画で定義する共通課題（少子化・つながりの希薄化・担い手不足）の解決

３　重点取組事項

① 持続可能な地域コミュニティの形成に向けた中間支援機能の強化及び新たな担い手発掘と多様な主体が集い交流する拠点づくりの推進
② 基本計画・実施計画の初年度として、主要事業で求められる指標の目標達成

■ 個別課題
○ 迅速かつ的確な危機管理体制の構築と地域防災力及び消費者力の向上による安全・安心の確保
○ 外国人区民を含む多様な主体が一体となった多文化共生の推進
○ 次代を担う青少年の健やかな育成と生涯にわたる学びの充実による地域の活力づくり
○ スポーツを楽しめる機会と環境の整備による地域の一体感の創出
○ 文化資源の活用と文化芸術に親しむ環境の整備による豊かな暮らしの実現

Ⅱ　地域未来創造部職員の行動指針

1　事務事業の改善

○これまでの取組の成果、現状と課題をしっかり検証しましょう。

○前例踏襲の思考を払拭し、現状を批判的に見る視点も確保することで、創造力を発揮して事務事業の改善に取り組みましょう。

○各分野の先進事例における新たな知見や優れた手法を研究・追求し、区の実情に合わせて積極的に取り入れましょう。

2　風通しの良い職場づくり

○基本的な声かけのほか、グループウェア等を活用し、できる限り即時の情報共有を心がけましょう。

○担当の枠にとらわれず、率直かつ活発な議論を行いましょう。

3　情報収集と発信の強化

○自治会・町会、地域団体等と信頼関係を築き、現場に積極的に足を運んで地域課題の把握に努めましょう。

○事業効果を高めるため、区民や議会、マスコミ等に向け、多様な媒体やツールを活用し戦略的に情報を発信しましょう。

4　組織間の連携・協働

○経営方針と重点取組事項を意識し、創意工夫を凝らすとともにコミュニケーションと連携を一層意識して、施策を相互に有機的に進める戦略と意図をもって職務を遂行していきましょう。

5　内部統制の強化

○業務の執行に当たっては、根拠法令（法律、政省令、条例、規則等）や、ルール（要綱、通知、手引等）等の確認を怠らず、コンプライアンスの遵守に努めましょう。

○個人情報の取扱いにおいては、「大田区個人情報の保護に関する法律施行条例」、「大田区情報セキュリティ対策基準」、「情報セキュリティ実施手順」等を遵守の上、厳重な管理と組織的な事故防止に努めましょう。

○文書、財務、会計、契約等、日々の業務において凡事徹底を心がけ、根拠となる規則、規程、手引等に沿った適正な遂行に努めましょう。

6　チャレンジの奨励とサポート

○新たな試み、小さな工夫や見直しなど、できることからチャレンジしましょう。

○係長は率先垂範を実践し、部長、課長（所長）とともに職員のチャレンジをサポートしましょう。

7　自己研鑽と相互啓発

○常に自己研鑽に励み、担当職務に関する専門知識とノウハウの習得はもとより、社会情勢や区政全体に目を向け、他分野の知見を広げましょう。

○コミュニケーションを密にして、他者からの学びや気づきを通じ、お互いにスキルアップしていきましょう。

8　スマートワークの実践

○仕事はゴールを定め、計画的に進めましょう。

○時間を有限の資源ととらえ、タイムマネジメントを意識しましょう。

○目的の達成に向け、会議や行事等の手段が目的化することがないよう留意し、最適な手段を選択しましょう。

○ムリ・ムラ・ムダを解消し、効率的・効果的に事務事業を執行しましょう。

○職員間の相互理解と協力体制により、職場ぐるみでワークライフバランスの向上に努めましょう。

9　カスタマーハラスメントへの毅然とした対応

○区民からの不当要求については、一人で抱え込まず、上司へ相談し、組織として対応するようにしましょう。

第４　令和７年度　地域未来創造部重要事務事業

１　部局重要事務事業

No.	事業名	主な取組内容
1	公共施設マネジメントの推進 大森西二丁目複合施設	大森西地区公共施設整備基本構想及び（仮称）大森西二丁目複合施設基本計画に基づき、区民活動支援施設大森（こらぼ大森）の敷地内に「大森西二丁目複合施設」を建設する。既存施設を利用しながらの整備となるため、工期をⅠ期・Ⅱ期に分け、令和 10 年度以降の施設全体利用開始を予定している。 【構成施設】 大森西特別出張所、大森西区民活動施設、区民活動支援施設大森、地域包括支援センター大森、シニアステーション大森、大田区シルバー人材センター大森分室、大田福祉作業所大森西分場、こども発達センターわかばの家分館、大森西保育園、子ども交流センター
2	公共施設マネジメントの推進 （仮称）上池台二丁目複合施設	施設の老朽化が進行しているため、建替えを行う。建替えにあたっては、諸室の多機能化やフレキシブルな活用を検討し、地域の拠点となる施設を目指す。なお、児童館及び子ども家庭支援センターについては、建替え期間中も代替地にて運営を維持する。 【構成施設】 区民センター（体育室、多目的室）、シニアステーション、児童館、子ども家庭支援センター
3	公共施設マネジメントの推進 赤松小学校及び（仮称）北千束二丁目複合施設	地域力の拠点であり、災害発生時において地域の重要な拠点となる特別出張所を計画的に整備し、地域の安全・安心を高める。 千束特別出張所は、赤松小学校の改築にあわせ地域特性や行政需要に応じ施設を複合化し、新たな地域力の拠点とする。 現在進行中のⅡ期工事では、地区備蓄倉庫等の整備を行っており、令和８年度中の竣工を予定している。 【構成施設】 特別出張所、地域包括支援センター、シニアステーション、放課後ひろば、地区備蓄倉庫
4	公共施設マネジメントの推進 旧羽田旭小学校敷地活用事業	旧羽田旭小学校は平成 15 年から暫定的な用途で活用されているが、大田区公共施設等総合管理計画に基づく時期活用計画を推進する必要がある。新たなコミュニティセンターは、地域住民が集い、相互に学び、交流し、活動することにより、区民一人ひとりの健康増進や生きがいの創出を推進する場として整備し、あらゆる世代が活躍する地域づくりや地域課題の解決をもたらす施設とする。
5	公共施設マネジメントの推進 （仮称）都区合同庁舎	東京都大田都税事務所や大田区蒲田西特別出張所、地域包括支援センター等からなる（仮称）都区合同庁舎を整備し、出張所を中心とした地域活性化拠点を整備する。 また、様々な団体が組織の枠を超えて連携し、笑顔とあたたかさあふれる地域共生社会を実現する。 【構成施設】 B1 階：駐車場　１～２階：蒲田西特別出張所 ３階：地域包括支援センター・シニアステーション ４階：社会福祉協議会・シルバー人材センター ５～８階：大田都税事務所

No.	事業名	主な取組内容
6	公共施設マネジメントの推進 （仮称）西蒲田七丁目複合施設	蒲田西特別出張所跡地へ、（仮称）西蒲田七丁目複合施設を整備し、多世代の方が集う地域力推進の拠点とする。 また、様々な団体が組織の枠を超えて連携し、笑顔とあたたかさあふれる地域共生社会を実現する。 【構成施設】 １階：駐車場、駐輪場、ロビー　　２階：保育施設 ３～４階：（仮称）蒲田西地区地域活動拠点 ５階：大田区若者サポートセンター（フラットおおた） 大田区生活再建・就労サポートセンター （JOBOTA）、大田区ひきこもり支援室（SAPOTA）
7	大田区文化振興プランの改定	平成31年３月に策定した大田区文化振興プランの計画期間が、令和７年度をもって終了するため当該プランを改定する。改定にあたり区民、学識経験者、自治会・町会関係者、（公財）大田区文化振興協会、区議会議員等で構成される「大田区文化芸術推進協議会」を設置し、総合政策としての文化施策に向けて必要な事項を検討している。 【スケジュール（予定）】 令和７年５月　第３回大田区文化芸術推進協議会 令和７年８月　第４回大田区文化芸術推進協議会 令和７年９月　第５回大田区文化芸術推進協議会 令和７年11月下旬～12月上旬　パブリックコメント 令和８年１月　第６回大田区文化芸術推進協議会 令和８年３月　策定

第５　令和７年度　当初予算

令和７年度予算について

（１）歳入

使用料は、田園調布せせらぎ館体育施設開設、大森西区民活動施設開設予定により増額となりました。

国庫補助金は、令和６年度に申請した社会資本整備総合交付金事業を活用した池上会館特定天井改修工事実施計画委託が終了したため、令和７年度は減額となりました。

都補助金は、東京 2025 デフリンピック気運醸成事業等の実施において区市町村スポーツ実施促進事業費補助金に申請したため増額となりました。

都委託金は、組織改正に伴い皆減となりました。

単位：千円

科目	令和７年度	令和６年度	増減	前年比
分担金及び負担金	41,104	40,853	251	100.61%
使用料及び手数料	839,305	843,898	△4,593	99.46%
使用料	708,635	699,190	9,445	101.35%
手数料	130,670	144,708	△14,038	90.30%
国庫支出金	11,278	87,615	△76,337	12.87%
国庫補助金	11,128	87,465	△76,337	12.72%
国庫委託金	150	150	0	100.00%
都支出金	31,520	32,352	△832	97.43%
都補助金	31,520	26,815	4,705	117.55%
都委託金	0	5,537	△5,537	組織改正による皆減
財産収入	98,580	98,100	480	100.49%
寄付金	3,170	3,520	△350	90.06%
諸収入	226,920	260,708	△33,788	87.04%
特別区預金利子	23	22	1	104.55%
受託事業収入	55,156	60,971	△5,815	90.46%
雑入	171,741	199,715	△27,974	85.99%
合計	1,251,877	1,367,046	△115,169	91.58%

（２）歳出

複合施設建設費は、スマイル大森と田園調布せせらぎ館体育施設開設に伴う工事が終了したことにより減額となりました。

特別出張所費は、区民センター１か所、文化センター４か所で体育室空調機リースを開始することにより増額となりました。

スポーツ振興費は、主に、萩中公園水泳場大規模改修工事実施設計委託等に伴い増額しましたが、大田区総合体育館の特定天井改修工事の終了に伴う減額により、令和６年度に比して減額となりました。また、東京 2025 デフリンピックの開催に伴い、「東京 2025 デフリンピック気運醸成事業」を新設しました。

文化芸術費は、文化施設の特定天井工事終了に伴い工事請負費が減額となりました。

組織改正に伴い、皆増・皆減となった項目があります。

単位：千円

科目	令和７年度	令和６年度	増減	前年比
総務費	11,779,356	16,599,272	△4,819,916	70.96%
総務管理費	1,981,812	3,363,999	△1,382,187	58.91%
一般管理費	5,856	3,705	2,151	158.06%
防災対策費	23,683	23,636	47	100.20%
複合施設建設費	1,952,273	3,336,658	△1,384,385	58.51%
地域振興費	5,118,207	5,251,534	△133,327	97.46%
地域振興総務費	556,646	348,609	208,037	159.68%
区民施設費	759,576	785,460	△25,884	96.70%
消費行政費	188,439	247,293	△58,854	76.20%
区民協働費	303,674	369,964	△66,290	82.08%
特別出張所費	3,283,472	2,552,100	731,372	128.66%
複合施設建設費	26,400	948,108	△921,708	2.78%
スポーツ文化芸術費	4,679,337	－	4,679,337	組織改正による皆増
スポーツ振興費	1,526,212	－	1,526,212	組織改正による皆増
文化芸術費	3,153,125	－	3,153,125	組織改正による皆増
スポーツ文化国際費	－	7,983,739	△7,983,739	組織改正による皆減
スポーツ文化国際総務費	－	40,449	△40,449	組織改正による皆減
スポーツ振興費	－	2,052,817	△2,052,817	組織改正による皆減
文化国際費	－	5,890,473	△5,890,473	組織改正による皆減
福祉費	4,044	3,872	172	104.44%
社会福祉費	4,044	3,872	172	104.44%
災害応急費	4,044	3,872	172	104.44%
合計	11,783,400	16,603,144	△4,819,744	70.97%

第６　各課の事務事業

Ⅰ　地域力推進課

１　地域力推進担当

事業	臨海部広域斎場組合に関する事務
概要	港、品川、目黒、世田谷、大田の５区の共同事業である「臨海斎場」を管理運営する臨海部広域斎場組合との連絡、分担金の支払い等、組合に対する区側事務を行っています。

【施設概要】

開設日	平成 16 年 1 月 15 日
所在地	大田区東海一丁目 3-1
電話番号	03-5755-2833
敷地面積	22,496 ㎡
延床面積	7,599 ㎡
建物・構造	鉄筋コンクリート　一部鉄骨　2 階建
アクセス	JR 大森駅東口から京急バス「大田スタジアム」行き　終点下車徒歩 1 分
休館	1 月 1 日から 1 月 3 日まで（※その他、臨時休館日があります。）

【施設内容】

火葬施設	火葬炉 10 基（台車式）、待合室 8 室
葬儀施設	式場 4 室、遺族等控室 4 室、会葬者控室 4 室
その他の施設	棺保管施設（保冷庫）24 庫、会議室、売店、管理施設
駐車場	普通車 249 台、大型バス 10 台

実績

	計	港区	品川区	目黒区	大田区	世田谷区	その他
火葬	9,808	416	1,597	390	5,829	983	593
式場	1,400	66	313	51	850	109	11

事業	自治会・町会数等

概要

	自治会・町会数	認可地縁団体数	住民登録世帯数 ※1、2	会員世帯数 ※2	回覧必要枚数 ※2	会館数 ※3
大森東	5	2	10,481	5,615	605	3
大森西	21	6	35,113	18,028	1,770	15
入新井	11	1	21,949	14,886	1,120	9
馬込	19	3	32,382	22,629	2,345	12
池上	11	4	24,873	14,079	1,690	7
新井宿	8	2	14,261	9,332	649	6
嶺町	5	3	13,572	8,056	685	5
田園調布	9	4	11,226	5,214	781	5
鵜の木	7	4	15,060	8,535	993	5
久が原	5	1	13,570	8,840	1,307	5
雪谷	9	6	31,424	16,391	1,860	7
千束	8	1	13,995	8,923	964	2
糀谷	10	8	22,873	14,050	1,345	10
羽田	20	12	22,051	12,142	1,033	19
六郷	16	5	37,044	19,955	1,883	15
矢口	18	1	25,057	17,496	1,184	15
蒲田西	17	3	37,076	22,477	1,838	9
蒲田東	19	9	30,943	17,445	2,628	10
計	218	75	412,950	244,093	24,680	159

※1 大田区自治会連合会に加入している自治会・町会の区域に住民登録している者。
　外国籍の中長期滞在者や特別永住者等を含む。
※2 住民登録世帯数、会員世帯数、回覧必要枚数は令和６年度実績
※3 会館数は、会館を所有する自治会・町会の数

事業	自治会連合会定例会
概要	区と地域との情報交換を行い、さらなる区政への協力及び連携を図ります。 【根拠】大田区自治会連合会規約 【組織】大田区特別出張所地区ごとに設けられた地区自治会連合会をもって組織する。
実績	定例会開催 10 回、臨時会開催 1 回

事業	自治会・町会長大会・感謝状贈呈
概要	自治会・町会長の出席により、自治会・町会の交流と発展を期します。併せて、自治会・町会の正副会長 20 年、30 年、40 年、45 年、50 年以上の在職者に感謝状を贈呈します。 【根拠】大田区自治会・町会正副会長 20 年、30 年、40 年、45 年及び 50 年以上在職者に対する感謝状贈呈要綱（平成 20 年 1 月 7 日付け 19 区区発第 11496 号）
実績	産業プラザで 10 月 31 日実施。250 名参加。

対象者	表彰者数
自治会・町会正副会長として通算 20 年以上 30 年未満在職する者	22 名
自治会・町会正副会長として通算 30 年以上 40 年未満在職する者	3 名
自治会・町会正副会長として通算 40 年以上 45 年未満在職する者	2 名
自治会・町会正副会長として通算 45 年以上 50 年未満在職する者	0 名

事業	自治会・町会役員永年在職者感謝状贈呈
概要	自治会・町会役員で、４年以上地域に貢献されている方に感謝状を贈呈します。 以前感謝状の贈呈を受けた方も、１回に限り再度贈呈することができます。
実績	323 名

事業	大田区地域力推進活動負担金
概要	自治会・町会及び地区自治会連合会が区と連携・協力し、地域コミュニティの更なる発展に取り組む活動等に対し、大田区地域力推進活動負担金を交付します。 【根拠】大田区地域力推進活動負担金交付要綱（平成 29 年３月 15 日付け地地発第 13494 号） 【対象】負担金を交付する日に属する会計年度の４月１日前に結成され大田区自治会連合会に加入して引き続き活動を行っている自治会・町会及び地区自治会連合会
実績	地区自治会連合会　12,682,800 円　　自治会・町会　42,894,990 円

事業	地域の底力発展事業助成（東京都）
概要	地域活動の担い手である自治会・町会が行う、地域の課題を解決するための取り組みを推進し、「地域力」の向上を図る事業に対して、東京都が助成します。令和３年度からデジタルを活用した活動やデジタルデバイド対策としての講習会等を助成対象としました。
実績	大田区自治会連合会１　　地区自治会連合会 11　　自治会・町会 34　　計 19,232,000 円

事業	コミュニティ助成
概要	一般財団法人自治総合センターの助成金を原資として、自治会・町会に対し助成を行います。 【目的】一般財団法人自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する。 【根拠】大田区コミュニティ助成事業補助金交付要綱（昭和 62 年６月 19 日決定）
実績	鵜の木地区町会連合会　2,500,000 円

事業	認可地縁団体
概要	地縁による団体（自治会・町会）が地域的な共同活動を円滑に行うため、当該団体の認可申請により法人格を付与します。認可を受けた地縁による団体に関する証明書の交付及び印鑑の登録、証明に関する事務を行います。令和７年４月１日現在　75 団体。 【根拠】地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 260 条の２第１項 大田区認可地縁団体印鑑登録証明事務規則（平成７年３月 31 日規則第 20 号）
実績	

認可	告示事項証明書交付	印鑑登録	印鑑登録証明書交付
1 団体	14 通	1 団体	12 通

事業	地域活動保険
概要	自治会・町会等役員のボランティア活動中の事故に対応します。 【目的】大田区地域活動保険は、自治会・町会等のボランティア活動中の事故に対応するために、①傷害保険②賠償責任保険に加入し、大田区内におけるコミュニティ活動の活性化と地域福祉増進に寄与することを目的としている。 【保険加入】大田区が自治会・町会等の役員等を被保険者として、保険会社と加入契約を結ぶ。 【保険期間】毎年４月１日から１年間（保険料は、全額大田区負担）
実績	申請件数９件

事業	回覧板配付
概要	自治会・町会の広報活動に対し、希望に応じて回覧板を配付します。
実績	305 枚

事業	地域力推進会議
概要	心やすらぎ未来へはばたく笑顔のまち大田区をめざし、大田区、関係行政機関、地域団体及び企業等の連携・協働を推進することにより、「地域力」を高め、もって地域の課題を解決し、魅力ある地域を創造していくため、地域力推進会議を開催します。 【根拠】地域力推進会議設置要綱（平成 21 年３月 23 日付け 20 区区発第 12087 号） 【協議事項】推進会議は、次に掲げる事項を協議する。 ア　地域の課題解決に関すること　　イ　魅力ある地域の創造に関すること ウ　関係行政機関、地域団体及び企業等との連携・協働に関すること エ　その他地域力の推進に関すること
実績	

開催回数	出席延べ人員	委員数	地域力推進会議委員名簿作成
9 回	933 名	116 名	500 部

【地域力推進会議構成員】　下記団体の代表者が出席（区長部局と教育委員会も出席）

関係機関及び団体名	人員	関係機関及び団体名	人員	関係機関及び団体名	人員
区議会	7	婦人団体連合会	4	歯科医師会	1
自治会	18	校長会	3	薬剤師会	1
警察署	5	私学連合会	2	法人会	1
消防署	5	PTA	3	環境衛生協会	1
水道局	1	青少年対策委員	1	食品衛生協会	1
下水道局	1	青少年委員	1	障害者団体	1
建設局	1	スポーツ推進委員	1	商工会議所	1
国土交通省	1	生活学校	1	観光協会	1
工業団体	2	民生委員	1	シニアクラブ	1
商業団体	2	保護司会	1	中小企業家同友会	1
たばこ商業協同組合	1	医師会	1		

事業	地域力推進地区委員会
概要	地区自治会連合会を中心とする地域団体等と区等の行政機関が連携・協働し、地域の課題を解決し、地区の特色を活かした地域を創造していく活動に自主的に取り組んでいます。 【根拠】地域力推進地区委員会運営要綱（各地区で作成している）
実績	開催回数　155 回　　出席延べ人数　6,912 名（書面開催を含む） 【地区委員会開催状況】

地区	地区委員会開催回数	分科会設置数	分科会名称　※
大森東	8	2	保健・福祉、地区委員会第二部
大森西	9	1	ふる浜まつり実行委員会
入新井	9	2	入新井地区の歴史、盆踊り大会
馬込	9	1	地域の担い手発掘検討部会
池上	8	1	今月のテーマ
新井宿	9	4	教育・子育て、健康・福祉、防犯・防災、 地域の魅力創出・発信
嶺町	9	3	みねまち生き生き安心プロジェクト、 みねまちポールウォークの会、みねまち花と緑
田園調布	9	1	まちの緑づくり
鵜の木	9	1	水と緑のまちづくり
久が原	9	1	地域の課題に対する取り組み
雪谷	9	1	小池公園
千束	9	1	洗足池公園保全
糀谷	9	1	糀谷の花
羽田	4	2	地域課題解決、魅力創造発信
六郷	9	4	防犯交通安全、福祉保健、防災、環境美化清掃
矢口	10	1	シニアいきいき分科会
蒲田西	9	1	防災対策
蒲田東	8	2	まもりんピック蒲田東実行委員会、 蒲田東こどもフェスティバル実行委員会
計	155	30	

※分科会と同等のテーマを設けて取り組んでいる活動を含む。

事業	自治会・町会会館の整備助成
概要	大田区自治会連合会に加入している自治会・町会が、地域住民の福祉の向上と自主的活動を強化するために設置する自治会・町会会館の新築、増築、改築、修繕等に要する経費の一部を助成します。 【根拠】大田区自治会町会会館建設補助金交付要綱（昭和 58 年２月 25 日付け区区発第 117 号） 【補助の内容】

補助対象	補助率	限度額
新築・改築等	新築・改築等に要した経費の 50%	2,000 万円
会館用地取得	固定資産税評価額の 50%	500 万円
耐震補強	補強が必要と認められた工事に要した経費の 50%	200 万円
修繕	主要構造物の修理に要した経費の 50%	600 万円
解体	既存建物の全部を解体した場合の経費の 50%	100 万円

実績

新築	増築	改築	購入	用地取得	耐震補強	修繕	解体
1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	5 件	2 件

事業	区設掲示板管理事務
概要	おおたふれあい情報をはじめとするポスターの掲出や撤去等を委託しています。日常管理は特別出張所、総括管理を地域力推進課が担当しています。 【根拠】大田区設掲示板管理規則（昭和 38 年６月 15 日規則第 18 号） 大田区設掲示板管理細則（昭和 57 年１月 27 日訓令甲第１号）
実績	掲出、撤去等委託　14,958,482 円　移設・撤去・修理　2,415,600 円 「地域のひろば」活用実績 区設掲示板の一部は、「地域のひろば」として、地域のコミュニティ活動団体・青少年育成活動団体・リサイクルに係わる団体等が利用できます。

自治会・町会関係	青少年育成活動団体	福祉団体	社会教育関係団体	児童館・保育園	学校・幼稚園	その他	計
186	26	83	59	85	40	845	1,324

事業	自治会・町会設置防犯灯維持費補助
概要	【目的】自治会・町会が管理している防犯灯について防犯灯維持管理費補助金を交付することにより、地域の防犯を図り、もって地域の発展に寄与する。 【根拠】自治会・町会管理の防犯灯維持管理費補助金交付要綱（平成７年３月 10 日付け地地発第 482 号） 【補助対象】自治会・町会が管理している防犯灯の維持管理費用の一部 【補助金の額】蛍光灯１基につき年額 4,500 円　LED 灯１基につき年額 3,500 円
実績	補助本数　蛍光灯：2,651 基　LED 灯：4,748 基

事業	被災世帯等に対する応急対策
概要	災害救助法による救助の対象とならない小規模な火事、風水害等でり災した区民の被害状況調査、宿泊所の紹介、寝具の貸し出し、見舞金等の支払、り災証明書の発行は、特別出張所を通じて実施します。 【根拠】小規模災害に対する援助措置要綱（昭和 39 年総発第 669 号区長決定）
実績	【見舞金等支給実績】

大田区	火災見舞金	風水害等見舞金	学用品購入費	死亡者弔慰金	宿泊謝礼
	1,330,000 円	0 円	45,000 円	50,000 円	140,000 円

日本赤十字社	毛布	バスタオル	安眠マット
	16 枚	31 枚	1 枚

共同募金会	タオル
	24 枚

【小規模災害被災者に対する寝具の貸出】

対象	援助の基準	援助内容
火災等により寝具を失い、真に困窮している被災者	特別出張所長が調査、確認した結果、近隣・親類等の援助によっても、寝具の確保が困難であると判断した場合	冬用・夏用貸布団セット

※貸出は当日を含めて７日。ただし、特に必要と認めるときは、７日を上限に延長可。

布団貸出数…53 組

【り災証明書発行】

・根拠：り災証明書等の発行要領

・証明の範囲：災害対策基本法第２条第１号に規定する災害の範囲で、住家及び住家以外の建造物の被害や人的被害について証明します。ただし、火災が主たる原因の場合については、各消防署で発行します。

・発行場所：住所地を管轄する特別出張所

種別	り災証明書発行件数	被災証明書発行数
風水害	1 件	1 件
地震	0 件	0 件
火災	消防署で発行（火災報告件数 37 件）	―

被災状況	火災（被災世帯・事業所報告件数）				風水害（り災証明書発行件数）※			
月別	全焼	半焼	その他（小火事）	合計件数	床上浸水	その他	被災証明書	合計件数
4	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	1	4	6	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0
7	2	1	2	5	0	0	0	0
8	0	1	2	3	0	0	0	0
9	1	0	1	2	0	1	1	2
10	2	1	2	5	0	0	0	0
11	0	0	2	2	0	0	0	0
12	1	1	1	3	0	0	0	0
1	0	1	2	3	0	0	0	0
2	2	0	2	4	0	0	0	0
3	1	0	3	4	0	0	0	0
計	10	6	21	37	0	1	1	2

※風水害は、り災証明書等の発行日で計上しています。

【宿泊施設の提供】
被災者が住居を失い、親類、自治会・町会等の近隣相互扶助によっても宿泊場所の提供を受けられない場合は、プラム蒲田、シャンボール大森、旅館組合等の施設を紹介します。必要に応じ、寝具の手配をします。

プラム蒲田	シャンボール大森	旅館組合	民間施設等
25 世帯	3 世帯	0 世帯	3 世帯

事業	日赤大田区地区会費募集実績
概要	自治会・町会を通じて日本赤十字社の活動資金として募集します。
実績	45,531,937 円

事業	日本赤十字社義援金
概要	台風、地震など大災害に見舞われた地域に対する義援金及び海外人道危機等救援金の受付を行いました。
実績	

件名	金額	受付期間
令和 6 年能登半島地震災害義援金	17,400,117 円	令和 6 年 1 月 5 日～令和 7 年 12 月 25 日
令和 6 年 9 月能登半島大雨災害義援金	781,804 円	令和 6 年 9 月 25 日～令和 7 年 12 月 25 日
令和 7 年大船渡市赤崎町林野火災義援金	100,000 円	令和 7 年 3 月 6 日～令和 7 年 6 月 27 日
中東人道危機救援金	111,226 円	平成 27 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 30 日
バングラディシュ南部避難民救援金	24,930 円	平成 29 年 9 月 22 日～令和 8 年 3 月 30 日
ウクライナ人道危機救援金	1,894,329 円	令和 4 年 3 月 2 日～令和 8 年 3 月 30 日
令和 6 年 7 月 25 日からの大雨災害義援金	44,587 円	令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 3 月 28 日 終了

件名	金額	受付期間
令和６年沖縄県北部豪雨災害義援金	10,919 円	令和６年 12 月 18 日～令和７年３月 28 日 終了
イスラエル・ガザ人道危機救援金	34,835 円	令和５年 10 月 17 日～令和７年３月 28 日 終了
アフガニスタン人道危機救援金	145,295 円	令和３年９月 22 日～令和７年３月 28 日 終了
レバノン人道危機救援金	０円	令和６年 10 月 15 日～令和７年３月 28 日 終了
2024 年台湾東部沖地震救援金	142,653 円	令和６年４月５日～令和６年６月 27 日 終了

事業	各友好都市事業への参加
概要	各都市の事業に参加することで各都市と交流を図り、大田区の魅力を現地の方に紹介します。
実績	長野県東御市　巨峰の王国まつり　９月 21 日（土）、22 日（日） 秋田県美郷町　六郷のカマクラ　竹うち　２月 15 日（土） 宮城県東松島市　東松島夏まつり　８月 24 日（土）

事業	友好都市パネル展
概要	テーマを決め、友好都市パネル、ポスター等で区民に紹介します。
実績	友好都市パネル展（３都市合同）　５月 28 日（火）から　６月７日（金）まで １月 23 日（木）から　１月 31 日（金）まで

事業	友好都市ふれあいひろば
概要	特産品等の販売を通して、友好都市の魅力を広く区民に紹介することで交流の発展を図ります。
実績	開催日　10 月 12 日（土）、13 日（日） 来場人数　約 4,000 人 会　場　蒲田駅西口駅前広場

２　区民施設担当

事業	休養村とうぶ管理運営
概要	区民の健康増進及び余暇活動の充実を図る保養施設として、区立小学校校外学習活動を行う校外施設として、施設の維持管理を行っています。

【施設概要】

開設日	平成 10 年 8 月 9 日	所在地	長野県東御市和 6733-1
電話番号	0268-63-0261	敷地面積	179,710 ㎡
延床面積	（本棟）9,419.17 ㎡　（別棟）2 棟　283.17 ㎡（1 棟あたり）		
建物・構造	鉄筋コンクリート造・地上 2 階地下 1 階　（別棟）木造・平屋		
収容人員	210 人（本棟 150 人、別棟 60 人） ※校外学習の場合 340 人（本棟 260 人、別棟 80 人）		
部屋数	本棟 28 室　別棟 2 棟	駐車場	64 台
アクセス（交通機関）	北陸新幹線「上田」駅から送迎バス（要予約）で 30 分		
アクセス（自動車）	上信越自動車道「東部湯の丸 IC」から約 7 km		
利用期間	1 回　4 泊 5 日まで	利用時間	午後 2 時から退館の日の午前 10 時まで

【使用料等】

個人的経費（客室使用料、食事代、入湯税及び飲み物等）を現地にて現金・キャッシュレスで支払う。

【客室使用料】

部屋の種類	定員	部屋数	宿泊料金 （一泊 1 室）
洋室	3 人	2 室	11,400 円
和洋室	4 人	3 室	16,000 円
和室	5 人	6 室	17,000 円
和室	6 人	17 室	12,000 円 （利用者 4 人まで） ※4 人を超えると 1 人増すごとに 2,000 円加算
別棟	30 人	2 棟	25,000 円 （利用者が 10 人までの場合） ※10 人を超えると 1 人増すごとに 1,500 円加算

※大田区内在住、在勤、在学者とその親族の方以外の方が利用する場合、上記の２割増

【食事代】

利用者区分 （1 人あたり）	料金 （夕食・朝食の 2 食）
大人	3,300 円
中人 （小学校高学年向け）	2,300 円
子ども （小学校低学年向け）	1,700 円

※ほかに一品料理もあり

〈入湯税〉	12 歳以上 150 円

【付帯施設その他】

施設名	内容	区分	使用料金	施設名	内容	区分	使用料金
テニスコート	4 面 全天候型	2 時間	1,600 円	大広間	45 人	3 時間	1,500 円
ゲートボール場	1 面	2 時間	1,000 円	会議室	30 人	3 時間	1,500 円
多目的 グラウンド	1 面	2 時間	1,600 円	ホール （体育館）	1 面	2 時間	1,600 円
キャンプ場・ バーベキュー場	10 面	日中	1,000 円	浴室	日帰り 入浴	大人	650 円
		夜間					
セミナー室	多目的室	3 時間	1,500 円			子ども	300 円
	調理室						
	図工室						

※大田区内在住、在勤、在学者とその親族の方以外の方が利用する場合、上記の 2 割増（ただし、浴室を除く。）

実績	

【利用状況】

年度		営業日数	営業部屋数	利用部屋数	利用率	総利用人数	うち学校
令和６年度		355	10,650	5,248	49.28%	26,480	10,070
令和６年度内訳	４月	28	840	270	32.14%	1,027	0
	５月	31	930	628	67.53%	3,242	2,062
	６月	30	900	512	56.89%	2,777	1,815
	７月	28	840	504	60.00%	2,563	956
	８月	31	930	622	66.88%	2,970	0
	９月	30	900	615	68.33%	3,458	2,334
	10月	31	930	676	72.69%	4,073	2,903
	11月	28	840	354	42.14%	1,422	0
	12月	31	930	289	31.08%	1,326	0
	１月	28	840	249	29.64%	1,129	0
	２月	28	840	242	28.81%	1,128	0
	３月	31	930	287	30.86%	1,365	0

【使用料収入】

令和６年度	65,420,800	令和５年度	58,593,700

事業	伊豆高原学園管理運営

概要

区立小学校の校外施設として教育上支障がない期間を、区民の健康増進を図る保養施設として供用し、施設の維持管理を行っています。

【施設概要】

開設日	平成27年４月１日	所在地	静岡県伊東市八幡野1154-3
電話番号	0557-48-7815	敷地面積	29,466㎡
延床面積	7,253㎡	建物・構造	鉄筋コンクリート造・地上２階
施設の特徴	屋内施設＝管理棟（フロント、食堂、浴室、売店、ラウンジ）、宿泊棟２棟、ビジターセンター（展示室、体育館）、創作棟（図工室、調理室） 屋外施設＝天文台、飯ごう炊さん場、足湯、スポーツ広場、自然散策路		
収容人員	165人 ※校外学習の場合260人	駐車場	18台
部屋数	洋室12室、和室12室（32畳）、バリアフリー室３室		
アクセス（交通機関）	伊豆急行線「伊豆高原駅」下車、「桜並木口（北口）」から徒歩８分約800m		
アクセス（自動車）	国道135号線を下り、伊豆高原駅入口交差点を左折約１㎞		
利用期間	１回　４泊５日まで	利用時間	午後３時から退館の日の午前10時まで

【使用料等】

個人的経費（客室使用料、食事代、入湯税及び飲み物等）を現地にて現金で支払う。

【客室使用料】

部屋の種類	定員	部屋数	宿泊料金（一泊１室）
洋室	３人	12室	6,000円
バリアフリー室	３人	３室	6,000円
和室	12人	12室	10,000円 （利用者６人まで） ※6人を超えると１人増すごとに1,600円加算

※大田区内在住、在勤、在学者とその同居の親族の方以外の方が利用する場合、上記宿泊料金に１人1,050円の追加料金がかかります。
※6歳以上、別途入湯税１人１泊150円かかります。

【食事代】

利用者区分（１人あたり）	料金（夕食・朝食の２食）
大人	4,000円
子ども（中学生まで限定）	3,000円
子ども（小学校低学年まで）	1,700円

※ほかに特別会席等あり

【付帯施設／１時間当たりの料金】

施設名	定員	利用時間	使用料金	施設名	定員	利用時間	使用料金
体育室	－	9：00～21：00	840 円	調理実習室	40 人	9：00～19：00	530 円
多目的室 1、2（会議室）	各 36 人	9：00～21：00	530 円	工作体験室	40 人	9：00～19：00	530 円
多目的スペース	72 人	9：00～21：00	1,050 円	スポーツ広場	－	9：00～18：00	840 円

【施設内で体験できるプログラム名／１名あたりの利用料金】

体験プログラム名	利用料金	体験プログラム名	利用料金
バーベキュー体験	2,500 円	わさび漬け作り	1,100 円
ドラム缶ピザ作り	1,800 円	星空観察	600 円
塩づくり	1,100 円	木工作品体験	800 円

実績

【利用状況】

年度		営業日数	営業部屋数	利用部屋数	利用率	総利用人数	うち学校
令和６年度		338	9,126	5,062	55.47%	21,257	10,996
令和６年度内訳	４月	27	729	293	40.19%	816	78
	５月	31	837	578	69.06%	2,804	2,123
	６月	27	729	477	65.43%	2,596	2,105
	７月	31	837	571	68.22%	2,841	1,790
	８月	31	837	491	58.66%	1,928	0
	９月	28	756	488	64.55%	2,072	1,534
	10 月	31	837	613	73.24%	2,846	2,390
	11 月	24	648	354	54.63%	1,663	976
	12 月	27	729	300	41.15%	916	0
	１月	25	675	279	41.33%	838	0
	２月	25	675	269	39.85%	692	0
	３月	31	837	349	41.70%	1,245	0

事業	公共施設利用システムの運用管理
概要	公共施設利用システム（愛称「うぐいすネット」）の管理運営を行っています。インターネットを使って、集会室や運動施設の抽選申込や空き施設の予約などができます。

実績

利用者登録数	個人	団体	合計
令和５年度	44,569	1,866	46,435
令和６年度	47,440	1,803	49,243

抽選申込状況	窓口	電話	インターネット	携帯	合計
令和５年度	83,857	15,502	2,231,972	3,683	2,335,014
令和６年度	70,263	－	1,721,784	－	1,792,047

予約申込状況	窓口	電話	インターネット	携帯	合計
令和５年度	152,206	714	122,380	1,157	276,457
令和６年度	65,688	－	145,668	－	211,356

※音声応答電話及び携帯サイトはシステムリプレイスに伴い令和６年１月８日に廃止

事業	指定保養施設委託事業

概要

民間宿泊施設の３か所を区民保養施設に指定し、契約料金の一部を区が助成しています。

【利用条件　各施設共通】

利用対象者	区内在住又は在勤者とその同居の家族
区助成額	2,000 円（1 人 1 泊）
利用泊数	年間 1 人 2 泊まで
申込方法	利用者が直接施設に連絡して予約する。

【施設概要・契約料金等（サービス料込み、入湯税含まない）】

①伊豆長岡温泉　京急ホテル

所在地	静岡県伊豆の国市古奈 168
電話番号	055-948-1612
フリーダイヤル	0120-575-383
建物	鉄筋コンクリート・木造　2 階建
主要施設	大浴場、露天風呂、娯楽室、売店、プール（夏季のみ）、テニスコート（4 面）

利用日※	大人（中学生以上）	子供（小学生）
平日、日曜、祝日	19,800 円	13,860 円
休前日、特別期間	22,000 円	15,400 円
平日、日曜、祝日（夏期）	22,000 円	15,400 円
休前日（夏期）	24,200 円	16,940 円

※4/27、12/28、12/29、3/20 は休前日扱い

※夏期は 7/26～8/8 及び 8/17～8/24

※特定日（5/3～5/5、8/9～8/16）と年末年始（12/30～1/3）は別料金

②湯河原　ゆがわら水の香里

所在地	神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 614
電話番号	0465-62-1830
フリーダイヤル	0120-543-405
建物	鉄骨鉄筋コンクリート造　5 階建
主要施設	大浴場、露天風呂、大広間、キッズコーナー、カラオケルーム、売店等

利用日※	大人（中学生以上）	子供（小学生）
平日、日曜、祝日	12,100 円	8,470 円
休前日および 4/28～5/2	15,400 円	10,780 円
特別期間	19,800 円	13,860 円

※特別期間は、4/26～4/27、5/3～5/5、8/9～8/16、12/27～1/4

③津南高原　ニュー・グリンピア津南

所在地	新潟県中魚沼郡津南町大字秋成 12300
電話番号	025-765-4611
建物	鉄骨鉄筋コンクリート造　8 階建
主要施設	大浴場、露天風呂、スキー場、屋外・屋内プール、体育館、売店等

利用日※	大人（中学生以上）	子供（小学生）
平日、日曜、祝日	13,050 円	9,135 円
休前日	14,850 円	10,395 円
特別期間①	18,450 円	12,915 円
特別期間②	28,000 円	19,600 円

※特別期間①は 8/8～8/15、12/30、1/3　特別期間②は 12/31～1/2

※4/1～7/25、9/1～12/19 は割引期間

④シャトレーゼホテル石和（令和７月３月 31 日をもって指定保養施設の対象外となりました。）

実績	

①伊豆長岡温泉　京急ホテル

	利用件数	利用人数			
		大人	子供	幼児	計
令和５年度	164 件	474	13	11	498
令和６年度	105 件	380	19	17	416

②湯河原　ゆがわら水の香里

	利用件数	利用人数			
		大人	子供	幼児	計
令和５年度	616 件	1,644	68	37	1,749
令和６年度	633 件	1,638	43	26	1,707

③津南高原　ニュー・グリンピア津南

	利用件数	利用人数			
		大人	子供	幼児	計
令和５年度	149 件	626	251	23	900
令和６年度	167 件	649	261	30	940

④シャトレーゼホテル石和

	利用件数	利用人数			
		大人	子供	幼児	計
令和５年度	74 件	164	5	1	170
令和６年度	67 件	245	8	2	255

事業	区民保養施設の受付事務
概要	休養村とうぶ、伊豆高原学園、指定保養施設との連絡調整、保養施設利用案内印刷を行っています。
実績	保養施設利用案内印刷　5,000 部　　業務出張 21 回（延べ　33 名）

事業	平和の森会館管理運営
概要	通夜、告別式に利用できる会館です。

【施設概要】

開設日	昭和 59 年５月１日
所在地	平和の森公園 2-3 平和の森公園内
電話番号	03-3766-4250
敷地面積	1,443 ㎡
延床面積	628 ㎡
建物	鉄筋コンクリート
駐車場	17 台
アクセス	①JR 大森駅東口から京急バス平和島循環 「レジャーランド平和島」バス停下車　徒歩２分 ②京浜急行「平和島」駅下車　徒歩 10 分
休館日	１月１日、１月２日、その他臨時休館日あり

【使用料等】

	面積	室数	午前の部 9：00～12：00	午後の部 12：30～15：00	夜間の部 15：30～22：00	終夜の部 22：30～翌8：30
１階集会室	70 ㎡	2	3,400 円	2,900 円	7,400 円	5,700 円
２階集会室	32 ㎡	2	1,600 円	1,320 円	3,500 円	2,700 円
１階和室	27 ㎡	1	1,360 円	1,140 円	3,000 円	2,300 円
１階和室	15 ㎡	1	900 円	760 円	2,000 円	1,500 円

※料金は１室あたりの金額（区外の方が利用する場合は、上記金額の約３割増）

実績		使用料収入	利用件数	2組同時使用	利用日数	参列者
	令和5年度	16,236,260円	399件	115件	347件	11,396人
	令和6年度	13,676,760円	325件	73件	307件	9,665人

事業	新蒲田一丁目複合施設（カムカム新蒲田）及び新蒲田区民活動施設

概要

①新蒲田一丁目複合施設（カムカム新蒲田）

乳幼児から高齢者まで様々な世代が利用しやすく、健やかにいきいきと活動できることを目指した地域拠点施設です。サークル活動などに利用できる集会室や音楽スタジオなどがあります。またフロアを跨いでイベントや講座を行うことにより、新たな交流の場を提供します。

【施設概要】

開設日	令和4年5月5日
所在地	大田区新蒲田一丁目18番16号
規模	地上4階　地下2階
併設施設	4階　中高生ひろば蒲田 3階　地域包括支援センター新蒲田、シニアステーション新蒲田 2階　新蒲田区民活動施設、新蒲田保育園 1階　新蒲田保育園、子育てひろば新蒲田 地下階　新蒲田区民活動施設

②新蒲田区民活動施設

地域のサークル活動や集会などに活用できる地域の活動施設です。多目的室大は学校や保育園・地域団体の区民活動等の発表の場として利用できるほか、講演会やイベントなど多目的に利用できます。

施設の内容	階層	規模	利用料金
多目的室　大	地下2階	450人	18,800～69,000円
多目的室　小	地下1階	30人	3,200～11,800円
集会室1～4	2階	24～30人	1,100～6,600円
美術室	2階	20人	1,400～5,000円
調理講習室	2階	21人	1,900～6,900円
音楽スタジオ1、2	2階	12～14人	中高生世代：2時間　300円 一　般：2時間　1,500円

※音楽スタジオ以外は公共施設利用システム（うぐいすネット）にて申込み。

※音楽スタジオは施設のホームページにて申込み。

実績

施設の内容	利用件数	施設の内容	利用件数
多目的室　大	543	集会室4	549
多目的室　小	639	美術室	743
集会室1	626	調理講習室	303
集会室2	525	音楽スタジオ1	921
集会室3	565	音楽スタジオ2	
合計			5,414

３　区民協働・多文化共生担当

事業	区民協働推進会議
概要	区民の主体的な参画により推進するため、協働の推進に関する調査研究を行います。区民、区民活動団体、事業者、社会福祉協議会、学識経験者及び区職員で構成され、任期は２年間です。
実績	区民協働推進会議　６回 調査研究テーマに関する協働取組事例の紹介についての討議 地域力応援基金助成事業についての審査

事業	NPO・区民活動フォーラム
概要	区内で活動する様々な区民活動団体やNPOなどの実践的な取り組みを、体験コーナー、展示、お楽しみショー、模擬店などで発表し、地域で活動する楽しさややりがいをPRし、活動に向けた意識啓発を行います。また、団体間の交流促進を目的とした交流会を開催します。
実績	「第16回NPO・区民活動フォーラム」を開催し、区民活動団体が活動をPRしました。(37団体出展、来場者数950人)

事業	区民活動コーディネーター養成講座
概要	自治会・町会に加え、専門性を持つ団体、NPOや事業者など、地域での連携・協働を推進するため「つなぎ役」となる人材の育成を図ります。
実績	・区民活動コーディネーター養成講座 講座：全７回（①9/10　②9/24　③10/8　④10/22　⑤11/16　⑥11/26　⑦12/14）　受講者：14人 （⑦12/14は講座過去受講者向けの交流会を兼ねて実施。）

事業	災害ボランティアの育成・支援
概要	災害時に備えるため、被災地ボランティア経験に基づく講座を実施し、災害ボランティアの育成及び被災地ボランティアの区民活動への参加を促します。 【防災塾】 区民の防災意識の向上や災害ボランティア育成を目的とした防災塾を実施し、地域防災を推進する人材を育成します。 【災害ボランティアリーダーの育成】 被災地支援ボランティア経験者を対象に、災害ボランティアのリーダーとなり得る人材の育成及び活動を支援します。
実績	【防災塾】 ・地域住民の防災意識向上を図るため、住民参加型の体験プログラムを実施しました。実施内容は、「土のう積み」や「避難所スペースづくり（マット敷)」、「簡易トイレの使用」を体験し、その後被災者支援の講話を行いました。 日時：10月６日（日）　会場：嶺町小学校体育館　参加者：70人 日時：２月８日（土）　会場：大森第七中学校体育館　参加者：100人 ・「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を実施し、センター運営が円滑にできるように、災害ボランティアセンター開設に向けたプロセスや運営中に起こりうる状況を３者間で情報交換し、災害ボランティアの知見を深めました。 日時：２月７日（金）　会場：大田区社会福祉協議会　会議室　参加者：36人 日時：２月21日（金）　会場：大田区立消費者生活センター　大集会室　参加者：29人 【災害ボランティアリーダーの育成】 ・区内災害時におけるボランティア経験者の育成及び運営者の連携強化を目的とした災害ボランティアリーダー育成講座「知ってみよう！災害ボランティアセンター」を実施しました。 日時：11月16日（土）　会場：大田区社会福祉協議会　会議室　参加者：26人 ・自主的支援活動のキーマンの育成及び災害ボランティアセンター開設後の協力者の育成を目的とした「ボラセン・サテライト・プロジェクト」を開催しました。 回数：11回　参加者延べ：137人

事業	地域力応援基金助成事業
概要	区民や事業者からの寄付金を積み立てた基金を活用し、区民活動団体が取り組む公益性があり広く社会貢献につながる事業に助成します。
実績	・地域力応援基金 寄付件数　27 件　　基金残高　90,774 千円 ・新規分

助成事業	新規	交付額
スタートアップ助成	3 団体（申請数 8 団体）	600 千円
ステップアップ助成	6 団体（申請数 8 団体）	2,140 千円
チャレンジ助成	2 団体（申請数 2 団体）	1,350 千円
チャレンジプラス助成※	2 団体（申請数 2 団体）	1,510 千円

※チャレンジプラス助成で区が提示したテーマ「大田区防災アプリを活用した防災意識普及啓発事業」

・継続分

助成事業	継続	交付額
スタートアップ助成	2 団体	200 千円
ステップアップ助成	3 団体	900 千円
チャレンジ助成	2 団体	3,000 千円
チャレンジプラス助成	0 団体	0 千円

事業	協働による魅力あるまちづくり
概要	自治会・町会や NPO などの地域で活動する団体や地域住民が交流する場を設定することで、顔の見える関係づくりや地域コミュニティの新たな担い手づくりのヒントを探ります。
実績	地域活動団体や地域住民との交流を深め、顔の見える関係をつくることを目的とした交流会を実施しました。 参加者：31 人

事業	大田区区民活動情報サイト「オーちゃんネット」
概要	大田区におけるさまざまな区民活動団体（自治会・町会、NPO 法人、任意団体、社会教育関係団体等）の活動内容やイベントなどの情報を発信します。
実績	登録団体数：690 団体　アクセス件数：86,570 件　ページビュー：264,464 ページ

事業	団体自立支援事業
概要	協働の理念、申請書類の書き方、経営のノウハウ等、長期的な視点での団体の経営スキル向上を目的とした講座を実施し、団体の活動が安定し継続できるよう支援します。
実績	より良い地域社会のための成果をつくり、関わる人の幸せ・成長を生み出す「強くあたたかい組織のつくり方」を学ぶ「大田区区民活動コミュニティマネジメント塾」を以下のカリキュラムで実施しました。（全５回、参加者 13 人） ①10/17　強くあたたかい組織のつくり方　組織・団体運営術コミュニティマネジメントの基本原則 ②10/24　団体の理念・ビジョンを共有する 共感あふれる組織をつくるコツ ③11/14　新たな仲間を巻き込む 主体的な担い手を増やすポイント・方法 ④11/21　役割と出番をコーディネートする みんなが持ち味を活かして活躍するための運営とは ⑤12/15　最終発表会　講座を通しての学びとネクストアクションを考えよう

事業	区民活動支援施設大森（こらぼ大森）における協働支援施設の管理・運営
概要	平成 16 年４月に旧区立大森第六小学校であった校舎を改修し、「連携と協働」を基本にした新しい仕組みの区民活動を支援するために開設された施設です。地域の方や区民活動団体の交流の場であるとともに、相談、講座実施、活動場所の提供などにより団体活動を支援します。
実績	会議室：313 件　延べ 3,901 人　調理室：164 件　延べ 1,664 人　情報交流室：延べ 2,514 人 相談件数：2,182 件

事業	区民活動支援施設蒲田（mics おおた）
概要	区民活動団体や NPO などの連携・協働を総合的に支援する「区民活動支援施設蒲田」を、平成 22 年９月に消費者生活センターに開設しました。さまざまな区民活動団体の交流の場であり、相談、活動場所の提供などにより団体同士の連携・協働を支援します。
実績	教室：497 件　延べ 7,956 人　多目的スペース：544 件　4,022 人 利用者数：1,041 件　延べ 11,978 人　相談件数：2,769 件

事業	おおた地域力発見ガイド
概要	地域活動を始めたい人の道しるべとなり、地域活動を知らない人には関心を持つきっかけとなるために、区内で行われている地域活動や、地域参加・地域活動を応援する事業を集約・掲載します。
実績	2024 年度版発行　令和６年６月　2,600 部 主な配布先　地域力推進会議委員、各地域力推進地区員会委員など

事業	中国北京市朝陽区等との交流推進
概要	大田区と朝陽区の交流は、昭和 51 年に当時の区長が朝陽区を訪問し、友好交流をしたことをきっかけに始まりました。その後、両区長の相互訪問や青少年交流を積み重ね、日中平和友好条約締結 20 周年を迎えた平成 10 年９月に友好都市となり、現在も活発な交流が続いています。 日中青少年友好訪問団は、両国の青少年が国際的視野を広めるとともに相互理解と友好を深めることを目的として、平成 12 年から派遣 10 回、受入８回の交流を行いました。
実績	（１）朝陽区人民代表大会常務委員会代表団受入 参加人数：６名　日程：令和６年４月 16 日（火） （２）大連市委員会訪問団受入 参加人数：14 名　日程：令和６年９月９日（月） （３）大連市新空港・金州湾空港経済区計画建設指揮部受入 参加人数：５名　日程：令和６年 10 月 24 日（木） （４）中国人民政治協商会議北京市朝陽区委員会受入 参加人数：８名　日程：令和６年 11 月 25 日（月） （５）大連市外事弁公室副主任受入 参加人数：２名　日程：令和６年 12 月 18 日（水） （６）大連市青少年代表団受入 参加人数：40 名　日程：令和７年１月 20 日（月）及び１月 22 日（水） （７）中国人民政治協商会議大連市委員会受入 参加人数：５名　日程：令和７年３月 25 日（火）

事業	アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進
概要	明治 10 年に大森貝塚を発見したモース博士は、セーラム市にあるピーボディー科学アカデミー（現ピーボディー・エセックス博物館）の第３代館長でした。このことを縁に、昭和 59 年に大田区立郷土博物館とピーボディー博物館（現ピーボディー・エセックス博物館）が姉妹館提携を行いました。それが発展して、平成３年に大田区とセーラム市は姉妹都市となり、交流を続けています。 姉妹都市セーラム市との交流を深めることを目的として、公募した区民の派遣と、セーラム市民訪問団の受入を隔年で実施しています。令和７年度はセーラム市民訪問団の受入を予定しています。
実績	（１）セーラム市学生訪問団受入 参加人数：11 名　日程：令和６年８月６日（火）～８月 16 日（金） 内容：区長・区議会表敬、区内・都内見学、茶道体験、学生交流会、ホームステイ 等 （２）第 24 回セーラム市区民親善訪問団派遣 参加人数：16 名　日程：令和６年 11 月 13 日（水）～11 月 19 日（火） 内容：市庁舎・博物館・学校等訪問、セーラム市民との交流会、ホームステイ 等

事業	国際都市連携調整会議
概要	国際都市連携調整会議は、「国際都市おおた」の実現を目的として国際都市施策を総合的かつ効果的に推進していくため開催しました。令和６年３月に策定した『「国際都市おおた」多文化共生推進プラン2024～2028 年度版』に掲げられた計画事業を、着実に推進していくための全庁的な検討の場として実施します。
実績	平成 23 年度から実施 開催日：令和７年１月 23 日（木）

事業	18 色の国際都市事業の実施
概要	多文化共生を推進することを目的として、18 特別出張所と連携し、各地域の独自性を活かした「18 色の国際都市事業」を実施しています。 日本人区民も外国人区民もそれぞれが持つ多様な個性と能力を発揮し、地域社会を支える主体として認めあうことで、誰もが安心かつ快適に生活し、活躍することができるまちづくりを推進します。
実績	18 特別出張所にて延べ 20 回実施 地域のお祭りやスポーツイベント・防災訓練等に、国際交流員や国際都市おおた大使が参加 担当者会：令和６年６月４日（火）実施

令和６年度[18 色の国際都市事業]　※一部抜粋

出張所名	実施時期	事業名
入新井	令和６年 10 月	入新井地区デイキャンプ
六郷	令和６年９月	仲六郷小学校防災活動拠点訓練
蒲田東	令和６年 10 月	まもりんピック蒲田東

事業	国際都市おおた大使（来～る大田区大使）
概要	18 歳以上の区内在住・在勤等、大田区にゆかりのある外国籍の方等を「国際都市おおた大使」として委嘱しています。 国際交流・多文化共生・観光・文化・スポーツ・産業・教育など様々な分野における大田区の魅力を、SNS 等を通じて国内外へ発信します。また、大田区主催のイベント等にも参加いただき、区民との交流活動等を通し多文化共生を推進します。
実績	人数：27 名（新任５名、再任８名、継続 14 名）　国：16 か国（インドネシア・中国・コロンビア等）

事業	おおた国際交流センター施設運営
概要	おおた国際交流センター（Minto Ota）は、区における国際交流・多文化共生を一体的に推進する施設です。近隣の観光情報センターや産業プラザ Pi0、沿線の羽田イノベーションシティとも連携し、「国際都市おおた宣言」に掲げる「観光」、「多文化共生」、「産業」を推進するネットワーク力を強化します。

【施設概要】

名称（愛称）	おおた国際交流センター（Minto Ota）	開館日	令和４年４月 11 日
所在地	大田区蒲田四丁目 16 番８号　２階		
主な機能	・（一財）国際都市おおた協会多言語相談窓口　・会議室　・情報・交流コーナー ・（一財）国際都市おおた協会事務室、地域力推進課区民協働・多文化共生担当（多文化共生）		

実績

（１）施設の利用状況

	開館日数（日）	利用可能コマ数（回）	利用コマ数（回）	利用率（%）	利用団体数（団体）	利用者数（人）
会議室	356	3,195	1,241	38.8	153	12,910

（２）情報・交流コーナーの展示

年３回企画展示を開催。

昨年の展示内容：①国際都市おおた大使の紹介　②フォトランゲージ
③絵本で世界をのぞいてみよう

（３）おおた国際交流センターの周知

区及び協会のホームページ・SNS への掲載の他、パンフレットやチラシ(日本語、英語、中国語、タガログ語、ベトナム語、ネパール語、やさしい日本語)、ポスターを区内施設に配布しました。

事業	Minto フレンズの広報活動
概要	国際交流・多文化共生の分野に興味・関心のある小学生以上の区民すべてを対象に、「Minto フレンズ」として活躍していただきます。「Minto フレンズ」は、「おおた国際交流センター（Minto Ota)」のサポーターとして、区の国際交流・多文化共生事業や Minto Ota の情報を多様な媒体を活用して身近な人に周知し、区の多文化共生を推進します。
実績	令和６年度から実施 （１）おおた国際交流センター（Minto Ota）公式 Facebook アカウントの開設 フォロワー数：324 人 外国人区民が必要とし、かつ Minto フレンズに広めてもらいたい情報を発信する媒体として、おおた国際交流センター（Minto Ota）の公式 Facebook アカウント（以下、Facebook）を開設しました。週に１回程度、生活・仕事・住まいに係る相談窓口やイベント情報等を、やさしい日本語と英語で発信しました。 （２）各種イベントでの周知 OTA ふれあいフェスタや国際都市おおた大使が参加したイベント等において、「Minto フレンズ」および Facebook を周知しました。

事業	くらしのガイド 2024（外国語版）の配布
概要	転入手続きや生活相談に訪れた外国人を対象に、区政情報及び生活情報誌である「くらしのガイド 2024（外国語版)」を配布します。３年に１度、言語別に作成し、現在、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語、やさしい日本語の６言語があります。
実績	平成 18 年度から作成、配布 ・主な配布場所：区役所や特別出張所等の窓口、おおた国際交流センター

事業	多文化共生推進協議会
概要	「国際都市おおた」多文化共生推進プランに基づき、「国際都市おおた」にふさわしい多文化共生社会のまちづくりと区民の主体的な参画により多文化共生施策を推進するため、外国人区民、日本人区民、国際交流団体、学識経験者等と区によって、具体的な課題について協議します。
実績	平成 23 年度設置、令和７年度から第７期を迎える。

事業	国際交流団体の支援
概要	区内で活動する国際交流団体を支援するとともに、団体間の連携を深めるため、連絡会を開催し、情報及び意見交換を行います。
実績	平成 20 年度から実施 ・団体数：45 団体 ・令和６年度大田区国際交流団体連絡会 日程：令和６年６月 13 日（木）18 時 00 分～19 時 30 分　10 団体 20 人出席 内容：各国際交流団体の課題や現状を把握するとともに、今後の支援について検討しました。

事業	国際交流施設の運営
概要	国際交流関連事業を行う施設として、山王会館内国際交流施設の３・４階部分を管理・運営しています。
実績	平成７年度開設 ・年間利用件数：735 件 ・年間利用人数：延べ 8,296 人

事業	多言語通訳サービスの提供
概要	日本語での対応が難しい外国人区民への各種支援や照会等に対応することを目的として、３種類の多言語通訳サービスを提供します。 （１）電話通訳サービス 自宅等にいる外国人区民が、大田区電話通訳サービス専用番号に発信することにより、通訳オペレーターを介して担当部署との電話通訳が利用できます。(13 言語対応) （２）多言語通訳タブレットサービス タブレット端末上に通訳オペレーターを映し、外国人区民・区職員との２者間通訳を行うテレビ電話通訳サービスです。本庁舎・特別出張所等計 18 台を配置し、窓口サービス機能を充実しています。(13 言語対応) （３）AI（自動）通訳サービス 上記タブレット端末に AI（自動）通訳アプリケーションを導入し、通訳オペレーターの不在時等に活用します。(31 言語対応)
実績	電話通訳サービス、AI（自動）通訳サービスは、令和３年度から実施 多言語通訳タブレットサービスは、平成 27 年度から実施 ・年間利用件数：電話通訳 296 件、多言語通訳タブレット 1,677 件 ・年間利用時間：電話通訳 約 66 時間、多言語通訳タブレット 約 297 時間 ・主な相談内容：税金、年金・国民健康保険の支払相談や転入・転出の手続き等

事業	国際交流員の配置
概要	国際交流員（CIR)は、一般財団法人自治体国際化協会が主管する「語学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム)」により、国際交流活動等に従事するために自治体等に配置される職員です。区では、国際交流員の活用を通じて、「国際都市おおた」にふさわしい多彩な国際交流・多文化共生事業を展開しています。通訳・翻訳をはじめ、区内学校訪問や地域イベントへの従事、メディア活動等、多岐にわたり国際交流推進者としての活動を行います。
実績	平成 27 年度から実施

事業	多言語情報紙の作成
概要	外国人区民が必要とする区政情報をまとめた「Ota City Navigation」を多言語で作成し、発信します。
実績	平成６年度から作成（「Ota City Navigation」は、平成 23 年度から作成） ・発行回数：年８回（４月、６月、７月、９月、10 月、12 月、１月、３月） ・発行部数：各 5,000 部 ・発行言語：６言語（やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語） ・配 布 先：区施設（本庁舎、特別出張所、図書館等）や区内の日本語学校、区内駅等の約 200 か所

事業	一般財団法人国際都市おおた協会の運営（運営費補助・事業費補助）
概要	一般財団法人国際都市おおた協会（GOCA）は、大田区における国際交流と多文化共生を推進し、地域の活性化に寄与することを目的として、平成 29 年 12 月に設立されました。GOCA は、区民、ボランティア、団体等の有する力を結びつけ、地域課題の解決につなげていくコーディネーターとして、多文化共生、国際交流、国際人材育成、国際協力を中心とした事業を展開しています。 ・名称：一般財団法人国際都市おおた協会 ・住所：大田区蒲田四丁目 16 番８号　２階（おおた国際交流センター） ・電話：03-6410-7981 ・ファックス：03-6410-7982 ・ホームページ：https://www.ota-goca.or.jp/

実績	【相談・情報提供】 1　多言語相談・生活情報の提供 （1）一般相談 相談件数：2,547 件　　対応言語：英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語 （2）専門相談 相談件数　83 件 2　保護者への情報提供 （1）小学校入学前オリエンテーション ［第 1 回］参加者　23 人　［第２回］参加者　10 人 【通訳・翻訳】 通訳派遣件数　321 件、翻訳件数　235 件、校正件数　46 件、区提出文書の翻訳件数　417 件 【日本語等の学習支援】 1　日本語講座の開催 （1）初級日本語講座 受講者　57 人（全３期） （2）日本語講座「学校プリントを読もう」 受講者　10 人（全５回） （3）おおたこども日本語教室 受講者　119 人 2　日本語ボランティア養成講座の開催 ［入門編］修了者　18 人（全 10 回）　［ステップアップ編］修了者　21 人（全２回） 3　こどもの学習支援 （1）こども学習支援ボランティア養成講座　修了者　23 人（全 7 回） （2）夏休み学習教室　受講者　21 人（全３回） （3）こども学習支援教室 受講者　45 人（全３期） （4）出張型こども学習支援教室 受講者　11 人（全２回） 【災害時外国人支援】 1　災害時外国人支援ボランティアの養成 （1）災害時外国人支援ボランティア講習会「基礎講習」 受講者　35 人 （2）多言語翻訳シミュレーション訓練 ［翻訳訓練］参加者　16 人　［振り返り研修］参加者　12 人 （3）災害時おおた国際交流センター設置訓練 ［第１回（研修)］参加者　15 人　［第２回（訓練)］参加者　27 人 【地域における国際交流】 1　日本語でプレゼンテーションの開催 発表者　12 人　観覧者　53 人 2　多文化交流会の開催 参加者　81 人（全４回） 3　ホームビジットイベントの実施 参加者　ホスト側６家庭　ゲスト側 16 人 4　地域と連携した事業の開催 （1）OTA ふれあいフェスタへのブース出展 来場者　およそ 400 人（２日間） 【国際交流ボランティアの活躍支援】 1　国際交流ボランティアの募集・登録 登録者　367 人

	2　多文化共生社会の担い手育成セミナーの開催 （1）ボランティアセミナー（やさしい日本語を学ぼう） 受講者　36 人 3　ボランティアグループの形成・活動 （1）外国人取材記事「隣の外国人」の作成 実行委員７人　掲載実績　６回 （2）ボランティア交流会 参加者 32 名 【小さな国際協力】 寄附回数　３回 【広報紙の発行】 1　「GOCA ニュース from おおた」の発行　　年４回（各回 1,200 部） 2　リーフレットの発行　　500 部（日本語）

4　青少年健全育成担当

事業	大田区青少年問題協議会
概要	「大田区青少年問題協議会条例」に基づいて設置する区長の付属機関です。大田区における青少年問題に関する総合施策の樹立につき必要な事項を調査審議し、大田区子ども・若者計画の進捗管理、評価に加え、施策の実施に必要な関係行政機関相互の調整を図るとともに、これらに関する事項について区長並びにその区域内にある関係行政機関に対し意見具申をしています。
実績	委員 29 人（定員 32 人）　協議会３回開催 【主な審議内容】 「次期大田区子ども・若者計画策定に向けた区民意向調査について」

事業	環境浄化の推進
概要	こども家庭庁が実施する７月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び 11 月「秋のこどもまんなか月間」に合わせた諸活動を実施します。
実績	区ホームページにて不健全図書の販売自粛について周知・啓発しました。（11 月）

事業	青少年対策地区委員会
概要	青少年対策地区委員会は、地域社会の力を結集して、青少年を取り巻く地域社会の環境浄化と青少年の健全育成を図ることを目的として、自治会・町会代表、児童委員、保護司、青少年団体関係者等、広い範囲の青少年育成関係者によって、特別出張所単位で組織されています。区は地区委員会に事業を委託してその活動を側面から支援しています。 青少年対策地区委員会会長会を組織し、各地区委員会の情報交換、連絡調整等を行う事務局機能を果たしています。（会長会　年６回開催）
実績	【研修会】 研修会：会長・副会長宿泊研修／青少年対策地区委員研修会 対象：各地区の会長及び副会長／各地区の委員 日時：令和６年 11 月 23 日（土）～24 日（日）／令和６年７月６日（土） 会場：南アルプス市　エコパ伊奈ヶ湖　他／池上会館　集会室 参加者数：35 人／68 人 内容：南アルプス市　エコパ伊奈ヶ湖、山梨県立科学館、愛宕山こどもの国／（講演）「多様性」のある居場所づくり　講師：東京都「地区委員会アドバイザー派遣」事業　平野　覚治　氏 【「地区委員会だより」の発行】320 部（区ホームページに掲載） 各青少年対策地区委員会の活動や区の青少年をめぐる環境浄化施策など、青少年健全育成に関する情報を提供するために、年に１回発行しています。

事業	青少年委員
概要	青少年委員は、青少年が地域社会で自主的・自発的に社会教育活動を展開できるよう、青少年活動を見守り、活動の促進に必要な援助を行う役割を担っています。各青少年対策地区委員会の中では、ジュニアリーダー育成の中心的な役割を担いつつ、青少年教育の振興に努めています。 【構成員】 　青少年に関する余暇指導、団体育成、指導者援助、地域における連絡調整、各種事業・行事への協力などを職務とし、青少年委員を区内 18 地区から選出された方に委嘱しています（定数 65 人）。 【根拠】 　大田区青少年委員の設置に関する規則、大田区青少年委員の設置に関する要綱
実績	各地域での委員活動のほか、委員の情報交換・協議のための定例会議や、委員資質向上のための研修会等を実施しました。大森・調布・蒲田３地域の地域会や専門部会を設置し、委員会活動に関する研究や青少年活動に関する調査などに取り組みました。

事業	青少年表彰
概要	青少年又は青少年団体が日頃行っている活動をたたえ、活動意欲の高揚を図るために、青少年の表彰を行っています。令和７年３月２日（日）に表彰式を実施しました。
実績	【青少年表彰内訳】

部門	個人	団体
模範青少年	43 人	1 団体
善行青少年	0 人	0 団体

部門	個人	団体
スポーツ及び文化	17 人	14 団体
伝統文化	0 人	2 団体

事業	リーダー講習会
概要	【小学生対象】 主に区内の小学５、６年生を対象として、地域の子ども会活動やグループ活動におけるリーダーとして必要な社会活動、野外活動の技術を身につけ、学校外、異年齢間の交流を体験する機会として実施しています。講習会の実施は、大田区青少年対策地区委員会会長会へ委託しています。 プログラムの企画と運営は、大森・調布・蒲田の３地域の運営委員会がそれぞれ行っています。 【中高生対象（ティーンズぱわーあっぷセミナー)】 野外活動、キャンプ、フィールドワーク等の体験活動をとおして、リーダーシップ、指導技術、野外活動技能を習得し、地域活動に取り組む人材の育成を目指して、区内の中学・高校生を対象に開催しています。 【成人対象】 地域の青少年活動に関わる指導者及び育成者、世話人の育成と資質の向上を図るため、区内在住・在勤・在学の青少年教育の指導者や協力者として活動している方及びこれから活動しようとしている 16 歳以上の方を対象に開催しています。
実績	

対象者	受講者数等
小学生対象	167 人（大森 62 人、調布 60 人、蒲田 45 人）
中高生対象	15 人（中学生 12 人、高校生 3 人）　講習回数：7 回（夏 6 回・冬 1 回）
成人対象	32 人 ・防災セミナー 「こどもの命を守る！救急法講座」　23 人 ・居場所セミナー 「こどもの発達障がいに寄り添う、体験の場づくり」　9 人

事業	大田区子どもガーデンパーティー
概要	こどもたちが地域の中で、自分たちとは異なる年代、世代の地域の人々と交流しふれあう場、遊びの機会を提供する地域の一大イベントとして実施し、この取り組みを通して地域の連帯を深める役割を果たしています。
実績	【日時】令和６年４月 28 日（日） 【会場数】区内 10 会場 （平和島・馬込・池上・新井宿・多摩川台・洗足池・萩中・六郷・矢口・蒲田西） 【参加者数】60,629 人

事業	二十歳のつどい
概要	20 歳の門出を祝福するとともに、大人としての自覚を促す機会として開催しています。20 歳の若者主体の事業とするため、企画・運営は 20 歳の運営委員と事務局にて構成されている「二十歳のつどい」実行委員会が行っています。 ※令和４年度から、民法改正による成年年齢の引き下げに伴い、式典の名称が「成人のつどい」から「二十歳のつどい」に変更となりました。
実績	【日時】令和７年１月 13 日（月・祝） 【対象者数】6,093 人 【参加者数】3,401 人

事業	子ども会リーダーの保険
概要	区内の子ども会や少年少女団体等の指導者が安心して団体活動に関わることができるよう、区が損害賠償責任保険、傷害保険等を内容とした保険を契約しています。
実績	保険加入　68 団体

事業	少年少女団体協議会補助
概要	区内の各種少年少女団体、地域の子ども会が交歓を深め、一層発展すること等を目的として、大田区少年少女団体協議会が子ども交歓会を開催しています。区は協議会に対して補助を行っています。
実績	

日時	令和７年２月 16 日（日）
場所	平和島公園キャンプ場・大田区青少年交流センター
テーマ	こども EXPO2025～わくわくみゃくみゃく万博～
参加者数	624 人（子ども 246 人、大人 378 人）

事業	大田区青少年交流センター
概要	平成 30 年３月末に閉館した平和島ユースセンターを増改築し、新たに「大田区青少年交流センター（愛称：ゆいっつ）」として、令和元年 10 月 21 日に開設しました。 宿泊研修、団体生活等を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、スポーツ、地域交流及び国際交流を推進する拠点としてご利用いただけます。 【施設概要】
実績	

所在地	大田区平和島四丁目２番 15 号
敷地面積	3,071 ㎡（管理範囲）
延床面積	3597.79 ㎡
建物	鉄筋コンクリート造　地上３階
主な施設	宿泊室…和室（7 室）、洋室（25 室）、指導者室 各施設…体育室、研修室（2 室）、調理室、食堂、休憩スペース、シャワー室
宿泊定員	134 人

宿泊利用	団体数　285 団体	人数　7,271 人
日帰り利用	団体数　1,664 団体	人数　55,663 人
総数	団体数　1,949 団体	人数　62,934 人
各室利用率	和室（7 室）	31.5%
	指導者室（1 室）	24.9%
	洋室（25 室）	19.9%
	体育室（1 室）	96.9%
	第一研修室	45.5%
	第二研修室	55.4%
	調理室	27.7%

事業	こども SOS の家
概要	地域から広く募集した事業協力員の自宅や店舗を活用し、こどもたちが犯罪など身の危険を感じた時に駆け込める場所として設置しています。 入口や門扉などに貼られた「こども SOS の家ステッカー」が目印です。 協力員は、自治会・町会、青少年対策地区委員会、PTA 等の活動を行っている方や区内事業者をはじめ「こども SOS の家」事業の趣旨に賛同していただける方を登録しています。 協力員が犯罪に巻き込まれた時等に備えて、区の負担で保険に加入しています。 協力員の申請受付と予算執行に関する事務は、地域力推進課青少年健全育成担当が所管し、こどもが SOS の家に駆け込み、協力員からの通報を受けた際の警察との連携対応は、防災危機管理課生活安全担当が窓口となって行います。 【根拠】大田区こども SOS の家事業実施要綱
実績	登録協力員　2,021 件（令和７年３月 31 日現在）※協力員継続意向調査を実施 ・登録協力員に向けて、情報誌を発行しました。(11 月) ・全協力員を対象にこども SOS の家協力員継続意向調査を実施しました。(11 月～12 月) ・協力員の登録箇所を地図に記した「こども SOS の家マップ」(区立小学校の通学区域ごと）を、区立小学校新入学児童に配布しました（３月） ・犯罪や事故の発生時におけるこどもの安全確保及び「こども SOS の家」への駆け込み訓練及び事業協力員の対応訓練を実施しました。(10 月)

５　生涯学習担当

事業	生涯学習情報の提供
概要	生涯学習に関する情報や各種団体の活動・催しを紹介します。
実績	【生涯学習ウェブサイト】 区内の生涯学習に関する情報を一元的に分かりやすく発信するウェブサイトを構築し、区民の学習や活動のきっかけづくりを支援します。また、サイトを通じて、各種講座をオンライン受講できるよう整備します。 閲覧数　月平均　約 30,000 件 【生涯学習ガイド「おおたまなびの森」（冊子版）】 生涯学習を行うきっかけづくりを目的とし、区内で行われている講座・講演・催し物などを掲載します。 発行回数　年４回（６月、９月、12 月、３月）　発行部数　各 1,200 部

事業	生涯学習相談
概要	区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動等の情報提供や学びに関する相談対応を行います。区内の豊富な学びの資源と学ぶ意欲のある区民をつなげることで、区民の主体的な学びを支援します。生涯学習センター蒲田のほか、文化センター等においても相談会を開催します。
実績	相談件数　1,136 件　　生涯学習相談会開催回数　40 回　　相談会での相談件数　150 件

事業	学びのきっかけ講座
概要	区民の多様な学びのニーズに応え、生涯学習の裾野を広げることを目的とし、衣食住等区民の関心が高いテーマについて学ぶ機会を提供します。
実績	３講座（オンライン講座）を生涯学習ウェブサイトで配信

事業	深める・つながる講座（旧おおた区民大学）
概要	地域社会に密着した課題など幅広いテーマについて学ぶ機会を提供します。区民の大学や専門学校との提携による専門性の高い講座や、区民参画の企画講座などにより、区内の特色ある資源を活用しながら、区民の多様な学習意欲に応えます。また、他の学習者との学び合いにより、学びを深めながら地域への愛着を育みます。
実績	23 講座（78 回）　受講者数 861 人　保育付き講座２講座

テーマ		講座数	回数	受講者数
大学等との連携講座		5	12	501
区民参画型企画講座		3	7	71
その他	リベラルアーツ（現代的課題・地域課題）	10	33	238
	生涯学習事業ガイダンス	2	2	32
	講座企画会	3	24	19
合計		23	78	861

事業	ICT リテラシー向上のための地域支援事業
概要	スマートフォンの簡単な操作方法やオンライン会議の体験等、ICT スキルを習得する機会を提供し、ICT 機器を利用できる人とできない人の間に生じる格差（デジタルデバイド）の解消に努めるため、令和６年度まで実施しました。
実績	やさしいスマホ講座　６回　受講者数 103 人 オンライン会議はじめ方講座　２回×３会場　受講者数 99 人

事業	まなビバ
概要	日本語の読み書きに不自由を感じている区民や、学び直しを必要としている区民を対象に、ひらがな、カタカナ、日常生活に必要な簡単な文などの文字の読み書きや国語、算数など基礎的な学習の場を提供します。
実績	年 23 回　受講者数 44 人　保育　幼児・児童数３人

事業	生涯学習センター蒲田
概要	学びに関する情報発信、学習や団体活動に関する相談会の開催などを通して、区民の主体的な学びを支援します。

事業	区民プロデュース講座
概要	【団体（旧区民による区民のための連携講座）】 大田区社会教育関係団体が、日ごろの活動を生かした区民向け講座の企画・運営ができるよう支援し、区民が身近な地域で生涯学習に触れる機会を作ります。区との連携により、社会教育関係団体が自主的に地域で活動を展開できるよう、育成を図ります。 【個人（旧区民講師講座）】 大田区生涯学習ボランティアがこれまでの経験や知識を活動に生かせるよう、区民向けの講座の企画・運営の場を提供し、大田区生涯学習ボランティアのスキルアップの支援を行います。
実績	【団体（旧区民による区民のための連携講座）】 ５講座（５団体）　受講者 58 人 【個人（旧区民講師講座）】 ９講座 13 回　受講者 118 人

事業	生涯学習サポーター養成講座（旧生涯学習人材育成講座）
概要	区民の主体的な学習活動の推進役となる人材を育成するため、社会教育・生涯学習の基礎について学ぶ機会や地域とのつながりを築く機会を提供します。
実績	２講座 12 回　受講者 41 人

事業	生涯学習相談員の支援
概要	生涯学習人材育成講座修了者が生涯学習相談員として、区民から生涯学習に関する相談対応等を通じて、地域課題を把握しながら地域とのつながりを構築できるよう支援します。
実績	生涯学習相談員　30 人　研修　３回　生涯学習人材交流会　46 人

事業	大田区社会教育関係団体登録制度
概要	学習・文化・スポーツなど、社会教育に関する活動を目的とした団体と青少年の健全育成に資する活動を目的とした団体を登録する制度です。団体の主体的な活動を支援することで、他団体や区民、地域とつながるきっかけをつくります。

【大田区社会教育関係団体等一覧】

カテゴリ別分類	区分別分類	団体数
スポーツ	少年育成	238
	少年	114
	一般	905
	計	1,257
暮らし	少年育成	0
	少年	1
	一般	18
	計	19
教養	少年育成	4
	少年	0
	一般	56
	計	60
区分別団体数合計	[少年育成]272 [少年]139 [一般]1,507	

カテゴリ別分類	区分別分類	団体数
芸術・芸術鑑賞	少年育成	7
	少年	13
	一般	342
	計	362
フィットネス・気功	少年育成	0
	少年	0
	一般	18
	計	18
趣味	少年育成	3
	少年	0
	一般	75
	計	78

カテゴリ別分類	区分別分類	団体数
教育	少年育成	2
	少年	3
	一般	17
	計	22
社会・地域	少年育成	18
	少年	0
	一般	46
	計	64
その他	少年育成	0
	少年	8
	一般	30
	計	38
総合計		1,918

【カテゴリ別分類内訳】

	種目	人数※	団体数
スポーツ	バドミントン	1,558	144
	バレーボール	3,222	280
	バスケットボール	1,963	100
	テニス	844	57
	卓球	2,246	137
	サッカー	2,089	47
	野球	1,969	74
	その他球技	498	18
	武道	2,125	114
	体操	1,004	64
	水泳	760	17
	ダンス	1,782	134
	ウィンタースポーツ	0	0
	陸上競技	0	0
	その他のスポーツ	1,680	71
	計	21,740	1,257
暮らし	料理・栄養	185	12
	パソコン	85	5
	コミュニケーション	6	1
	家事家計	39	1
	消費者問題	0	0
	計	315	19
教養	語学	215	21
	科学	27	1
	心理学	9	1
	哲学	25	1
	歴史	87	5
	絵本・本	65	7
	文学	15	1

	種目	人数※	団体数
教養	文芸	206	17
	手話・点字	144	6
	簿記	0	0
	計	793	60
芸術・芸術鑑賞	絵画	443	44
	書道	243	20
	演劇	103	9
	表現	133	11
	芸術鑑賞	0	0
	芸能・芸道	136	14
	楽器演奏	804	60
	合唱・唄	1,659	99
	邦楽	170	17
	製本・絵本製作	0	0
	手工芸	375	46
	園芸	93	4
	華道	158	13
	茶道	170	16
	着付け	59	9
	デザイン	0	0
	色彩	0	0
	計	4,546	362
フィットネス・気功	ヨガ	207	16
	気功	21	2
	計	228	18
趣味	明朗麻雀	666	33
	囲碁	293	16
	将棋	56	5
	野外活動	121	3

	種目	人数※	団体数
趣味	写真・動画	159	14
	カードゲーム	58	4
	その他趣味	38	3
	計	1,391	78
教育	家庭教育	51	2
	リトミック	65	4
	父母の会（幼稚園・保育園）	53	2
	PTA	0	0
	教育問題	0	0
	子ども・青少年	241	10
	障害児者教育	331	4
	計	741	22
社会・地域	環境問題	118	3
	社会	147	6
	福祉	12	2
	シニアライフ	51	3
	障がい	0	0
	地域	958	50
	計	1,286	64
その他	団体交流	19	38
	保健医療	0	0
	話し合い学習	0	0
	手品	0	0
	大道芸	0	0
	漫才	0	0
	落語	0	0
	計	19	38
総計		31,059	1,918

※団体で組織されている連盟・協会の場合、組織する団体数を掲載

実績	登録団体数　1,918 団体　総会員数　31,059 人

事業	大田区生涯学習ボランティア制度
概要	これまでの経験によって培った知識・技術を地域に役立てたいと考える個人や団体のボランティア登録を行う制度です。講師や運営のサポートを探している方に、登録されているボランティアの情報を紹介することで、教えたい人と学びたい人をつなげます。 ・大田区生涯学習インストラクター：講師・指導者として活動します。 ・大田区生涯学習サポーター（A）：区が主催する事業等において、区民の学習に必要な助言や情報提供等を行います。 ・大田区生涯学習サポーター（B）：イベント、講座運営の補助等、生涯学習に関するサポートを行います。
実績	登録者数（令和７年４月１日現在） ・大田区生涯学習インストラクター　42 人 ・大田区生涯学習サポーター（A）　36 人 ・大田区生涯学習サポーター（B）　13 人、２団体

事業	生活学校による事業実施
概要	地域社会や生活に関わる諸課題をテーマに課題解決を目指す運動を行っている生活学校に委託し、地域に根差した学習機会を提供します。
実績	生活学校　馬込・あおば 合同研修会　１回　参加者　34 人（うち会員外 20 人） 活動記録　令和５年度活動記録誌『新生活 2023（令和５）年度　大田区生活学校活動の記録』発行 110 部

事業	ユネスコ活動
概要	「ユネスコ憲章」及び「ユネスコ活動に関する法律」第４条に基づき、ユネスコ活動の目標を達成するため、地域の特性に応じた講演会や写真展を大田ユネスコ協会と共催します。
実績	・大田地域遺産講演会　１回　参加者　35 人 ・ユネスコ世界遺産講演会　１回　参加者　38 人 ・地域遺産・世界遺産写真展　３回

事業	「おおた生涯学習推進プラン」推進会議
概要	「おおた生涯学習推進プラン」に掲げた基本理念を実現するため、「おおた生涯学習推進プラン」推進会議を設置しています。区民、学識経験者、青少年対策地区委員会、小中学校 PTA、小中学校校長会、自治会町会、大田区文化振興協会、区内で生涯学習の機会を提供している主体で構成され、任期は２年間です。
実績	「おおた生涯学習推進プラン」推進会議　３回 主な協議内容：地域の学びの場のあり方について

６　消費者生活センター

<table>
<tr><td>事業</td><td>消費者被害の防止</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>消費生活に関する被害の防止に向け、消費者自ら考え判断し、自主的・合理的に行動できるよう、講座の開催や情報誌の発行など、情報提供による支援を行っています。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>
①消費者教育講座
消費生活に関する情報提供、生活技術の習得のための講座を開催しています。
<table>
<tr><th>項目</th><th>回数</th><th>受講人数</th></tr>
<tr><td>消費者講座</td><td>10 回</td><td>166 人</td></tr>
<tr><td>三課連携特殊詐欺被害防止講座</td><td>122 回</td><td>1,775 人</td></tr>
</table>
②講師派遣
消費者が自主的に学習し、消費生活を見直す契機とするため、各種団体が招く講師に支払う謝礼を区が負担しています。
<table>
<tr><th>派遣回数</th><th>派遣団体数</th><th>受講人数</th></tr>
<tr><td>2 回</td><td>2 団体</td><td>45 人</td></tr>
</table>
③生活展
消費者問題を考える展示・発表の場として区内の消費者団体とともに開催しています。
<table>
<tr><th></th><th>令和 7 年度</th><th>令和 6 年度</th></tr>
<tr><td>日程</td><td>令和 7 年 10 月 5 日（日）　開催予定</td><td>令和 6 年 10 月 6 日（日）</td></tr>
<tr><td>テーマ</td><td>生きる力を育てよう～環境に優しい生活を～　第 52 回大田区生活展</td><td>はじめよう！未来へつづく環境守るやさしい生活　第 51 回大田区生活展
来場者：1,448 人</td></tr>
</table>
④生活情報誌の発行
生活向上に役立ち、日常生活に必要な情報や消費者問題についての知識を広く正確に伝えるため、生活情報誌「パレット」を発行しています。
・通常号(年２回)　　発行部数：5,750 部、11,000 部（計　16,750 部）
・特別号(年１回)　　発行部数：18,000 部
⑤資料コーナー・展示場の運営
消費者が消費者問題について学び判断できる力を養うため、消費生活に関する展示及び図書、DVD、資料等を用意しています。
・資料コーナー、展示場利用者数　4,705 人
・展示テーマ
「近年、問題になっている「製品の安全性」について」
「自転車は車のなかま～ルールを守って安全運転～」
「知っていますか？食物アレルギー表示」
⑥家庭用品等立入検査
実施なし
</td></tr>
</table>

事業	消費者への啓発
概要	多様化する消費者被害を未然に防ぎ、悪質商法等に対する注意を呼びかけるため、啓発用冊子「くらしの豆知識」や啓発用リーフレットを配布しています。高齢者施設、学校等への巡回啓発・出張啓発、地域イベント等での啓発を実施しています。

実績

○啓発用冊子「くらしの豆知識」発行

発行部数　1,000 部

○リーフレット等配布

高齢者向	配布先：自治会・町会、シニアクラブ等	配布部数：16,301 部
若者向	配布先：区立中学校、教育施設	配布部数：4,867 部

○巡回啓発

高齢者向	実施施設：老人いこいの家等（15 か所）	参加人数：288 人
若者向	実施施設：区立中学校（１か所）	参加人数：12 人

○出張啓発

高齢者向	依頼団体：地域包括支援センター等（12 か所）	参加人数：220 人
その他	依頼団体：消費者講座等（9 回）	参加人数：161 人

○Web 啓発

・X による配信回数　61 回

○おおたふれあいフェスタ

・参加人数　897 人

事業	消費者相談・消費者被害の救済
概要	消費者の権利確立及び消費生活の安定と向上を図るため、専門の消費生活相談員（８人）を配置し、消費生活に関する相談を受け、助言・情報提供、あっせんを行っています。消費者被害の救済を図るため、消費者被害救済委員会（委員 10 人）を設置しています。

実績

○性別、年齢別、職業別

	件数（件）	割合（%）
合計	5,837	100.0
（性別）		
男性	2,383	40.8
女性	3,076	52.7
不明・団体	378	6.5
（年齢別）		
未成年者	43	0.7
18-19 歳	38	0.7
20-29 歳	685	11.7
30-39 歳	585	10.0
40-49 歳	613	10.5
50-59 歳	920	15.8
60-69 歳	787	13.5
70 歳以上	1,499	25.7
不明・団体	667	11.4
（職業別）		
給与生活者	2,587	44.3
自営・自由業	430	7.4
家事従事者	439	7.5
学生	150	2.6
無職	1,518	26.0
企業・団体	185	3.2
その他不明	528	9.0

○相談種別

内訳	件数（件）	割合（%）
苦情	5,388	92.3
問合せ	447	7.7
要望	2	0.0
合計	5,837	100.0

○商品、役務の分類別

内訳	件数（件）	割合（%）
他の役務	506	8.7
商品一般	504	8.6
レンタル・リース・賃借	494	8.5
運輸・通信サービス	469	8.0
保健・福祉サービス	445	7.6
教養・娯楽サービス	423	7.2
食料品	363	6.2
教養娯楽品	359	6.2
被服品	320	5.5
保健衛生品	304	5.2
その他	1,650	28.3
合計	5,837	100.0

事業	食品の放射性物質測定事業
概要	消費者の食品に対する不安解消を目的として、一般流通食品等に含まれる放射性物質の簡易測定を行っています。
実績	【内容】

事業開始	平成 24 年 11 月 1 日
対象	区内在住者（事業者を除く）
測定場所	大田区放射性物質測定室　消費者生活センター内
専用電話	03-6715-9883
測定日時	月・水・木・土の週 4 日（祝日、年末年始、消費者生活センター休館日を除く） 午前 9 時から午後 5 時まで
費用	無料
測定対象	一般流通食品等

検体数	70 検体	相談数	278 件

事業	消費者生活センター区民利用施設
概要	７つの集会室、消費者団体が利用できるグループ活動室等の施設を備えています。

【施設概要】

開設日	昭和 56 年 5 月 30 日
所在地	蒲田五丁目 13-26-101（JR「蒲田」駅　東口から徒歩 5 分）
電話番号	（代表）03-3736-7711　（相談）03-3736-0123
FAX	03-3737-2936
敷地面積	1,196 ㎡（消費者生活センター分）、2,533 ㎡（都市再生機構所有分含む）
構造	鉄筋コンクリート 13 階建て（1、2 階部分が同センター、3 階は図書館、4 階以上は賃貸住宅）　※駐車場有
休館日	12 月 29 日から 1 月 3 日まで、臨時休館日

【利用料金（令和４年４月１日より）】

室場	面積	定員	平日			土日祝		
			9:00-12:00	13:00-16:30	17:30-21:30	9:00-12:00	13:00-16:30	17:30-21:30
			午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
第 1 集会室	50 ㎡	24 人	1,600	2,400	4,000	1,600	2,900	4,800
第 2 集会室	50 ㎡	24 人	1,600	2,400	4,000	1,600	2,900	4,800
第 3 集会室	50 ㎡	24 人	1,600	2,400	4,000	1,600	2,900	4,800
第 4 集会室	50 ㎡	30 人	1,600	2,400	4,000	1,600	2,900	4,800
第 5 集会室	80 ㎡	48 人	2,500	3,800	6,300	2,500	4,600	7,600
第 6 集会室	80 ㎡	36 人	2,500	3,800	6,300	2,500	4,600	7,600
大集会室	243 ㎡	150 人	7,700	11,600	19,300	7,700	13,900	23,200

【付帯設備（特殊器具）】※付帯設備の利用料金は、午前・午後・夜間の利用時間帯ごとに必要

名称	単位	料金
ワイヤレスマイク	1 本	1,200 円
CD プレーヤー	1 式	無料
カセットプレーヤー	1 式	無料
ビデオデッキ	1 式	1,200 円

名称	単位	料金
プロジェクター	1 台	2,000 円
OHP	1 台	1,200 円
有線マイク	1 本	無料
DVD プレーヤー	1 台	1,200 円

実績

使用料収入	12,277,350 円

集会室	使用回数				使用可能回数	利用率
	午前	午後	夜間	計		
第 1 集会室	273	295	209	777	1,028	75.6%
第 2 集会室	233	296	156	685	1,028	66.6%
第 3 集会室	225	294	135	654	1,028	63.6%
第 4 集会室	235	257	110	602	1,028	58.6%
第 5 集会室	176	256	137	569	1,028	55.4%
第 6 集会室	193	225	150	568	1,028	55.3%
大集会室	189	260	169	618	1,028	60.1%
合計	1,524	1,883	1,066	4,473	7,196	62.2%

Ⅱ　スポーツ推進課

１　スポーツ推進担当

事業	公益財団法人　大田区スポーツ協会
概要	大田区内におけるスポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、区民の心身の健全な発達と明るく豊かな地域社会の形成に寄与することを目的に活動しています。区では運営費補助を通じ、協会の体制強化を支援しています。

事業	障がい者スポーツ教室　（公財）大田区スポーツ協会委託事業
概要	障がい者の方にスポーツに親しむ機会を提供し、健康の保持増進を図ることを目的に実施しています。障がい者のスポーツを通じた交流の場や仲間づくりの場となっています。 スポーツ教室を通じて、障がい者のスポーツ参加機会の充実と区民のスポーツ実施率の向上を図ります。平成 30 年度から（公財）大田区スポーツ協会委託事業となりました。
実績	・回 数：12 回 ・開 催 日：毎回水曜日 ５月 22 日・６月 12 日・６月 26 日・７月 10 日・９月 11 日・９月 25 日 10 月９ 日・10 月 23 日・11 月 13 日・11 月 27 日・12 月 11 日・12 月 25 日 ・会 場：大森スポーツセンター ・参加人数：延べ 578 人（参加者 309 人、スタッフ 269 人） ・成 果：障がい者がスポーツに参加できる機会をつくることで、障がい者同士の交流や運動機能の向上につながりました。参加された障がい者が、継続的にスポーツに取り組むきっかけとなりました。

事業	地域スポーツクラブ
概要	「総合型地域スポーツクラブ」は、「こどもから大人まで、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる地域の日常的なスポーツ活動の場として、地域住民自らが主体となって運営するスポーツクラブ」です。区民の日常的なスポーツ実施の機会拡大を目的としています。

総合型地域スポーツクラブ	
1	NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット
2	（一社）田園調布グリーンコミュニティ
3	NPO 法人大田ウェルネスクラブ
4	NPO 法人スマイルかまた
5	NPO 法人ベアーズ
6	NPO 法人大森コラボレーション 総合型地域スポーツクラブ　ソシオ大森
7	（一社）大森フットボールクラブ
8	レスポ大森クラブ
9	（一社）Sports Design Lab
10	NPO 法人ド素人スポーツ
11	松仙 FC

（１）地域スポーツクラブ指導者養成講習会

地域スポーツクラブの指導者がその運営や活動について学び、情報を共有する場となっています。指導者の技術力向上のほか、クラブの経営充実に向けた広報戦略やマーケティング等の講習会を行うなど、地域スポーツクラブの指導力及び運営能力の向上を目的としています。

（２）地域スポーツクラブ指導者出張事業

スポーツ実施率が低い子育て世代が集まる児童館などに総合型地域スポーツクラブの指導者を派遣し、様々なスポーツプログラムを実施することで、スポーツ実施率の向上と事業を通じた総合型地域スポーツクラブの育成を目的としています。

実績	（1）地域スポーツクラブ指導者養成講習会 ・テーマ：地域を再定義する ・開催日：２月７日（金） ・参加人数：23 人 ・成 果：総合型地域スポーツクラブの活動基盤である「地域」をテーマに、地域を担う人材にいま求められていることや役割等を学び、各クラブが今後の活動に役立て持続的に発展していくことを狙いとして、講習会を開催しました。参加者からは、「地域は何を必要としているか、リサーチをしてみることから始めたい。」「発想を共有し合いながらクラブを運営していきたい。」という意見があり、講習会がクラブのスキルアップのきっかけとなりました。 （2）地域スポーツクラブ指導者出張事業 ・回 数：20 回 ・会 場：区内９か所 ・種 目：ヨガ、親子フィットネス、太極拳他 ・参加人数：延べ 352 人 ・成 果：児童館で、スポーツ実施率が低い子育て世代向けに総合型地域スポーツクラブの指導者を派遣しました。運動する機会を提供し、スポーツ実施率の向上を図りました。参加者からは「こどもと一緒に運動ができて楽しかった」「普段、体を動かしていなかったので気持ちが良かった」と好評でした。普段スポーツをすることがあまりない方に、運動をするきっかけを作ることができました。

事業	スポーツ奨励事業
概要	スポーツ意識の高揚及びスポーツ振興を図るため、スポーツ競技で全国大会等に出場する個人に対して、大田区スポーツ全国大会等出場奨励金を交付しています。全国大会に出場する区内在住または在学の高校生以下の方及び国際大会に出場する区内在住、在学の方が対象となります。
実績	・交付者数：229 人

事業	ラジオ体操指導者養成講習会　（公財）大田区スポーツ協会委託事業
概要	ラジオ体操を広く普及させ、区民の健康増進を図ることを目的として、区内在住・在勤・在学の 10 歳以上の方を対象に指導方法を講習し、地域指導者を養成します。区民が指導者となり地域の方を指導することで、区民間の交流を促進します。
実績	・開催日：７月 11 日（木）・７月 12 日（金） ・会 場：大森スポーツセンター ・参加者数：233 人 ・成 果：小学校 PTA や自治会・町会の方々を中心に前回と同程度の参加者が集まりました。 ラジオ体操は、普段あまり運動をしていない方でも毎日取り組める運動です。本事業をきっかけに指導者が増え、ラジオ体操が一層普及する契機となっています。令和６年度より全国ラジオ体操連盟公認の指導者養成講習会となり、２日間受講された方で「ラジオ体操指導員」資格（自己申請 2,000 円負担）を取得できることとなりました。(84 名取得)

事業	障がい者スポーツ指導者養成講習会　（公財）大田区スポーツ協会委託事業
概要	障がい者スポーツの理解と普及を目的に、障がい者スポーツ教室の意義と指導方法について講習し、指導者の育成を図ります。平成 30 年度から（公財）大田区スポーツ協会委託事業となりました。
実績	・開 催 日：４月 10 日（水）・７月 24 日（水） ・会 場：大森スポーツセンター ・参加人数：４月 10 日（水）23 人（指導者２人、参加者 21 人） ７月 24 日（水）23 人（指導者２人、参加者 21 人） ・成 果：本事業により障がい者への理解を深め、適切な指導方法を身に付けることで、障がい者の方々が安全に楽しくスポーツに取り組んでもらう環境の整備に寄与することができました。

事業	区民スポーツ大会　（公財）大田区スポーツ協会委託事業
概要	区内在住・在勤・在学の方を対象に、各種スポーツ団体の協力のもとで実施するスポーツ大会です。本大会は、日頃の練習成果を発表する場であり、広く区民の間にスポーツ活動への参加意欲を高める目的で実施しています。また、選手同士の交流を図り、区民が健康で豊かな生活を実現する一助となっています。
実績	ア 春・夏季大会 ・実施種目：41 種目 ・参加人数：22,653 人 イ 秋・冬季大会 ・実施種目：44 種目 ・参加人数：22,700 人 ・成 果：両大会ともに、事故なく安全に開催することができました。こどもから大人まで幅広く参加できる本大会を開催したことにより、区民のスポーツ活動への参加意欲の向上につながりました。

事業	東京都スポーツ大会等代表派遣　（公財）大田区スポーツ協会委託事業
概要	（第 78 回大会から東京都スポーツ大会に名称変更） 大会の競技種目に該当する加盟団体から大田区の代表として、東京都スポーツ大会等へ派遣します。出場選手のスポーツ活動意欲を高め、地域スポーツの振興と都内各地区との交流を図ることを目的として実施しています。
実績	第 77 回大会 （令和５年夏から令和６年春まで） ・種目数：28 種目 ・派遣者数：499 人 ・成果：女子が２年ぶりに総合優勝を果たし、男子は総合第２位となりました。 参加各団体が、日々、練習を重ねた成果がこの成績へとつながりました。 大会の開催は、選手が競技に取り組むモチベーションとなり、地域への愛着をさらに深める機会につながっています。

事業	スポーツ推進委員
概要	スポーツ基本法に基づき、スポーツ推進事業の実施に係る連絡調整やスポーツの実技指導及びスポーツに関する指導・助言を行うことを任務とする非常勤職員です。 日頃から、地域におけるスポーツに対する区民の理解を深め、区民へのスポーツ推進を図り、大田区が実施するスポーツ事業に協力しています。（定員 65 人）
実績	スポーツ推進委員協議会では毎月会議を開催し、スポーツ事業について検討するほか、委員間の情報共有の場としました。 ・協力事業：OTA ウォーキング、区民スポーツ大会総合開会式、おおたスポーツ健康フェスタ、区民スポーツまつり、おおたランニングフェスティバル、ボッチャ推進事業等

事業	スポーツ推進審議会
概要	スポーツ基本法に基づき設置された区長の付属機関です。スポーツに関する学識経験者及び関係行政機関の職員で構成されています。スポーツの推進に関する計画及び重要事項に関し意見を述べるほか、諮問に応じて調査審議し、区長に建議することを役割としています。
実績	令和６年度は、平成 30 年３月策定の「大田区スポーツ推進計画（改定版）」の計画期間満了に伴い、令和７年度から令和 11 年度までを計画期間とする「大田区スポーツ推進計画（令和７～令和 11 年度版）」の策定について、主に審議しました。 ・主な議題：「(仮称）大田区スポーツ推進計画（令和７～令和 11 年度版）の原案について」 「区民意見公募手続（パブリックコメント）の実施について」 ・開催日：８月 26 日(月)、10 月 22 日（火)、１月 30 日（木） ・成 果：令和６年度は「(仮称）大田区スポーツ推進計画（第三次)」の策定に向けて審議を行いました。

事業	運動部活動の地域連携・地域移行
概要	こどもたちのスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保や教員の働き方改革等の観点から、スポーツ庁・文化庁が進める部活動の地域連携・地域移行の方針に沿って、中学校部活動の地域連携・地域移行に向けた検討を進めます。
実績	・開催日：７月４日（木）、９月 24 日（火） ・成 果：令和６年度はモデル事業の経過を報告するとともに、地域連携・地域移行のあり方やモデル事業の今後の検討課題について意見交換を行いました。

事業	OTA ウォーキング（スポーツ健康都市宣言記念事業）　（公財）大田区スポーツ協会委託事業
概要	平成 24 年６月に行った「スポーツ健康都市宣言」を記念した事業として実施しています。 日常生活に直結した、もっとも身近な運動である「歩くこと」を奨励し、区民のスポーツへの興味・関心を高めるとともに、継続的なスポーツ実施を目指し開催します。
実績	・開催日：５月 12 日（日） 第 17 回 OTA ウォーキング ～旧六郷用水散策路を歩き新緑を感じながら田園調布せせらぎ公園へ～ ・コース：グリーンベルトから田園調布せせらぎ公園まで ・参加人数：487 人 ・成 果：当日は天候に恵まれ、参加人数は前年度より約 160 人近く増えました。また、年代や性別を問わず、誰でも取り組みやすいウォーキングへの参加を通じて、健康増進など様々な効果を感じてもらいました。

事業	区民スポーツまつり（スポーツ健康都市宣言記念事業）　（公財）大田区スポーツ協会委託事業
概要	スポーツ基本法では、「スポーツの日に国民の間に広くスポーツについての関心と理解を深め、その意欲を高めるような行事を実施するよう努めること」と記されています。 その趣旨に則り、区民に様々なスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供することを目的として、区民スポーツまつりを実施しています。 子どもから高齢者まで誰もが参加できる催しとすることで、世代を超えたふれあいと、健康・体力づくり・生きがいづくりを図るとともに、住民相互の交流を通じた地域づくりの契機とします。 会場は大田区総合体育館、大森スポーツセンター、大田スタジアム、多摩川河川敷等となっており、区内各地で自由参加の各種スポーツイベントを開催します。
実績	・開催日：10 月 14 日（祝・月） ・種 目：64 イベント ・参加人数：14,031 人 ・会 場：44 会場 ・成 果：メイン会場の大森スポーツセンターでは、リオデジャネイロオリンピック銀メダリストのケンブリッジ飛鳥選手を招き、トークセッションとかけっこスピードアップ教室を実施しました。かけっこスピードアップ教室は、86 名の小学生が参加し、オリンピアンから直接走り方の指導を受けました。また、10 月 27 日（日）に開催したウォーキングイベントは、406 人が参加し、取り組みやすいスポーツであるウォーキングを通じて、スポーツに親しむ機会を提供できました。

事業	おおたスポーツ健康フェスタ（スポーツ健康都市宣言記念事業）
概要	区民のスポーツ実施率の向上、健康の維持増進を図るとともに、スポーツの楽しさを実感し、スポーツ参加の契機となることを目的とし、平成 24 年度から令和６年度まで実施しました。
実績	・開催日：７月 20 日（土） ・会 場：大森スポーツセンター ・参加人数：延べ 3,051 人 ・成 果：フィットネスモデルの宮河マヤさんによるトークセッション・エクササイズ指導など、スポーツ実施率が低い 30～40 代の女性をメインターゲットとしたプログラムに加え、元新体操日本代表の熨斗谷さくらさんによる新体操体験会、バスケットボール体験教室、その他ボッチャ等様々なスポーツを体験できるスポーツビュッフェ、親子ダンスなど多世代で楽しめるプログラムを実施し、スポーツへのきっかけづくりにつなげることができました。

事業	大森ふるさとの浜辺ビーチスポーツ事業　（公財）大田区スポーツ協会委託事業
概要	公設では都内唯一の常設ビーチバレー場を有する大森ふるさとの浜辺公園の認知度向上を図るため、ビーチバレー場の無料開放やビーチヨガ教室を実施します。
実績	ア ビーチスポーツ教室 ・回 数：８回　・種 目：ビーチヨガ　・参加人数：延べ 272 人 イ ビーチバレー場無料開放 DAY ・回 数：19 回　・参加者数：延べ 569 人 ・成 果：実施回数を増加したことにより、昨年度を上回る、延べ 841 人の参加者がありました。より多くの区民に対し、スポーツに取り組む機会を提供することができたとともに、大森ふるさとの浜辺公園ビーチエリアの認知度向上につながりました。

事業	スポーツ推進広報事業
概要	スポーツ実施率の低い働き盛り・子育て世代をメインターゲットに、自宅等で気軽にできるストレッチ等を紹介する情報紙の発行及び動画配信を実施し、日頃の運動に対する関心を高め、スポーツ実施率の底上げを図ることを目的としています。 スポーツ情報紙の発行と動画の配信 自宅やオフィス等でできる運動を中心に、初心者でも気軽に取り組める運動を紙面発行と動画配信を通じて紹介していきます。 また、スポーツへの興味や関心を高めるため、区にゆかりのあるアスリート、競技団体やスポーツイベントなどの情報を発信するとともに、食や健康、エンターテイメントなどを絡めた記事を掲載しています。
実績	・発行部数：４回（各 7,500 部） ・動画配信：15 本（YouTube、Instagram にて配信） ・成果：令和６年度は、普段運動をしていない方も楽しくランニングを始められるよう「らくらく!!RUN&WALK」を年間テーマとしました。「散歩のすすめ」「走り方のコツ」「家の周りを走ろう」「ランニング５kmに挑戦」を各号のテーマとし、ランニング５kmを目標に、各号ごとに徐々にステップアップしていく内容としました。 その他、スポーツへの関心を高めるため、区内のウォーキング・ランニングコースやスポーツイベント、区のゆかりアスリートを紹介しました。 動画は発行月に３、４本程度配信し、YouTube の動画再生数は、22,000 回、Instagram は 14 万回を超えました。

事業	ランニング環境の整備事業
概要	こどもから大人まで幅広い世代の区民が、身近な場所で気軽に取り組めるランニングの普及を推進し、区民のスポーツ実施率の向上及び、健康維持・増進を図ります。
実績	（１）ランニングステーション 指定管理者と協同し、周知に努めた結果、利用者は増加し年間で延べ 807 人が利用しました。 （２）おおたランニングフェスティバル 2025 ・開催日：２月 23 日（日） ・会場：大田スタジアム、大井ホッケー競技場サブピッチ、大井ふ頭中央海浜公園外周 ・参加人数：延べ約 8,300 人（大会：約 1,500 人、サブイベント等：延べ約 6,800 人） ・成果：ひとりでも家族や仲間と一緒でも気軽に参加できる大会として、リレーマラソンをはじめ全５種目を実施し、定員を上回る 1,613 人の申し込みがありました。ゲストランナーには小林よしひさ氏（元体操のお兄さん）を迎え、参加者と一緒に走行し触れ合う機会を設けました。大会出場後の効果について、「ランニングの意欲向上につながった」、「楽しくて気分が爽快になった」、「運動不足の解消になった」、「家族や友人とのふれあいの場になった」等、多くの参加者がランニングに対し、肯定的な効果を感じることができた事業となりました。 また、「笑顔あふれる Ota RunFes2025」をテーマとして、ボッチャやホッケー体験等、全 28 種類のサブイベントを実施しました。応援に来た家族や友人等延べ約 6,800 人の方に対し、スポーツ体験の機会を提供することができました。

事業	大田スタジアム（指定管理者委託）

概要

余暇活動の充実及び健康増進に寄与することを目的として、平成７年７月に開館しました。
老朽化設備の機能更新やバリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進、さらに多目的利用の拡大を目的に改修が行われ、令和元年７月１日にリニューアルオープンしました。

【指定管理者】
公益財団法人大田区スポーツ協会グループ
※大田スタジアム、大森スポーツセンターを一括して運営管理しています。

【施設概要】

所在地	東海一丁目２番10号
電話	03-3799-5820
建物	構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造　階数：地下１階、地上３階 敷地面積：約24,525.92㎡
交通	京急バス　大田スタジアム下車　徒歩１分 東京モノレール　流通センター駅または大井競馬場駅下車　約徒歩15分
利用	7：00～21：00
休館	12月29日から１月３日および臨時休館日

【施設内容】

グラウンド	13,171.93㎡		観客席	3,223席（車椅子席32席）
大会議室	81㎡		小会議室	61㎡
本部室	34㎡		駐車場	183（その他大型バス駐車場5台あり）

実績

（１）施設利用状況

野球場	平日			土・日・休			合計		
	貸出枠	利用枠	利用率	貸出枠	利用枠	利用率	貸出枠	利用枠	利用率
早朝 7～9時	340	214	62.9%	198	182	91.9%	538	396	73.6%
日中 9～17時	1,432	1,292	90.2%	812	800	98.5%	2,244	2,092	93.2%
ナイター 17～21時	698	656	94.0%	392	364	92.9%	1,090	1,020	93.6%

年間利用者数（人）

グラウンド	スタンド	合計
53,089	54,379	107,468

・成果：社会人野球や大学野球などのハイレベルな大会や、「全国高等学校野球選手権大会東東京大会」、「日本少年野球春季全国大会」など多くの公式大会が行われ、幅広い年代の方々の利用がありました。
自主事業として「大田スタジアム一般無料開放DAY」を年３回実施し、綺麗な人工芝の上で体を動かせる機会を提供し、延べ448人が参加しました。
２月23日には「おおたランニングフェスティバル2025」 が開催され、前年度を3,000人ほど上回る延べ8,300人ほどの参加がありました。
さらに、JABA東京都野球連盟協力の下、社会人野球の公開親善試合を行うなど、「するスポーツ」と「みるスポーツ」の推進に寄与することができました。

（２）施設内広告掲載事業

「するスポーツ」、「みるスポーツ」の双方で楽しめる施設として、広く知られる大田スタジアムを有効活用して、安定的な歳入確保に繋げていきます。

・広告掲載位置：外野ラバーフェンス
・規格：縦1.5m×横８m
・広告掲載可能数：計12区画

【年度実績】

年度	令和５年度	令和６年度
掲載区画数	９区画	10 区画

事業	大森スポーツセンター（指定管理者委託）

概要

区民の体育・スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的に、平成９年４月１日に開設しました。

都営大森本町二丁目アパート、大森老人ホーム、大田区立大森本町児童館等とともに大森本町複合施設を形成し、各施設の維持・管理運営において、連携・協力しています。館内には、アリーナ、トレーニングルーム、健康体育室、小ホール、ミーティングルームや 100 台収容可能な地下駐車場（有料）などの施設があります。トレーニングルームでは、トレーニングマシンの利用以外に、スポーツ教室も開催しています。

また、令和２年９月には、施設周辺でランニングを行う際に便利な「ランニングステーション」を開設しています。

【指定管理者】

公益財団法人大田区スポーツ協会グループ

※大田スタジアム、大森スポーツセンターを一括して運営管理しています。

【施設概要】

所在地	大森本町二丁目２番５号
電話	03-5763-1311
建物	構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 階数：地上２階、地下２階 敷地面積：約 6,393 ㎡
交通	京浜急行本線　平和島駅下車　徒歩６分
利用	９：00～22：00
休館	12 月 29 日から１月３日および臨時休館日

【施設内容】

アリーナ	1,620 ㎡
トレーニングルーム	375 ㎡
健康体育室Ｃ	150 ㎡
ミーティングルームＢ	20 ㎡
駐車場	100 台

２階アリーナ	376 席
健康体育室Ｂ	225 ㎡
ミーティングルームＡ	25 ㎡
小ホール	180 ㎡

実績

【施設利用状況】

項目 / 施設	利用可能コマ数（回）	利用コマ数（回）	利用率（%）	利用者数（人）
アリーナ	1,041	973	93.5	120,246
トレーニングルーム※	（333 日）	（333 日）	100	62,095
健康体育室Ｂ	987	939	95.1	20,815
健康体育室Ｃ	924	814	88.1	13,607
ミーティングルームＡ	978	208	21.3	2,312
ミーティングルームＢ	1,041	164	15.8	1,145
小ホール	1,044	265	25.4	8,754
ランニングステーション	－	－	－	807
合計	6,015	3,363	55.9	229,781

※日数表記（利用コマ数の合計に含まない）。教室参加者数を含む。

【スポーツ種目別利用状況※】

施設 / 種目	アリーナ		健康体育室Ｂ		健康体育室Ｃ	
	利用回数（回）	利用割合（%）	利用回数（回）	利用割合（%）	利用回数（回）	利用割合（%）
バレーボール	84	9.0	－	－	－	－
バスケットボール	204	21.8	－	－	－	－
バドミントン	80	8.6	－	－	－	－
卓球	185	19.8	701	76.3	298	38.0
テニス	110	11.8	－	－	－	－
ハンドボール	9	1.0	－	－	－	－
ダンス、舞踊	17	1.8	21	2.3	53	6.8
武道	46	4.9	125	13.6	201	25.7
体操	2	0.2	25	2.7	186	23.8
バトン、カラーガード	56	6.0	6	0.7	8	1.0
その他のスポーツ	141	15.1	40	4.4	37	4.7
合計	934	－	918	－	783	－

※１区分の中で複数の種目が行われるため利用コマ数より多くなる場合がある。

【スポーツ・その他（スポーツ以外）の割合】

施設 / 種目	アリーナ		健康体育室Ｂ		健康体育室Ｃ	
	利用回数（回）	利用割合（%）	利用回数（回）	利用割合（%）	利用回数（回）	利用割合（%）
スポーツ	934	96.0	918	97.8	783	96.2
その他	39	4.0	21	2.2	31	3.8
合計	973	－	939	－	814	－

・成 果：今年度は、大田区総合体育館にて改修工事を実施したことから、本施設にて区主催事業である「おおたスポーツ健康フェスタ」や「区民スポーツまつり」を開催しました。両事業において、安全な施設管理に務めたことにより、事故なく安心して参加者がスポーツを体験する場を創出することができました。また、今年度からランニングステーションの利用時間を延長し、利便性向上を図ったことにより、利用者数が昨年度の約 1.5 倍となり、区民のスポーツ実施率向上につなげました。

事業	大田区総合体育館（指定管理者委託）
概要	昭和 40 年に建設した旧大田区体育館を改修のうえ、「大田区総合体育館」として新たに平成 24 年６月 30 日に開館しました。 区民に良質な「する」「みる」「ささえる」スポーツの機会の提供を行うとともに、区民の生涯スポーツの活動拠点となることを目的として設置しました。 メインアリーナ（48m×38m）は、固定席と可動席を加えた約 4,000 席の観客席を有しています。区民が各種スポーツをして楽しむことができるとともに各競技のトップレベルのプレーを観戦することもできます。そのほか、サブアリーナ（34m×19m）、体育室１・２、弓道場、会議室等の施設や地下２階には、62 台収容可能な駐車場（有料）があります。 【指定管理者】 住友不動産エスフォルタ・NTT ファシリティーズグループ

【施設概要】

所在地	東蒲田一丁目 11 番 1 号
電話	03-5480-6688
建物	構造：鉄筋コンクリート造及び一部鉄筋コンクリート造鉄骨造 階数：地上 2 階、地下 2 階 敷地面積：9,236 ㎡　建築面積：5,826 ㎡ 延床面積：14,478 ㎡
交通	京浜急行本線　梅屋敷駅下車　徒歩 5 分 京浜急行本線　京急蒲田駅下車　徒歩 7 分
利用	9：00～21：00
休館	不定期

【施設内容】

メインアリーナ	1,824 ㎡ 観客席 4,012 席（固定席 2,186 席、可動席 1,816 席、車椅子席 10 席）		
サブアリーナ	646 ㎡　観客席 200 席		
体育室 1・2	各 120 ㎡	会議室	90 ㎡（3 部屋に分割可）
控室 1・2	各 75 ㎡	弓道場（5 人立て）近的	28m
駐車場	61 台（うち身障者用駐車場 3 台、その他大型バス駐車場 3 台あり）		

実績

【施設利用状況】特定天井その他改修工事のため、４月１日から 12 月 27 日まで休館

施設＼項目	利用可能コマ数（回）	利用コマ数（回）	利用率（%）	利用者数（人）
メインアリーナ	576	497	86.3	93,581
サブアリーナ	348	302	86.8	14,358
体育室１	344	273	79.4	7,348
体育室２	344	260	75.6	7,169
控室１	348	149	42.8	－
控室２	348	145	41.7	－
会議室	348	196	56.3	1,748
弓道場	243	200	82.3	2,907
合計	2,899	2,022	―	127,111

【スポーツ種目別利用状況】

種目	メインアリーナ		サブアリーナ	
	利用回数（回）	利用割合（%）	利用回数（回）	利用割合（%）
バレーボール	90	14.7	48	15.9
バスケットボール	153	25.0	163	54.0
フットサル・サッカー	47	7.7	7	2.3
テニス・バドミントン	83	13.5	11	3.6
卓球	24	3.9	3	1.0
その他スポーツ	216	35.2	70	23.2
合計	613	100	302	100

スポーツ・集会等の割合

利用種別	利用コマ数（回）	利用割合（%）
スポーツ	1,894	93.7
集会等	128	6.3
合計	2,022	100

６年度の主な大会等開催実績

日程	開催内容
12 月 31 日（火）	WBA 世界スーパーフライ級タイトルマッチ
1 月 12 日（日）	令和６年度「二十歳のつどい」
2 月 23 日（日）	24-25W リーグレギュラーシーズン　フューチャー 東京羽田ヴィッキーズ VS 三菱電機コアラーズ
3 月 8 日（土）～9 日（日）	2024-2025 大同生命 SV.LEAGUE WOMAN Regular Season 第 18 節 GAME１/GAME2 NEC レッドロケッツ川崎 VS ヴィクトリーナ姫路

・成 果：令和６年度は特定天井その他改修工事のため、約９カ月間の休館となりました。再開直後にボクシングタイトルマッチやプロレス等の興行を実施した他、B リーグ、SV リーグといったトップレベルのスポーツイベントが開催され「見るスポーツ」を提供する施設として従来どおりの施設運営をし、区民のスポーツ推進に寄与することができました。

事業	公園内３水泳場　【指定管理者委託】
概要	区民の健康の増進と生活文化の向上に寄与することを目的として、区内の公園内に以下３つの水泳場が設置されています。

（１）平和島公園水泳場

【指定管理者】

株式会社オーエンス

【施設概要】

所在地	平和島四丁目 2 番 2 号
電話	03-3764-8424
建物	階数：地上 2 階建 管理棟[RC 造]、屋内プール[RC・PS 併用] 敷地面積：10,167 ㎡　建築面積：2,420 ㎡ 床面積：3,003 ㎡
交通	京急本線平和島駅下車徒歩約 14 分 JR 大森駅東口、京急大森海岸駅から京急バス「レジャーランド平和島行き」か「平和島循環」に乗車し「レジャーランド平和島バス停」下車徒歩約 4 分
利用	夏　季 9：30～20：00（月曜日は 17：15 まで） 温水期 9：30～21：00
休館	12 月 28 日から 1 月 6 日および臨時休館日 夏季以外の毎月第 1・第 3 月曜日（月曜日が休日に当たるときは、その翌日とする。）

【施設内容】

屋内温水プール 平成元年７月開設

施設等	規模等	適用
25m プール	縦 25.0m×横 15.0m、水深 1.0m～1.1m	ステンレス製 7 コース
幼児用プール	縦 20.0m×横 5.0m、水深 0.4m	ステンレス製
ロッカー数	男子 150 人、女子 150 人	

屋外プール　昭和 45 年７月開設

施設等	規模等	適用
50mプール	縦 50.0m×横 21.0m、水深 1.2～1.6m	RC 造
こども用プール	変形面積 420.0 ㎡、水深 0.4m～0.8m	滑り台付き（ステンレス製）
ロッカー数	男子 900 人、女子 900 人	

（２）東調布公園水泳場

【指定管理者】

フクシ・ハリマ水泳場管理ＪＶ

【施設概要】

所在地	南雪谷五丁目 13 番１号
電話	03-3728-7651
建物	階数：地上２階建 管理棟[RC 造]、屋内プール[RC・PS 併用] 敷地面積：22,918 ㎡　建築面積：2,262 ㎡ 床面積：2,959 ㎡
交通	東急池上線御嶽山駅下車徒歩約８分
利用	夏　季 9：30～20：00（火曜日は 17 時まで） 温水期 9：30～21：00
休館	12 月 28 日から１月６日および臨時休館日 夏季以外の毎月第１・第３火曜日（火曜日が休日に当たるときは、その翌日とする。）

【施設内容】

・屋内温水プール 平成４年４月開設

施設等	規模等	適用
25m プール	縦 25.0m×横 15.0m、水深 1.1m～1.3m	RC 底版・FRP 製７コース
こども用プール	縦 15.0m×横 6.0m、水深 0.6～0.7m	RC 底版・FRP 製
ロッカー数	男子 140 人、女子 490 人	

・屋外プール　昭和 45 年８月開設（平成４年４月改修）

施設等	規模等	適用
流水プール	面積 138.76 ㎡、水深 0.6m	
幼児用プール	面積 92.0 ㎡、水深 0.4m	滑り台
ウォータースライダー	高さ 5.3m、長さ 34m	
ロッカー数	男子 948 人、女子 970 人	

（３）萩中公園水泳場

【指定管理者】

株式会社協栄

【施設概要】

所在地	萩中三丁目 26 番 46 号
電話	03-3741-2155
建物	階数：地上２階建 管理棟[RC 造]、屋内プール[RC・PS 併用] 敷地面積：64,115 ㎡　建築面積：4,434 ㎡ 床面積：4,588 ㎡
交通	京急羽田空港線大鳥居駅 下車徒歩約６分 JR 蒲田駅東口より「羽田空港行き」バス「萩中公園前バス停」下車徒歩約１分
利用	夏　季 9：30～20：00（水曜日は 16：15 まで） 温水期 9：30～21：00（月曜日は 17：30 まで）
休館	12 月 28 日から１月６日および臨時休館日 夏季以外の毎月第１・第３水曜日（水曜日が休日に当たるときは、その翌日とする。）

【施設内容】

・屋内温水プール 平成７年４月開設

施設等	規模等	適用
25m プール	縦 25.0m×横 11.0m、水深 1.1m～1.3m	FRP 製 5 コース
幼児用プール	半円形 22.0 ㎡、水深 0～0.4m	RC 造
流れるプール	幅 4.0m、円周 95.0m、水深 1.0m	側面 FRP 製床タイル
ウォータースライダー	全長 56.0m、高さ 6.2m	
ロッカー数	男子 150 人、女子 150 人	

・屋外プール　昭和 37 年８月開設（平成７年４月全面改修）

施設等	規模等	適用
50mプール	縦 50.0m×横 21.0m、水深 1.3～1.5m	FRP 製８コース
渚プール	長さ 60.0m、水深 0～0.5m、滝数 2.0 基	勾配 10%、落差 1.5m
幼児用プール	面積 240.0 ㎡水深 0～0.4m、滝数 1.0 基	滑り台４連、落差 1.5m
ウォータースライダー	全長 63.0m、高さ 6.6m	
ロッカー数	男子 900 人、女子 900 人	

実績

【施設利用状況】

	夏期			温水期			合計		
	大人	こども	計	大人	こども	計	大人	こども	計
平和島	13,268	23,708	36,976	23,977	4,811	28,788	37,245	28,519	65,764
東調布	25,358	25,445	50,803	34,540	10,127	44,667	59,898	35,572	95,470
萩中	38,618	41,433	80,051	36,768	16,944	53,712	75,386	58,377	133,763
合計	77,244	90,586	167,830	95,285	31,882	127,167	172,529	122,468	294,997

・成果：令和６年度は猛暑により熱中症警戒アラートが発令された影響により区民の外出が抑制されたため、夏季期間中の利用者に減少がみられた。一方で温水期は萩中公園水泳場において改修工事に伴い約１か月間の休館を要したものの利用者数の増加がみられ、前年度並みの利用者数となり、年間を通じては区民の健康増進に寄与することができました。

事業	多摩川緑地広場運動施設

概要

多摩川緑地広場運動施設は、大田区・世田谷区がそれぞれ国から、多摩川河川敷の占用許可を受けて設置した大田区立多摩川田園調布緑地・世田谷区多摩川玉堤広場の運動施設です。運動施設として、大田区・世田谷区民をはじめ、広く一般の利用に供し、スポーツ及び憩いの場を提供することにより、健全な心身の保持増進に寄与することを目的としています。

【管理運営】

多摩川緑地広場管理公社

※大田区立多摩川田園調布緑地・世田谷区多摩川玉堤広場を一括して運営管理しています。

【公社の概要】

所在地	東京都世田谷区玉堤一丁目５番１号
電話	03-3701-1679
交通	東急バス「玉川温室村」下車すぐ
休業日	年末年始

	運動施設	テニスコート（クレーコート）：17 面
		硬式野球場：2 面（A・B）
		軟式野球場：2 面（C・D）
		少年野球場（小学生以下）：1 面
		サッカー場：2 面（A・B）
	その他の施設	温水シャワー
		公社駐車場：48 台
		河川敷駐車場：75 台（土日休日のみ開設）

実績

【施設利用状況】

施設名	面数	平日			土・日・休			合計		
		貸出枠	利用枠	利用率（%）	貸出枠	利用枠	利用率（%）	貸出枠	利用枠	利用率（%）
野球場	4	1,870	603	32.2	1,118	816	73.0	2,988	1,419	47.5
少年野球場	1	820	70	8.5	451	360	79.8	1,271	430	33.8
サッカー場	2	1,393	294	21.1	780	600	76.9	2,173	894	41.1
テニス場	17	4,817	1,680	34.9	2,818	2,337	82.9	7,635	4,017	52.6

※台風 10 号の被害により８月 31 日以降一部施設使用不可

事業	大田区西蒲田三丁目複合施設
概要	所在する各施設がそれぞれの機能を果たし、地域コミュニティの発展に寄与することを目的として、令和６年４月に開設しました。施設内には、（公財）大田区スポーツ協会の事務室、こども発達センターわかばの家（ふれあいはすぬま分室）、さわやかワークセンターのほか、地区備蓄倉庫等が設置されています。（公財）大田区スポーツ協会を所管するスポーツ推進課が、施設全体に係る維持管理を行います。

【施設概要】

開設日	令和 6 年 4 月
建設地	西蒲田三丁目 19 番 4 号
規模	敷地面積：994.57 ㎡　建築面積：593.90 ㎡ 延床面積：1681.98 ㎡　鉄骨造、地上 3 階建

Ⅲ　文化芸術推進課

１　文化芸術推進担当

<table>
<tr><td>事業</td><td>大田区平和都市宣言記念事業　平和のつどい</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>区では、昭和 62 年から「JAZZ コンサートの夕べ」としてコンサート、式典、花火の打ち上げを開始しました。令和６年から平和記念式典と花火打ち上げを別会場で実施し、「大田区平和都市宣言記念事業 平和のつどい」と名称を改めました。
この事業は、（公財）大田区文化振興協会と共催事業として実施しています。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>【平和のつどい】第一部：平和記念式典　第二部：平和祈念花火
<table>
<tr><td>開催日</td><td>8 月 15 日（木）</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>第一部：大田区民ホール・アプリコ
第二部：大田区西六郷四丁目地先（多摩川河川敷）</td></tr>
<tr><td>沿革</td><td>昭和 62 年度から実施　令和６年度に名称変更</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業</td><td>平和・原爆のパネル展</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>広島と長崎の原爆投下の日に合わせてパネル展示を行い、核のない世界の実現と戦争の悲惨さを伝えました。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>
<table>
<tr><td>開催期間</td><td>8 月 1 日（木）～8 月 9 日（金）</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>本庁舎１階北ロビー</td></tr>
<tr><td>沿革</td><td>平成元年度から実施</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業</td><td>平和の映画キャラバン</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>区内児童館で平和に関する映画を上映し、子どもたちに生命と平和の大切さを伝えます。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>
<table>
<tr><td>開催期間</td><td>1 月から 2 月まで</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>区内児童館 12 か所</td></tr>
<tr><td>沿革</td><td>平成 3 年度から実施</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業</td><td>おおたの文化 week in GRANDUO</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>JR 東日本商業開発株式会社グランデュオ蒲田と大田区の公民連携事業として、大田区伝統工芸発展の会等の協力のもと、大田区の歴史・文化を紹介することを目的に開催します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>
<table>
<tr><td>開催期間</td><td>3 月 7 日（金）から 3 月 20 日（木・祝）まで</td></tr>
<tr><td>来場者数</td><td>約 15,000 人</td></tr>
<tr><td>沿革</td><td>平成 23 年度から平成 27 年度まで「おおたミュージアムと伝統文化の共同展示会」として実施</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業</td><td>洗足池　春宵の響</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>笛や囃子等の和楽器演奏の鑑賞を通じ、日本の伝統芸能に触れる機会を区民に提供し、文化や芸能に対する意識の醸成を図ります。また、洗足池の風物詩として当事業を区内外に発信し、文化の振興と地域の活性化を図ります。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>
<table>
<tr><td>実施日</td><td>5 月 16 日（木）</td></tr>
<tr><td>来場者数</td><td>約 1,800 人</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>洗足池西岸「池月橋」</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業</td><td>大田区伝統工芸士認定制度</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>様々な芸術・芸能等の文化を下支えする伝統工芸士の社会的評価の向上を図り、被認定者の実績等を区民に周知することで、伝統工芸への興味・関心を喚起します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>
<table>
<tr><td>実施日</td><td>3 月上旬　1 回</td></tr>
<tr><td>沿革</td><td>平成 29 年度から実施</td></tr>
</table>
【過去の実績（認定者数）】
<table>
<tr><td>令和 6 年度</td><td>1 名（加藤照代氏（漆工芸））</td></tr>
<tr><td>令和 5 年度</td><td>2 名（柳井博氏（畳刺）、早水瑞枝氏（布象嵌））</td></tr>
<tr><td>令和 4 年度</td><td>推薦なし</td></tr>
<tr><td>令和 3 年度</td><td>推薦なし</td></tr>
<tr><td>令和 2 年度</td><td>3 名（宮崎正明氏（染色用型紙）、田中康友氏（和笛）、小野恒夫氏（彫刻））</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業</td><td>大田区文化芸術推進協議会（旧大田区文化振興推進協議会）</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>区の文化施策を推進するにあたり、必要な事項を検討するため、「大田区文化芸術推進協議会」を設置しています。区民、学識経験者、自治会・町会関係者、（公財）大田区文化振興協会、区議会議員等で構成され、任期は委嘱又は任命の日からその日の属する年度の翌年度の末日までです。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>大田区文化振興推進協議会　２回
主な協議内容：大田区文化振興プランの改定について、文化に関する区民意識調査について</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業</td><td>（公財）大田区文化振興協会補助事業（公演・普及・展示事業）</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>（公財）大田区文化振興協会が指定管理を行う文化施設の特徴を最大限に生かし、音楽、演劇舞踊、伝統芸能、美術など、多様なジャンルの鑑賞事業や講座・展示事業を実施することで、こども、勤労世代、シニア層など、区民の誰もが気軽に文化芸術に触れる機会を創造します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>音楽事業 32、伝統芸能事業３、演芸事業 11、演劇事業５、美術事業 11、その他事業 14
全体事業数 76、参加延べ人数 39,784 人</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業</td><td>文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>区民の貴重な文化芸術資源である龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館、馬込アートギャラリーの収蔵作品・収蔵資料等の適切な保管を行うとともに、調査を行い魅力ある展示企画を実施することで、より多くの区民が大田区の貴重な文化財産に接する機会を創出します。また、収蔵作品等のアーカイブ化を進め、効果的に活用しています。

各館の主な展示事業
龍子記念館：日本画家・川端龍子の実績及び同時代の日本美術を紹介するほか、現代アートや地域の作家（団体）とのコラボレーション等
熊谷恒子記念館：書家・熊谷恒子の実績及びかな書の魅力を紹介するほか、地域の作家（団体）との地域連携等
山王草堂記念館：ジャーナリスト、歴史家の徳富蘇峰の紹介（常設展示）
尾崎士郎記念館：『人生劇場』などで知られる小説家・尾崎士郎の紹介（常設展示）
馬込アートギャラリー：区民寄贈絵画等の展示（未定）</td></tr>
</table>

実績	

龍子記念館

事業名	会期	来館者数
名作展「大画面の奔流　川端龍子の『会場芸術』再考」	令和6年3月20日（水・祝） ～6月9日（日） ※来館者数は4月1日から	4,228人
名作展「いつか夢見た桃源郷　川端龍子の戦後の作品から」	6月22日（土）～ 8月12日（月・休）	1,463人
川端龍子+高橋龍太郎コレクション　コラボレーション企画展	12月7日（土）～ 3月2日（日）	5,254人
名作展「川端龍子の描き出した世界　生誕140年を迎えて」	3月29日（土）～ 6月22日（日） ※来館者数は3月31日まで	142人

熊谷恒子記念館

事業名	会期	来館者数
池上会館出張展覧会　熊谷恒子かなの美展 「熊谷恒子が表現する　華麗なる源氏物語の世界」	5月18日（土）～ 5月26日（日）	706人
かなの美展 「再開記念　『土佐日記』からはじまる恒子とかな」 併催で地域連携・コラボレーション展示	10月12日（土）～ 12月8日（日）	804人
かなの美展 「熊谷恒子がたどる近代短歌　正岡子規や長塚節を通じて」	12月21日（土）～ 4月6日（日）	829人

※改修工事のため、令和３年10月15日から令和６年10月11日まで休館

山王草堂記念館

事業名	会期	来館者数
徳富蘇峰に関する展示	通年	9,953人

尾崎士郎記念館

事業名	会期	来館者数
尾崎士郎に関する展示	通年	無人施設

事業	文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業
概要	地域文化振興支援事業として、大田区で文化芸術活動を行う団体等の活動を助成、支援します。 このほか、大田文化の森運営協議会の活動支援も行っています。 また、公演準備やお客様のご案内等、楽しみながら公演に従事いただくことを目的とした公演サポーターを通年で募集し、活動を行います。
実績	

共催事業	10事業、参加延べ人数5,955人
後援・協賛事業	5事業、参加延べ人数1,618人
公演サポーター事業	48事業、延べ242人（登録者21人）

事業	文化芸術資源の情報収集と発信に関する事業
概要	協会が実施する事業や施設情報を掲載した情報誌の発行のほか、地域ボランティアによる区民記者とともに文化芸術情報を収集・制作した情報紙を季刊で発行し、区内全域に新聞折込配布しています。また、幅広い層への情報発信として、公式ホームページ、メールマガジン、YouTube、X、Instagram、LINE、Facebook等、SNSを含め様々なインターネットメディアを活用した情報発信を行っています。
実績	

大田区文化振興協会情報誌「Art Menu」	年6回　発行部数73,050部
大田区文化芸術情報紙「ART bee HIVE」	年4回　発行部数400,000部
大田区文化振興協会PRESENTS「ART bee HIVE　TV」	年4回（1回10分、月4回放映）

事業	文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業

概要

大田区の文化施策を推進するため、以下の施設の管理代行業務を行う指定管理者として、（公財）大田区文化振興協会を指定しています。（一部の施設については業務委託となります。）

【指定管理者委託】

①大田区民プラザ

開設日	昭和 62 年 10 月 31 日
所在地	下丸子三丁目 1 番 3 号

②大田区民ホール・アプリコ

開設日	平成 10 年 12 月 11 日
所在地	蒲田五丁目 37 番 3 号

③大田文化の森

開設日	平成 13 年 11 月 3 日
所在地	中央二丁目 10 番 1 号

④龍子記念館

開設日	平成 3 年 11 月 3 日
所在地	中央四丁目 2 番 1 号

⑤熊谷恒子記念館

開設日	平成 2 年 4 月 1 日
所在地	南馬込四丁目 5 番 15 号

⑥馬込アートギャラリー

開設日	未定
所在地	南馬込四丁目 10 番 4 号

【業務委託】

⑦山王草堂記念館

開設日	昭和 63 年 4 月 20 日
所在地	山王一丁目 41 番 21 号

⑧尾崎士郎記念館

開設日	平成 20 年 5 月 1 日
所在地	山王一丁目 36 番 26 号

実績

①大田区民プラザ

室場名	時間帯	稼働日数	利用件数	利用率	利用者数
大ホール	午前	207	173	83.6%	62,552
	午後	208	177	85.1%	
	夜間	207	145	70.0%	
	〈計〉	622	495	79.6%	
小ホール	午前	211	147	69.7%	17,862
	午後	214	179	83.6%	
	夜間	212	112	52.8%	
	〈計〉	637	438	68.8%	
展示室	午前	214	145	67.8%	14,498
	午後	216	160	74.1%	
	夜間	215	138	64.2%	
	〈計〉	645	443	68.7%	
リハーサル室	午前	250	202	80.8%	8,311
	午後	257	202	78.6%	
	夜間	258	105	40.7%	
	〈計〉	765	509	66.5%	

室場名	時間帯	稼働日数	利用件数	利用率	利用者数
美術室	午前	258	160	62.0%	2,416
	午後	258	185	71.7%	
	夜間	259	5	1.9%	
	〈計〉	775	350	45.2%	
第1会議室	午前	258	176	68.2%	5,948
	午後	259	197	76.1%	
	夜間	259	132	51.0%	
	〈計〉	776	505	65.1%	
第2会議室	午前	258	149	57.8%	4,456
	午後	257	183	71.2%	
	夜間	259	91	35.1%	
	〈計〉	774	423	54.7%	
第3会議室	午前	254	96	37.8%	1,754
	午後	254	121	47.6%	
	夜間	255	44	17.3%	
	〈計〉	763	261	34.2%	
第4会議室	午前	251	197	78.5%	3,837
	午後	254	195	76.8%	
	夜間	254	101	39.8%	
	〈計〉	759	493	65.0%	
第1和室	午前	253	196	77.5%	2,044
	午後	255	175	68.6%	
	夜間	249	96	38.6%	
	〈計〉	757	467	61.7%	
第2和室	午前	255	174	68.2%	1,886
	午後	256	176	68.8%	
	夜間	256	69	27.0%	
	〈計〉	767	419	54.6%	
茶室	午前	253	64	25.3%	479
	午後	255	112	43.9%	
	夜間	256	18	7.0%	
	〈計〉	764	194	25.4%	
第1音楽スタジオ	全区分	1,265	539	42.6%	9,257
第2音楽スタジオ	全区分	1,263	747	59.1%	3,670
体育室	午前	146	144	98.6%	7,602
	午後	216	186	86.1%	
	夜間	222	208	93.7%	
	〈計〉	584	538	92.1%	
オートテニス	件数				2,044
トレーニングルーム	件数				10,510
卓球	件数				1,155
合計					160,281

②大田区民ホール・アプリコ

室場名	時間帯	稼働日数	利用件数	利用率	利用者数
大ホール	午前	312	256	82.1%	212,995
	午後	312	271	86.9%	
	夜間	311	195	62.7%	
	〈計〉	935	722	77.2%	

室場名	時間帯	稼働日数	利用件数	利用率	利用者数
小ホール	午前	321	244	76.0%	32,118
	午後	321	286	89.1%	
	夜間	319	235	73.7%	
	〈計〉	961	765	79.6%	
展示室	午前	322	228	70.8%	32,951
	午後	322	262	81.4%	
	夜間	320	201	62.8%	
	〈計〉	964	691	71.7%	
A スタジオ	午前	1回2時間単位で1日5区分利用			20,235
	午後				
	夜間				
	〈計〉	1,621	1,094	67.5%	
B スタジオ	午前	1回2時間単位で1日5区分利用			11,187
	午後				
	夜間				
	〈計〉	1,618	1,240	76.6%	
合計					309,486

③大田文化の森

区は、ホール棟の特定天井等改修その他工事を実施しており、令和６年５月から休館中です。工事終了後の利用開始は、令和７年度を予定しています。

室場名	時間帯	稼働日数	利用件数	利用率	利用者数
ホール	午前	21	16	76.2%	2,995
	午後	21	17	81.0%	
	夜間	22	14	63.6%	
	〈計〉	64	47	73.4%	
展示コーナー	午前	331	144	43.5%	11,203
	午後	332	146	44.0%	
	夜間	335	127	37.9%	
	〈計〉	998	417	41.8%	
多目的室	午前	325	235	72.3%	35,447
	午後	333	285	85.6%	
	夜間	331	157	47.4%	
	〈計〉	989	677	68.5%	
第１集会室	午前	336	260	77.4%	7,380
	午後	338	313	92.6%	
	夜間	336	184	54.8%	
	〈計〉	1,010	757	75.0%	
第２集会室	午前	332	284	85.5%	9,960
	午後	335	265	79.1%	
	夜間	330	97	29.4%	
	〈計〉	997	646	64.8%	
第３集会室	午前	335	260	77.6%	8,896
	午後	334	254	76.0%	
	夜間	335	70	20.9%	
	〈計〉	1,004	584	58.2%	
第４集会室	午前	335	237	70.7%	8,555
	午後	336	262	78.0%	
	夜間	335	76	22.7%	
	〈計〉	1,006	575	57.2%	

室場名	時間帯	稼働日数	利用件数	利用率	利用者数
控室	午前	329	97	29.5%	672
	午後	327	98	30.0%	
	夜間	334	35	10.5%	
	〈計〉	990	230	23.2%	
和室	午前	336	317	94.3%	8,150
	午後	336	259	77.1%	
	夜間	335	110	32.8%	
	〈計〉	1,007	686	68.1%	
調理室	午前	333	204	61.3%	4,366
	午後	330	203	61.5%	
	夜間	333	48	14.4%	
	〈計〉	996	455	45.7%	
美術室	午前	332	132	39.8%	8,967
	午後	337	269	79.8%	
	夜間	333	25	7.5%	
	〈計〉	1,002	426	42.5%	
工芸室	午前	332	119	35.8%	2,188
	午後	330	168	50.9%	
	夜間	323	21	6.5%	
	〈計〉	985	308	31.3%	
第１音楽スタジオ	午前	１回２時間単位で１日５区分利用			7,980
	午後				
	夜間				
	〈計〉	1,665	1,327	79.7%	
第２音楽スタジオ	午前	１回２時間単位で１日５区分利用			7,227
	午後				
	夜間				
	〈計〉	1,661	1,030	62.0%	
第３音楽スタジオ	午前	１回２時間単位で１日５区分利用			6,383
	午後				
	夜間				
	〈計〉	1,682	1,221	72.6%	
第１スポーツスタジオ	午前	335	309	92.2%	10,787
	午後	333	267	80.2%	
	夜間	336	247	73.5%	
	〈計〉	1,004	823	82.0%	
第２スポーツスタジオ	午前	１回１時間単位で１日 13 区分利用			4,938
	午後				
	夜間				
	〈計〉	4,275	2,469	57.8%	
合計					146,094

区分	登録者数		貸出者数	貸出冊数			
	新規	累計	年計	図書	雑誌	AV	合計
図書コーナー	1,332	8,355	123,806	282,896	10,839	17,081	310,816

区分	利用者数			
	体験コーナー	インターネットコーナー	創作活動コーナー	年計
マルチメディア	2,409	6,329	158	8,896

事業	絵画等保管拠点の維持管理
概要	区が所蔵する絵画等について、保管環境の改善を図るとともに、効果的な活用を推進していきます。
実績	南馬込の区所有施設を区民寄贈絵画等の保管・展示拠点とする改修工事を実施しました。また、施設の名称を「大田区立馬込アートギャラリー」と決定しました。

事業	OTA ふれあいフェスタ
概要	人と人の輪を育むことを目的とし、区民が集い、楽しみ、ふれあえる機会を創り出し、区民の連帯意識を醸成するため開催しています。
実績	

開催日	11 月 2 日（土）、11 月 3 日（日）
来場人数	延べ約 155,000 人
会場	平和の森公園、平和島公園、大森ふるさとの浜辺公園

事業	文化祭
概要	区民による文化・芸術活動の発表・鑑賞・交流の機会を設け、文化・芸術活動と地域文化の推進を図ります。
実績	

開催日	事業名	開催場所	出場者数	来場者数
10 月 5 日（土）、10 月 6 日（日）	書道展	区民ホール・アプリコ	262 人	849 人
10 月 5 日（土）、10 月 6 日（日）	華道展	区民プラザ	94 人	510 人
10 月 11 日（金）～10 月 13 日（日）	絵画・写真展	池上会館	62 人	509 人
10 月 20 日（日）	詩吟剣詩舞大会	区民プラザ	89 人	139 人
10 月 27 日（日）	こと・尺八の集い	区民プラザ	113 人	140 人
11 月 3 日（日）	吹奏楽祭	区民プラザ	348 人	745 人
11 月 16 日（土）	芸術フェスティバル	区民プラザ	247 人	550 人
11 月 17 日（日）	洋舞サークルフェスティバル	区民ホール・アプリコ	290 人	1,316 人
12 月 1 日（日）	合唱祭	区民ホール・アプリコ	1,033 人	1,692 人
12 月 15 日（日）	郷土芸能大会	区民ホール・アプリコ	106 人	100 人
12 月 20 日（金）、12 月 21 日（土）	動画上映の集い	池上会館	114 人	239 人

２　郷土博物館

<table>
<tr><td>事業</td><td>常設展</td></tr>
<tr><td>概要</td><td>館内には、考古・歴史・民俗関係資料 59,530 点（令和７年３月末現在）を収蔵し、これらの資料を基礎とした研究の成果を常設展示しています。特集展示は常設展に関わるテーマについて、より詳しく特集した展示です。２つのケースを基本とした小規模な展示ですが、年に数回内容を替えることで、資料の活用を強化します。
（１）１階ロビー「特集展示」
考古・歴史・民俗・文化財の最新調査・研究成果を随時展示し、紹介しています。
（２）１階ロビー「姉妹都市（姉妹館）・友好都市」
大田区の姉妹都市（姉妹館）や友好都市などについて、パネルで紹介しています。
（３）２階情報検索システム「おおた歴史探検ガイド」
非接触型の情報検索システムを導入しました。
①嶺町・田園調布・鵜の木　②馬込・千束　③入新井・新井宿　④矢口
⑤池上・久が原・雪谷　⑥大森東・大森西　⑦六郷・蒲田東・蒲田西　⑧糀谷・羽田
（４）２階展示室「地中に刻まれた歴史」
大田区内の旧石器時代から中世の主要な遺跡を時代順に紹介し、寄贈資料や発掘調査等で出土した土器、石器、骨角器、金属器、木器、埴輪等の遺物ほか、竪穴住居や古墳の模型等も展示しています。
（５）２階展示室「農漁村の風景」
江戸時代に水田灌漑用に掘りめぐらされた六郷用水の主要水路網を描き入れた床地図と関連資料や台地を擁する村々で行われた畑作農業に関する資料、大森の名産であった大森麦わら細工、東京湾内でかつて盛んであった漁業に関する道具等を展示し、大田区域内の農漁村とそこに生きた人々の暮らしについて紹介しています。
（６）３階展示室「馬込文士村」
馬込・山王・中央を中心に大正末期から昭和初期にかけて、多くの小説家・詩人・芸術家たちが住み、後に「馬込文士村」と呼ばれるようになりました。彼らの作品や自筆原稿、遺品、当時の馬込の地形模型、馬込にあった小林古径邸の復元模型等を展示しています。また、高橋松亭・川瀬巴水の作品をはじめとする「新版画」の展示コーナーを設けています。
（７）３階展示室「近代化とまち」
近代市街地化の歴史について、まちづくりや田園都市株式会社の開発事業に関する資料や蒲田撮影所の模型、大田区の工業を支えてきた町工場の資料等を展示しています。また、昭和 22 年に誕生した大田区の歩みを写真パネルで紹介しています。
（８）３階「特集展示」
最新の調査や研究の成果を随時展示し、紹介しています。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>
<table>
<tr><td>開館日数</td><td>286 日（１日平均 51 人）</td></tr>
<tr><td>入館者数</td><td>14,635 人（大人 13,209 人、子ども 1,426 人）
（一般 98 団体 1,010 人、学校 11 校 486 人）</td></tr>
</table>
２階常設展示室の「地中に刻まれた歴史」コーナーでは、特別展や特集展示の成果を反映し、鉄鏃の変遷・横穴墓・遺跡地図のパネルを作製し、古墳時代と弥生時代の一部の資料を展示替えしました。
また、「農漁村の風景」のうち、「村の姿と暮らし」では武蔵野台地の東南端の一角に位置した馬込村を取り上げ、また新たに「いざ！相州大山へ」の小コーナーを設け、関連資料を展示しました。
３階の常設展示室の「馬込文士村」コーナー内の新版画を紹介するコーナーでは、毎月川瀬巴水、高橋松亭の作品を展示替えしています。
このほか、「近代化とまち」コーナーに新一万円札発行記念として「渋沢栄一、街づくりの夢」のコーナーを設け、「大都市開発の時代」及び「戦争と暮らし」のコーナーの出品資料やパネルを一部展示替えしました。
また、「大田区のあゆみ」は「写真で見る大田区のあゆみ」として、大田区在住の写真家である石原裕之氏が撮影した写真を地域別に展示する通年企画コーナーとしました（第５弾は嶺町・鵜の木、第６弾は六郷・矢口）</td></tr>
</table>

	１階の特集展示コーナー ・「森本六爾、おおたの横穴墓を掘る～考古学者、森本六爾の野帳から２～」 ・「いざ！相州大山へ」 ・「御嶽神社の絵馬と彫刻」 ・「弓矢と大田区の遺跡」 ・「三団体の紹介」（企画展「博物館まなびの広場展」展示コーナーの一部として） ３階の特集展示コーナー ・「左内橋開通 150 年 六郷で多摩川を渡る」 ・「開校！！日本飛行学校」 ・「文化と昆虫」 ・「文化財写真パネル展」 ・「大田区立郷土博物館 友の会 考古の会」（企画展「博物館まなびの広場展」大田区立郷土博物館友の会展示コーナーの一部として）

事業	特別展・企画展
概要	特別展と企画展では、大田区に関わるテーマについて網羅的かつ深く掘り下げた展示を行っています。常設展示室の一部を大きく変更して行います。特別展は所蔵資料だけでなく、館外から借用するなど、大規模な展示を行います。また、企画展は館蔵資料を中心に、充実した展示を行います。 このような期間限定の展示を開催することで、郷土博物館に足を運んでいただき、大田区の様々な歴史について、区民の方に郷土の魅力を再発見していただくような展示を目指しています。
実績	【特別展：「矢を放て！～関東の弓矢、一万年～」】 弓矢は縄文時代の始まりと相前後して出現し、小動物の狩猟に適した道具として考案されたと考えられます。弥生時代以降は武器としての用途が重要になる一方で、武威を象徴する道具としての役割もありました。その後、戦国時代における鉄炮伝来により、長い射程を持つ実用的な武器としての重要性は大きく減退しますが、武術の一つである弓術や、神事における実演という形で、現在までその命脈を保っています。 大田区内でも、縄文時代から古墳時代までの弓矢に関わる資料が遺跡から出土し、文化財として継承されてきました。本特別展では、関東における弓矢の歴史を紐解き、関東周辺の考古資料の中に大田区の鏃を位置づける機会としました。会期中に講演会、遺跡歩き・まち歩き、展示解説、赤ちゃんと一緒に博物館へなどの催事を行いました。

開催期間	10 月 8 日（火）～12 月 1 日（日）
入館者数	延べ 1,883 人

催事

開催日	名称	内容	回数	募集人数	参加人数
10 月 19 日（土） 10 月 26 日（土） 11 月 2 日（土） 11 月 16 日（土） 11 月 30 日（土）	講演会	第 1 回「弓矢の誕生－有舌尖頭器から石鏃出現の意義を探る－」 講師：白石浩之氏（愛知学院大学名誉教授） 第 2 回「多摩川流域からみた縄文・弥生 南関東ヤジリ論－チャートと黒曜石、そして有機質素材をめぐって－」 講師：寺前直人氏（駒澤大学文学部教授） 第 3 回「古墳時代の弓矢文化－関東を中心にして－」 講師：杉山秀宏氏（群馬県埋蔵文化財調査事業団資料部資	5 回	各回 50 人	延べ 163 人

		料２課長） 第４回「日本古代･中世の弓箭の位置－軍陣使用を中心として－」 講師：近藤好和氏（有職故実研究家） 第５回「南関東の歩射と流鏑馬－オビシャ行事を中心に－」 講師：鈴木通大氏（大和市文化財保護審議会委員、東京都民俗芸能大会実行委員）			
10 月 14 日（月・祝） 10 月 27 日（日） 11 月 4 日（月・休）	遺跡歩き・まち歩き	第１回「多摩川台公園内の古墳をめぐる」 第２回「新田神社とその周辺をめぐる」 第３回「永寿院とその周辺の遺跡をめぐる」	3 回	各回 20 人	延べ 47 人
11 月 10 日（日） 11 月 24 日（日）	展示解説	特別展の展示解説	2 回	各回 20 人	延べ 50 人
11 月 7 日（木）	赤ちゃんと一緒に博物館へ	前半はねんじっこお話の会による手遊び・絵本の読み聞かせ、後半は特別展の展示解説	1 回	8 組	1 組

【企画展：「博物館まなびの広場展～三団体の活動と学習の成果（みのり）～」】
令和５年から同７年にかけて日頃郷土博物館を拠点に活動している「大田区立郷土博物館友の会」、「大森麦わら細工の会」、「馬込文士村ガイドの会」の三団体が周年を迎えました。これを機として開催した本展では、展示室を“まなびの広場”として、各団体のこれまでのあゆみと活動・学習の成果発表を行いました。

開催期間	1 月 21 日（火）～3 月 23 日（日）
入館者数	延べ 3,302 人

催事

開催日	名称	内容	回数	募集人数	参加人数
2 月 1 日（土） 2 月 9 日（日） 2 月 24 日（月・休） 3 月 1 日（土）	講演会	第１回「多摩川の筏流し（1）～江戸時代の材木の流通～」 講師：大田区立郷土博物館友の会分科会「水路の会」 第２回「江戸時代の東海道と旅・名所」 講師：山本光正氏（元国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学教授） 第３回「多摩川の筏流し（2）～筏道を歩く～」 講師：大田区立郷土博物館友の会分科会「水路の会」 第４回「凸凹地図で探る六郷用水」（博物館講座として実施） 講師：鈴木敬子氏（㈱東京地図研究社）	4 回	第1回30人 第2回40人 第3回30人 第4回40人	延べ 179 人

開催日	名称	内容	回数	募集人数	参加人数
1月26日（日） 2月2日（日） 2月16日（日） 3月2日（日） 3月16日（日）	体験会	第1回「麦わら細工のしおり作り」 講師：大森麦わら細工の会 第2回「土器の圧痕レプリカ体験～土器に残るタイムカプセル～」 講師：大田区立郷土博物館友の会分科会「考古の会」 第3回「オーブン粘土で作る縄文土器」 講師：大田区立郷土博物館友の会分科会「縄文土器づくりの会」 第4回「古文書を読もう」 講師：大田区立郷土博物館友の会分科会「古文書の会」 第5回「麦わら細工のしおり作り」 講師：大森麦わら細工の会	5回	第1回 出入り自由 第2回15人 第3回15人 第4回20人 第5回 出入り自由	延べ95人
2月15日（土） 3月8日（土） 3月9日（日） 3月15日（土） 3月16日（日） ※3月16日実施回は大雨のため中止	まち歩き	第1回「梅を訪ねて～馬込文士村から池上梅園へ～」 講師：馬込文士村ガイドの会 第2回「東海道のまち歩き　品川～平和の森公園」 講師：大田区立郷土博物館友の会分科会「江戸時代の交通と旅の会」 協力：大田・品川まちめぐりガイドの会 第3回「馬込四大詩人の足跡を訪ねて」 講師：馬込文士村ガイドの会 第4回「東海道のまち歩き平和の森公園～東海道かわさき宿交流館」 講師：大田区立郷土博物館友の会分科会「江戸時代の交通と旅の会」 協力：大田・品川まちめぐりガイドの会 第5回「遺跡の散歩道を歩く（馬込・山王地区）」 講師：大田区立郷土博物館友の会分科会「大昔の会」	5回	第1回30人 第2回25人 第3回30人 第4回25人 第5回15人	延べ78人
2月11日（火・祝）	実演と展示案内	大森麦わら編み細工の実演と展示案内 講師：大森麦わら細工の会	1回	出入り自由	30人

事業	博物館講座・体験学習会
概要	大田区の考古、歴史、民俗について学び、より理解を深めるため体験学習会等を開催します。

実績

【博物館講座】

開催日	名称	内容	回数	募集人数
9 月 14 日（土）	嶺の御嶽山の絵馬と建築	北嶺町の御嶽神社の調査から得られた成果を報告し、同社の絵馬と建築についての新たな知見を紹介した。 講師：松崎憲三氏（成城大学名誉教授）・田島太良氏（大田区教育委員会学芸員）	1 回	40 人

【夏休み体験学習会】

開催日	名称	内容	回数	募集人数
7 月 23 日（火） 8 月 21 日（水）	大森麦わら張り細工	染色した麦わらを切り張りして、参加者自身のオリジナルな作品づくりをする。 講師：藤塚悦司氏（大森麦わら細工の会）	2 回	各回 20 人
7 月 25 日（木）	麦わらのホタルカゴづくり	麦わらを使ってホタルカゴを作り、昔の郷土の産業や夏の遊びを振りかえる。 講師：藤塚悦司氏（大森麦わら細工の会）	1 回	20 人
7 月 26 日（金） 7 月 27 日（土）	勾玉づくり	滑石を研磨して、勾玉を作る。	3 回	各回 20 人
7 月 30 日（火）	オリジナル六郷のとんび凧づくり	「六郷とんび凧」の歴史を学び、オリジナルの凧を作る。 講師：六郷とんび凧の会	1 回	16 人
8 月 22 日（木）	麦わらのガラガラ鳴るおもちゃづくり	麦わらを使ってガラガラ鳴るおもちゃを作る。 講師：藤塚悦司氏（大森麦わら細工の会）	1 回	20 人
8 月 24 日（土） 8 月 25 日（日）	電動ヒコーキを飛ばそう	羽田空港の歴史を学び、電気エネルギーで飛行機模型を飛ばす。 講師：NPO 羽田航空宇宙科学館推進会議	2 回	各回出入り自由

【体験学習会】

開催日	名称	内容	回数	募集人数
5 月 12 日（日）	大森麦わら象嵌細工	大森麦わら細工の歴史を学び、張り細工の上級技法の一端を体験した。 講師：大森麦わら細工の会	1 回	16 人
7 月 6 日（土）	こどもペーパーグライダー教室	飛行機の飛行原理の講話、ペーパーグライダーキットの組み立て・テスト飛行を実施した。 講師：NPO 羽田航空宇宙科学館推進会議	2 回	各回 16 人
7 月 14 日（日）	大森麦わら編み細工	大森麦わら細工の歴史を学び、編み細工の制作方法を体験した。 講師：大森麦わら細工の会	1 回	16 人

【その他】

開催日	名称	内容	回数	募集人数
6 月 6 日（木）	赤ちゃんと一緒に博物館へ	前半はねんじっこお話の会による手遊び・絵本の読み聞かせ、後半は常設展「馬込文士村」の展示解説を行った。	1 回	8 組

事業	出張事業（郷土博物館）
概要	学芸員が要望に応じて館外に出張し、出張授業や講演会、展示等を実施します。
実績	【対象】小学校・中学校、区内施設等の関係機関 【回数】25 回 【参加者数】延べ 1,503 人（講演会 10 回 360 人、出張授業 12 回 1,087 人、遺跡見学会 2 回 56 人） 【出張展示】1 回 【実施内容】

開催日	名称	会場	参加人数	区分
4 月 14 日（日）	蒲田図書館関東大震災 100 年企画「関東大震災からの復興と郊外地おおたの都市化」	蒲田図書館	31 人	講演会
5 月 18 日（土）	親子で川瀬巴水の作品鑑賞（アトムズアカデミー）	郷土博物館	37 人	講演会
6 月 8 日（土）	座学とフィールドワークで学ぶ大田区学講座①【大田区の古代について学ぼう】	消費者生活センター	39 人	講演会
6 月 26 日（水）	総合的な学習の時間「麦はかせになろう」 （対象：馬込小学校 3 年生）	馬込小学校	127 人	出張授業
7 月 3 日（水）	地域学習「多摩川台公園内の古墳を学ぶ」 （対象：調布大塚小学校 6 年生）	田園調布せせらぎ館、多摩川台公園	67 人	出張授業
7 月 16 日（火）	総合的な学習の時間「麦はかせになろう」 （対象：馬込小学校 3 年生）	馬込小学校	127 人	出張授業
9 月 13 日（金）	おおたの未来づくり「今によみがえる麦わら細工～復活と創造」 （対象：東蒲小学校 6 年生）	東蒲小学校	40 人	出張授業
9 月 17 日（火）	総合的な学習の時間「伝えよう！大森麦わら細工」 （対象：山王小学校 4 年生）	山王小学校	138 人	出張授業
9 月 27 日（金）	総合的な学習の時間「伝えようわがまち馬込」 （対象：馬込第二小学校 6 年生）	馬込第二小学校	70 人	出張授業
10 月 17 日（木）	家庭科「あきと　なかよし」 （対象：山王小学校 1 年生）	山王小学校	125 人	出張授業
10 月 19 日（土）	カムカム新蒲田講座「渋沢栄一、理想のまちづくり―田園調布の開発―」	カムカム新蒲田	12 人	講演会
12 月 10 日（火）	総合的な学習の時間「大森貝塚についての調べ学習」 （対象：久原小学校 3 年生）	入新井第一小学校	3 人	出張授業
1 月 23 日（木）	社会科「大田区のうつりかわり」 （対象：糀谷小学校 3 年生）	糀谷小学校	95 人	出張授業
1 月 24 日（金）	社会科「大田区のうつりかわり」 （対象：高畑小学校 3 年生）	高畑小学校	145 人	出張授業
1 月 30 日（木）	生活単元学習「勾玉づくり」 （対象：矢口東小学校特別支援学級）	矢口東小学校	26 人	出張授業

開催日	名称	会場	参加人数	区分
2 月 11 日（火・祝）	大田地域遺産講演会「大田区と海苔の歴史～海苔養殖は大森から始まった～」	区役所本庁舎	50 人	講演会
2 月 13 日（木）	大田文化講演会「おおたの古墳の魅力」	大田区民ホール・アプリコ	93 人	講演会
2 月 20 日（木）	社会科「大田区のうつりかわり」 （対象：池雪小学校 3 年生）	池雪小学校	124 人	出張授業
2 月 25 日（火）	【区民企画・地域学講座】だけじゃない馬込・池上～みんなで発見！“お宝”さんぽ～「馬込・池上 成り立ちと変遷－村からまちへ－」	郷土博物館	21 人	講演会
2 月 27 日（木）	学芸員が語る夕べ「渡邊庄三郎と高橋松亭～新作版画から新版画へ～」	池上梅園	10 人	講演会
3 月 16 日（日）	第 12 回さくらフェスティバル「特別講演　大田区に架かる橋」	洗足区民センター	36 人	講演会
3 月 20 日（木・祝）	おおたの生き物はっけん隊　第 10 回「古墳ってなんだろう」	田園調布せせらぎ館、多摩川台公園	34 人	遺跡見学会
3 月 22 日（土）	全国邪馬台国連絡協議会「多摩川台古墳群の見学会」	多摩川台公園、浅間神社	22 人	遺跡見学会
3 月 22 日（土）	馬込文士村教養講座「馬込の文士・画家が見た大森」	馬込図書館	31 人	講演会
3 月 24 日（月）～4 月 4 日（金）	新版画バナー展示「春を寿ぐ」	区役所本庁舎	－人	展示

事業	学校見学（郷土博物館）
概要	小学校による郷土博物館への団体見学では、社会科見学・総合学習の一環として、学習内容に合わせて展示を説明します。また、職場体験やインタビューを希望する中学生、大学生による館内見学を受け入れます。
実績	身近な地域や大田区に関する学びの場と機会を提供することで地域学習と総合教育に貢献しました。 【対象】区内小学校・中学校・大学 【実績】小学校団体利用：３校 計 366 人　中学校職場体験：２校 計６人

事業	所蔵資料の活用
実績	・川瀬巴水絵葉書「水辺の風景」編増刷、販売…1,000 部 ・川瀬巴水クリアファイル「池上市之倉（夕陽）」増刷、販売…1,000 部 ・川瀬巴水壁掛カレンダー制作、販売…600 部 ・川瀬巴水絵葉書「写生帖」編制作、販売…1,000 部 ・川瀬巴水日めくり暦制作、販売…1,000 部 ・特別展「矢を放て！」展示図録制作、販売…1,000 部 ・特別展「矢を放て！」スケッチブック制作、販売…500 部 ・特別展「矢を放て！」ボールペン制作、販売…1,000 本 ・特別展「矢を放て！」手ぬぐい制作、販売…500 枚

事業	大森 海苔のふるさと館の運営（特定非営利活動法人　海苔のふるさと会業務委託）
概要	「大森 海苔のふるさと館」は、大田区沿岸の海苔づくりの歴史を伝える施設として、平成20年４月６日に開館しました。「大森およびその周辺地域の海苔生産用具」の名称で、国の重要有形民俗文化財に指定された881点をはじめとする海苔資料を保存・展示し、地域の人々と協働して海苔に関わる多彩な活動を行う博物館です。同館では、「海苔つけ」などの伝統技術の体験学習を通して、先人の知恵や歴史を伝えています。また、隣接する「大森ふるさとの浜辺公園」の環境を案内するビジターセンターの役割も併せ持っています。

実績

【開館日数】309 日

【入館者数】63,350 人（大人 40,931 人、子ども 22,419 人）（一般 161 団体 2,406 人、学校 65 校 4,532 人）

【催し物（体験学習会等）】

体験学習会は年間で 30 回実施し、参加人数は延べ 629 人でした。昨年度同様に、新型コロナウイルス流行前に近い募集人数に戻して実施しました。

内容	概要	会期	来場者数
初めての海苔つけ体験	昔ながらの方法で、乾し海苔作りを体験する。	8 回	第 1 回 20 人 第 2 回以降各回 30 人
緑のカーテンを編もう	海苔漁師の網づくりの技術を応用して、緑のカーテン（ネット）を編む。	2 回	各回 8 人
海苔でお絵かき「海藻おしばづくり」	海苔や身近な海藻を使って、自由に絵や文字を描いた海藻おしばを制作する。	2 回	各回 30 人
あみあみペットボトルホルダーづくり	海苔漁師の網づくりの技術を応用して、ペットボトルホルダーを制作する。	1 回	8 人
海苔を観察して調べよう	海苔の説明を聞いたり、記録映像を見たりして、昔の海苔の作り方や歴史を学ぶ。	1 回	10 組
浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集と観察をし、海の生き物の生態や環境を学ぶ。	2 回	各回 12 人
タペストリーをつくろう	海苔漁師が海で使用した結びの手法でタペストリー（壁掛け）を制作する。	1 回	20 人
自然素材でフォトフレームづくり	自然素材のヨシで海苔簀を編み、貝などで飾り付けしたフォトフレームを作る。	1 回	20 人
自由研究で海苔を調べよう	海苔の説明を聞いたり、記録映像を見たりして、昔の海苔の作り方や歴史を学ぶ。	1 回	20 人
海のくっつく生き物を観察しよう	フジツボやエビ、貝などに付着して生きる習性がある小さな海の生き物を観察する。	1 回	12 人
貝がら工作	紙箱に貝殻を貼り付けて、貝の水族館を制作する。	4 回	各回 30 人
海苔簀づくり	自然素材のヨシで、乾し海苔に使う海苔簀を編む。	2 回	各回 15 人
浅草海苔のふるさと大森を歩く	浅草海苔の一大生産地だった痕跡を探し、大森東地域の史跡や寺社などを巡る。	1 回	20 人
大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	東京の海苔づくりの歴史や作業を学び、乾海苔づくりを体験する。	3 回	各回 25 人

【企画展】

名称	内容	開催期間
冬の海と昭和の海苔養殖	海苔養殖の最盛期である冬の作業を、主に昭和時代の写真で振り返った。	4 月 1 日（月）～4 月 14 日（日）
竹ヒビから海苔網へ～現代の海苔養殖技術の黎明～	海苔網の導入による海苔養殖技術の変化や、海苔網による海苔養殖の方法について紹介した。	4 月 16 日（火）～8 月 18 日（日）

	名称	内容	開催期間
	「漁」のある風景	海苔養殖が行われていた昭和時代中期ごろまでの人々の暮らしや街の風景の写真を展示した。	8 月 20 日(火)～12 月 15 日(日)
	ノリノリくんと学ぶ大田区の海苔づくり	大田区の海苔養殖の歴史や、海苔養殖の１年間の作業を小学生にも分かるように紹介した。	12 月 17 日(火)～3 月 31 日(月)

事業	海苔の生育観察事業
概要	ふるさとの浜辺で海苔を育てて観察すること、往年の技術の継承と景観の再現を目的に、ふるさとの浜辺の浅瀬で実施します。
実績	鳥や魚による食害を防ぐネットを強化したことで、３年ぶりに収穫することができました。 この活動においては、協力者（元生産者）や、はまどの会（ボランティア）の協力を仰ぎました。 【活動日数】22 日間 【参加者数】延べ 115 人

事業	出張事業（大森 海苔のふるさと館）
概要	学芸員が要望に応じて館外に出張し、体験学習会、まち歩き、講演会等を行います。
実績	海苔つけの指導や海苔養殖の出張授業を行い、児童たちの学びを深めることができました。 【対象】小学校 【回数】５回 【参加人数】386 人

事業	学校見学（大森 海苔のふるさと館）
概要	大森 海苔のふるさと館の見学に際し、社会科見学・総合学習の一環として、学習内容に合わせて海苔の歴史や道具について説明します。学年によっては「海苔つけ体験」の体験学習も実施します。
実績	展示解説や海苔つけ体験の指導は大森 海苔のふるさと館の職員が担当しました。大田区立小・中学校に加え、区外小学校、高等学校等の見学を受入れました。 【対象】小学校・中学校・高等学校・大学・大学院 【実績】65 校 4,532 人

３　勝海舟記念館

事業	勝海舟記念館の運営
概要	勝海舟記念館は、国登録有形文化財である旧清明文庫の保存・活用及び勝海舟の想いを伝える記念館として令和元年９月７日に開館しました。 令和６年度の来館者数は 12,311 人（開館日数 295 日、１日平均 41 人）で、累計来館者数は 89,936 人となりました。令和７年度は、年３回の企画展及び特別展を開催するほか、区内外各所及び近隣施設と連携・協働し、記念館の PR 及び来館促進に資する取り組みをさらに進めます。

実績

【魅力ある展示】

内容	会期	来館者数	ギャラリートーク
企画展「静慮と奔走の三年間」	令和６年３月 15 日（金） ～7 月 7 日（日）	5,237 人	5 月 19 日（日）　11 名 6 月 22 日（土）　13 名
特別展「第２回収蔵資料展　守り伝える海舟の歴史遺産」	7 月 12 日（金）～ 11 月 10 日（日）	3,357 人	8 月 17 日（土）　9 名 10 月 20 日（日）20 名
企画展「勝家昔日譚 海舟へと至る、悠久の歴史」	11 月 15 日（金）～ 3 月 9 日（日）	3,579 人	12 月 14 日（土）15 名 2 月 2 日（日）　25 名

【勝海舟記念館開館５周年記念事業】

内容	概要
5 周年記念講演会の開催	絵画修復家を講師に招いた講演会「海舟ゆかりの絵画～その魅力と保全の意義～」を開催し、絵画修復への思いや当館収蔵資料の魅力について貴重なお話を伺いました。参加人数：51 名
本庁舎でのパネル展	9 月 6 日（金）から 9 月 9 日（月）まで区役所本庁舎 1 階ロビーにて、開館以降の企画展及び特別展で使用したポスターを掲出し、過去の企画展を振り返るパネル展を開催しました。
横断幕の掲出	9 月 1 日（日）から 9 月 10 日（火）まで区役所本庁舎にて横断幕を掲出し、JR 蒲田駅利用者から見えるよう開館 5 周年を PR しました。

【ミュージアムグッズの拡充】

内容	概要
新商品の作成	海舟ゆかりの「印章」や「梅」をモチーフにしたポチ袋（3 枚セット）や硯箱にも使用されている「麒麟」を印字したうちわ（2 種類）を作成しました。

【広報の促進】

内容	概要
区及び関係媒体の活用	区報、区設掲示板、統合ポスター、区公式 X、デジタルサイネージ、シティナビゲーション、シティニュースにおいて、1 年を通じて記念館事業の PR を行いました。

【リピーター・ファン醸成のための取り組み】

内容	概要
春宵の響	5 月 16 日（木）に海舟ゆかりの地である洗足池で開催された春宵の響では、記念館及び企画展の紹介をしました。
平和の祭典	8 月 15 日（木）に多摩川河川敷で開催された平和の祭典（花火）では、開館 5 周年を記念し、大田区にゆかりのある勝海舟の紹介をしました。
文化財ウィーク	10 月 1 日（火）～11 月 30（土）に開催された文化財ウィークでは、2 か月にわたりポストカードの配布やのぼり旗の掲出等を行いました。また、初の試みとして「デジタルスタンプラリー」が実施され、記念館がスタンプラリーポイントに選ばれました。
おおた新春タウントレック	1 月 19 日（日）に開催された「おおた新春タウントレック」（大田区・タウントレック協会・東京新聞主催）では、記念館がチェックポイントのひとつとなり、多くの参加者が記念館を訪れました。

内容	概要
大田区ナナハト学校	区と包括連携協定を締結している(株)セブン-イレブン・ジャパンとの連携イベントで 2 月 22 日(土)、2 月 23 日(日)の 2 日間イトーヨーカドー大森店にて PR 活動を行いました。パネル展示、子ども向けのクイズやガチャガチャの実施、出張ミュージアムショップを出店し、記念館でしか購入できないオリジナルグッズの販売を行いました。
洗足池公園開園 60 周年記念イベント	3 月 20 日(木・祝)に洗足池公園開園 60 周年を記念し洗足池及びボートハウスで開催された記念イベントでは、記念館のパネル展示を実施し、記念館においては来館者に対して花の種を無料配布しました。

【勝海舟基金】

寄附受領	100 件、2,984,500 円の寄附を受領しました。
積立て及び取り崩し	積立額：1,671,470 円（寄附金及び利子） 取崩額：5,788,033 円（資料購入及び修復）
資料購入	350 点の展示用資料を購入しました。

Ⅳ　特別出張所

１　特別出張所の役割

（１）地域力の拠点

18 の特別出張所は、それぞれの地域の特色や魅力を活かしながら、安全で安心に暮らせるまちをつくり、地域課題の解決を図るため、地域力の拠点として、様々な団体と連携・協働し、地域を繋ぐコーディネーター的な役割を担っています。

（２）窓口サービス

窓口では、以下の業務を取り扱っています。

各種証明書の発行	住民票の写し、印鑑証明書、戸籍証明書、区民税・都民税の課税証明書・納税証明書、軽自動車の納税証明書
引越し・戸籍の届出、印鑑登録申請など	転入・転出・転居・世帯変更などの届出、出生・婚姻・死亡などの戸籍届、印鑑登録申請、妊娠届（母子健康手帳の交付）、原動機付自転車・小型特殊自動車の廃車届、国立・都立・私立学校への就学届
マイナンバーカードの受取など	マイナンバーカードの受取（蒲田西を除く）、住所・氏名等の変更、電子証明書の更新、暗証番号の再設定、申請書の作成
国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療など	国民健康保険・国民年金の加入・資格喪失の届出、国民健康保険資格確認書の再交付、後期高齢者医療資格確認書の再交付申請受付
税金などの払い込み	特別区民税・都民税、軽自動車税、国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料

（３）相談の入口・出口機能

重層的支援体制整備事業における相談の入口と出口の整備として、区民の困りごとに早期に気づき・つなぐしくみづくりや、地域社会から孤立することがないよう、地域力を最大限活かした包摂的な地域づくりの強化を検討します。

（４）地域事業への支援・協力など

分野	事業名	分野	事業名
防災	学校防災活動拠点、防災市民組織、総合防災訓練、市民消火隊訓練、ポンプ操法発表会、防災講習会	清掃	リサイクル活動、多摩川河川美化活動、「清潔で美しい大田区をつくる条例」における役割
募金活動	共同募金、歳末たすけあい募金	日赤	献血事業、病院奉仕事業
統計調査	調査員、指導員との連絡調整	選挙	不在者、期日前投票所、明るい選挙推進活動
福祉	地区民生委員・児童委員協議会	区報	自治会連合会による配布協定
遺家族援護	戦没者遺家族世帯の援護	公園	ふれあいパーク活動
各種イベント	子どもガーデンパーティー、平和のつどい、区民スポーツまつり、OTA ふれあいフェスタ、二十歳のつどい、リーダー講習会		
各種運動等	春及び秋の交通安全運動、秋の防火活動、防災とボランティア週間、社会を明るくする運動、クリーン大田強化月間、青少年をめぐる環境浄化活動		
各種委員等の推薦	民生委員・児童委員、青少年委員、スポーツ推進委員、統計調査員、選挙の管理者立会人、明るい選挙推進委員、こども SOS の家協力員		
各種表彰	区政功労者、自治会町会永年在職者、交通安全、青少年、防火活動功労		

（５）区民センター・文化センター等、所管施設の取り組み

地域未来創造部が所管する区民センター、文化センター、その他の施設は、区民の文化活動及び地域活動の促進を図り、文化の向上や地域の活性化に寄与するために設置され、地域の様々な世代・団体の方々に利用されています。

各施設が地域力の拠点として機能するため、利用者が快適に利用できるように適切な管理・運営に努めています。

２　18 色の特色ある地域づくり（令和６年度実績）

世帯数及び人口は特別出張所管内の令和７年４月１日現在

１　大森東特別出張所（大森南 4-9-1　℡3741-8801）

～人情と思いやりのあるまち　大森東～

☺世帯数：10,985　☺人口：19,598

●地域課題「人 ・地域・つながりづくり」の実現に向けた取組

地域包括支援センター大森東・大田区社会福祉協議会等と連携し、地域企業等の協力を得て、こども食堂の立ち上げ支援、フレイル予防教室や集いの場確保などの高齢者の居場所づくり支援を行いました。また、地域力推進地区委員会では、２部を活用し、外部講師を招いた講演会や子育て世代を中心としたリース作りの実施など、つながりづくりに向けた取り組みを行いました。

●地域防災の強化

学校防災活動拠点にて、避難所開設訓練や放水訓練を実施しました。全拠点において生徒・児童が参加し、二拠点では保護者も参加しました。

合同防災訓練：合同防災訓練　９月 29 日　参加者　約 180 人
大森第一中：８月 25 日　　参加者 15 人、12 月１日　　参加者 91 人
大森第四小：11 月 27 日　　参加者 121 人
中　富　小：１月 26 日　　参加者 67 人
大　森　東　中：２月８日　　参加者 55 人

●「第 11 回いつつのわふれあい祭り」の実施

10 月 20 日　来場者延べ約 17,000 名　　関係団体 65 団体

●青少年対策大森東地区委員会の取組

いつつのわふれあい祭り・OTA ふれあいフェスタへのブース出店や秋・春のバスハイク等の行事を実施しました。リーダー講習会では、幹事地区として、TOP 会を立ち上げ、ジュニアリーダーの意見をより多く取り入れる工夫をするなど、大森地域の受講生やリーダー、運営委員の交流を深める企画・運営を行いました。

２　大森西特別出張所（大森西 2-16-2　℡3764-6321）

～森と川と海のあるやさしいまち～

☺世帯数：37,104　☺人口：61,233

●第８回ふる浜まつり

５年振りの大森ふるさとの浜辺公園での開催となりました。35 のブースで出店があり、子供向けゲームコーナーや恒例の野菜等の販売など、子供から大人まで多くの来場者で賑わいました。

●避難行動要支援者対策の取組

避難行動要支援者名簿の地図化を行うほか、安否確認用タオルを各自治会・町会から要支援者に配布し、要支援者に自宅でタオルを掲出してもらい、自治会・町会が掲出有無で安否確認を行う「避難所行動要支援者タオル見守り訓練」を昨年度に引き続き実施しました。対象者のうち約半数の方にご参加いただきました。

●地域防災の強化

自治会・町会が中心となり、各学校防災活動拠点（計７拠点）において、受付設置、備品の組み立て、震災時における避難経路等を確認する訓練を行いました。

また、地域防災の担い手づくりの一環として開桜小学校、大森第八中学校の保護者等へ地域防災ボランティアの募集を行い、顔の見える関係づくりを試みました。

●緑づくりの拡充（地域の花：（春）菜の花、（秋）コスモス）

出張所の窓口、地域力推進地区委員・地区民児協委員等へ種などを配布しました。地域の皆様の協力により、季節により２種類の花の種を撒き、緑づくりの輪を継続しています。

●青少年交流の推進

子ども体験ツアーやバスハイク、クリスマス会等を実施し、子どもたちの交流を推進しました。

また、リーダー講習会の大森西地区担当回では、大森消防署の方を講師として招き「応急手当」を実施しました。

３　入新井特別出張所（大森北 1-10-14　Luz 大森１階　℡3761-5303）

～にぎわい・ふれあいのまち　入新井～

☺世帯数：25,136　☺人口：42,674

●特色ある地域づくり

７月：第 22 回入新井盆踊り大会
９月：山王町会・山王二丁目町会合同防災訓練（山王小学校）
９月：入新井地区九町会合同防災訓練（大森第二中学校）
10 月：入新井地区デイキャンプ

●地域防災の強化

各学校防災活動拠点にて、地域特性を踏まえた実践的な訓練を行いました。

①山王小学校：１月 26 日　　②大森第二中学校：11 月 10 日
③入新井第五小学校：11 月 23 日　　④入新井第一小学校：２月 25 日

●緑づくりの拡充（地域の花：日日草、シラン、パンジー）

５月に日日草の苗、12 月にパンジーの苗を各町会に配布し、緑づくりの輪を広げました。また，１月にスマイル大森にてパンジーの苗 360 個を配布しました。

●地域力向上の取組　【地域力推進入新井地区委員会分科会】

入新井地区の歴史に関する分科会

地区の歴史をまとめた「入新井歴史散歩マップ」を活用し、山王コースのまちあるきを開催した他、入新井第五小学校のコミュニティスクールと連携して入新井地区の歴史講座を行いました。

●地域の情報紙

①わがまちいりあらい（100～102 号）/年３回　2,400 部/号
②入新井青少対だより（37 号）/4,300 部

４　馬込特別出張所（中馬込 3-25-5　℡3774-3301）

～文化の香る坂道のまち～

☺世帯数：32,178　☺人口：57,576

●活発な防犯活動

馬込防犯連合会、NPO 馬込子まもり会、MSP（馬込セーフティパトロール）が定期的に管内をパトロールし、子どもたちの見守り活動を行っています。

●地域防災・学校の強化

地域が主体となって行う地域防災（二町会・三町会・五町会・九町会）が行われ起震車訓練や初期消火訓練等様々な訓練を通じて、参加者の防災意識の向上につながりました。また、管内７校（馬込小、馬込第二小、馬込第三小、梅田小、馬込中、馬込東中、貝塚中）において、受付訓練をはじめ、簡易トイレ等の防災備蓄物品の使用訓練、卓上訓練等を実施しました。

●地域の緑づくり（地域の花：日日草、ひまわり、シクラメン）

シクラメンの花や日日草の種を各町会に配布し、馬込のまちに彩りを添えました。

●特色のある地域づくり

第 34 回馬込文士村大桜まつりが開催され、俳句大会や流し踊り、阿波踊りが盛大に催されました。また、第 29 回馬込大盆踊り大会（７月）が貝塚中学校にて開催され、貝塚中学校の生徒による太鼓の演技や、「アンパンマン音頭」などの様々な踊りが披露されました。

●青少年交流の推進（青少年対策馬込地区委員会の取組）

青少年交流に資する事業については、８月には少年野球大会やソフトボール大会、10 月には小学生ドッジボール大会といった様々な催しが活発に行われました。

５　池上特別出張所（池上 1-29-6　℡3752-3441）

～歴史と人情のまち池上～　　☺世帯数：25,387　☺人口：45,814

●各種団体と連携した地域力の向上

池上地区自治会連合会（11 自治会・町会）、地域力推進地区委員会、地域情報紙「わがまち池上」編集委員会、青少年対策池上地区委員会、池上地区まちおこしの会、いけまちサポーター、池上会館カフェ「Try Many Times Club」などと連携し、地域の各種課題解決に向けた取り組みを行っています。

●地域防災力の向上

自治会・町会、各学校防災活動拠点（５校）、出張所、拠点配置職員が連携し、地震を想定した運営訓練や啓発活動（ポスター・チラシ配布）などを行い、地域防災力の向上を図りました。

●地域の緑づくり推進

池上地域の花である日日草とひまわりの苗・種を自治会・町会へ配布した他、池上エリアコンポストプロジェクトで作成した「たい肥」を、管内のコミュニティ・スクールに日日草の苗と一緒に配布して、地域の緑づくりを推進しました。

●特色ある地域づくり

ボッチャ交流会（青少対）を 10 月に実施、青少対と自治会町会との交流を図りました。また、青色回転灯パトロール車（池上地区まちおこしの会）による巡回活動を通年実施しました。

他にも例年、以下の活動を行っています。

８月：池上まつり
11 月：地域ふれあいコンサート（青少対）、池上文化センターまつり
12 月：スポ GOMI 池上大会
２月：梅まつり

６　新井宿特別出張所（中央 1-21-6　℡3776-5391）

～福祉・文化・医療のまち新井宿～　　☺世帯数：12,053　☺人口：21,972

●地域力推進新井宿地区委員会（新井宿モデル）

各委員の配席を固定席から改め、６名１テーブルの自由席に変更したことで、委員同士の距離が縮まり、一つのテーマについて話し合うグループ討議での話し合いがより活発になりました。

また、SDGs を推進し持続可能な取組とするため、会議用の資料をスクリーン投影し、紙配布の資料を大幅に削減するなどの、ペーパーレス化を進めております。

地域課題をより掘り下げて議論する分科会も実施され、健康・福祉分科会では、「福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー」の実施に向け、自治会・町会に加え、大森赤十字病院や福祉施設の管理者を含む委員が企画について議論しました。

教育・子育て分科会では、連合運動会の実施に向けた検討を行い、当日は既存の運動会とは一味違う競技で各チームが優勝を目指して競いました。イベントを通じて子ども達にスポーツの楽しさを伝える機会を創出することができました。

（分科会実施回数「健康・福祉」２、「防犯・防災」１、「教育・子育て」２、「地域の魅力創出・発信」２）。

●大田文化の森夏祭りの開催（７月 27 日　大田文化の森）

大田文化の森広場で、幅広い年代の方がやぐらを囲んで盆踊りを行いました。地域の方が考案した「わがまち新井宿音頭」は初心者でも覚えやすく、皆さんと楽しく踊ることができました。多目的室では歌声サロンを開催し、参加者は思い思いにカラオケや合唱を楽しみました。

●福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー（11 月３日　大田文化の森ほか）

大田文化の森、障がい者総合サポートセンター、新井宿福祉園の３つの会場で、イベントを開催しました。大田文化の森では、日本女子大学・黒岩准教授を招聘して「おもいやりとは何か」を考えるパネルディスカッションを行い、福祉について地域の方々に考えていただくきっかけとなりました。

7　嶺町特別出張所（田園調布本町 7-1　℡3722-3111）

～豊かな心、水と花の里　みねまち～

☺世帯数：14,299　☺人口：26,439

●災害に強いまちづくり

学校防災活動拠点本部の班長・副班長が中心となって訓練内容を策定し、避難所運営における班ごとの役割を再確認するとともに、使用する資機材やトランシーバーの操作訓練を行いました。補完避難所である田園調布高校の生徒も避難者役や各種訓練に参加するなど、小中高の学校と地域が連携した訓練を実施しました。

（日時：12 月 7 日、参加者：自治会・町会、区職員等（141 名）、田園調布高校（177 名））

●ぐるっと５町会！みねまちクイズラリー～嶺町地区自治会連合会主催～

５町会の各拠点にクイズ等を設けた“クイズラリー”形式で実施しました。地区の魅力が伝わるようなコース設定やクイズ、国際都市おおた大使によるパネル展示など好評をいただきました。

（日時：令和７年２月 10～16 日、参加者：515 人）

●みねまちポールウォークの会

気軽に運動を楽しめるイベントとして、参加者から好評をいただいています。令和６年度は新たに３つのコースを設けました。「元気で健康なまちづくり」を推進する活動として定着しています。

（年５回：みねまちポールウォークの会（室内講習及び近隣の散策）、参加者 123 人）

●みねまち親子木工教室 ～青少年対策嶺町地区委員会主催～

東調布建築組合の協力の下、令和６年度は「ファミリーラック」の製作を行いました。親子の絆を深めつつ、木工の楽しさと基本の技術を学ぶ体験を提供することができました。

（日時：令和６年７月 28 日、参加者：親子 45 組）

●地域の情報誌

＊さかみち(128 号～130 号)／年３回 計 32,100 部

＊青少対嶺風(26 号)／年１回 4,600 部

8　田園調布特別出張所（田園調布 1-30-1　℡3721-4261）

～水とみどりにめぐまれたまち～

☺世帯数：10,830　☺人口：21,713

●田園調布グリーンフェスタ

２月 16 日（日）に自治会連合会主催の第 17 回田園調布グリーンフェスタを開催しました。

「～体育施設完成祝い　心も体も健康に～」のテーマのもと、ボッチャをはじめとする自治会対抗競技を行いました。その他にもハンドボール体験や吹き矢、輪投げ、ふわふわ遊具体験等を実施しました。例年とは異なる時期での開催となりましたが、多くの方に参加していただきました。

会場：田園調布せせらぎ公園、田園調布せせらぎ館　来場者数：のべ 2,600 名

●自治会町会加入率向上の取り組み

自治会町会への新規加入者に対し、加入特典として防災関連グッズ（30 点セット・多機能防災ラジオ）を進呈しています。加入率向上のみならず、防災への関心を高め、家庭内備蓄推進などの相乗効果も図っています。

●地域防災の強化

自治会・町会と共に、各学校防災活動拠点において、避難者受け入れ訓練や学校防災活動拠点開設訓練等を実施し、地域の防災意識の向上と災害発生時の行動について共有しました。

①　田園調布小学校　12 月９日　　②　調布大塚小学校　10 月 20 日

③　田園調布中学校　10 月 12 日

●青少年交流の推進

青少対の活動を地域の方々に広く知っていただく事を目的に、田園調布せせらぎ館・せせらぎ体育施設において「青少対まつり」を開催しました。バスケ教室やボッチャ体験会、クリスマスグッズの手作り教室、謎解き体験を実施し、地域の子どもたちとの交流を深める貴重な機会にすることができました。

開催日時：12 月 22 日(日)　９時 30 分～14 時 30 分

参 加 者：のべ 300 名

９　鵜の木特別出張所（南久が原 2-30-5　℡3750-4241）

～水とみどりとふれあいのまち～

☺世帯数：15,351　☺人口：26,856

●学校防災活動拠点

令和６年度は地域団体と連携し、子どもから高齢の方まで幅広い世代の方が気軽に楽しく参加できる「体験型防災訓練」を実施しました。（嶺町小学校、大森第七中学校）

【訓練実績】

①嶺町小学校：10 月６日（日）　②千鳥小学校：11 月 23 日（土）

③東調布第三小学校：11 月 30 日（土）　④大森第七中学校：２月８日（土）

●人生 100 年時代の健康づくり事業（中学校生徒から地域への課題解決提案）

10 月から 11 月にかけて、大森第七中学校１年生が鵜の木地区の健康課題に関する総合学習授業を行い、最終日には６クラスの代表グループが地域の方や保護者向けに発表しました。提案内容は大森七中生と地域の方が一緒に実践を始めています。

●高齢者ふれあい事業（高齢者ふれあいフェスタ、ふれあい元気塾）

令和７年３月７日（金）、大田区民プラザにて『第 19 回高齢者ふれあいフェスタ』を開催しました。約 200 名と多くの方々が来場し、20 を超える企業・団体にブース出展のご協力をいただきました。鵜の木地区ではもみじ・鵜の木・千鳥の３つのふれあい元気塾が定期的に活動しています。

●地域情報のデジタル発信

９月から鵜の木地区町会連合会「LINE 公式アカウント」の運用を開始しました。町会連合会ホームページでの発信と合わせ、旬の地域情報をお知らせしています。

●地域情報紙「さんぽみち」の発行

SDGs・健康づくり・防災等をテーマに、地域のために活躍している方々を紹介しています。（令和６年度の発行実績：年３回、計 35,800 部）

●花苗配布事業（地域の花：ハイビスカス、ペンタス、パンジー　等）

６月にハイビスカス・ペンタス・日日草・マリーゴールド、11 月にパンジー・ビオラの花苗を町会へ配布し、地域の公園や花壇に植えていただき、地域を明るく彩りました。また、３月には地域包括たまがわと連携し、高齢者ふれあいフェスタで特養たまがわ産ひまわりの種を配布しました。

10　久が原特別出張所（久が原 4-12-10　℡3752-4271）

～歴史と緑とふれあいのまち～

☺世帯数：13,765　☺人口：28,566

●地域力推進久が原地区委員会の拡充

地域力推進久が原地区委員会では、各機関と連携しながら、フレイル予防体操（６月）や口腔ケア講座（２月）、食品ロス削減についての講演（３月）など多様なテーマに取り組みました。

また、地域の「防災対策」「防犯対策」として外部講師を招き、東京都の延焼シュミレーションと初期消火を学ぶ講話（９月）や最新の特殊詐欺手口に関する講演(10 月)を実施しました。

●地区自治会連合会の情報発信力強化への取組み

久が原地区自治会連合会では、「LINE 公式アカウント」により地域の情報を発信しています。地区連合会や単位自治会の行事、地域のおまつりや、防災情報、久が原の歴史など地域の方に役立つ情報を発信しています。これまで自治会活動の情報が届きにくかった 30 歳～50 歳の世代をはじめ、地域の多くの方に旬な情報をお知らせしています。

●第 35 回「ふれあい久が原大運動会」の開催【10 月 20 日　松仙小学校】

久が原地区最大のイベントで、今回で第 35 回となる歴史の長い運動会です。この運動会を地域の交流の場とし地域の方々が“ふれあう”ことで、地域の活性化や健康増進を目的としています。

当日は 1,300 人弱の参加があり、大人から子どもまで大いに盛り上がりました。

●地域防災力の強化

久原小学校と松仙小学校の学校防災活動拠点会議を３回ずつ開催し、１月 25 日(土)に２校合同の拠点訓練を松仙小学校で実施しました。当日は松仙小学校４年生の児童と保護者にも学校公開の授業の中で見学・体験をしていただき、従事者を含めて約 600 人の参加がありました。

11　雪谷特別出張所（東雪谷 3-6-2　℡3729-5117）

～心ふれあい歴史と出会う水と緑と坂のまち～　☺世帯数：32,156　☺人口：62,074

●地域の交流促進　～第 12 回さくらフェスティバル～

ボッチャ大会やサイエンスショー、古本市、フラワーアレンジメント体験教室など、各種イベントを開催しました。イベントの実施を広く PR するため、自治会連合会にもご協力いただき、地域全体で盛り上げることができました。【開催日：３月 16 日　参加者：1,284 名】

●公民連携による地域課題の解決に向けた取組　～雪谷地区自治会連合会講演会～

大塚製薬（株）のご協力のもと、自治会役員、地域力推進委員、行政機関を対象に「熱中症対策講座」を実施しました。熱中症を防ぐための食事管理や熱中症の応急処置法等をご説明いただき、参加者からは「暑い季節に向けて、学んだことを実践していきたい」などのお声を頂きました。

●地域防災の強化　～災害時物流訓練の実施～

小池小学校・大森第十中学校において、区で初めてとなる災害時物流訓練を実施しました。避難所開設後、受け取った支援物資を円滑に避難者へ届けるためには、どのような作業が生じるかを考える貴重な機会となりました。

●青少年健全育成の推進

野球大会や子ども夏のつどい、９自治会スポーツまつり、サッカー大会など、各種事業を実施しました。天候にも恵まれ、どの事業も大盛況となり、こどもたちの成長を地域一丸となって見守ることができました。

●身近な自然に親しむ活動　～小池公園分科会の取組～

水と緑の豊かな雪谷地区の魅力や自然の大切さを地域のこどもたちに伝えるため、小池公園を拠点に、活動を年３回（春、夏、秋）実施しています。令和６年度は、春に小池公園の池の生き物観察、夏に植物から抽出した染液を使用した草木染、秋に折り紙顕微鏡を使った観察会を行い、参加者からは「親子で貴重な体験ができた」などのお声を頂きました。

12　千束特別出張所（北千束 2-35-8　℡3726-4441）

～水と緑の美しいまち～　☺世帯数：14,299　☺人口：25,145

●自治会・町会加入促進

新たに自治会・町会に加入いただいた世帯を対象に、防災グッズを詰合せた「防災サコッシュ」を配布しています。自治会・町会加入と共に防災意識を高めていただけるものと期待しています。

●地域イベント

地域最大のイベントである千束地区自治会連合会主催の千束地区スポーツ祭りは、毎年大変好評で、令和６年度は 574 名の方にご参加いただきました。また、青少対ではガーデンパーティーをはじめとして、ホタル観賞会、子ども映画会、バスハイク、手作り教室、木工教室、マラソン大会等非常に多くのイベントを実施しており、多くの子どもたちの参加がありました。

●地域ふれあいの会

65 歳以上の方の交流を目的として音楽鑑賞や体操等を実施しています。令和６年度は、オカリナやマンドリンの演奏会、ボッチャ体験、クリスマスリース作り等を行い、５回の開催で延べ 148 人の方々に参加いただきました。

●地域防災力の強化に向けて

赤松小学校体育館を会場として、「首都直下地震への地域の備え」をテーマに、千束地区自治会連合会主催の防災学習セミナーを開催しました。当日は 72 名の参加者があり、「備蓄の再確認をしたい」「地域との協力が大切と感じた」等の声が聞かれました。地域住民の防災意識を高め、地域防災力の強化につながるよう、今後も継続してセミナーを開催するとともに、地域の防災訓練参加者へは防災用ホイッスルを配布するなど、参加促進にも努めていきます。

学校防災活動拠点の取組みでは、管内小中学校５校にて拠点会議を重ね、年１回又は２回の訓練を行い、災害に備えました。

13　糀谷特別出張所（西糀谷 2-14-13　℡3742-4451）

～防災のまち　福祉のまち糀谷～　　☺世帯数：23,446　☺人口：39,178

●特色ある地域づくり

６・１月：糀谷地区子ども地域会議

10 月：第 39 回子どもフェスティバル

11 月：糀谷の元気を進める会（第６回糀谷のまちウォークラリー及びコラボイベント）

１月：第７回糀谷クリーンピック

●地域防災の強化

11 月：糀谷地区一斉防災訓練（全自治会・町会が同日同時刻に実施）

学校防災活動拠点：北糀谷・東糀谷・糀谷小、羽田・糀谷中、コミュニティセンター羽田旭

●地域力向上の取り組み

８月：福祉のまち糀谷　第 10 回夏のおまつり

10 月：第 63 回糀谷地区連合運動会

●18 色の緑づくり

５月：各自治会・町会に日日草の苗を配布

●地域の情報誌

❋糀谷／年３回　計 46,500 部

❋青少対糀谷地区だより／年２回　各 3,000 部

●所管施設の取り組み

９月：糀谷文化センターまつり

14　羽田特別出張所（羽田 1-18-13　℡3742-1411）

～人情味あふれる自然豊かなまち～　　☺世帯数：22,749　☺人口：38,851

●特色ある地域づくり

自治会・町会や様々な地域団体と連携・協働しながら、各事業を通して羽田地区の魅力や地域防災の重要性を広く発信することが出来ました。

９月：大人向けに各家庭でできる家電の買い替えによる省エネ講習会を実施

10 月：第 13 回ふれあいまつり羽田・萩中（萩中少年公園野球場）

11 月：地域住民の個々の防災意識の向上・啓発を目的として、首都直下地震に備えたセミナーを開催。

11 月：委員の知見と懇親を深めるために所沢航空発祥記念館等を見学する日帰り研修を実施。

随時：各町会の魅力発信と町会加入者促進のために単会パンフレットの作成に取り組む。

●18 色の緑づくり

６月：季節の花の寄せ植え講習会　（地域情報コーナーにて開催）

６・11 月：羽田地区の花である日日草・ビオラなどの植替え実施　（萩中文化センター前）

10 月：キンセンカの育て方等の講習ブースをふれあいまつりに出展（萩中少年公園野球場）

●地域の情報紙

❋はばたき 20／年３回　各 16,200 部

❋青少対羽田ののぞみ／年１回　1,500 部

❋青少対てんくう／年２回　各 1,500 部

●所管施設の取り組み

９月 28 日、９月 29 日　:「第 35 回萩中文化センターまつり」を開催

10 月 26 日、10 月 27 日　:「第 39 回羽田文化センターまつり」を開催

15　六郷特別出張所（仲六郷 2-44-11　TEL3732-4885）

～水とみどりと防災のまち～　　☺世帯数：37,385　☺人口：68,161

●地域防災の取組み

① 地域と連携した防災訓練の取組み

場所：仲六郷小学校　日時：９月 21 日（土）　参加者：37 名（外国人の参加６名含む）

志茂田小学校　日時：10 月６日（日）　参加者：80 名

地域主催の防災訓練との同時開催や、外国人や小学生が参加する避難所の開設・運営訓練を実施しました。

② 学校防災活動拠点での実地検証訓練の実施

・六郷地区では令和６年６月から 12 月にかけて、避難所の開設・運営について実行性を持たせるため、現地で実地検証訓練を行いました。

・訓練で洗い出された、今後検討すべき課題や取り組むべき対策等をもとに、学校ごとの避難所運営マニュアルへ反映し、より実践的なマニュアル作成を目指します。

・水害時に、大きな被害が想定される六郷地区だからこそ、各学校防災活動拠点を「逃げ込む場所」から「災害に立ち向かう場所」へと意識し、自治会・町会、学校及び区の三者で協力していきます。

③ 避難行動要支援者支援勉強会

六郷地区では毎年、災害時に避難行動要支援者をどのように支援していくかを学ぶ勉強会を開催してきました。令和６年度も外部講師による講演を通じて、家庭での備えや自助・共助についての理解を深めました。

●18 色の緑づくりの取組み

春と秋の２回、地域の花の苗などを配布しました。また、各家庭でも育ててもらえるよう、出張所窓口においても種を配布しました。

16　矢口特別出張所（矢口 2-21-14　TEL3759-4686）

～二十一世紀桜と歴史が息づくまち～　　☺世帯数：24,260　☺人口：44,448

●地域の絆を深める

第十四回二十一世紀桜まつり　３月23日　大田区民プラザ　参加者：10,000名

矢口地域に親しまれている最大級のイベントが、新型コロナウイルス感染症及び施設休館に伴い、６年ぶりに本拠地である大田区民プラザで開催となりました。ステージ、イベントブース、模擬店、フリーマーケットを実施しました。

●歴史が息づくまち

双盤念仏特別公開　10 月 26 日　今泉延命寺　参加者 100 名

400 年前から矢口地区に伝わる都無形民俗文化財「双盤念仏」の特別公開を行いました。また、伝統文化財を継承していくため、学芸員による講話や演奏体験も行いました。

●地域福祉機能の向上「矢口たすけあいプラットフォーム」の整備

様々な地域団体が集まり、ともに地域課題解決に向けて考える「場」づくりを検討するため、令和４年度に「矢口たすけあいプラットフォーム」を発足し、令和６年度は周知活動、メンバーの新規加入促進、誰もが気軽に利用し、相談できる「居場所づくり」の検討などを行いました。

●「健康増進・フレイル予防」の取り組み

矢口シニアいきいきサロン’24　11 月 19 日　大田区民プラザ　小ホール　参加者 103 名

大田区出身のシンガーソングライター兼フィットネスインストラクター「amiIrie（アミアイリ）」さんを講師に迎え、昭和歌謡のライブと健康体操を実施しました。

歴史講座～新田神社の由来と歴史～の開催　２月 14 日　矢口特別出張所　大会議室　63 名

新田義興公がまつられている新田神社について、その由来と歴史に関わる講演を開催。多くの男性参加者にご参加いただいた。

ポールウォーキング体験会　多摩川七福神巡り：３月４日　参加者 26 名

●災害に強いまちづくり

矢口地区に特化した防災情報紙 YBT（YaguchiBousaiTalk）　７月と１月に全戸配布

各学校防災活動拠点の取り組み　防災講演会の実施、図上訓練、防災倉庫整理・移設など

17　蒲田西特別出張所（西蒲田 7-12-2　1 階　℡3732-4785）

～17 色に輝くまち～

☺世帯数：38,675　☺人口：63,951

●特色ある地域づくり

９月～２月：　かまにし絆プロジェクト
第１回～第５回：健康増進講座　　会場：新蒲田一丁目複合施設
第６回：腸活講座、体力測定　　会場：新蒲田一丁目複合施設
２月：　かまにしコンサート　　会場：新蒲田一丁目複合施設

●緑づくり（地域の花：マリーゴールド、ネモフィラ）

自治会・町会、学校、商店街等に地域の花の苗や種子を配布しました。

●地域力向上の取り組み

11～２月：　学校防災活動拠点訓練
矢口小学校、道塚小学校、矢口東小学校、相生小学校、安方中学校、
御園中学校、志茂田中学校、ふれあいはすぬま
（選挙と日程重複のため：おなづか小学校は中止）
10 月：　かまにしふれあい運動会　　会場：ふれあいはすぬま
12 月：　防災対策委員会講演会　　会場：蒲田西特別出張所
社会を明るくする運動蒲田西地区集会　会場：蓮沼中学校
通年：　各小学校区運動会等青少対事業実施（５か所）
８月：矢口東小学校区子どもまつり
９月：道塚小学校区スポーツフェスタ
10 月：矢口小学校区町会連合親子運動会、相生小学校区ハロウィンパーティー
11 月：おなづか小学校区ミニ運動会

●地域の情報紙

かまにし 17／年４回　120,000 部
根っこ（青少対）／年２回　各 2,500 部

18　蒲田東特別出張所（蒲田本町 2-1-1　℡5713-2001）

～文化と交通の要～

☺世帯数：30,765　☺人口：46,774

●緑づくりの拡充（地域の花：ヒマワリ、ユリオプスデージー、インパチェンス）

各自治会・町会や学校等に地域の花の種や苗を配布し、地域全体で花の育成に取り組みました。令和２年度からは地域の花に「インパチェンス」を加え、更に彩りのある地域を目指しました。

●地域防災の強化　「まもりんピック蒲田東～能登半島復興支援～」

災害に強いまちづくりと、「自助・共助」の促進を目指し、大田区産業プラザ Pi0 で 10 月６日（日）に開催しました。防災に関する講演会、東京消防庁音楽隊や地元小中学生による発表、防災に関する体験・展示、能登半島復興支援を目的とした北陸商品の物販ブース等、楽しみながら防災について学べるイベントとなりました。当日は約 1,500 人の方が参加し、地域の「顔の見える関係」構築につながりました。

●地域の交流促進　「ART FESTIVAL 蒲田東 2024」

地域のみなさんの手作りの作品を展示するイベントとして、蒲田東地区の自治会連合会とシニア会共催で、11 月 28 日（木）から二日間、大田区民ホール・アプリコで開催されました。平日開催にもかかわらず、約 600 人もの方が来場し、作品を鑑賞しながら交流を深める様子が伺えました。

●地域の情報紙

自治会・町会活動にも役立つ記事を多く掲載した地域情報紙「かまた東」を発行しました。
地域情報紙「かまた東」年２回（８月、２月）発行　25,000 部×２回

３　地域の緑づくり

環境対策課が所管する「18 色の緑づくり」支援事業として、各地区に花の種などを提供し、自治会・町会や商店会、ふれあいパーク活動団体等の協力により、特色ある緑づくりに取り組んでいます。

	地域の花	取組内容
大森東	ペチュニア キンセンカ	5 月にペチュニアの苗を、12 月にはキンセンカの苗を自治会へ配布し、各家庭や公園、管内の保育施設などで育成しました。開花の時期には、たくさんの美しい花々が地域を彩ります。
大森西	コスモス 菜の花	春～夏にコスモスの種を、秋～冬に菜の花の種を出張所の窓口、地域力推進地区委員・地区民児協委員等へ配布し各地で育てました。春は菜の花、秋はコスモスで地域を彩ります。
入新井	日日草 シラン パンジー	5 月に日日草の苗、12 月にパンジーの苗を各町会に配付しました。開花の時期には美しい花々が講演や各家庭の軒先を彩っています。また、１月にスマイル大森にてパンジーの苗 360 個を配布しました。
馬込	日日草 ヒマワリ シクラメン	12 月にシクラメンを、1 月にミニヒマワリと日日草の種を町会に配布しました。管内の公園等、馬込のまちに彩りを添えています。
池上	日日草 ヒマワリ	日日草とヒマワリの苗・種を自治会・町会へ配布した他、池上エリアコンポストプロジェクトで作成した「たい肥」を、管内のコミュニティ・スクールに日日草の苗と一緒に配布しました。
新井宿	アサガオ	自治会・町会を対象に 5 月にアサガオの苗の配布を行い、地域の緑づくりを促進しました。夏季、街角を鮮やかな青や紫で彩るアサガオは、地域に潤いをもたらしています。
嶺町	日日草 パンジー	6 月と 10 月に、各自治会・町会や近隣の施設（小・中学校、保育園、児童館等）に花苗を配布し、花壇などで育てました。春は日日草、秋はパンジーの花で地域を明るく彩っています。
田園調布	ナデシコ プリムラジュリアン ビオラ	6 月、7 月、10 月、11 月に地域の花であるビオラ、プリムラジュリアンを中心に花苗を希望する自治会・町会へ配布し、各家庭や自治会町会会館、児童館等で育て、地域を彩りました。
鵜の木	ハイビスカス ペンタス パンジー　　他	6 月にハイビスカス、ペンタス、日日草、マリーゴールド、11 月にパンジー、ビオラの花苗を町会へ配布し、花壇や公園などで育てました。また３月には地域包括たまがわと連携し、高齢者ふれあいフェスタで多摩川産ひまわりの種を配布しました。
久が原	パンジー ベゴニア ミニヒマワリ	6 月と 11 月に各自治会ごとに管内の公園・児童館等で苗植えを行いました。11 月の苗植えに久原小学校の 3 年生が地域学習で参加。地域の方との交流と活動を体験。 花も定着し、地域を彩り、季節を感じられると地域の方にもご好評いただいています。
雪谷	ペチュニア スイセン	春にはペチュニアの苗を、秋にはスイセンの球根を自治会を通じて配布し、地域の皆様に育てていただきました。出張所ではペチュニアの種・スイセンの球根の配布や、所内ギャラリーにて地区活動のパネル展示等を行うなど、雪谷の花を広く紹介しました。
千束	シバザクラ	10 月上旬から 11 月下旬に学校や駅前広場へシバザクラの苗を配布し、育てていただきました。4 月には鮮やかなピンク色で地域を彩っています。
糀谷	日日草	5 月に日日草の苗を各自治会・町会に配布し、町会会館や近隣の公園などで苗植えを行いました。地域の方々には、楽しんで育成に取り組んでいただき、お花は 9 月頃まで鮮やかに糀谷の町を彩っていました。
羽田	日日草 キンセンカ ビオラ	6 月に季節の花の寄せ植え講習会を行いました。また、萩中文化センター前の花壇にて地域の花である「日日草」を 6 月に植え、11 月に「ビオラ」の苗に植え替えを行いました。10 月はふれあいまつりにキンセンカの育て方講習ブースを出展しました。
六郷	マリーゴールド サクラソウ	6 月にマリーゴールドの苗と種、11 月には地域の花であるサクラソウの苗を町会に配布しました。また、各家庭でも育ててもらえるよう、出張所窓口にて種を配布しました。
矢口	ジニア 菜の花	5 月にジニア、10 月には菜の花の種等を配布し、矢口地域の花壇や公園などで育てました。拠点代表者会議を開催し、花の育成状況の発表等を行い、情報共有しながら地域の方々が取り組んでいます。春は菜の花、秋にはジニアが花を咲かせ地域を彩りました。
蒲田西	マリーゴールド ネモフィラ	5 月にマリーゴールドの種・10 月にネモフィラの種を出張所窓口と商店街に配布しました。2～3 月には町会の希望者に苗を配布し、地域の花を広めています。
蒲田東	ヒマワリ ユリオプスデージー インパチェンス	町会、学校、保育園、児童館等へ 5 月にヒマワリの種、9 月にユリオプスデージーの苗を配布、地域全体で育成に取り組みました。令和 2 年度からインパチェンスの育成も始めました。

4　地域情報紙

	誌名	発行	配布等
大森東	いつつのわ（133～136 号）	年 4 回　27,200 部	自治会配布　等
	青少対大森東だより（43 号）	年 1 回　4,500 部	学校、自治会配布　等
大森西	となりぐみ 21（125～128 号）	年 4 回　116,960 部	各自治会・町会、管内学校・施設　等
	青少対　明日に向かって	年 2 回　5,500 部	各自治会・町会、管内学校・施設　等
入新井	わがまちいりあらい（100～102 号）	年 3 回　各 2,400 部	町会長配布、町会回覧、学校配布　等
	入新井青少対だより（37 号）	年 1 回　4,300 部	学校配布、町会回覧　等
馬込	わがまちまごめ（131～134 号）	年 4 回　100,600 部	各自治会・町会等に配布
	青少対広報誌「きずな」（50 号）	年 1 回　6,500 部	各自治会・町会、管内小中学校、施設　等
池上	わがまち池上（133～136 号）	年 4 回　各 2,500 部	町会回覧、管内小中学校・公的機関配布　等
	青少対いけがみ（27 号）	年 1 回　6,000 部	自治会・町会、小・中学校、児童館　等
新井宿	わがまち新井宿（92～94 号）	年 3 回　39,300 部	各自治会・町会等に配布
	青少対広報誌「伸びよ子どもたち」（39 号）	年 1 回　4,000 部	管内小・中学校、自治会・町会等に配布
嶺町	さかみち（128～130 号）	年 3 回　各 10,700 部	各自治会・町会等に配布
	青少対嶺風（26 号）	年 1 回　4,600 部	管内保育園、小中学校、自治会・町会　等
田園調布	でんえんわがまち（135～138 号）	年 4 回　32,000 部	各自治会・町会、官公庁、管内小中学校　等
	青少対田園調布だより（41 号）	年 1 回　2,300 部	各自治会・町会、管内小中学校　等
鵜の木	さんぽみち（113～115 号）	年 3 回　35,800 部	町会長配布、町会回覧　等
久が原	くがはら（135～138 号）	年 4 回　43,600 部	管内公共施設・自治会配布
	青少対広報誌けやき（41 号）	年 1 回　4,000 部	管内保育園・小中学校・自治会配布
雪谷	ふれあい雪谷（135～138 号）	年 4 回　19,500 部	自治会、区民センター・児童館　等
	雪谷青少対だより	年 1 回　2,400 部	自治会、管内の消防署・警察署・学校　等
千束	ふるさと千束（68・69 号）	年 2 回　各 2,000 部	自治会・町会回覧、管内図書館、学校等配布
	青少対広報誌「千束だより」（45 号）	年 1 回　3,300 部	自治会・町会回覧、管内図書館、学校等配布
糀谷	糀谷（63～65 号）	年 3 回　46,500 部	各自治会・町会、管内学校・施設　等
	青少対糀谷地区だより（87・88 号）	年 2 回　各 3,000 部	各自治会・町会、管内学校・施設　等
羽田	はばたき 20（116～118 号）	年 3 回　各 16,200 部	町会長配布、町会回覧
	青少対羽田ののぞみ（55 号）	年 1 回　1,500 部	学校、町会等配布
	青少対てんくう（43・44 号）	年 2 回　各 1,500 部	学校、町会等配布
六郷	六郷わがまち（93 号・94 号）	年 2 回　各 26,900 部	各自治会・町会、管内学校・施設　等
	六郷青少対ニュース（107・108 号）	年 2 回　12,000 部	各自治会・町会、管内学校・施設　等
矢口	矢口トーク（129～132 号）	年 4 回　各 17,200 部	各自治会・町会、管内学校・施設　等
	わかくさ	中止	
	ユース瓦版（164～165 号）	年 2 回　各 3,500 部	各自治会・町会、管内学校
蒲田西	かまにし 17（90～93 号）	年 4 回　120,000 部	町会長配布、町会回覧　等
	根っこ（青少対）（48・49 号）	年 2 回　各 2,500 部	各自治会・町会、管内学校　等
蒲田東	かまた東（64・65 号）	年 2 回　各 25,000 部	各町会・自治会配布
	蒲田東青少対だより（65 号）	年 1 回　4,500 部	各町会・自治会、管内学校配布

５　地域の主な関係団体

特別出張所	大森東		大森西		入新井		馬込		池上	
	町会数　5		町会数　21		町会数　11		町会数　19		町会数　11	
団体名	委員数	会議数	委員数	会議数	委員数	会議数	委員数	会議数	委員数	会議数
自治会連合会		12		10		12		11		12
地域力推進地区委員会	54	8	58	9	44	9	50	9	49	10
青少年対策地区委員会	48	6	56	10	69	9	75	13	61	4
民生委員・児童委員	15	10	38	10	27	10	34	10	30	10
日赤地区連合分団		12		2		1		1		1
明るい選挙推進委員会	5	2	21	1	11	3	19	1	11	0

特別出張所	新井宿		嶺町		田園調布		鵜の木		久が原	
	町会数　8		町会数　5		町会数　9		町会数　7		町会数　5	
団体名	委員数	会議数	委員数	会議数	委員数	会議数	委員数	会議数	委員数	会議数
自治会連合会		10		12		10		10		10
地域力推進地区委員会	67	9	33	9	38	9	40	9	30	9
青少年対策地区委員会	51	6	35	11	49	6	47	17	44	14
民生委員・児童委員	16	10	18	10	15	10	18	10	17	10
日赤地区連合分団		2	15	2		10		1		1
明るい選挙推進委員会	8	2		1	9	2		0	5	0

特別出張所	雪谷		千束		糀谷		羽田		六郷	
	町会数　9		町会数　8		町会数　10		町会数　20		町会数　16	
団体名	委員数	会議数	委員数	会議数	委員数	会議数	委員数	会議数	委員数	会議数
自治会連合会		10		11		10		10		10
地域力推進地区委員会	53	9	34	9	36	10	61	3	60	9
青少年対策地区委員会	66	7	67	9	73	13	62	13	108	12
民生委員・児童委員	32	20	17	10	30	10	29	10	45	10
日赤地区連合分団		0		11		10		1		9
明るい選挙推進委員会	9	1	8	3	10	2	20	4	14	1

特別出張所	矢口		蒲田西		蒲田東	
	町会数　18		町会数　17		町会数　19	
団体名	委員数	会議数	委員数	会議数	委員数	会議数
自治会連合会		11		10		11
地域力推進地区委員会	40	10	68	10	53	8
青少年対策地区委員会	59	12	66	18	73	11
民生委員・児童委員	30	11	42	10	32	10
日赤地区連合分団		3		10		1
明るい選挙推進委員会	18	2		0	19	1

６　学校防災活動拠点・防災訓練

地区 （特別出張所）	学校防災 活動拠点数 （学校避難所）	学校防災 活動拠点 訓練回数	総合防災 訓練	その他 防災訓練 回数	補完避難所所管
大森東	4	5			
大森西	7（2）	9			都立美原高等学校、大森学園高等学校
入新井	4（1）	4			
馬込	7	9			株式会社リコー
池上	5	8			日体大荏原高等学校
新井宿	3	1			
嶺町	2	1			都立田園調布高等学校
田園調布	3	3			
鵜の木	3（1）	4			東京朝鮮第六幼初級学校、東京高等学校
久が原	2	1			都立雪谷高等学校
雪谷	5（3）	5		2	
千束	5	8			
糀谷	5（1）	7			
羽田	7	7			都立つばさ総合高等学校、羽田国際高等学校
六郷	9（1）	8			都立六郷工科高等学校
矢口	4（1）	6			区民プラザ
蒲田西	9	8			都立大森高等学校、東京実業高等学校
蒲田東	7	1			都立蒲田高等学校
合計	91	95	0	2	

※複数の地区が合同で実施している学校防災活動拠点訓練があります。

　この場合、地区外の学校防災活動拠点の数を（）内に記載しています。

※複数の自治会・町会が合同で実施している訓練があります。

7　特別出張所所管施設

	所管施設	主な利用実績	
大森西	大森西区民センター		
	大森東地域センター		
	美原文化センター	11 月 9 日・10 日	第 45 回美原文化センターまつり
	こらぼ大森		
入新井	入新井集会室		
	大森北四丁目複合施設		オープニングイベント
馬込	馬込区民センター		
	馬込文化センター	11 月 9 日・10 日	第 45 回馬込文化センターまつり
	南馬込文化センター	10 月 27 日・11 月 10 日	第 39 回南馬込文化センターまつり
	ライフコミュニティ西馬込	10 月 6 日	ライフコミュニティ西馬込フェスティバル
池上	池上会館	8 月 25 日	第 19 回池上まつり
	池上文化センター	11 月 8 日・9 日	第 41 回池上文化センターまつり
新井宿	新井宿会館		
	山王会館		
嶺町	嶺町文化センター	11 月 30 日・12 月 1 日	第 37 回嶺町文化センターまつり
	嶺町集会室		
田園調布	田園調布せせらぎ館	2 月 16 日	第 17 回田園調布グリーンフェスタ
久が原	雪谷文化センター	10 月 12 日・13 日	第 58 回ふれあいまつり 2024
雪谷	洗足区民センター	3 月 16 日	第 12 回洗足区民センターまつり　さくらフェスティバル
千束	石川町文化センター	10 月 20 日	第 37 回石川町文化センターまつり
糀谷	糀谷文化センター	9 月 28 日・29 日	第 44 回糀谷文化センターまつり
羽田	萩中集会所		
	羽田文化センター	10 月 26 日・27 日	第 39 回羽田文化センターまつり
	萩中文化センター	9 月 28 日・29 日	第 35 回萩中文化センターまつり
	コミュニティセンター羽田旭		
六郷	六郷文化センター	10 月 20 日	第 48 回六郷文化センターまつり
	六郷集会室		
矢口	矢口区民センター		
蒲田西	ふれあいはすぬま	10 月 20 日	かまにしふれあい運動会
蒲田東	北蒲広場		

第７　統計

１　区設掲示板、街路灯照明設備等の設置本数（令和７年３月末現在）

	区設掲示板	街路灯照明設備（基）
大森東	33	782
大森西	65	1,645
入新井	54	2,346
馬込	56	2,054
池上	60	1,459
新井宿	54	722
嶺町	39	1,010
田園調布	42	1,355
鵜の木	39	876
久が原	36	1,134
雪谷	54	2,041
千束	46	923
糀谷	41	1,320
羽田	49	1,437
六郷	66	1,896
矢口	45	1,187
蒲田西	71	1,866
蒲田東	46	1,475
合計	896	25,528

２　窓口収納事務関係取扱件数（令和６年度）

※証明閲覧等手数料は、住民票写し、戸籍証明、印鑑証明、地番証明及び税証明の手数料

	証明閲覧等手数料	区民税都民税	軽自動車税	国民健康保険料	後期高齢者医療保険料	介護保険料	弁償金（標識）	有償刊行物頒布料	合計
大森東	11,301	383	19	148	229	169	3	122	12,374
大森西	20,777	352	15	207	155	143	2	90	21,741
入新井	32,147	709	23	416	446	419	3	248	34,411
馬込	26,095	289	45	324	201	185	7	84	27,230
池上	19,294	407	31	289	255	196	7	29	20,508
新井宿	12,875	268	23	215	249	175	2	21	13,828
嶺町	18,449	320	31	229	204	217	4	3	19,457
田園調布	15,301	97	9	98	33	77	2	19	15,636
鵜の木	12,456	129	8	80	52	55	0	18	12,798
久が原	12,075	192	12	116	110	100	4	14	12,623
雪谷	21,431	264	27	140	114	76	3	1	22,056
千束	14,802	138	20	151	151	129	2	16	15,409
糀谷	15,354	325	27	262	290	283	5	0	16,546
羽田	15,626	334	42	242	276	218	1	27	16,766
六郷	28,402	1,027	50	895	918	843	8	19	32,162
矢口	15,230	257	21	247	252	245	2	62	16,316
蒲田西	14,400	383	26	332	395	361	1	12	15,910
蒲田東	14,408	176	12	157	131	96	1	5	14,986
合計	320,423	6,050	441	4,548	4,461	3,987	57	790	340,757

３　主な窓口事務件数（戸籍）（令和６年度）

※届出件数は戸籍事件表による

	出生届	死亡届	婚姻届	離婚届	転籍届	その他の届出等	戸籍証明	合計
大森東	43	106	16	6	15	13	1,657	1,856
大森西	87	58	39	11	34	39	2,790	3,058
入新井	134	676	58	34	62	50	5,265	6,279
馬込	197	438	91	32	81	48	3,579	4,466
池上	61	108	14	11	29	22	2,855	3,100
新井宿	98	69	17	15	30	31	2,364	2,624
嶺町	93	286	24	21	30	51	3,091	3,596
田園調布	50	15	24	10	27	16	3,197	3,339
鵜の木	55	15	19	10	24	20	2,168	2,311
久が原	56	34	14	5	37	22	1,647	1,815
雪谷	141	277	19	13	38	31	3,048	3,567
千束	88	64	56	15	36	30	2,486	2,775
糀谷	64	127	12	22	26	22	2,553	2,826
羽田	75	70	38	17	29	26	2,458	2,713
六郷	108	16	39	25	68	54	4,218	4,528
矢口	64	137	13	15	18	22	1,943	2,212
蒲田西	18	200	10	9	16	10	2,277	2,540
蒲田東	20	611	19	5	19	19	2,921	3,614
合計	1,452	3,307	522	276	619	526	50,517	57,219

４　主な窓口事務件数（住民基本台帳等）（令和６年度）

	住民基本台帳					印鑑登録証	印鑑登録証明	母子健康手帳交付	個人番号カード交付	合計
	転入届	転居届	世帯変更	転出届	住民票等発行					
大森東	552	326	68	300	4,838	449	2,817	53	－	9,403
大森西	2,236	729	132	889	9,635	1,053	3,706	129	1,944	20,453
入新井	2,058	905	241	1,382	14,593	1,514	6,793	211	1,440	29,137
馬込	2,876	691	265	1,392	11,984	1,606	6,212	256	2,629	27,911
池上	940	501	100	462	7,323	700	4,283	58	1,537	15,904
新井宿	536	365	85	417	5,847	499	3,172	79	－	11,000
嶺町	914	438	146	604	7,799	793	4,758	73	2,168	17,693
田園調布	916	170	80	553	5,796	781	4,237	67	－	12,600
鵜の木	802	335	58	348	5,554	496	3,146	53	－	10,792
久が原	708	355	87	373	5,365	592	3,245	66	1,586	12,377
雪谷	1,244	460	163	756	9,176	1,067	5,850	117	2,099	20,932
千束	1,438	343	113	884	6,372	920	3,580	120	1,631	15,401
糀谷	1,239	626	99	627	8,142	729	3,892	100	－	15,454
羽田	1,251	622	125	799	6,954	661	3,295	88	2,194	15,989
六郷	1,506	810	180	910	12,500	1,066	6,227	134	2,647	25,980
矢口	701	348	83	382	5,344	590	3,219	52	1,365	12,084
蒲田西	682	351	73	301	7,533	496	2,837	35	－	12,308
蒲田東	1,129	494	89	556	7,182	581	2,000	0	647	12,678
合計	21,728	8,869	2,187	11,935	141,937	14,593	73,269	1,691	21,887	298,096

５　マイナンバーカード対応証明書交付機における各種証明書発行件数（令和６年度）

（集計期間　令和６年４月１日～令和７年３月 31 日）

	住民票の写し	印鑑登録証明	納税証明	課税（非課税）証明	戸籍全部事項証明	戸籍個人事項証明	合計
大森東	115	131	2	30	52	8	338
大森西	385	288	23	123	129	19	967
入新井	1,109	901	46	283	334	59	2,732
馬込	1,504	1,158	78	436	420	95	3,691
池上	657	647	25	180	238	49	1,796
新井宿	342	354	26	140	125	33	1,020
嶺町	493	555	10	121	251	37	1,467
田園調布	593	540	21	124	155	38	1,471
鵜の木	168	216	15	40	67	10	516
久が原	1,050	951	34	335	433	73	2,876
雪谷	259	416	9	69	128	25	906
千束	746	609	31	191	251	31	1,859
糀谷	491	324	17	109	180	23	1,144
羽田	640	415	19	203	320	29	1,626
六郷	665	623	33	203	378	45	1,947
矢口	599	417	30	269	254	40	1,609
蒲田西	－	－	－	－	－	－	－
蒲田東	205	125	5	38	60	10	443
合計	10,021	8,670	424	2,894	3,775	624	26,408

※蒲田西特別出張所については、施設事情により未導入

６　区民センターの利用件数（令和６年度）

（１）大森西区民センター（大森西特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
体育室	405 ㎡	1,051
第二集会室	42 人	476
第三集会室	24 人	464
和室	12 人	385
レクリエーションホール	172 ㎡	1,029
広間（夜間のみ）	60 人	91
静養室（夜間のみ）	20 人	12
ゆうゆうくらぶ（人）	295 ㎡	12,769

（２）大森東地域センター（大森西特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	50 人	429
第二集会室	50 人	410
広間（夜間のみ）	70 人	4
静養室（夜間のみ）	30 人	16
ゆうゆうくらぶ（人）	321 ㎡	6,419

（３）馬込区民センター（馬込特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
体育室	252 ㎡	1,001
第一集会室	50 人	452
第二集会室	30 人	399
広間（夜間のみ）	80 人	26
静養室（夜間のみ）	40 人	10
ゆうゆうくらぶ（人）	265 ㎡	4,745

（４）洗足区民センター

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	40 人	846
第二集会室	40 人	761
体育室	648 ㎡	1,054
第一和室（夜間のみ）	12 人	19
第二和室（夜間のみ）	12 人	125
第三和室（夜間のみ）	15 人	49
第四和室（夜間のみ）	15 人	134
広間（夜間のみ）	85 人	115
静養室（夜間のみ）	25 人	56
ゆうゆうくらぶ（人）	405 ㎡	18,115

（５）矢口区民センター（矢口特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	30 人	399
第二集会室	30 人	464
体育室	626 ㎡	1,000
第一静養室（夜間のみ）	35 人	5
第二静養室（夜間のみ）	35 人	53
広間（夜間のみ）	95 人	21
スポーツスタジオ	40 人	843
レクリエーションルーム	30 人	912
多目的室	20 人	693
ゆうゆうくらぶ（人）	315 ㎡	13,707
温水プール・個人（人）	－	35,558
温水プール・団体数	－	606

※工事・定期点検による休館期間

・温水プール

令和７年１月 20 日～令和７年１月 31 日

（６）萩中集会所（羽田特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	50 人	607
第二集会室	50 人	496
第三集会室	50 人	520
体育室	300 ㎡	1,037
小体育室	71 ㎡	1,026
高齢者集会室（夜間のみ）	90 人	36
キッズルーム（夜間のみ）	30 人	20
ゆうゆうくらぶ（人）	267 ㎡	9,985

7　文化センターの利用件数（令和６年度）

（１）美原文化センター（大森西特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	50 人	836
第二集会室	25 人	461
和室	25 人	415
調理室	20 人	134
体育室	350 ㎡	1,397

（２）馬込文化センター（馬込特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	60 人	622
第二集会室	25 人	492
和室	30 人	427
調理室	24 人	74
体育室	406 ㎡	1,248

（３）南馬込文化センター（馬込特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	65 人	447
第二集会室	20 人	212
和室	30 人	379
調理室	25 人	26
体育室	346 ㎡	1,379

（４）池上文化センター（池上特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	65 人	971
第二集会室	28 人	957
和室	30 人	937
調理室	25 人	668
体育室	406 ㎡	1,412

（５）嶺町文化センター（嶺町特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	60 人	952
第二集会室	30 人	894
和室	25 人	838
調理室	25 人	592
体育室	370 ㎡	1,415

（６）雪谷文化センター（久が原特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	70 人	936
第二集会室	30 人	649
和室	30 人	553
調理室	24 人	397
陶芸室	28 ㎡	254
体育室	406 ㎡	1,358

（７）石川町文化センター（千束特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	70 人	690
第二集会室	40 人	403
和室	20 人	268
レクリエーションホール	185 ㎡	1,233

（８）六郷文化センター（六郷特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	30 人	474
第二集会室	54 人	642
和室	20 人	237
調理室	25 人	181
体育室	391 ㎡	1,315

（９）糀谷文化センター（糀谷特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	50 人	600
第二集会室	30 人	391
和室	30 人	275
調理室	24 人	160
陶芸室	15 人	509
体育室	399 ㎡	1,119

※空調工事による利用休止期間

・体育室　令和６年６月 25 日～令和６年８月９日

（10）羽田文化センター（羽田特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	37 人	473
第二集会室	31 人	189
第三集会室	25 人	258
第四集会室	25 人	331
体育室	499 ㎡	1,322

（11）萩中文化センター（羽田特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	60 人	731
第二集会室	27 人	639
和室	25 人	407
調理室	20 人	511
体育室	332 ㎡	1,344

８　その他の施設の利用件数（令和６年度）

（１）こらぼ大森（区民利用施設）（大森西特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
多目的室	48 人	590
いろいろルーム	98 ㎡	543

（２）入新井集会室（入新井特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
大集会室	90 人	625
小集会室	40 人	707

（３）大森北四丁目複合施設（大森北区民活動施設）（入新井特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
多目的室（大）	430 人	172
多目的室（小）	15 人	108
音楽スタジオ	30 人	226

（４）池上会館（池上特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
松の間	14 人	391
竹の間	14 人	407
紅梅の間	50 人	380
白梅の間	50 人	366
展示ホール	200 人	635
第一会議室	140 人	439
第二会議室	70 人	430
第三会議室	54 人	506
集会室	400 人	562
和室	12 人	470
多目的ホール	70 人	507
小研修室	18 人	519
中研修室	45 人	518
視聴覚室	81 人	423
調理室	54 人	209

（５）ライフコミュニティ西馬込（馬込特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
音楽スタジオ	10 人	663
健康室	30 人	1,063
調理室	25 人	392
第一和室	20 人	448
第二和室	20 人	518
会議室	20 人	485
特別研修室	90 人	472
トレーニングルーム（人）	145 ㎡	13,843

（６）山王会館（新井宿特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
集会室	25 人	236
地域交流室	30 人	124

（７）新井宿会館（新井宿特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
集会室	90 人	423
和室	20 人	616

※空調機改修工事による利用休止期間
・令和６年 12 月７日～令和６年 12 月９日
※変電設備改修工事による休館期間
・令和６年 12 月 11、12 日
・令和７年２月 12、13 日

（８）嶺町集会室（嶺町特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
大集会室	120 人	811
小集会室	60 人	824

（９）田園調布せせらぎ館（田園調布特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一多目的室 A	60 人	967
第一多目的室 B	60 人	922
第二多目的室	8 人	996
第一集会室	24 人	882
第二集会室	24 人	831
第三集会室	24 人	770
第四集会室	24 人	947
和室	8 人	971
体育室 A	400 ㎡	396
体育室 B	400 ㎡	358
トレーニングルーム（人）	190 ㎡	7,056

（10）コミュニティセンター羽田旭（羽田特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
体育室	405 ㎡	959
ふれあいルーム	145 ㎡	368
集会室 A	20 人	250
集会室 B	20 人	115

※床補修工事による利用休止期間
・体育室　令和６年７月 22 日～令和６年８月 12 日

（11）六郷集会室（六郷特別出張所）

	定員規模	６年度（件）
第一集会室	96 人	610
第二集会室	96 人	500

（12）ふれあいはすぬま（蒲田西特別出張所）

	定員 規模	６年度 （件）
体育館	630 ㎡	1,195
運動場	2,640 ㎡	524
第１集会室	20 人	858
第２集会室	20 人	890
第３集会室	30 人	1,158
第４集会室	20 人	1,065
第５集会室	40 人	1,147
和室	20 人	746

（13）北蒲広場（蒲田東特別出張所）

	定員 規模	６年度 （件）
スポーツ室	537 ㎡	1,020
運動場	1,521 ㎡	357
集会室１	20 人	800
集会室２	30 人	477
多目的室	30 人	1,161

令和７年７月発行

令和７年度　地域未来創造部　事業概要

編集・発行　大田区地域未来創造部

大田区蒲田五丁目 13 番 14 号
電話　03-5744-1222（直通）

地域産業委員会 令和７年７月 15 日
地域未来創造部 資料４番
所管　地域力推進課

臨海斎場の火葬料・使用料について（予定）

１　主旨

（１）火葬料について

臨海斎場の火葬料は、適正な利用者負担の観点のもと、３年ごとを目途に定期的に見直しを図ることとしている。火葬事業にかかる経常経費等をもとに火葬料を算定した結果、令和８年度からの料金改定を行わないこととする。

（２）使用料について

令和７年度に火葬待合室を改修し、式場としても利用できるようにすることから、この新たに貸し出すことになる式場（以下、新式場という）の使用料を設定するために、臨海部広域斎場組合において条例を改正する。

２　新式場に係る使用料の設定について

（１）既存の式場使用料から面積比で求めた額を 100 円単位で四捨五入。

新式場分　区内 35,000 円　区外 105,000 円（68.70 ㎡　30 席）

既存式場　区内 56,000 円　区外 170,000 円（110.3 ㎡　70 席）

（56,000 円÷110.3 ㎡≒507.7 円/㎡　　507.7 円×68.7 ㎡≒<u>34,879 円</u>）

（２）区外料金は、上で算定した料金の３倍とし、105,000 円とする。

３　今後のスケジュール（予定）

令和７年８月	臨海部広域斎場組合議会に条例改正案の提案
９月以降	組織区内区民へ周知（臨海斎場ホームページより）
	事業者への周知（臨海部広域斎場組合より）
令和８年１月下旬	火葬待合室（４室）　式場として利用開始

地域産業委員会 令和７年７月 15 日
地域未来創造部 資料５番
所管　地域力推進課

地域力応援基金助成事業（スタートアップ助成・ステップアップ助成）について

地域力応援基金助成事業（スタートアップ助成・ステップアップ助成）について、大田区区民協働推進会議から区長に対し推薦のあった下記の５事業を令和７年度新規助成事業として決定した。

１　事業目的

地域力応援基金助成事業は、区民や事業者からの寄付金を原資とした基金を活用し、区民活動団体が実施する公益的で社会貢献につながる事業に対して助成金を交付することで団体を支援するとともに、区民活動における協働を推進することを目的とする。

２　助成内容

（１）スタートアップ助成

・設立間もない区民活動団体の事業に助成

・申請時において設立から６年未満の団体が対象（１団体あたり 20 万円上限）

◆助成決定事業３事業（申請事業数 12 事業）

	団体名	事業名 主な事業内容	交付額	評価のポイント
1	ほっとスマホステーション	**ほっとスマホステーション** 区民、特に高齢者を対象に、スマホに関する出張講座・リハビリ講座を行い、デジタルデバイドの是正とフレイル予防を図る。	130,000 円	高齢者のデジタルデバイトを無くしていくための取組みは大変重要であり、スマホを使える高齢者が増えることで行政の DX 化や効率化が期待できる。
2	tanetomi(種と実)	**地域花壇から生まれた新しいまちづくり** 身の周りにある自然を体感する機会や、住民間でコミュニケーションを取る機会を創出することで、区民にとって住みやすいまちをつくる。	200,000 円	まちを歩き、まちの未来を考えることは、子どもの地域への愛着心を養うことから、地域の担い手確保に期待できる。
3	一般社団法人 和文化研究さくら	**和文化研究さくら** 日本文化や伝統技能を体験する場を提供し、文化の継承と多世代交流を図る。	200,000 円	日本文化や伝統技能に触れる貴重な機会を提供する良い取組みである。連携・協働の重要性を感じ、他団体とのコラボレーションを行っている点を評価する。

（２）ステップアップ助成
・区民活動団体が一定の取組を進めている事業に助成
・申請時において設立から２年以上の団体が対象（１団体あたり 40 万円上限）

◆助成決定事業２事業（申請事業数４事業）

	団体名	事業名 主な事業内容	交付額	評価のポイント
1	ちょうちょとおはな	**ちょうちょとおはな** 死産や後期流産の早い週数で産まれた小さな赤ちゃんを抱っこするための「ゆりかご」を病院に寄贈し、赤ちゃんを亡くしたご家族やケアする医療従事者の心の安定を図る。	200,000 円	赤ちゃんを亡くしたご家族のみならず、当事者をケアする医療従事者も視野に入れた良い取組みである。
2	池上こどものまちコアメンバー会議	**池上こどものまち** 小中学生が主体的にまちを知り、まちとは何かを考え、大田区の地域資源や特性を活かした「まちづくり」を体験することで、子どもの健全育成を図る。	400,000 円	子どもが「まちづくり」について自ら考え、主体的に行動する機会は貴重であり、良い取組みである。

３　助成決定団体への交付決定通知等

◆７月上旬　交付決定通知発送
◆７月下旬　区報、大田区ホームページで公表

地域産業委員会 令和７年７月 15 日
地域未来創造部 資料６番
所管　羽田特別出張所

大田区コミュニティセンター羽田旭指定管理者募集について

令和８年度に開設を予定している大田区コミュニティセンター羽田旭について、区民による主体的な文化活動、生涯学習並びに地域産業との相互交流及び連携を推進し、地域力の向上を図るとともに、区民に憩いの場を提供する設置目的を実現するため、指定管理者制度を導入する。

１　対象施設

大田区コミュニティセンター羽田旭（大田区羽田旭町７番１号）

２　指定期間

令和８年４月１日から令和 11 年３月 31 日までの３年間（予定）

３　選定方法及び手続き

公募型プロポーザル方式

選定委員会を設置し審査する。

４　主な手続き日程（予定）

項　　目	日　　程
募集要項の公表	令和７年７月 16 日（水）
事業者説明会	７月 31 日（木）
応募受付	９月３日（水）～９月 10 日（水）
選定委員会の開催	９月中旬から 10 月中旬
指定管理者の指定（議案上程）	第４回定例会

地域産業委員会 令和７年７月 15 日
産業経済部　資料２番
所管　　産業振興課

SDGs未来都市

View 2025

―大田区産業経済部事業概要―

産業経済部では、主に上記の目標を中心に区内産業振興に取り組みます

令和７年７月

大 田 区　産 業 経 済 部

公益財団法人 大田区産業振興協会

一般社団法人 大田観光協会

目　　次

産業経済部ホームページ一覧 1
事業種別索引 2
第１　産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人大田観光協会の組織図 8
第２　産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人大田観光協会の事務分掌 10
第３　産業経済部の目標 13
第４　庁議指定事務事業及び部局重要事務事業 15
第５　産業経済部の事務事業 16
１　産業振興課 16
（１）産業振興担当（管理） 16
（２）産業振興担当（調整・工業） 18
（３）産業振興担当（商業） 30
（４）産業振興担当（観光） 38
（５）産業振興担当（イノベーション） 45
（６）融資係 48
第６　公益財団法人大田区産業振興協会の事務事業 50
１　総務部 50
（１）総務人事係 50
（２）財務経理係 50
（３）知的財産・経済安全保障担当 50
２　商いサービス部 52
（１）商いセールス係 52
（２）PiO フロント・勤労者共済係 54
３　産業者支援部 56
（１）イノベーション係 56
（２）国内取引支援係 59
（３）産業人財係 61
（４）広報情報係 63
４　MICE・施設部 65
（１）施設・観光係 65
５　羽田 PiO 推進部 66
（１）PiO PARK・海外取引支援係 66
第７　一般社団法人大田観光協会の事務事業 70

第８　参考資料 75
産業経済部予算 75
公益財団法人大田区産業振興協会予算 76
一般社団法人大田観光協会予算 77
事業開始年度一覧 78
大田区産業プラザ施設概要 88

産業経済部ホームページ一覧

【産業経済部】　大田区ホームページ＞産業振興

https://www.city.ota.tokyo.jp/sangyo/index.html

【（公財）大田区産業振興協会】https://www.pio-ota.jp

【PiOPARK ピオパーク】https://piopark.net/

【（一社）大田観光協会】https://www.o-2.jp/

【大田区 MICE 専用サイト】https://ota-mice-guide.jp/

事業種別索引

商店街・商い・サービス業

概　要	事業名	頁
商店街の装飾灯整備及び維持管理費の助成を受けたい	商店街装飾灯整備助成	30
商店街の法人化の支援、運営経費の助成をしてほしい	商店街振興組合等推進事業	31
商店街環境の整備、地域の特性を活かした商店街のイベント等に対して助成してほしい	商店街チャレンジ戦略支援事業	31
商店街が行う地域商業活性化のための事業経費を助成してほしい	商店街活性化推進事業	33
自分のお店に多くのお客様に足を運んでもらいたい 新規顧客を獲得したい	おおたイチ推しマルシェ	52
商品やサービスの改善や商談の機会を増やしたい 商業の専門相談員に相談したい	商い・サービス産業取引相談	53
店舗改装や新たな取り組みにかかる費用の補助を受けたい	銘店への道事業	53

農業

概　要	事業名	頁
区内農業者による農作物の品評会と即売会の開催	野菜と花の品評会	35
区民農園を利用したい	区民農園	35
区内農業者と行政の情報連絡の場を設ける	農業関連事業	35

公衆浴場（銭湯）

概　要	事業名	頁
公衆浴場の施設改善工事や備品購入等の経費を助成してほしい	公衆浴場施設改善助成	36
東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部への助成	公衆浴場事業助成	36
公衆浴場のあり方を検討する協議会の開催	公衆浴場対策研究会	37

その他の業種

概　要	事業名	頁
一般家庭や店舗、工場等を改築、修繕する際に、安心できる区内の業者さんを紹介してほしい	建築工事あっせん相談事業	16
災害等緊急事態時における事業継続に備えたい	企業防災普及啓発事業	17

概　要	事業名	頁
区内の中小企業を応援したい	産業のまち未来基金	17
大型店舗が近隣地域の生活環境に与える影響について対策を立ててほしい	大型店対策	34
集団住宅等建設時に、商店会との調整ごとについて知りたい	商店街区における集団住宅等建設事業に係る調整	34
区内の計量器使用事業所を事前に調査する	計量器定期検査の事前調査	37
内職求人を頼みたい、内職をしたい	＋WORK（内職あっせん・相談）事業	61

ものづくり拠点の形成

概　要	事業名	頁
貸工場および工業用地の物件情報を知りたい	貸工場・工業用地マッチング事業	23
新しい集合型工場を建設したい	ものづくり工場立地助成、工場アパート立地助成	23
操業拠点の新増設、移転、脱炭素化または生産性向上に寄与する建物付帯設備の整備にかかる経費を助成してほしい	大田区企業立地・ＳＤＧｓ促進助成金	24
防音、防臭、防振等の操業環境改善のための工場の改修、移転にかかる経費を助成してほしい	ものづくり企業立地継続補助金	24
区内の企業立地促進を図るための区内外企業、空き工場・工業用地への調査等	企業立地促進サポート業務	24
マンション建設時に、周辺工場との調整ごとについて知りたい	工業地域・準工業地域における集団住宅等建設事業に係る調整	26
工場アパートを使用したい、社宅を探している	工場アパート等	26

人材育成・確保

概　要	事業名	頁
次世代の人材育成を目的とする各種講習会やセミナーに参加したい 工業団体が企画する人材の育成、確保を目的とする講習会や研修会の経費の支援を受けたい	次世代ものづくり人材育成事業	21
人材確保のために奨学金返還支援事業を活用したい	ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援	21
ものづくり体験と小中学校等のものづくりの発表を組み合わせたイベント	ものづくり教育・学習フォーラム	22
事業承継について、各種専門家から支援を受けたい	事業継承の取組	22
	ビジネスサポートサービス	55
大田区内企業への就職を考えている 大田区が運営する求人サイトに求人情報を掲載したい	おしごとナビ大田区	62

概　要	事業名	頁
おおた少年少女発明クラブに入りたい（小学生対象）	中小企業次世代ものづくり人材の育成事業（おおた少年少女発明クラブの支援）	62
次世代を担う後継者や若手人材を確保したい	若者と中小企業とのマッチング事業	62

創業・相談事業・コンサルティング

概　要	事業名	頁
IT・デジタルを活用した経営課題解決に取り組みたい	デジタル化支援事業	18
創業支援を受けたことの証明書について知りたい	特定創業支援等事業（証明）	21
創業、新分野進出に向けて活動拠点を探している	大田区南六郷創業支援施設	28
区内で創業するにあたり、創業相談、セミナーや試作品製作など専門的な支援を受けたい	創業者支援事業	51 56
ホームページ・カタログなどPRツール作成の支援を受けたい	中小企業情報化支援	55
企業経営、創業、販路拡大、技術の向上、契約や会計等、ビジネスに関する様々な相談を専門家にしたい	ビジネスサポートサービス	55
大田区産業プラザにある経営相談窓口で各団体の取組について知りたい	ＰｉＯフロント	55 56

取引拡大

概　要	事業名	頁
加工や製品の発注先を見つけたい、仕事を受注したい	受・発注相談	59
自社の加工技術を全国の大手・中堅企業にPRし、商談につなげたい	大田区加工技術展示商談会	60
展示会の出展を支援してほしい	国内見本市への出展支援	60
社会的な課題を解決する自社商品・サービスのPRをする展示会に出展したい	Meet New Solution in OTA	60
空港に近い場所で、様々な交流・イベントに参加したい。また、各種設備の利用や、専門のコーディネーターから経営に関する支援を受けたい	羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業	67
海外取引の相談 海外取引セミナー eコマースの活用をしたい 海外の市場性や投資環境を確認したい 海外企業とのビジネスマッチングを図りたい 企業カタログ、マニュアル等の取引書類を翻訳してほしい タイや中国等、海外の市場開拓に興味がある	海外取引相談事業	68
海外での見本市に出展し市場開拓や技術移転をしたい	海外見本市への出展支援	69

資金調達の支援

概　要	事業名	頁
低利の事業資金融資をあっせんしてほしい	中小企業融資あっせん制度	48
マル経融資の利子補給を受けたい	小規模事業者経営改善資金(マル経融資)利子補給制度	49
新創業融資の利子補給を受けたい	新創業融資資金利子補給制度	49
事業承継・集約・活性化支援資金の利子補給を受けたい	事業承継資金利子補給制度	49

技術・研究開発

概　要	事業名	頁
知的財産を活用したい	知的財産・シンクタンク事業	50
自社で取り組む新製品・新技術の開発にかかる経費を助成してほしい 新製品・新技術評価と、販路拡大を図りたい	新製品・新技術開発支援事業	57
他の区内企業と連携して新事業に取り組みたい 医療・介護福祉・航空宇宙などの成長産業で自社の技術を活かし参入したい 研究に関わる試作品・製品を区内企業に作ってほしい	次世代産業創造・産業クラスター形成事業	57
全国の大学及び区内外の研究開発型企業と新事業に取り組みたい	おおた研究・開発フェア	58

情報提供・ネットワーク

概　要	事業名	頁
大田区と他都市の連携について知りたい	産業のまちネットワーク推進協議会	19
大田区の産業について知りたい	大田区産業振興普及事業	64
	産業情報誌の発行	64
	産業情報受発信事業	64
大田区の工場や加工技術などを知りたい、小中学生の社会科見学に大田区の工場に行きたい 全国・海外から大田区の企業を見学・視察をしたい	大田区産業振興普及事業	64

調査事業

概　要	事業名	頁
大田区の産業に関する景気動向が知りたい	区内経済状況調査	20
大田区内のものづくり企業等の受発注の現況やものづくりを取り巻く変化等、ものづくり産業等の実態を把握したい	大田ものづくり産業等実態調査	20

産業プラザの管理運営

概　要	事業名	頁
展示ホールや会議室等の利用について知りたい	産業プラザ展示ホール等の管理運営事業	65
産業プラザ周辺のおすすめの飲食店や宿泊施設を知りたい	施設貸与に伴う付加サービス事業	66
産業プラザの管理業務について知りたい	産業プラザ施設維持の管理運営	66

表彰事業

概　要	事業名	頁
永年にわたり区内中小企業に勤務した従業員の功績をたたえ、その労をねぎらうことにより、勤労意欲を増進させ、優秀な従業員の育成を図りたい	中小企業従業員永年勤続等感謝状贈呈	16
人に優しい（働きがいのある労働環境）、まちにやさしい（周辺環境との調和）、経営や技術に優れた工場を「優工場」に認定し、その中で特に優秀な工場を表彰し、町工場の良さを多くの方に知ってもらいたい	工場表彰制度（優工場）	63

勤労者福祉

概　要	事業名	頁
自社の福利厚生制度を充実したい 中小企業の勤労者として福利厚生事業を利用したい	勤労者支援 （加入促進事業、福利厚生事業、給付事業）	54 55

観光振興事業

概　要	事業名	頁
区内事業者向けの観光関連支援情報を収集したい	大田区ウェルカムスポットへの支援	38
観光案内サインについて知りたい	観光案内サイン推進事業	38
大田区が発行する公式観光ガイドブックがほしい	大田区観光紹介用パンフレット	39
観光にかかる自治体間連携について知りたい	広域連携事業	39
区内のMICE施設やその周辺情報を知りたい	MICE推進事業	40
大田区観光PR特使の活動について知りたい	大田区観光PR特使事業	40
インバウンド集客に取り組みたい	地域と協働した観光魅力発信事業	41
大田区の観光PRを目的とした、観光展示物の利用やノベルティの提供・活用について知りたい	観光PRのための展示及びPRツール等の制作	41
羽田空港主体の「空の日」イベントに関する区の取組について知りたい	「空の日」に実施する羽田空港イベントとの連携事業	41

概　要	事業名	頁
大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」を活用したい	大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の活用	42
大田区観光情報センターについて知りたい	大田区観光情報センターの運営	42
大田区観光情報コーナー（羽田空港内）について知りたい	羽田空港観光情報コーナーの運営	43
（一社）大田観光協会の事業や、同協会への支援内容について知りたい	一般社団法人　大田観光協会補助事業	43
大田区でCM・ドラマ・映画等の撮影がしたい（区内撮影に伴う撮影支援・協力内容について知りたい）	大田区における撮影支援・協力	44
水辺を観光資源として活用している事業を知りたい	水辺の賑わい事業	70
くりらぼ多摩川について知りたい	くりらぼ多摩川運営事業	70
おおたオープンファクトリーについて知りたい	おおたオープンファクトリー	71
回遊性向上に向けたイベントと観光まちづくりを担う人材の活用を知りたい	区内の回遊性向上促進事業	71
大田観光協会のHPやSNSについて知りたい	大田観光協会ホームページ管理運営	72
区の歴史や文化など幅広い分野を学ぶ大田区学について知りたい	大田区学	73
区内のイベントや観光スポット等の魅力を紹介する情報誌・観光マップについて知りたい	観光パンフレット等の発行	73
品川区と共有する観光資源等を活用した地域PR事業を知りたい	品川区・大田区広域連携事業	74

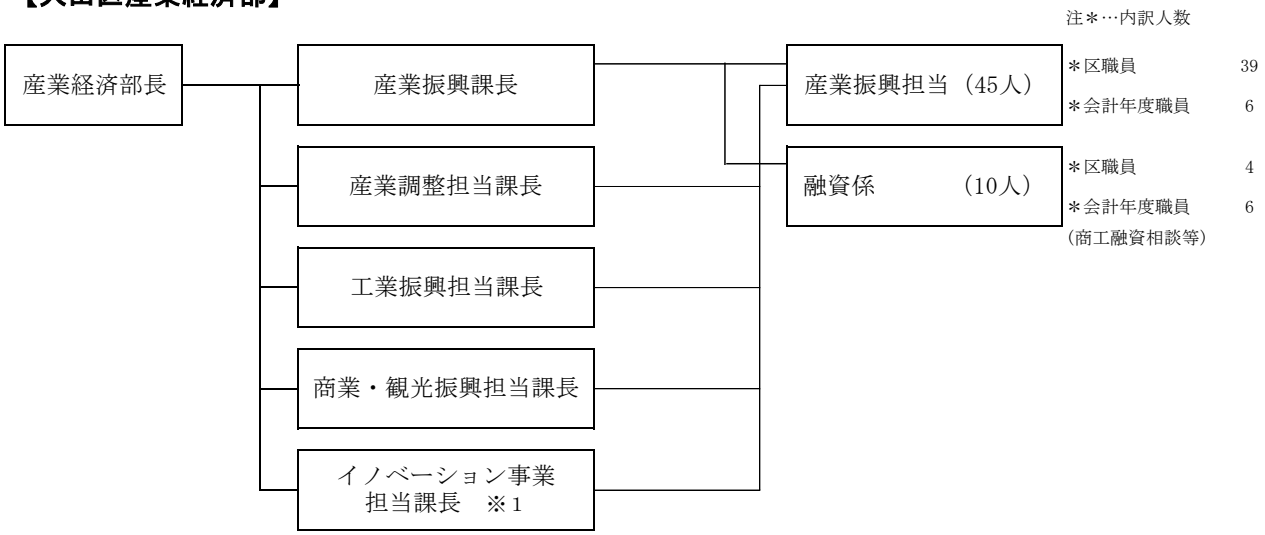
新産業創造・発信拠点の形成

概　要	事業名	頁
羽田イノベーションシティについて知りたい	羽田イノベーションシティにおける公民連携の推進	45
HANEDA×PiO、PiO PARKについて知りたい	産業交流拠点の形成	45
実証実験の実施や成果等について知りたい	イノベーション創出の推進	46

令和７年４月１日現在

第１　産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人大田観光協会の組織図

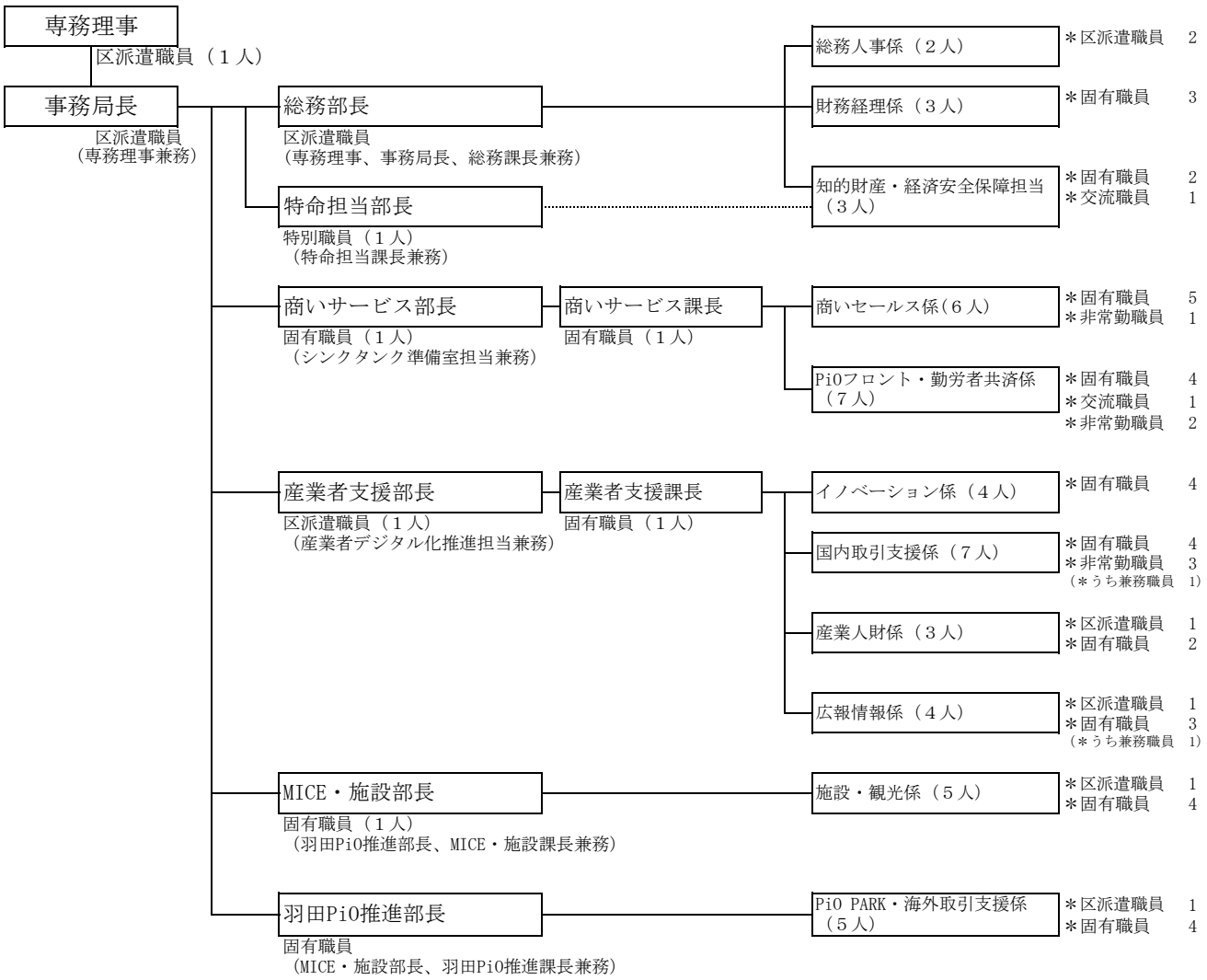
【大田区産業経済部】



部　61人
　職員　49人
　会計年度職員　12人

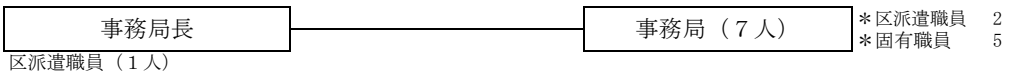
※１　イノベーション事業担当課長：まちづくり推進部副参事（産業調整担当）兼務

【公益財団法人大田区産業振興協会】



産業振興協会　54人
　区派遣職員　　7人
　固有職員　　38人
　特別職員　　1人
　非常勤職員　　6人
　交流職員　　2人

【一般社団法人大田観光協会】



大田観光協会　８人
　区派遣職員　　３人
　固有職員　　５人

第２　産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人大田観光協会の事務分掌

１　産業経済部

◆産業振興課

≪産業振興担当≫

(1) 部の政策立案、事業執行方針、事業計画及び事業の進行管理に関すること。
(2) 部の事務事業の改善に関すること。
(3) 行政組織及び職員定数に関する部の総括に関すること。
(4) 部の事業に係る調査研究に関すること。
(5) 議会に関する他部との連絡調整に関すること。
(6) 部の庶務に関すること。
(7) 予算及び決算に関する部の総括に関すること。
(8) 他部との連絡調整に関すること（他係に属するものを除く。）。
(9) 危機管理に関すること。
(10) 議会に関する部の総括に関すること。
(11) 産業振興施策に関すること。
(12) 観光振興施策に関すること。
(13) 産業関係団体との連絡調整に関すること。
(14) 観光関係団体との連絡調整に関すること。
(15) 産業振興に係る調整に関すること。
(16) 産業活性化の連携に関すること。
(17) 公益財団法人大田区産業振興協会に関すること。
(18) 産業プラザの施設管理に関すること。
(19) 建築工事あつせん相談事業に関すること。
(20) 大型店対策に関すること。
(21) 公衆浴場関連施策に関すること。
(22) 産業支援施設の管理運営に関すること。
(23) 産業交流施設等に関すること。
(24) 空港跡地利用（羽田空港跡地第１ゾーン整備事業第一期事業に限る。）に関すること。
(25) 課内他係に属しないこと。

≪融資係≫

(1) 中小企業等の金融に関すること。
(2) 融資相談に関すること。

２　公益財団法人大田区産業振興協会

◆総務部
≪総務人事係≫
(1) 協会の経営計画に関すること
(2) 事業計画及び事業報告に関すること
(3) 理事及び評議員会の任免に関すること
(4) 職員の任免、服務、給与、研修及び福利厚生に関すること
(5) 公印等の管守に関すること
(6) 諸規程、要綱に関すること
(7) 文書管理に関すること
(8) 協会の名義使用に関すること
(9) 区関係機関、その他関係団体等との連絡調整及び各種調査に関すること
(10) その他、他部、課及び係に属さないこと
≪財務経理係≫
(1) 協会の財務等に関すること
(2) 基本財産及びその他財産の管理に関すること
(3) 金銭及び物品の出納保管に関すること
(4) 収支予算及び収支決算、その他経理に関すること
(5) 契約に関すること
(6) 物品等の検査に関すること
(7) 理事会及び評議員会に関すること
≪知的財産・経済安全保障担当≫
(1) 知的財産の戦略的活用・保護に関すること
(2) 客員社会連携CD制度による新事業創出に関すること
(3) 区内企業の知的財産活用促進に関すること
(4) 経済安全保障に基く区内企業のリスク低減に関すること
(5) スタートアップ誘致に関すること

◆商いサービス部
≪商いセールス係≫
(1) 商業・サービス産業の取引相談、販路拡大及びPRに関すること
(2) 銘店への道（旧 繁盛店創出）事業に関すること
(3) おおたイチ推しマルシェ（旧 おおた商い・観光展）実施に関すること
≪PiOフロント・勤労者共済係≫
(1) 経営総合相談窓口の設置・運営に関すること
(2) ビジネスサポートサービスに関すること
(3) 中小企業情報化支援に関すること（PiOデザイン工房）
(4) 創業者支援事業に関すること（創業相談窓口）
(5) 勤労者共済事業の運営及び会員の管理に関すること
(6) 福利厚生事業に関すること
(7) 給付事業に関すること

◆産業者支援部
≪イノベーション係≫
(1) 新製品・新技術の開発支援に関すること
(2) 次世代産業創造・産業クラスター形成事業に関すること
(3) 自主企画展示（おおた研究・開発フェア）に関すること
(4) 創業者支援事業（ユナイト助成）に関すること

≪国内取引支援係≫
(1) 受・発注あっせん事業に関すること
(2) 国内見本市への出展支援に関すること
(3) 取引相談に関すること
(4) 自主企画展示（大田区加工技術展示商談会）に関すること
(5) 自主企画展示（Meet New Solution）に関すること
(6) +WORK事業（内職あっせん・相談）に関すること
(7) 事業継承の調査・研究・事業構築に関すること
(8) その他大田区産業の取引拡大に関すること
≪産業人財係≫
(1) 人材の確保支援に関すること
(2) その他就労支援に関すること
(3) 青少年のものづくり教育に関すること
(4) 工場表彰制度に関すること
≪広報情報係≫
(1) 情報化推進、情報セキュリティに関すること
(2) 協会のITインフラの調達等に関すること
(3) 情報共有化等協会内の事業運営のサポートに関すること
(4) 総合事業案内、工業ガイドの作成に関すること
(5) 産業情報の収集・受発信に関すること
(6) 協会のサイトに関すること

◆MICE・施設部
≪施設・観光係≫
(1) 産業プラザ展示ホール等の管理運営に関すること（指定管理）
(2) 産業プラザの施設維持管理（受託）
(3) 施設貸与に伴う付加サービス事業に関すること
(4) MICE推進に関すること
(5) 利用者開拓に関すること

◆羽田PiO推進部
≪PiO PARK・海外取引支援係≫
(1) ピオパークの運営及び事業に関すること
(2) サテライトオフィス事業に関すること
(3) 海外取引相談に関すること
(4) 海外見本市に関すること

３　一般社団法人大田観光協会

(1) 観光に関する事業
(2) まちの魅力を演出する事業
(3) 観光資源の調査研究、情報の収集・提供及び振興に係る事業
(4) 産業振興に関する事業
(5) 国際文化交流の推進
(6) まちの特性を活かした新しい観光資源の開発・創出
(7) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

第３　産業経済部の目標

欧州と中東の二つの地域で生じた紛争や円安の影響、世界的な金融引き締め政策等、複合的な要因が重なったことで、エネルギーや食料品をはじめとした様々な価格の高騰につながり、生活に直接的な影響を与えています。

国内の中小企業を取り巻く状況は、先述した円安・物価高の継続や「金利のある世界」の到来による生産・投資コスト増、構造的な人手不足など、依然として厳しい状況にあります。一方で、インバウンド効果により、訪日外国人による宿泊施設や飲食店などの消費が進むことで地域経済の活性化につながるとともに文化交流においても重要な役割を果たしています。

区内の産業界においても、人材の確保・育成、競争力の向上、デジタル化への対応等、様々な課題を抱えています。

こうした刻一刻と変化する国内外の社会情勢を的確に捉え、産業経済部においては、「大田区産業振興ビジョン」に掲げた将来像や課題を踏まえ、区内産業振興に活用する「産業のまち未来基金」を創設しました。今後も基金を活用し、区内産業の経営基盤を支えることで、大田区産業の維持・発展を図ります。

また、令和７年３月に策定した「大田区基本計画」や「大田区実施計画」に掲げる基本目標３「豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち」を実現すべく、区内企業が自ら変革し挑み続ける取組を支援するとともに、区の強みである高い技術力の継承や産業集積のための立地支援を行います。さらに、創業支援や企業同士の交流・連携を促進し、イノベーションの創出を推進するとともに、商店街の支援や観光資源の積極的な情報発信により、地域経済の活性化に取り組みます。

上記目標を具現化する主な施策として、「ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援事業」を新たに実施し、区内中小企業の採用力向上とともに、区内在住・在勤の若年層の経済的負担を軽減します。

さらに、大企業やスタートアップ等が有する技術・開発ニーズと、区内企業が有する匠の技術を掛け合わせたオープンイノベーションを創出します。その上で、区民生活の質の向上やSDGsのさらなる推進など、区が抱える地域課題の解決に資する先進的な技術やソリューションを有する企業等に対して、区内での実証実験を促進するとともに、実証された技術の区内での実装に向けた切れ目のない伴走支援を行います。

また、令和３年度から令和６年度にかけて実施した、大田区プレミアム付デジタル商品券事業を通じて、区内中小個店や区民生活の支援及び地域でのデジタル化を推進しました。同事業によって区内中小個店に醸成されたデジタル化の流れをより一層、促進することを目的に「民間キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン」事業を実施します。

引き続き米国の通商政策等、不確実性の高い経済状況の変化を的確にとらえつつ、事業推進のパートナーである、（公財）大田区産業振興協会、（一社）大田観光協会はじめ、関係団体との連携を密にし、様々な課題解決のために共に取り組み、地域経済の発展につなげてまいります。

＜予算編成方針＞

○【変革】区内企業が「不確かな環境」に合わせて自ら変革（経営力・競争力強化）することを促し、挑み続ける取組を支援する。

○【集積】大田区最大の強みである高い技術力や賑わいを継ぎ・守ることに注力し、産業集積を維持・発展させる。

○【連携】羽田イノベーションシティ（ＨＩＣｉｔｙ）等を活用して多様な企業や人材が連携する機会を創出することにより、変革と集積を加速させる。

○【人材】「変革・集積・連携」の担い手である「人」に対する重要性に鑑み、人材確保や育成等に関する取組への支援を強化する。

第４　庁議指定事務事業及び部局重要事務事業

庁　議　指　定　事　務　事　業	
1	新製品・新技術開発や取引拡大等への支援 【デジタル受発注プラットフォーム構築・拡大事業】【新製品・新技術開発支援】【取引拡大の支援（国内）】【取引拡大の支援（海外）】
2	デジタル化の支援 【デジタル化支援事業】【キャッシュレス決済事業】
3	ものづくり人材育成・確保の支援 【ものづくり人材育成事業（成人向け）】【ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援】
4	企業誘致・留置の推進 【企業立地・ＳＤＧｓ助成金】
5	産業支援施設の運営・支援 【産業支援施設の運営】【工場アパート立地助成事業】
6	創業支援 【南六郷創業支援施設（六郷ＢＡＳＥ）の管理・運営】【創業支援事業】
7	「ＨＡＮＥＤＡ×ＰｉＯ」の充実・活用 【「ＨＡＮＥＤＡ×ＰｉＯ」の運営】【ＨＡＮＥＤＡ共創プラットフォーム】【社会連携コーディネーター認定事業】【オープンイノベーション促進事業】
8	革新的な技術等を生み出すイノベーション創出 【新技術の実証・実装促進】
9	商店街の活性化支援 【商店街チャレンジ戦略支援事業】【商店街ステップアップ応援事業】【商店街戦略的ＰＲ事業補助】【若手商人ネットワーク事業】
10	おおたの観光魅力発信事業 【多様な主体との連携による観光魅力の向上】【観光情報の積極的な発信】
部　局　重　要　事　務　事　業	
1	羽田イノベーションシティにおける公民連携の推進 【運営に関する適切なモニタリング】【羽田みらい開発と連携したイベント実施】【羽田イノベーションシティに関する情報発信】
2	来訪者の観光回遊促進 【回遊促進事業の実施】【情報発信強化】

第５　産業経済部の事務事業

※　記載している事業は「主な事業」です。
※　社会経済情勢の変化などを受けて、変更になる場合があります。
※　記載の予算・決算額を積算しても端数処理等により、実際の事業予算・決算額と一致しない場合があります。

１　産業振興課

（１）産業振興担当（管理）（電話番号：03-5744-1363）

産業経済部の施策・計画の立案、予算及び決算、調査・研究等に関する取りまとめや他部及び関連団体等との連絡調整など、部の庶務担当として円滑な事業運営に向けた対応を行っています。

建築工事あっせん相談事業	その他の業種
令和７年度予算額　：646 千円	令和６年度決算額　：515 千円

【事業概要】

区内の一般家庭等の増改築、修繕工事等に対応できる業者を区民にあっせんすることにより、区民サービスの向上を図ります。

毎月第２・４火曜日午後１時 30 分～４時 30 分に本庁舎ロビーで大田区建築あっせん事業連絡協議会（大田建協）によるリフォーム相談を行っています。また、随時、大田建協へ電話の取り次ぎによるあっせんを実施しています。

このほか、大田建協が実施する住宅デー等における建築あっせん事業の広報活動にかかる経費を助成しています。

【対象者】

区内在住者、区内建築関連業者

【令和６年度実績】

・あっせん件数　101 件（うちリフォーム相談日受付　47 件）

中小企業従業員永年勤続等感謝状贈呈	表彰事業
令和７年度予算額　：　653 千円	令和６年度決算額　：　337 千円

【事業概要】

永年にわたり、区内中小企業に勤務し、大田区の産業の発展に寄与された方の功績をたたえるとともに、多年の努力に感謝の意を表するため、感謝状及び記念品を贈呈します。

【対象者】

〇従業員

ア　区内同一商店又は事業所に満 10 年勤務している従業員で、所属商店会長又は所属産業団体の長から推薦を受けた者。

イ　区内同一工場に満 15 年勤務している従業員で、所属工業団体の長から推薦を受けた者。

○団体役員

産業団体の正副会長を満５年、又は産業団体の連合組織の正副会長（理事長）を満３年務めた者。

【令和６年度実績】

永年勤務従業員感謝状贈呈　112 人（商業　４人・工業　61 人・その他事業所　47 人）

団体役員功労者感謝状贈呈　６人

企業防災普及啓発事業（予算計上なし）	その他の業種

【事業概要】

区内事業者の災害や新興感染症への事前の備えに関する意識向上を図るため、令和３年度に簡易版 BCP（事業継続計画）シートを作成し、区施設窓口や区内産業団体を通じて配布するほか、区ホームページに掲載して普及啓発を行っています。令和５年度には簡易版 BCP（事業継続計画）シートの利用促進動画も作成し、掲載しました。

各事業所における防災・感染リスク低減に繋がる環境の整備や本格的な BCP の策定など、それぞれの状況に合わせた取組の強化に繋げます。

【令和６年度実績】

簡易版 BCP シート

・区 HP でのダウンロード数　災害編　1,677 回、感染症編　973 回

産業のまち未来基金	その他の業種
令和７年度予算額（新規）：　5,500,000 千円（総務部）	令和６年度決算額　：　－

【事業概要】

区内産業振興に活用するための「産業のまち未来基金」を創設しました（令和７年４月）。

基金を活用し、区内産業の経営基盤を支えることで、大田区産業の維持・発展を図り「大田区産業振興ビジョン」に掲げた区の未来の姿「稼ぐ力を創出し、豊かな地域経済が未来に引き継がれるまち」を実現します。

（２）産業振興担当（調整・工業）（電話番号：03-6424-8655、03-5744-1376）

大田区の産業集積を維持、発展させていくため、ものづくり産業振興全般の政策立案を行い、立地促進を図るとともに、子どもから大人まで全てのステージにアプローチする切れ目ない人材育成事業を展開します。また、自治体間ネットワークの構築や区内企業の優れた技術力を発信する産業PR事業を実施します。

創業支援事業や産業基礎調査に加え、区、区内企業、国、大企業、大学等様々な機関との連携強化により区内産業の活性化を目指します。

区内産業の課題解決事業		創業・相談事業・コンサルティング
令和７年度予算額　：　40,855 千円	令和６年度決算額　：　47,671 千円	

※ものづくり集積都市間連携事業を統合

（１）デジタル化支援事業 （旧事業名：SDGs 人材ネットワーク構築・活用事業）	
令和７年度予算額　：　14,457 千円	令和６年度決算額　：　9,900 千円

【事業概要】

区内企業のデジタル化を推進することで、売上や利益の拡大・顧客拡大・業務効率改善等の課題解決を図り、地域企業の成長を支援します。

（１）個店のデジタルツール活用ニーズに対して、外部（副業）人材を活用した伴走支援を行い、SNSの活用による経営課題の解決を図ります。

（２）中小製造業のデジタル化の機運醸成を図るためにセミナーを実施するとともに、専門家による伴走支援を行うことで、デジタル化による経営課題解決を推進します。

【令和６年度実績】

（１）商店街の個店におけるデジタルマーケティング・業務改善支援プロジェクト

デジタルツールを活用した売上向上・顧客拡大や業務効率化等を目的として、店舗への公式LINEアカウント導入・活用支援を行いました。区内11店舗が副業者の伴走支援により、店舗からの情報発信による売上向上・顧客拡大や、予約事務のデジタル化等による業務効率化を推進しました。

（２）中小製造業の経営課題解決に向けたデジタル化支援プロジェクト

デジタル化による中小製造業の経営課題の解決を、専門家（ITコーディネータ）の伴走により推進しました。区内中小製造業７社に対して支援を行い、会計ソフトや勤怠管理ツールの導入による事務の効率化や、製造時間の正確な把握による見積もり精度の向上等の成果が生まれました。また、中小製造業のデジタル化に向けた機運醸成を図るためのセミナーを実施しました。

（２）デジタル受発注プラットフォームの構築・拡大事業	
令和７年度予算額　：　26,310 千円	令和６年度決算額　：　36,453 千円

【事業概要】

区内企業の「仲間まわし」及び試作・研究開発力を強みとした、ものづくり相談者とものづくり事業者を繋ぐ「デジタル受発注プラットフォーム」を令和４年度に構築し、その拡大を推進しています。本事業により、各社の多様な強みを繋ぐことで相乗的な効果を発揮して、個社では対応できない提案型で付加価値の高い案件の受注を拡大し、中小企業の稼ぐ力を強化します。

（１）区内企業の参画拡大や全国の製造業集積地との広域連携を進めることで、当プラットフォーム

の対応領域を拡大し、更なる受注を呼びこむとともに、区内製造業の活性化、高付加価値化を促進します。

（２）国内外の大手企業など発注者側へのプロモーションを推進し、それらの事業者が抱えるものづくりの課題解決や、アイディアを形にしていく事例を創出していきます。

（３）大学の研究室や大学発スタートアップが有するものづくりのニーズに対しても、当プラットフォームがソリューションを提供することで新事業創出に繋げることを目的に、地元の大学との連携強化を図ります。

【令和６年度実績】

（１）区内外からの企業の参画

関係機関と連携した PR 活動や広域連携の取組を通じて、これまでに、区内外の約 100 社が本プラットフォームに参画しました。

（２）発注者へのプロモーションによる相談・受注案件の獲得

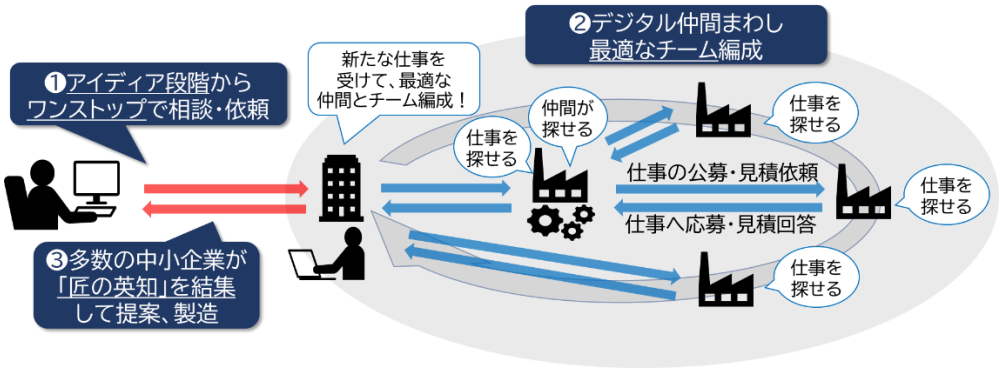
大手企業の新規事業開発セクション、スタートアップ等への個別プロモーションや SNS を活用した情報発信を実施するとともに、全国の展示会への参加等により、利益率の高い提案・コンサルティング領域を含む 100 件以上の相談を受け、受注案件の獲得に寄与しました。

（３）海外展開に向けた検討

将来的な海外マーケットでの受注事例創出に向けて、東南アジア（シンガポール）において、展示会への出展や企業との面談等のプロモーションを実施しました。

（４）推進体制の強化

（公財）大田区産業振興協会、I-OTA 合同会社、株式会社テクノアとの連携による推進体制に加えて、大学や金融機関等との連携を強化し、各種事業を展開しました。



（３）産業のまちネットワーク推進協議会	
令和７年度予算額　：88 千円	令和６年度決算額　：80 千円

【事業概要】

大田区と同じく「産業のまち」と言われている都市が連携し、共同調査、研究等を通じて産業振興施策の新たな展開を図ります。加盟都市とは必要に応じて、情報交換を行っています。

※　加盟都市一覧（全 22 都市）

山形県米沢市、福島県いわき市、福島県富岡町、新潟県柏崎市、長野県伊那市、長野県諏訪市、長野県坂城町、長野県飯田市、長野県茅野市、群馬県桐生市、群馬県太田市、静岡県富士市、静岡県磐田市、埼玉県さいたま市、神奈川県寒川町、東京都板橋区、東京都八王子市、大阪府門真市、東京都品川区、東京都大田区、神奈川県相模原市、神奈川県川崎市

【令和６年度実績】
総会１回、定例会２回

産業基礎調査	調査事業
令和７年度予算額　：　5,679 千円	令和６年度決算額　：　68,094 千円

（１）区内経済状況調査	
令和７年度予算額　：5,679 千円	令和６年度決算額　：5,566 千円

【事業概要】
区内製造業、小売業等の景気動向を四半期毎に調査し、調査結果を大田区ホームページに掲載する等により景気動向の情報を提供します。（公財）大田区産業振興協会内の「技術連携相談員」、「あきない活性化コーディネーター」や金融機関４社のとらえる区内の景況所見も加えて発行します。その他、区内の新設法人や倒産の動向を把握することで、産業振興施策検討等の資料として活用しています。
（景気動向調査）
○　年４回（７，９，12，３月）公表
（新設法人件数調査）
○　年４回（５，８，12，２月）公表
（倒産企業件数調査）
○　年 12 回（毎月）公表

（２）大田区ものづくり産業等実態調査	
令和７年度予算額　：　－	令和６年度決算額　：　62,527 千円

【事業概要】
今後の政策立案と産業振興に資するため、区内ものづくり企業等に対して全数調査を実施し、調査結果等から区内ものづくり産業等の実態に関する基礎資料を作成することを目的とします。また、この基礎資料は令和５年度に策定された大田区産業振興ビジョンの実現に向けた政策立案にも活用します。
【調査対象】
区内のものづくりに関わる全事業所（製造業、非製造業のうちものづくりに関連があると認められる産業）を対象に調査を実施します。
【令和６年度実績】
回収率(回答事業所数)：製造業 71.3%（2,121）非製造業 63.9%（1,077）物流業 59.4%（524）

特定創業支援等事業（証明）（予算計上なし）	創業・相談事業・コンサルティング

【事業概要】

産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画が国から認定されたことに伴い、創業支援総合窓口を設置し、創業者（創業希望者を含む）に対し情報の提供や適切な連絡先を紹介します。また、特定創業等支援事業による支援を受けた者に対して証明書を発行し、各種支援策を活用した創業を後押ししています。

【対象者】

創業者及び創業希望者

【令和６年度実績】

証明書発行：93 件

ものづくり人材育成・確保事業	人材育成・確保
令和７年度予算額　：　35,654 千円	令和６年度決算額　：　29,962 千円

（１）次世代ものづくり人材育成事業	
令和７年度予算額　：33,928 千円	令和６年度決算額　：29,947 千円

【事業概要】

中小企業が単独で人材育成を行うには、講師や時間の確保など制約が多いため、教育機関や産業団体などと連携し、講習会への助成やセミナーの開催などにより人材育成を支援します。また、小中学生を対象としたものづくりの楽しさを体験できる事業を実施し、将来のものづくり人材を発掘・育成していきます。

【令和６年度実績】

・経営技術指導講習会

　技術指導講習会：６回、参加者 61 人

　次世代経営者育成セミナー：２回、参加者 24 人

　新入社員セミナー：２回、参加者 26 人

・工業団体実地研修会 10 回：日帰り・４団体 91 人、宿泊・６団体 89 人

・工業団体経営革新支援事業講習会：14 回、参加延べ 18 団体 441 人、

・産業のまち発見隊：２回、参加者 88 人

・ものづくり実践教室Ⅰ：２回、参加者 386 人

・ものづくり実践教室Ⅱ：３回、参加者 46 人

・人材育成情報、行政情報の広報：年６回

（２）ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援	
令和７年度予算額（新規）　：1,699 千円	令和６年度決算額　：　―

【事業概要】

区内中小企業の採用力向上とともに、区内在住・在勤の若年層の経済的負担を軽減することを目

的に、奨学金を返還している求職者の方（40 歳未満）が、区内中小製造業・運輸業・建設業に新たに就職し、大田区内に居住または転入した場合、奨学金返還額の半額（上限 10 万円/年）を最長 5 年間分助成します。

※支給は令和８年度から開始。令和７年度は事業周知及び事前申請の受付を行います。

【令和６年度実績】

なし（令和７年度新規事業）

（３）ものづくり教育・学習フォーラム（予算計上なし）

【事業概要】

教育委員会指導課との連携により、学校でのものづくり学習や近隣の工場などでのものづくり体験など、ものづくりの様々な体験を通し、「物を創る感性、主体的な行動、工夫・創造する能力の育成」「ものづくりの重要性や技能、技術が果たす役割の理解、地域産業の重要性やものづくりを支える勤労者を尊敬する態度や職業観の育成」「ものづくりのまち大田の将来を支える人材の育成」を目指します。

学習フォーラムにおいては、ものづくり教育・学習発表会、作品・体験学習展示、競技会（木工の部・ソーイングの部）、ものづくり体験への参加等を行います。

【令和６年度実績】

開催日：令和７年１月 20 日　会場：大田区産業プラザ　総入場者数：6,333 名

〇ものづくり教育・学習発表会

小学校９校、中学校５校、高等学校１校、関係団体１団体

〇ものづくり作品・体験学習展示発表

小学校 30 校、中学校 28 校、都立特別支援学校３校、大田区小学生科学展 33 校

〇ものづくり体験

参加団体 15 団体、体験者数 788 人

〇ものづくり競技会（コンテスト）

木工の部 11 校（24 人）、ソーイングの部７校（13 人）

事業承継支援事業（旧事業名：経営革新支援事業）	人材育成・確保
令和７年度予算額　：　1,200 千円	令和６年度決算額　：　608 千円

（１）事業承継の取組	
令和７年度予算額　：　1,200 千円	令和６年度決算額　：　575 千円

【事業概要】

各産業分野の共通課題である「事業承継」や「人材確保」に対して、普及啓発活動を行うことで、事業経営の持続可能性を高め、多様な産業集積の維持・発展を図ります。

事業承継では事業者ごとに状況が異なり、課題が多岐にわたっています。産業プラザ内の支援機関が参画する事業承継協議会を設置し、事業者が気軽に相談し、スムーズに専門家等の支援を受けられる体制の構築を進めています。

【令和６年度実績】
・事業承継等情報説明会　１回

区内工場立地・操業環境整備助成事業	ものづくり拠点の形成
令和７年度予算額　：　313,326 千円	令和６年度決算額　：　262,775 千円

（１）貸工場・工場用地マッチング事業　（予算計上なし）

【事業概要】
貸工場及び工業用地の流通促進を図り工場の立地しやすい環境を整備するため、事業の趣旨に賛同する宅地建物取引業者を「ものづくり応援宅建業者」として登録し、また公益社団法人東京都宅地建物取引業協会大田区支部の協力を得て、区ホームページで区内物件情報を提供します。

【対象者】
大田区内に立地または移転を希望し、民間貸工場または工業用地についての情報を求めている製造業者

【令和６年度実績】
情報提供申請件数０件、ホームページ掲載申請数０件

（２）ものづくり工場立地助成

令和７年度予算額　：　50,808 千円	令和６年度決算額　：　87,091 千円

※令和５年度末をもって新規受付終了、大田区企業立地・SDGｓ促進助成金に統合

【事業概要】
区内で操業を希望する企業が、事業規模の拡張や事業の高度化のために行う工場の新増設等又は区内及び区外からの移転に係る経費を一部助成することにより、大田区ものづくり集積の維持･強化を図ります。

○　補助率：補助対象経費の１／３　　○　補助限度額：1,000 万円
○　助成期間:３年(年度ごとに操業状況を確認し交付。１年目１/２、２年目１/４、３年目１/４）
　　ただし、補助対象経費が 500 万円未満の場合は一括交付とする。

【対象者】
３年以上継続して同一の業種を営む中小企業者、区内の貸工場所有者
※　中小企業者：中小企業基本法（昭和 38 年法律第 154 号）第２条に規定する中小企業者

【令和６年度実績】
○　１年目～３年目交付企業数　57 件

（３）工場アパート立地助成金

令和７年度予算額　：　44,480 千円	令和６年度決算額　：　44,481 千円

【事業概要】
工場アパートを整備する民間企業（以下要件(ア)もしくは(イ)に該当する企業）の施設整備費の一部を助成します。

○　要件
　(ア)　集合型工場アパート（所有者が入居しない工場アパート）
　　貸工場の作業場面積が 2,000 ㎡以上で、５社以上が入居するもの
　(イ)　地域中核工場アパート（自社工場に貸工場を併設させた工場アパート）

貸工場の作業場面積が 200 ㎡以上で、２社以上が入居するもの

○　補助率：補助対象経費の１／４

○　補助限度額：５億円

【令和６年度実績】

交付企業件数　集合型工場アパート交付　０件

地域中核工場アパート交付　１件

（４）大田区企業立地・ＳＤＧｓ促進助成金	
令和７年度予算額　：173,700 千円	令和６年度決算額　：90,470 千円

【事業概要】

区内で操業を希望する製造業者や研究開発企業等に対し、操業拠点の新設・増設、移転、脱炭素化または生産性向上につながる建物付帯設備の整備にかかる費用を助成します。これにより、産業集積の維持・発展を図るとともに、脱炭素化や生産性の向上を通じて区内企業の持続可能な経営を促進します。

○　補助率：補助対象経費の１／３

○　補助限度額：製造業、貸工場経営者：1,000 万円

研究開発企業等：500 万円

【対象者】

・１年以上前から継続して同一の業種を営む中小企業者のうち製造業を営む者または研究開発企業等

・区内において貸工場を経営しようとする者

【令和６年度実績】

交付企業件数　33 件

（５）ものづくり企業立地継続補助金	
令和７年度予算額　：20,300 千円	令和６年度決算額　：16,705 千円

【事業概要】

防音、防臭、防振等の操業環境の改善を目的とした工場の改修事業、周辺環境及び近隣住民へ配慮するために行う工場の移転事業、外観の美化、緑道の整備にかかる経費を助成することにより、大田区ものづくり集積の維持･強化を図ります。

○　補助率：補助対象経費の３／４

○　補助限度額：375 万円

【対象者】

区内に本社又は事業所の登記があり、東京都内で１年以上操業している製造業又は機械修理業の中小企業者、区外（東京都内）で１年以上継続して操業し、区内に移転する製造業又は機械修理業の中小企業者

【令和６年度実績】

交付企業件数６件

（６）企業立地促進サポート業務	
令和７年度予算額　：22,663 千円	令和６年度決算額　：21,615 千円

【事業概要】

大田区には、多様な基盤技術を有する中小企業が集積していますが、新規立地スペースの不足等、立地上の課題から、ものづくり企業等が区外へ転出するケースが生じています。今後も、区の産業

集積を維持、発展させていくためには、区内企業の留置対策としての「持続的操業支援」及び区外から波及効果の高い「企業誘致」を進めていくこと、受け皿となる「不動産情報を収集」して新規立地・事業拡張意向等のある事業者に紹介し、マッチングを図ることが不可欠です。そのため、区内の中核となっている企業への訪問により、企業が抱える立地上の課題等を把握するとともに、区外企業へのアンケート調査、訪問等を実施し、さらに空き工場・工業用地の調査等により、区内への立地促進を図ります。

あわせて、助成金相談・申請受付を区窓口に加え現場で実施することで、よりきめ細やかな案内を行い、助成金制度の活用促進及び区施策の PR の充実を図ります。

さらに、令和６年４月１日に国から同意を得た地域未来投資促進法における地域経済牽引事業計画の策定について、事業者への活用促進等を実施します。

（７）地域未来投資促進法に基づく東京都基本計画（予算計上なし）

【事業概要】

東京都と大田区が共同で「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律（地域未来投資促進法）」に基づく「東京都大田区基本計画」を策定し、平成 30 年３月 28 日付けで、都内で初めて国から同意を得ました。大田区の基本計画は令和６年３月 31 日にて計画終了しましたが、令和６年４月１日付で、国の同意を得て、東京都と大田区を含む区市町村の共同で「第２期東京都基本計画」を策定しました。

ア　計画名：第２期東京都基本計画

イ　計画期間：令和６年４月１日から令和 10 年度末日まで

ウ　対象地域：東京都全域

エ　地域の特性及びその活用戦略

- ○　東京都の機械、金属、化学、電子・デバイス等の産業集積を活用した環境・エネルギー関連等をはじめとする成長ものづくり分野
- ○　東京都の情報通信・IT 関連産業等の産業集積を活用したデジタル分野
- ○　東京都内の観光名所や多摩・島しょ地域における自然・景観等の観光資源を活用した観光分野

【制度概要】

地域未来投資促進法は、地域の特性を活用した事業の産み出す経済波及効果に着目し、これを最大化しようとする地方公共団体の取組を支援するものとして、平成 29 年７月に施行された法律です。

同法のもと、都道府県と市町村が基本計画を作成して国の同意を得たうえで、事業者が策定する地域経済牽引事業計画を都道府県が承認すると、事業者は、国による各種支援措置が受けられるようになります。

（８）先端設備等導入計画の認定事業（予算計上なし）

【事業概要】

平成 30 年６月６日に施行された生産性向上特別措置法及び令和３年６月に改正された中小企業等経営強化法に基づき、中小企業者が、区市町村の認定を受けた計画に基づいて先端設備等を導入する際の支援措置をすることで、地域の自主性のもと、生産性向上のための設備投資を促進するものです。

区は、中小企業者が先端設備等を導入し、都内で最も設備投資が活発な自治体の１つとなり、更

に経済発展していくことを目指して、「導入促進基本計画」の協議書を策定し、国に提出し同意を得ました。内容は以下のとおりです。

ア　対象者：区内に事業所を有する中小企業者等
イ　対象区域：区内全域
ウ　対象業種：全業種
エ　対象事業：本計画において労働生産性が年平均３％以上に資すると見込まれる事業
オ　労働生産性に関する目標：先端設備等導入計画を認定した事業者の労働生産性が年平均３％以上向上すること
カ　従業員に対して、国内雇用者に対する雇用者給与等支給額の引上げをする方針にて雇用者給与等支給額に対する割合が１．５％以上または３％以上の表明し、その内容を記載すること。
キ　先端設備等の種類：労働生産性の向上に必要な生産、販売活動等の用に直接供される設備（機械及び装置、器具及び備品、測定工具及び検査工具、建物附属設備、ソフトウェア）
ク　導入促進基本計画の計画期間：国が同意した日から２年間
ケ　先端設備等導入計画の計画期間：３年間、４年間、または５年間

【令和６年度実績】
認定企業数　29 件

（９）工業地域・準工業地域における集団住宅等建設事業に係る調整（予算計上なし）

【事業概要】
住工混在によるトラブルの未然防止と工業の生産環境を保全するため、工業地域・準工業地域に集団住宅等を建設する事業者・集団住宅等入居予定者と建設予定地周辺の工場代表者・工業団体との調整を行います。

【令和６年度実績】
受理件数　28 件

産業支援施設指定管理者管理代行	ものづくり拠点の形成
令和７年度予算額　：　328,737 千円	令和６年度決算額　：　298,242 千円

（１）工場アパート等（管理代行費）

令和７年度予算額　：167,265 千円	令和６年度決算額　：149,748 千円

【事業概要】
工場の操業環境改善による工業集積の維持発展を図るとともに、産業と生活環境との調和など、産業のまちづくりの実現を目指すため、工場アパートを設置しています。また、区内中小企業者の生活の安定と福祉向上のために、中小企業者賃貸住宅を設置しています。

【対象施設】
○　本羽田二丁目工場アパート（指定管理者：野村不動産パートナーズ株式会社）
所在地：大田区本羽田二丁目７番１号　（SRC 造８階建て）
敷地面積：1,642.98 ㎡、延床面積：1,256 ㎡（工場棟）、開設年月：平成９年２月

施設形態：１階、２階　各４ユニットの賃貸工場　３階から８階区民住宅 21 戸
ユニット：100 ㎡×８ユニット

○　本羽田二丁目第２工場アパート（テクノ WING）
（指定管理者：野村不動産パートナーズ株式会社）
所在地：大田区本羽田二丁目 12 番１号（SRC 造５階建て）
敷地面積：6,576.54 ㎡（中小企業者賃貸住宅を含む）、延床面積：9,464.29 ㎡
開設年月：平成 12 年５月
ユニット：48 ユニット（約 50 ㎡から約 224 ㎡まで８タイプ（約 100 ㎡タイプが 20 戸で最多））

○　下丸子テンポラリー工場（指定管理者：野村不動産パートナーズ株式会社）
区内工場建替え期間中の仮作業所（一時操業場所）として貸し出しています。
また、工場建替えの場合以外でも以下のいずれかを満たしていれば申請が可能な場合があります。
（１）　組立用等で仮作業場を必要としている者
（２）　急な受発注増等で仮荷物置場等を必要としている者
（３）　立ち退き要請等により仮作業場を必要としている者
（４）　火事等の災害により仮作業場を必要としている者
（５）　産学連携等で開発現場等を必要としている者
所在地：大田区下丸子四丁目９番 14 号（RC 造２階建て）
敷地面積：400.00 ㎡、延床面積：339.50 ㎡、開設年月：平成６年４月
施設形態：１階、２階各２ユニットの建替促進賃貸工場
ユニット：84.5 ㎡×４ユニット

○　中小企業者賃貸住宅（ウイングハイツ）（指定管理者：野村不動産パートナーズ株式会社）
所在地：大田区本羽田二丁目 12 番２号（SRC 造７階建て）
敷地面積：6,576.54 ㎡（本羽田二丁目第２工場アパートを含む）、延床面積：2,245.15 ㎡
開設年月：平成 12 年８月
住戸数：28 戸（１DK タイプ８室、３DK タイプ 20 室）

○　東糀谷六丁目工場アパート（OTA テクノ CORE）（建物所有者：みずほ信託銀行株式会社　管理：野村不動産パートナーズ株式会社）※大田区が借上げ、工場、研究開発拠点として貸し出します。
所在地：大田区東糀谷六丁目４番 17 号（RC 造４階建て）
敷地面積：4,257.68 ㎡、延床面積：8,488.65 ㎡、開設年月：平成 24 年６月
ユニット：33 ユニット（約 90 ㎡から約 228 ㎡まで 11 タイプ（約 200 ㎡タイプが 23 戸で最多））

○　大森南四丁目工場アパート（テクノ FRONT 森ヶ崎）
（管理事業者：NPT・RIO 共同企業体（代表企業：野村不動産パート―ナーズ株式会社、構成企業：株式会社リオ・コンサルティング））※令和５年度から民間事業者による運営を開始。
所在地：大田区大森南四丁目６番 15 号（RC 造５階建て）
敷地面積：5,945.41 ㎡、延床面積：10,730.89 ㎡、開設年月：平成 20 年５月
ユニット：49 ユニット（約 47 ㎡から約 335 ㎡まで９タイプ（約 100 ㎡タイプが 22 戸で最多））

【担当・問い合わせ】
○　本羽田二丁目工場アパート、本羽田二丁目第２工場アパート、下丸子テンポラリー工場、中小企業者賃貸住宅

入居希望・施設管理：野村不動産パートナーズ株式会社

電話：03-5735-3230　FAX：03-5735-3231

○　東糀谷六丁目工場アパート

入居希望・施設管理：野村不動産パートナーズ株式会社

電話：03-5735-3660　FAX：03-5735-3667

○　大森南四丁目工場アパート

施設総合案内:野村不動産パートナーズ株式会社　電話:03-5735-1140　FAX:03-6905-7030

入居希望の場合：リオ・コンサルティング株式会社　第６資産運用事業部

電話：03-5156-8887　FAX：03-5156-8889

（２）大田区南六郷創業支援施設（管理代行費）	
令和７年度予算額　：161,472 千円	令和６年度決算額：148,465 千円

【事業概要】

新規創業者や新分野進出等に取り組む事業者が新規創業をしやすい環境を整え、区内産業の発展や創業機運醸成のために、「大田区南六郷創業支援施設（六郷 BASE)」を開設しています。

【対象施設】

○　大田区南六郷創業支援施設

指定管理者：南六郷創業支援施設運営共同事業体

（代表企業：株式会社ツクリエ、構成企業：野村不動産パートナーズ株式会社）

所在地：大田区南六郷三丁目 10 番 16 号（RC 造３階建て）

敷地面積：1,349.30 ㎡延床面積：578.39 ㎡、開設年月：令和３年 10 月

主な施設：３階オフィス（個室）、２階シェアードオフィス、コワーキングスペース

１階オープンスペース、セミナールーム、試作室

【担当・問い合わせ】

入居希望・施設管理：六郷 BASE 運営事務局　電話：03-6715-9751

←イベントの様子

→コワーキングスペース

産業支援施設その他の維持管理費	ものづくり拠点の形成
令和７年度予算額　：　503,846 千円	令和６年度決算額　：　653,761 千円

（１）旧羽田旭小学校敷地の整備	
令和７年度予算額：（執行委任）5,278 千円	令和６年度決算額：（執行委任）183,953 千円

【事業概要】

旧羽田旭小学校施設及び敷地については、区内ものづくり産業の持続的発展に貢献するまちづくりを推進するため、令和４年度に行ったプロポーザルによりミサワホーム株式会社（代表企業）と事業契約を締結しました。提案事業者と連携し、産業支援施設としての需要や社会情勢を考慮し、ニーズが高い活用方法となるよう検討していきます。

（２）インダストリアルパーク羽田大田区産業施設（Techno Square Haneda）	
令和７年度予算額：218,094 千円	令和６年度決算額：202,515 千円

【事業概要】

区の産業集積の維持・発展に資するため、羽田空港に近接した「三井不動産インダストリアルパーク羽田」内に産業支援施設を設置しています。製造業を中心とした工場、研究所等といった業態が立地することで、区内の高度なものづくり技術集積との連携が促進され、立地企業の成長に寄与するとともに、区内全体のものづくり企業の維持・発展に結び付けます。

【対象施設】

○　三井不動産インダストリアルパーク羽田　大田区産業施設（Techno Square Haneda）

所在地：大田区羽田旭町 10 番 11 号　（S 造・ブレース付ラーメン構造（免震構造））

アクセス：東京モノレール「整備場」駅下車 徒歩３分

延床面積：5,739.11 ㎡（大田区専有部分）、開設年月：令和元年 12 月

施設形態：１階、２階　各２ユニット

ユニット：４ユニット（101、102、201、202）、約 1,000 ㎡～1,200 ㎡

建物所有者：三井住友信託銀行株式会社

（大田区が借上げ、工場、研究開発拠点等として貸し出します。）

（３）京浜島建替促進事業用車両一時保管施設	
令和７年度予算額：　97 千円	令和６年度決算額：　－

【事業概要】

大田区京浜島建替促進事業用地について民間事業者と土地賃貸借契約を締結し、島部ものづくり中小企業の建替促進事業に供する車両一時保管場所として令和２年３月１日から運営を開始しました。

（３）産業振興担当（商業）（電話番号：03-5744-1373）

区内商店会を中心に、浴場、農業、その他各種産業団体への支援を行い、地域の賑わいを創出するとともに区内産業の活性化を図っています。

商店街装飾灯整備助成		商店街・商い・サービス業
令和７年度予算額　：　52,718 千円	令和６年度決算額　：　44,152 千円	

【事業概要】

商店街装飾灯の設置や改修、電灯料等を補助し、景観の維持や防災、防犯力向上に寄与します。また、点検を推進することで、商店街の自主的な維持管理につなげます。

（１）商店街装飾灯設置等補助	
令和７年度予算額　：2,782 千円	令和６年度決算額　：586 千円

【事業概要】

ア　新設、建替え、改修等

１基あたりの設置経費の額（限度額 400,000 円）に１／２を乗じた額

イ　撤去

１基あたりの撤去経費の額（限度額 200,000 円）に１／２を乗じた額

ウ　移設

移設経費の１／４の額

【対象者】

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会

【令和６年度実績】

ア　新設、建替え、改修等：１商店会

イ　撤去：２商店会

ウ　移設：０商店会

（２）商店街装飾灯維持管理費補助	
令和７年度予算額　：41,363 千円	令和６年度決算額　：34,605 千円

【事業概要】

ア　電灯料補助

各商店会の基準本数に補助基準単価 8,400 円を乗じた額（限度額 年間支払電灯料額）と、年間支払電灯料額に１／２を乗じた額（限度額 100 万円）を比較し、いずれか高い額を補助します。

イ　小規模修繕費補助

各商店会の基準本数に補助基準単価 5,000 円を乗じた金額を上限に補助

ウ　申請補助業務（委託）

各商店会から出された申請書等について、書類点検等を大田区商店街連合会（以下、「区商連」とする。）へ委託して実施

【対象者】

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会

【令和６年度実績】

商店街装飾灯維持管理費補助　116 商店会

（３）商店会装飾灯等一斉点検事業	
令和７年度予算額：　8,573 千円	令和６年度決算額　：　8,961 千円

【事業概要】

商店会にある装飾灯、アーチ、アーケードは景観及び防犯等、重要な役割を担っています。今後、災害等に伴う倒壊が懸念されるなか、日頃から装飾灯等を適切に管理し来街者の安全を担保するため、区内にある装飾灯等について令和５年度から令和７年度にかけて点検します。

【対象者】

区内で装飾灯、アーチ、アーケードを所有する商店会

【令和６年度実績】

ア　装飾灯、アーチ

○　商店会数 35 商店会

○　装飾灯・アーチ 基数 1,118 基

イ　アーケード

○　令和６年度は点検対象無し

商店街振興組合等推進事業	商店街・商い・サービス業
令和７年度予算額　：　4,276 千円	令和６年度決算額　：　4,113 千円

【事業概要】

商店会の法人化を推進し、区内商業の発展を図るため、法人化された組合の運営面への指導と、運営経費の一部補助を行います。また、商店街振興組合等の若手の活動が活発になるように青年部設立・活動について支援します。

【対象者】

商店街振興組合法及び中小企業等協同組合法の規定に基づいて設立され、商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された組合

【令和６年度実績】

○　既存組合運営指導：28 組合

○　既存組合運営費補助：26 組合

○　青年部設立・活動費補助：３組合

商店街チャレンジ戦略支援事業	商店街・商い・サービス業
令和７年度予算額　：　283,090 千円	令和６年度決算額　：　197,774 千円

【事業概要】

商店会が行う商店街環境の整備、地域の特性を活かしたイベントや商店街づくりに対して助成することにより、商店街の活性化を促すとともに地域の核としての商店街機能の充実を図ります。

補助対象事業	補助率	補助限度額	備　考（利用回数等）
イベント事業	２／３	40 万円～ 600 万円 共催は 1,200 万円	１商店会２事業まで 共催は別途１事業追加可能
イベント事業 （若手・女性支援事業）	８／９	88 万８千円	１商店会１事業まで
イベント事業 （女性活躍推進事業）	11／12	91 万６千円	１商店会１事業まで
イベント事業 （こども応援事業）	８／９	88 万８千円	１商店会１事業まで
イベント事業 （組織活力向上支援事業）	11／12	825 万円	１商店会１事業まで 法人商店会のみ
活性化事業	２／３ ５／６	2,000 万円～ １億円 1 億 2,500 万円	１商店会１事業まで 商店会の組織形態に応じた限度額設定 補助率５/６は新規法人化商店街のみ
多言語対応事業	５／６	833 万３千円	１商店会１事業まで（活性化事業含む）
キャッシュレス対応事業	５／６	1,666 万円～ １億 2,500 万円	１商店会１事業まで（活性化事業含む） 商店会の組織形態に応じた限度額設定
地域連携型事業	４／５ または ２／３	800 万円 または 666 万円	商店街と地域団体とで実行委員会を組織 補助率４/５　新規の取組の場合 補助率２/３　継続した取組の場合
小額支援事業	８／９	88 万８千円	前年度まで商店街チャレンジ戦略支援事業及び東京都の他の商店街振興事業を実施していない場合のみ利用可

【対象者】

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会、大田区商店街連合会及び大田区商店街振興組合連合会

【令和６年度主な実績】

○　イベント事業：87 事業

○　イベント事業（若手・女性支援事業）：４事業

○　イベント事業（組織活力向上支援事業）：５事業

○　活性化事業：２事業

○　地域連携型事業：４事業

○　未来を創る商店街支援事業：１事業

商店街活性化推進事業		商店街・商い・サービス業	
令和７年度予算額　：	484,533 千円	令和６年度決算額　：	343,823 千円

※区内商店街連携強化推進事業を統合

【事業概要】

区内商店会等が実施する商店街活性化のための事業について、その経費の一部又は全部を助成することで、にぎわい・つながりの創出に寄与し、地域及び商業の活性化を図ります。

ア　商店街ステップアップ応援事業

a　巡回相談業務

商店会を巡回し、各種支援制度を案内するほか、商店会が抱える課題に対して解決に向けた専門家の派遣等の提案を行います。業務委託により実施します。

b　課題解決支援業務

商店街、商業集積の持続的発展を図るため、専門性の高い外部人材を活用し、商店街の課題解決を支援します。業務委託により実施します。

イ　若手商人ネットワーク事業

若手のネットワークづくりや、課題解決力を身に付けることを支援し次世代を担うリーダー育成を図ります。

ウ　区内共通商品券拡充事業

大田区内共通商品券発行・拡充事業として、区内共通商品券及び取扱店名簿の制作・発行、商品券袋等の購入を行います。

エ　大田区商店街戦略的 PR 事業

訴求対象や媒体に工夫を凝らし、商店会又は個店グループが PR を実施する事業について、媒体制作費等を補助します。補助率は４／５、補助限度額は 16 万円もしくは 32 万円まで（共催時は商店会数で補助対象経費・補助限度額を乗算）。同一年度内に 1 商店会２回まで利用可。（ただし、共催が含まれる場合は３回まで利用可）

オ　キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン

中小個店・区民生活の支援及び地域のキャッシュレス化を更に定着させ、デジタルの力を活用した区内経済の循環創出を図るため、民間キャッシュレス決済 PayPay による 20%ポイント還元キャンペーンを実施します。

カ　キャッシュレス決済導入状況調査

区内にある鉄道 16 駅よりおおむね半径 500m の範囲にある店舗を訪問し、キャッシュレス決済の導入状況調査を業務委託により実施します。

【対象者】

ア　商店街ステップアップ応援事業

大田区商店街連合会、商店会

イ　若手商人ネットワーク事業

大田区商店街連合会、商店会

ウ　区内共通商品券拡充事業

大田区商店街連合会

エ　大田区商店街戦略的 PR 事業

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会等

オ　キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン事業
　　大田区内の店舗
カ　キャッシュレス決済導入状況調査
　　大田区内の店舗

【令和６年度実績】※区内商店街連携強化推進事業含む

○　商店街ステップアップ応援事業：巡回先 125 商店会、巡回数延べ 378 回
○　若手商人ネットワーク事業
　　次世代リーダー育成塾　28 名参加、６事業実施
○　大田区商店街戦略的 PR 事業：18 事業（14 会）
○　大田区プレミアム付デジタル商品券：発行部数 200,000 部、利用件数 561,816 件
　　利用部数 182,628 部、利用総額約 1,095,765 千円、登録店舗数 2,455 店
○　キャッシュレス決済導入状況調査：2,496 店

大型店対策（予算計上なし）	その他の業種

【事業概要】

区内に出店する店舗面積 1,000 ㎡を超える大型店の近隣地域への生活環境に対する影響等を総合的に判断し、大規模小売店舗立地法に基づき、地元自治体として法律の運用主体である東京都に対し意見を述べます。その際、区民の要望等、必要に応じて地域環境への影響調査を行います。また、店舗面積 500 ㎡超～1,000 ㎡の大型店に対しては、区独自の要綱で対応します。

【対象者】

ア　大規模小売店舗立地法に基づく届出
　　店舗面積 1,000 ㎡を超える大型店の出店者
イ　大田区要綱「大田区大規模小売店舗の出店に伴う生活環境保全のための要綱」に基づく届出
　　店舗面積 500 ㎡超～1,000 ㎡の大型店の出店者

【令和６年度実績】

ア　大規模小売店舗立地法に基づく都への意見表明　０件
イ　区要綱に基づく届出　０件

商店街区における集団住宅等建設事業に係る調整（予算計上なし）	その他の業種

【事業概要】

住商混在によるトラブルの未然防止と商業集積の持続的発展のため、商店街区に集団住宅等を建設する事業者・集団住宅等入居予定者と建設地が位置する商店会との調整を行います。

【令和６年度実績】

協議結果確認通知書送付件数　14 件

野菜と花の品評会	農業
令和７年度予算額　：1,092 千円	令和６年度決算額　：856 千円

【事業概要】

区内農産物の栽培出荷技術の改良と優良品種の普及を図るため、区内農業者による品評会を実施します。また、出品物を区民に展示・即売することにより、区内農業への理解を深めることを目的としています。

【対象者】

（出品者）JA 所属の区内農家、（即売会）一般来場者

【令和６年度実績】

・第 75 回大田区野菜と花の品評会（令和６年 11 月 24 日）

出品物：野菜 140 点、花き類 20 点、果実類 117 点、合計 277 点

・JA 東京中央農業感謝まつりも同時開催されました。

区民農園	農業
令和７年度予算額　：5,769 千円	令和６年度決算額　：7,436 千円

【事業概要】

特定農地貸付法に基づき、農地を区が無償で借り上げ、区割りを行い、園芸を楽しみたい区民に有料で貸与しています。

利用期間１年 11 月、標準区画約 10 ㎡利用料金は月額換算で 2,500 円、小区画約 5 ㎡利用料金は月額換算 1,250 円となっています。

【対象者】

区民（世帯単位）

【令和６年度実績】

４月開始時：２か所、1,683 ㎡、57 区画

年度末時点：２か所、1,683 ㎡、57 区画

農業関連事業		農業	
令和７年度予算額　：	501 千円	令和６年度決算額　：	444 千円

【事業概要】

農業者と行政の情報連絡の場（農業振興連絡協議会）を設けます。また、新技術の吸収等、農業経営の改善に資するため、区内 JA と共催で優良農業地の実地見学等を実施します。

【対象者】

大田区農業振興連絡協議会、JA 所属の区内農家

【令和６年度実績】

農業振興連絡協議会の開催：３回実施

見学会：東京都農林総合研究センター江戸川分場にて実施。

公衆浴場施設改善助成		公衆浴場（銭湯）	
令和７年度予算額　：	34,080 千円	令和６年度決算額　：	42,824 千円

【事業概要】

公衆浴場の転廃業を防止するため、施設等の改善費を区内の公衆浴場に助成し、区民の健康と衛生を確保します。

ア　バリアフリー化やレジオネラ菌対策を含む施設改善工事、備品購入に対する助成

補助率２／３、１浴場あたり３か年度で 300 万円まで助成

イ　クリーンエネルギー化等推進に対する助成

補助対象経費から東京都の補助金額を差し引いた残額に対し、補助率２／３、１浴場あたり 200 万円（LED システム照明器具設置については 75 万円）まで助成

ウ　耐震化促進に対する助成

補助対象経費から東京都の補助金額を差し引いた残額に対し、補助率２／３、１浴場あたり 200 万円まで助成

エ　温泉設備メンテナンス等に対する助成

補助率２／３、１浴場あたりで 30 万円まで助成

オ　高所清掃事業に対する助成

補助率２／３、１浴場あたりで８万円まで助成

カ　健康増進型浴場改築等助成

補助率１／10、１浴場あたり 800 万円まで助成（改修）

【対象者】

区内の公衆浴場

【令和６年度実績】

22 浴場

公衆浴場事業助成		公衆浴場（銭湯）	
令和７年度予算額　：	38,011 千円	令和６年度決算額　：	35,142 千円

【事業概要】

公衆浴場事業の運営を円滑にし、公衆浴場事業の振興と公衆衛生の向上を図るため、東京都公衆浴場生活衛生同業組合大田支部への助成を行います。

ア　大田・川崎共同事業の実施（川崎市との産業連携に関する基本協定に基づく事業）

イ　各種浴場事業費補助

しょうぶ湯、こども入浴デー（毎月第一日曜日）、ゆず湯（冬至の日）、ぼんたん湯、銭湯まつり（10 月 10 日）、年末年始営業助成、浴場利用促進事業、施設運営費助成

【対象者】

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部

【令和６年度実績】

ア　大田・川崎共同事業　12 月 14 日～２月 16 日実施箇所

イ　各種浴場事業費補助　９事業実施

公衆浴場対策研究会（予算計上なし）	公衆浴場（銭湯）

【事業概要】

公衆浴場のこれからのあり方を検討するため、研究会を開催します。

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部との研究会を奇数月に開催

【対象者】

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部

【令和６年度実績】

年６回開催

計量器定期検査の事前調査（隔年実施）（予算計上なし）	その他の業種

【事業概要】

適正な計量器を確保するため２年に一度、区内の計量器使用事業所を調査し、調査台帳の内容を更新して東京都に報告します（本検査は、東京都計量検定所がこの台帳に基づき実施します。）。

【対象者】

大田区内の計量器を使用する事務所

【令和６年度実績】※次回は令和８年度実施予定

調査件数　1152 件

（４）産業振興担当（観光）（電話番号：03-5744-1322）

「区内経済活性化」、「シビックプライドの醸成」、「区の魅力度・知名度の向上」を柱に、自然や歴史そして人々の営みなどの区の魅力を活かす施策に取り組み、庁内各部局や事業者、団体、そして区民と一層の連携を行い、人と繋がる観光のまちづくりを進めています。

おおたの観光魅力発信事業		観光振興事業
令和７年度予算額　：　81,913 千円	令和６年度決算額　：　77,703 千円	

※令和７年度より次の３事業を統合

・来訪者受け入れ環境の整備　令和６年度決算額　：　8,460 千円
・おおたの観光魅力発信事業　令和６年度決算額　：　15,087 千円
・観光情報センター等の運営　令和６年度決算額　：　54,156 千円

（１）大田区ウェルカムスポットへの支援	
令和７年度予算額　：2,417 千円	令和６年度決算額　：1,481 千円

【事業概要】

令和５年度から来訪者・登録店舗の双方にご利用いただきやすいものとするため、これまで「大田区ウェルカムショップ」「大田区まちかど観光案内所」としていた制度を「大田区ウェルカムスポット」として統合し運用しています。

【対象者】

・訪日外国人、区内外からの来訪者を受け入れる店舗・施設

【令和６年度実績】

・大田区ウェルカムスポット：509 か所、うち区施設 74 か所
　令和６年度は、10 か所を新規登録しました。

（２）観光案内サイン推進事業	
令和７年度予算額　：０千円	令和６年度決算額　：149 千円

【事業概要】

外国人旅行者や障がい者、高齢者など誰もが、安心して区内を回遊し、観光やまち歩きを楽しんでいただくことを目的として、観光案内サインを整備しています。観光案内サインには、観光資源や観光拠点等を日本語だけでなくピクトグラム・記号、多言語でも表記しているほか、観光情報や防災情報などにリンクする二次元コードを掲出して、様々な情報提供を行っています。

【対象者】

・区外からの来訪者、区民及び訪日外国人

【令和６年度実績】

・観光案内サイン１基の盤面地図の一部修正を行いました。

（３）大田区観光紹介用パンフレット	
令和７年度予算額　：5,775 千円	令和６年度決算額　：6,829 千円

【事業概要】

区の魅力を発信し、区内回遊及び消費拡大の促進を目的として観光紹介用パンフレットを作成しています。令和６年度はグルメ、歴史、銭湯、自然、ものづくりなど大田区の様々な魅力を紹介する「大田区公式観光ガイド」と「Ota City Guide Map」の改訂及び増刷を行いました。

【対象者】

・訪日外国人、区外からの来訪者、区民

【令和６年度実績】

（１）「大田区公式観光ガイド」の一部改訂及び増刷

・作成部数：日本語 40,000 部、英語 40,000 部

（２）「Ota City Guide Map」の一部改訂及び増刷

・作成部数：英語 20,000 部

大田区公式観光ガイド

Ota City Guide Map

（４）広域連携事業	
令和７年度予算額　：　2,150 千円	令和６年度決算額　：　2,097 千円

【事業概要】

川崎市・品川区をはじめとした自治体や民間企業と連携し、共同で情報発信を行うことで相乗効果を狙い、区内への誘客やにぎわいの創出につなげます。

１、周辺地域との連携事業

品川区・川崎市と連携し、羽田空港周辺に特化した外国人観光客向けの情報発信を行います。

【対象者】

・区外からの来訪者、訪日外国人

【令和６年度実績】

アメリカとタイの旅行会社を対象とした隙間時間やトランジットの活用に関するニーズ調査の実施。

２、多様な主体による地域 PR 事業

観光資源の一部を共有する品川区と連携して、相乗・発信効果を高め、近隣諸都市からの区への誘客、にぎわいの創出を図ることを目的として、事業を実施します。

【対象者】

・区内外からの来訪者

【令和６年度実績】

・開催期間

10 月 1 日から 11 月 17 日まで

・イベント内容

東海道や大森周辺エリアの活性化を目的とし、観光スポット等を巡る回遊ラリーを実施しまし

た。家族で気軽に参加できるクイズラリーと重ね捺しスタンプラリーを組み合わせることで区内外へ向け地域の魅力を発信することができました。

・イベント参加者数
600 名

（５）MICE 推進事業	
令和７年度予算額　：2,714 千円	令和６年度決算額　：3,342 千円

【事業概要】

大田区 MICE 関連情報発信サイト「OTA MICE GUIDE」の運営を通じて、区内 MICE 施設やその周辺情報の発信に努めます。

※MICE とは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

【対象者】

・区内外の MICE 主催者及び参加者、区内事業者、区民等

【令和６年度実績】

（１）大田区 MICE 開催支援助成金の交付　３件

（２）MICE 専用サイト「OTA MICE GUIDE」の運営

←MICE 専用サイト「OTA MICE GUIDE」トップページ
https:// ota-mice-guide.jp/

（３）日本工学会年報への広告掲載

（６）大田区観光 PR 特使事業	
令和７年度予算額　：45 千円	令和６年度決算額　：11 千円

【事業概要】

大田区の魅力を区の内外に発信することを目的として、区にゆかりがあり、文化・芸術、芸能、スポーツ等各界で活躍・活動している個人及び団体等に「大田区観光 PR 特使」を委嘱しています。それぞれの活躍の場や機会を通じて、区の魅力を広く発信してもらうことで、区の認知度向上や観光振興を図っています。

【対象者】

・訪日外国人、在住外国人、区外からの来訪者、区民

【令和６年度実績】

平成 24 年度の制度創設から令和６年度末までに、個人 13 人及び３団体等に「大田区観光 PR 特使」を委嘱しました。観光 PR 特使の各活動分野で大田区の魅力発信に寄与し、認知度向上及び誘客を図りました。令和６年度は、新たに書道家の金澤翔子氏に委嘱を行いました。

（７）地域と協働した観光魅力発信事業	
令和７年度予算額　：　4,500 千円	令和６年度決算額　：　4,499 千円

【事業概要】

区内の観光資源等を活用し、区の認知度向上、区への誘客及び回遊・消費向上につなげることを目的として、地域と協働した魅力発信事業を実施します。

【対象者】

・区外からの来訪者、区民、訪日外国人

【令和６年度実績】

区内個店によるインバウンド向け体験プログラム造成支援

・実施内容

インバウンドの集客及び消費促進を目的に、区内個店による日本文化体験プログラムの造成・モニタリングを伴走支援しました。

・体験プログラム造成店舗数　４店舗

（８）観光 PR のための展示及び PR ツール等の制作	
令和７年度予算額　：　1,452 千円	令和６年度決算額　：　916 千円

【事業概要】

区の認知度向上及び誘客を目的として、展示物・ノベルティの制作やイベント等の出展を行い、区内外に向けて大田区の魅力を広く発信します。

【対象者】

・区外からの来訪者、区民、訪日外国人

【令和６年度実績】

イベントなどで配布するノベルティとして大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」のステッカー３種類やメモ帳を製作しました。

また、大田区観光情報センター周知のため、京急蒲田駅内用ポスター等を製作しました。

新ステッカー３種類

メモノート

（９）「空の日」に実施する羽田空港イベントとの連携事業	
令和７年度予算額　：　1,500 千円	令和６年度決算額　：　1,000 千円

【事業概要】

羽田空港「空の日」記念行事と連携し、区の PR を行うことで、来場した皆様が「世界とつながるおおた」を体感していただけるよう取り組みます。

【対象者】

・区内外からの来訪者、訪日外国人

【令和６年度実績】

羽田空港第１・第２・第３旅客ターミナルビルおよび羽田エアポートガーデンを会場として、総勢 13,500 人が来場しました。

区は航空会社と連携を図り、オリジナルデザインの缶バッジ製作ワークショップなど区の PR を実施しました。

（10）大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」の活用	
令和７年度予算額　：3,605 千円	令和６年度決算額　：3,221 千円

【事業概要】

大田区の魅力を区内外に発信し、シティプロモーションを推進するとともに、区民のわがまちへの愛着を高めることを目的として、大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」を積極的に活用します。

【対象者】

・区外からの来訪者、区民

【令和６年度実績】

・公式Ｘフォロワー数：10,320 人（令和７年３月 31 日現在）
・イベント参加件数：128 件
・デザイン使用申請件数：637 件

（11）大田区観光情報センターの運営	
令和７年度予算額　：55,082 千円	令和６年度決算額　：46,489 千円

【事業概要】

京急蒲田駅直結の商業施設内にある大田区観光情報センターは、国内外からの旅行者をはじめとした区内への来訪者誘客及び観光情報の発信を目的として、「来訪者と『まち・ひと』をつなぐ観光拠点」をコンセプトとした観光案内所です。

・名　　称：大田区観光情報センター
・住　　所：大田区蒲田四丁目 50 番 11 号　ウィングキッチン京急蒲田Ｍ２Ｆ
・営業時間：９：00～20：00（年中無休）
・電　　話：03-6424-7288
・Ｕ　Ｒ　Ｌ：https://tokyoactivity.com/ja/
・開 設 日：平成 27 年 12 月 11 日
・サービス内容：
　ア　多言語による大田区の観光案内
　イ　展示・物販を通じた大田区の観光・食・技術の PR
　ウ　着付け、折り紙体験等の日本文化体験（無料）の実施
　エ　イベント等を通じた区民と来訪者の来館促進

※日本政府観光局（JNTO）認定外国人観光案内所《カテゴリー2》

【対象者】

・区外からの来訪者、区民

【令和６年度実績】

・来場者数　39,916 人（うち外国人 7,295 人）

・文化体験利用者数　2,769 人

・物販売上実績　15,624,400 円

羽田空港にある観光情報コーナーや、SNS 等で文化体験を PR したことにより、外国人旅行者の来館者数が開設以来最多となりました。また、おおた博覧会 2024 in 羽田空港や、大田区伝統工芸展等への出店協力など庁内外を問わず積極的な連携を行い、区内の産品販売や観光情報の発信に注力しました。

（12）羽田空港観光情報コーナーの運営	
令和７年度予算額　：2,671 千円	令和６年度決算額　：7,667 千円

【事業概要】

パンフレットの配架、ポスター掲出、観光関連の展示を通じて、大田区への誘客を図ることを目的に、羽田空港第３ターミナル国際線到着ロビー（２階）等に大田区の観光情報コーナーを設置しています。

【対象者】

・訪日外国人、区外からの来訪者、区民

【令和６年度実績】

（１）　羽田空港第３ターミナル国際線到着ロビー・第２ターミナル国際線ウェルカムセンター

パンフレットの配架及びポスター掲出、観光関連の展示を通じて、大田区内の観光情報を発信し、認知度向上に努めました。

（２）　池上駅

令和３年３月から設置。パンフレットの配架、イラストマップの展示、デジタルサイネージを通じて、大田区内の観光情報を発信し、認知度向上ならびに誘客を図りました。

一般社団法人大田観光協会の運営	観光振興事業
令和７年度予算額　：　68,248 千円	令和６年度決算額　：　66,050 千円

一般社団法人　大田観光協会補助事業	
令和７年度予算額　：68,248 千円	令和６年度決算額　：66,050 千円

【事業概要】

（一社）大田観光協会の実施する事業を支援することで、民間視点での区内経済活性化・地域活性化を取り入れた観光振興施策を行います。

※詳細は 70 頁「第７　一般社団法人大田観光協会の事務事業」参照。

大田区における撮影支援・協力（予算計上なし）	観光振興事業

【事業概要】

大田区の認知度向上と新たな観光資源の開拓を目的とし、CM・ドラマ・映画等の区内撮影に対してロケ支援を行っています。これまでも東宝映画「シン・ゴジラ」、TBS テレビドラマ「集団左遷」や「下町ロケット」、WOWOW オリジナルドラマ「TOKYO VICE」等での撮影支援を行ってきました。今後も制作会社等への協力を行うとともに、東京ロケーションボックスほかと連携し、大田区の露出を増やし、魅力度向上に努めていきます。

【対象者】

・区内撮影等希望者

【令和６年度実績】

（１）情報提供・ロケーション紹介

・テレビドラマ

・ミュージックビデオ・企業 PR 動画撮影

・日本テレビ等バラエティー番組撮影

・TBS テレビ情報番組　等

（２）ロケ相談

・60 件

（５）産業振興担当（イノベーション）（電話番号：03-5744-1641）

HANEDA GLOBAL WINGS（羽田空港跡地）第１ゾーンにおいて、区内産業の活性化及び日本全体の経済成長に寄与するまちづくりを目指し、平成 27 年７月に、「羽田空港跡地第１ゾーン整備方針」を策定しました。国内外のヒト・モノ・情報を呼び込み、産業交流に資する機能を集積させ、公民連携により「新産業創造・発信拠点」の形成を目指すべく、同ゾーン内の第一期事業用地の開発に係る事業契約を羽田みらい開発株式会社（特別目的会社）と交わし、令和２年７月、「羽田イノベーションシティ」をまち開きしました。令和５年 11 月にはグランドオープンを迎え、先端医療研究センターなど新たな機能が加わりました。

羽田イノベーションシティにおける公民連携の推進	新産業創造・発信拠点の形成
令和７年度予算額　：7,567 千円	令和６年度決算額　：23,047 千円

【事業概要】

専門的な知見を有する事業者の支援のもと、羽田イノベーションシティの運営事業者による事業実施状況を確認するとともに、事業成果の評価・分析に基づく課題抽出と対応策の提示を行うことで、公民連携による政策目的の実現を図ります。

【令和６年度実績】

事業全体の成果指標を「経済波及の創出」「人の流れの創出」「認知度・満足度」としています。「経済波及の創出」では、独自の産業連関表に基づく経済波及効果額を算出しました。「人の流れの創出」では、携帯電話の位置情報データの活用により区内回遊の状況などを分析しました。また、羽田イノベーションシティの入居企業や滞在施設への宿泊者に対するアンケート調査を実施し、経済波及や人の流れ、満足度の実態分析も行っています。これらの分析結果などを踏まえ、モニタリング報告書を作成し、運営事業者に対して事業の充実・強化に向けた提言を行いました。

産業交流拠点の形成	新産業創造・発信拠点の形成
令和７年度予算額　：369,364 千円	令和６年度決算額　：364,969 千円

【事業概要】

羽田空港跡地第１ゾーン整備方針において、公民連携により世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成し、産業交流施設に先端産業分野の企業誘致や起業・ベンチャー支援、協創プロ

ジェクトの推進などの機能を位置付けました。

令和２年７月、羽田イノベーションシティ内に区が開業した産業交流施設「HANEDA×PiO（ハネダピオ）」にて、多様な交流機会を創出する取組を進めていきます。

【令和６年度実績】

「HANEDA×PiO（ハネダピオ）」の交流空間「PiO PARK（ピオパーク）」では、新産業を創造し、発信する場となることを目的に、管理者である（公財）大田区産業振興協会と連携しイベントの実施や利用者の誘致等を進めました。

テナントゾーンにおいては、入居テナント間の交流会開催等を通じた相互交流や区内企業との連携創出に関する取組を実施しました。

来訪者数：29,613 人（内イベントのオンライン参加者数：655 人）

イベント件数：227 件

イノベーション創出の推進	新産業創造・発信拠点の形成
令和７年度予算額：29,857 千円	令和６年度決算額　：19,102 千円

【事業概要】

大企業やスタートアップ等が有する技術・開発ニーズと、区内企業が持つ匠の技術を掛け合わせたオープンイノベーションを創出します。また、区民生活の質の向上や SDGs のさらなる推進など、区が抱える地域課題の解決に資する先進的な技術やソリューションを有する企業等に対して、区内での実証実験を促進するとともに、実証された技術の区内での実装に向けた切れ目のない伴走支援を行います。

（１）オープンイノベーション促進事業	
令和７年度予算額（新規）　：　6,485 千円	令和６年度決算額　：　—

【事業概要】

羽田イノベーションシティ内の大田区発産業交流空間「PiO PARK（ピオパーク）」を拠点に、技術・開発ニーズを有する大企業やハードウェアスタートアップ等と、匠の技術を有する区内企業をマッチングすることで、製品開発等の新たなプロジェクトを創出します。また、本取組を積極的に広報することで、PiO PARK のオープンイノベーション拠点としての機能を区内外に PR し、企業集積を図ります。

【対象者】

技術・開発ニーズを有する企業、スタートアップ等及び区内企業

（２）実証実験・実装促進事業	
令和７年度予算額　：　21,464 千円	令和６年度決算額　：　17,446 千円

【事業概要】

地域課題の解決に資する技術やソリューションを有する企業等を選定し、区内での実証実験を展開するための伴走支援を行うとともに、実証された技術の区内での実装や横展開に向けた支援を行います。また PiO PARK を拠点に本取組の PR を行うことで、羽田イノベーションシティから区内へと波及させる仕組みを構築し、地域課題解決に寄与する良質なスタートアップなどの集積を図ります。

【対象者】

地域課題の解決に資する技術やソリューションを有するスタートアップ等

【令和６年度実績】

２件のスタートアップを選定し、それぞれマッチングした行政現場と地域課題の解決に資する実証実験を実施しました。

また、PiO PARK を拠点に、事業のキックオフイベントや成果発表会を通じて区内外に向けて本取組の PR を行いました。

（３）海外連携先構築、HICity・HANEDA×PiO の PR	
令和７年度予算額：　1,907 千円	令和６年度決算額　：　1,656 千円

【事業概要】

羽田イノベーションシティや「HANEDA×PiO（ハネダピオ）」の取組について、東京都等との連携により、スマートシティ関連展示会への出展を通じて国内外への PR を行います。

また、PR を通じてスマートシティやオープンイノベーションの取組を進める自治体や団体との連携を図ります。

【令和６年度実績】

令和６年５月　SusHi Tech Tokyo 2024 出展（東京都主催）

令和６年 11 月　Smart City Expo World Congress2024 出展（東京パビリオンにて出展）

（６）融資係（電話番号：03-3733-6185）

区内の中小企業者が経営の安定や改善、設備の向上等のために必要な資金を低利で利用できる各種融資を金融機関へあっせんしています。

また、日本政策金融公庫や商工会議所等と連携して資金調達の多様化を図り中小企業者の事業経営を資金面から支えることで、区内産業の活性化・競争力強化につなげていきます。

中小企業融資		資金調達の支援	
令和７年度予算額　：	1,597,895 千円	令和６年度決算額　：	1,568,192 千円

（１）中小企業融資あっせん制度	
令和７年度予算額　：1,585,967 千円	令和６年度決算額　：1,558,894 千円

【事業概要】

経営改善や設備の向上等に必要な事業資金の低利融資を金融機関にあっせんし、支払利子等を補助します（区が直接融資する制度ではありません。金融機関等の審査によっては融資が受けられない場合があります）。

主な資金	融資限度額	返済期間	名目利率	利子補給率	本人負担率
一般運転資金	2,000 万円	84 か月以内	1.8%以下	1.2%	0.6%以下
一般設備資金	3,000 万円	108 か月以内	1.8%以下	1.2%	0.6%以下
開業資金	2,000 万円	84 か月以内	1.8%以下	1.4%	0.4%以下
商店街空き店舗活用 ものづくり事業				全額	なし
経営改善一本化資金	2,500 万円	84 か月以内	1.8%以下	1.2%	0.6%以下
経営強化資金	1,000 万円	84 か月以内	1.5%以下	1.3%	0.2%以下
小規模企業 特別事業資金	300 万円	60 か月以内	1.5%以下	1.3%	0.2%以下
チャレンジ企業 応援資金	5,000 万円	108 か月以内	1.5%以下	全額	なし
ＳＤＧｓ・脱炭素推進 企業支援資金	1,000 万円	60 か月以内	1.8%以下	1.7%	0.1%以下
区認定拡充枠	2,000 万円				
原油価格・物価高騰対策資金（※1）	1,000 万円	84 か月以内	1.5%以下	全額	なし

※1　原油価格・物価高騰対策資金は令和７年３月 31 日までで申込受付終了。

- 金利は令和７年４月１日現在。すべて固定金利。
- 区のあっせん制度と都の融資制度の要件を満たす方は、区の利子補給と都の信用保証料補助を併用できる場合があります。

【対象者】

区内の中小企業者、区内での開業予定者（※その他一定の要件を満たすことが必要）

【令和６年度実績】

あっせん件数： 4,338 件、あっせん金額：374 億 6,104 万円

（上記のうち、原油価格・物価高騰対策資金　2,637 件、221 億 3,970 万円）

（２）小規模事業者経営改善資金（マル経融資）利子補給制度	
令和７年度予算額　：6,455 千円	令和６年度決算額　：4,466 千円

【事業概要】

株式会社日本政策金融公庫大森支店で貸付を行っている「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」の利用者を対象に、貸付日から３年間に支払った利子の 40%相当額を補助します。

【対象者】

東京商工会議所大田支部の推薦を受け、株式会社日本政策金融公庫大森支店から「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」の貸付を受けた区内中小企業者

【令和６年度実績】

利子補給件数：407 件、利子補給額：4,466 千円

（３）新創業融資資金利子補給制度	
令和７年度予算額　：2,964 千円	令和６年度決算額　：3,717 千円

【事業概要】

株式会社日本政策金融公庫大森支店で貸付を行っている「新創業融資制度」の利用者（融資日が令和６年３月 31 日まで）を対象に、貸付月から最大３年間に支払った利子の 50%相当額を補助します。

【対象者】

株式会社日本政策金融公庫大森支店から「新創業融資制度」の貸付を受けた区内中小企業者

【令和６年度実績】

利子補給件数：160 件、利子補給額：3,717 千円

（４）事業承継資金利子補給制度	
令和７年度予算額　：2,509 千円	令和６年度決算額　：1,115 千円

【事業概要】

株式会社日本政策金融公庫大森支店で貸付を行っている「事業承継・集約・活性化支援資金」の利用者を対象に、貸付月から最大３年間に支払った利子の 50%相当額を補助します。

【対象者】

株式会社日本政策金融公庫大森支店から「事業承継・集約・活性化支援資金」の貸付を受けた区内中小企業者

【令和６年度実績】

利子補給件数： ９件、利子補給額：1,115 千円

第６　公益財団法人大田区産業振興協会の事務事業

※記載している事業は「主な事業」です。
※社会経済情勢の変化などを受けて、変更になる場合があります。
※記載の予算・決算額を積算しても端数処理等により、実際の事業予算・決算額と一致しない場合があります。
※各事業枠内の予算・決算額のうち、（補）は区補助金を充当した額を示しています。また、（委）は区が委託した事業で区委託料により実施した事業。（利）は利用料金制度により利用料収入を財源として実施した事業です。

１　総務部

（１）総務人事係（電話番号：03-3733-6466）

職員の人事服務等協会の運営に必要な事務全般、並びに企画立案、進捗管理及びその調整と改善を行い、職員力と組織力の強化に取り組みます。

（２）財務経理係（電話番号：03-3733-6466）

協会内の財産管理をはじめ、予算及び決算等財務会計全般について担当し、適切な金銭管理を行います。

（３）知的財産・経済安全保障担当（電話番号：03-3733-6496）

区内企業の知的財産活用促進のため、知的財産に関する知見の提供や、ワークショップ及びセミナーなどを開催します。なお、創業者支援においてはピッチイベントの場を提供し、ＶＣ・ＣＶＣなどとのマッチングを促進します。また、東京に拠点づくりを目指すスタートアップ企業の区内誘致を図り、区内産業のイノベーションを促します。

知的財産・シンクタンク事業				技術・研究開発
令和７年度予算額：	980 千円	（補）	830 千円	
令和６年度決算額：	―	（補）	―	

【事業概要】

グローバル競争激化やイノベーションの重要性が高まる中、知的財産の戦略的活用による区内中小企業活性化、国際競争力強化、リスク低減や新事業創生などを目指します。

ア　知的財産の戦略的活用・保護
イ　客員社会連携 CD 制度による新事業創出
ウ　各種イベントによる区内企業の知財活用促進

【対象者】

大田区内に事業所を有する区内中小企業

【令和６年度実績】

〇知的財産の保護・活用
大手企業の開放特許の区内中小企業活用を促進する目的で、東京都知財センターと連携し、知財マッチングイベントを開催しました。

開催日：令和６年 10 月 17 日
イベント概要：
知的財産マッチング会 in 大田区～「環境×特許」で事業拡大！中小企業の新たな挑戦～
【シーズ発表】３社（パナソニックホールディングス株式会社、日本大学、富士通株式会社）
【主催】東京都知的財産総合センター【後援】（公財）大田区産業振興協会
参加者数：14 人（７人）（区内中小企業）

〇シンクタンク機能の整備
シンクタンク機能の整備のため、東京都および神奈川県でシンクタンク機能を有する自治体に視察・ヒアリングを実施しました。
視察数：５自治体
視察自治体名：新宿区、世田谷区、港区、荒川区、横須賀市

〇知財マッチングの推進
大手企業・大学などの知的財産と区内中小企業のニーズを結び付け製品開発を支援するため、知財マッチングを推進しました。
知財マッチング案件数：11 件

創業者支援事業（ベンチャーピッチ、スタートアップ誘致）（56 頁にも事業説明あり）	創業・相談事業・コンサルティング
令和７年度予算額：1,172 千円　（補）1,172 千円 令和６年度決算額：5,115 千円　（補）5,115 千円	

【事業概要】
ア　ベンチャーピッチ
ものづくり分野での優れたビジネスプランを持つ企業を広く募り、ピッチイベントを開催し、協業者とのマッチングを目指します。経営者に求められるスキル向上への支援を行います。また、ピッチ参加者から選抜で「Meet New Solution in OTA」への出展などの機会を設けます。
イ　スタートアップ誘致
沖縄県や台湾などの関係機関との連携を通じて、東京進出を目指す有望なスタートアップ企業の誘致活動を行います。
【対象者】
ア　区内で創業を検討される方及び創業間もない方
イ　国内外のスタートアップ企業
【令和６年度実績】
ア　ベンチャーピッチ in 羽田
申込件数：17 社・団体
コーチング・ピッチ実施：８社・団体
全体コーチング：第１回　令和６年 10 月 16 日
第２回　令和６年 10 月 30 日
第３回　令和６年 11 月 13 日

第４回　令和６年 11 月 27 日

個別コーチング：令和６年 10 月～令和７年１月の４か月間、各５回程度を目安に実施

ピッチイベント：令和６年 12 月 12 日

※ベンチャーキャピタルなどの投資企業に対してプレゼンテーションを実施

イ　スタートアップ誘致

令和６年 11 月に沖縄で開催された１万人規模の IT・DX の展示会商談会「ResorTech EXPO in Okinawa（リゾテックエキスポ)」に出展しました。国内外スタートアップ企業を対象に、大田区への企業誘致につながる機会としてブースを設けて PR しました。

商談件数：197 件。

２　商いサービス部

（１）商いセールス係（電話番号：03-3733-6476）

区内商業・サービス業事業者（個店）の経営力・商品力を高め、魅力ある店舗づくりを支援するとともに取引・販売機会の場を設け、商業・サービス業の活性化を推進します。

おおたイチ推しマルシェ	商店街・商い・サービス業
令和７年度予算額：2,774 千円　（補）2,554 千円 令和６年度決算額：2,180 千円　（補）1,987 千円	

【事業概要】

人通りが多く、大勢の目に留まる場所に会場を設けて区内商店による販売･PR イベントを開催し、新規顧客獲得と販路拡大を目指すとともに、来場者に区内商店の魅力を PR していきます。

【対象者】

出展者：区内の中小企業者及び個人事業者

【令和６年度実績】

会　　期：（１）令和６年６月 15 日～16 日
（２）令和６年８月３日～４日
（３）令和６年 11 月２日～３日
（４）令和７年２月７日

参加事業者数：（１）９店舗
（２）９店舗
（３）17 店舗
（４）３店舗

購 買 人 数：（１）1,057 人
（２）877 人
（３）1,948 人
（４）85 人

商い・サービス産業取引相談	商店街・商い・サービス業
令和７年度予算額：23,972 千円　（補）23,172 千円 令和６年度決算額：15,903 千円　（補）15,094 千円	

【事業概要】

区内商業・サービス業事業者の取引促進のため、専門相談員による事業者の訪問調査・相談を行うとともに、各種サポートや商談機会を提供します。

ア　専門相談員（あきない活性化コーディネーター）による区内商業・サービス業事業者への訪問調査・相談を実施します。

イ　フード展示商談会

主に区内食品事業者を集め、バイヤーへ自社商品を売り込む商談会を開催します。

ウ　輝け！次世代商人 ～あきない成長促進プログラム～

現役で活躍している経営者・バイヤー等を講師として迎え、意欲ある店主や後継者らに対して個別講義や実践の機会を提供し、経営者としての成長を目指します。

【対象者】

区内商業・サービス業事業者

【令和６年度実績】

ア　専門相談員による区内商い関連事業者への訪問件数 延べ 578 件

イ　フード展示商談会

・第８回フード展示商談会 in 大田

令和６年 10 月 24 日　大田区産業プラザ　コンベンションホール

①　出展者（売り手側）32 社（区内 29 社、区外３社）

②　来場者（買い手側）67 人

商談件数：93 件

ウ　輝け！次世代商人 ～あきない成長促進プログラム～

・参加店舗数　６店舗

・専門家による講義回数　25 回

銘店への道事業	商店街・商い・サービス業
令和７年度予算額：10,547 千円　（補）10,547 千円 令和６年度決算額： 5,019 千円　（補） 5,019 千円	

【事業概要】

ア　銘店への道事業 ～新規チャレンジ支援プログラム～

大田区内の小売業、飲食業、サービス業を営む事業者等を対象に、商店経営や店舗設計等の専門知識と経験を持つコーディネーターとともに、店舗改装や新規チャレンジに取り組むことで、経営基盤の拡充や販路拡大を目指します。加えて、新たな取組、新たなチャレンジにかかる費用の一部を助成し、安定して長く続くお店づくりを応援します。

イ　デジタルを活用した情報発信

LINE 公式アカウント「商い Pi0」を活用し、協会からの情報提供とサービスの利用案内を行います。

【対象者】

区内商業・サービス業事業者

【令和６年度実績】

ア　伴走支援・改善費用助成

申請件数：25 件、採択件数：13 件

イ　デジタルを活用した情報発信

配信回数 47 回、登録者数 340 アカウント（令和７年３月現在）

（２）Pi0 フロント・勤労者共済係

勤労者共済（電話番号：03-3733-6107）

大田区勤労者共済は、相互扶助の精神により、会員・大田区・共済会が一つになって、中小企業の勤労者福祉サービスを提供する仕組みです。慶弔見舞金の給付や各種福利厚生サービスなど、会員の皆様が安心して働けるための事業と会員のご家族も心豊かに生活を送れる事業を行っています。

【勤労者共済について】

○　加入対象：区内中小企業の事業主と従業員、区内に居住し、区外の中小企業で働く従業員

○　会費等：入会金　200 円　　月会費　500 円

○　給付事業：出生・結婚・銀婚・金婚・入学・継続・見舞金・弔慰金等

○　福利厚生事業：　宿泊補助、レジャー施設利用補助、各種チケット割引、健康維持増進事業

加入促進事業（運営費）	勤労者福祉
令和７年度予算額：25,050 千円　（補）15,416 千円 令和６年度決算額：10,972 千円　（補）　5,085 千円	

【事業概要】

会員募集パンフレット類の配布や加入促進員及び職員の訪問勧奨により会員数の増加を図ります。

○　勤労者共済事業の周知活動

・事業紹介に関するパンフレットの配布

・各団体会報誌への掲載、会報誌の発行

○　会費管理

・給付状況把握及び加入促進

・会員の事業利用状況の把握・給付申請の通知

【令和６年度実績】

会員事業所数 1,252 事業所、会員数 3,837 人

大田区勤労者共済会報誌「ふれあい」発行（年 10 回）

福利厚生事業	勤労者福祉
令和７年度予算額：45,961 千円 令和６年度決算額：43,664 千円	

【事業概要】

○　健康維持増進に関する事業（人間ドック、インフルエンザ予防接種受診補助、公衆浴場、スポーツセンター・区営プール利用補助）

○　宿泊施設の利用（ライフサポート倶楽部宿泊補助）

○　契約施設等の利用（レジャー施設利用補助、区内指定店、デパート割引）

○　各種チケットの割引（映画・スポーツ観戦・観劇チケット・食事券等の割引）

【令和６年度実績】

各事業において発券・補助・割引斡旋した件数 19,271 件

給付事業	勤労者福祉
令和７年度予算額：8,040 千円 令和６年度決算額：4,910 千円	

【事業概要】

○「祝金」（結婚・銀婚・金婚、20 歳、出生）、「見舞金」（入院、障害、住宅火災）「弔慰金（会員・家族死亡）の給付

○「祝品」（入学・継続）の贈呈

【令和６年度実績】

祝金・入学・継続祝品・見舞金・弔慰金　給付合計件数 584 件

Pi0 フロント（電話番号：03-3733-6144）

大田区産業プラザ１階入口の経営相談窓口「Pi0 フロント」で創業や経営に必要な情報の提供、専門的な助言を行います。

中小企業情報化支援	創業・相談事業・コンサルティング
令和７年度予算額：5,631 千円　（補）3,090 千円 令和６年度決算額：4,285 千円　（補）2,375 千円	

【事業概要】

区内中小企業が自社（製品・商品・技術・サービス）を効果的に PR できるよう、デザインを専門とする相談員等によるホームページなどの PR ツールの作成支援に加え、自社の強みを見出す助言を行います。

【対象者】

区内中小企業

【令和６年度実績】

ホームページ・PR ツール作成支援サービス「Pi0 デザイン工房」

利用回数 延べ 248 回　　新規利用者数 19 社

ビジネスサポートサービス **（ビジネスサポート相談、経営相談窓口「Pi0 フロント」）**	人材育成・確保 創業・相談事業・コンサルティング
令和７年度予算額：8,127 千円　（補）8,127 千円 令和６年度決算額：5,231 千円　（補）5,231 千円	

【事業概要】

経営や技術等の課題を抱える区内中小企業に対し、専門家の助言等を通して解決や成長を後押しします。

ア　ビジネスサポート相談

経営改善、販路開拓、技術・生産性の向上、知財の活用、事業承継などに取組む区内中小企業等に対し、各分野の専門家を派遣します。

イ　経営相談窓口「Pi0 フロント」

大田区産業プラザの来館者の相談に対しワンストップで、必要な情報の提供、専門的な助言を行います。さらに、国や都等の支援機関窓口への橋渡しを行うことで、区内中小企業の経営基盤の強化につなげるとともに、産業プラザ全体の窓口機能を併せもつことで利便性を向上させます。

【対象者】

区内中小企業

【令和６年度実績】

ア　ビジネスサポート相談：　支援協力者登録数 102 人、専門家派遣回数　延べ 428 回

イ　経営相談窓口「 Pi0 フロント」

・Pi0 フロントにおける相談等の利用件数　延べ 3,466 件

創業者支援事業（創業相談窓口の設置） （51 頁及び 56 頁イノベーション係にも事業説明あり）	創業・相談事業・コンサルティング
令和７年度予算額：16,331 千円　（補）16,331 千円 令和６年度決算額：　9,062 千円　（補）　9,062 千円	

【事業概要】

創業相談窓口を設置し、新規創業者の発掘・育成と、事業計画の策定、資金調達及び販路拡大の方法など、様ざまな課題の解決に向けて助言します。

【対象者】

区内で創業を検討される方及び創業間もない方

【令和６年度実績】

相談件数：延べ 868 回

創業者交流会　令和7年1月 27 日実施　参加者 15 人

３　産業者支援部

（１）イノベーション係（電話番号：03-3733-6294）

区内企業の製品・技術のイノベーションを促すため、産学連携や企業マッチング等の機会を提供するほか、次世代産業創造事業・産業クラスター形成事業及び新製品・新技術開発支援事業を実施します。また、イノベーション創出に資する情報提供として各種セミナーの開催に加え、新分野・新産業を見据えた展示会への出展等を行います。

創業者支援事業（ユナイト助成） （51 頁及び 56 頁 Pi0 フロントにも事業説明あり）	創業・相談事業・コンサルティング
令和７年度予算額：5,148 千円　（補）5,148 千円 令和６年度決算額：5,132 千円　（補）5,132 千円	

【事業概要】

スタートアップ企業の試作・開発に対して、区内企業への依頼・発注を条件に助成金を交付することで受注増加・販路の拡大及び技術力の向上を図るとともに、区内への立地を後押しします。

（随時募集。ただし、予算到達次第、募集終了。）

【対象者】

登記から６カ月以上５年以内の企業

【令和６年度実績】

助成件数　６社　　申込件数　６社

新製品・新技術開発支援事業	技術・研究開発
令和７年度予算額：77,763 千円　（補）77,763 千円 令和６年度決算額：68,374 千円　（補）68,374 千円	

【事業概要】

ア　トライアル助成、開発ステップアップ助成、実用化製品化助成

区内中小企業の技術力、製品開発力の向上を図り、付加価値を生み出すものづくり産業の活性化を図るため、試作開発に要する経費の一部を助成します。

〇トライアル助成（随時募集。ただし、予算到達次第、募集終了。）

助成限度額：100 万円、助成率：助成対象経費の２分の１

〇開発ステップアップ助成

助成限度額：500 万円、助成率：助成対象経費の３分の２

〇実用化製品化助成

助成限度額：500 万円、助成率：助成対象経費の３分の２

イ　新製品・新技術コンクール

区内中小企業が開発した優秀な新製品・新技術を表彰します。また、受賞製品や技術について販路拡大支援等を行います。

【対象者】

ア　区内で本社または事業所を１年以上操業している中小企業（個人事業者を含む）

イ　区内で本社または事業所を１年以上操業している中小企業及び企業グループ

【令和６年度実績】

ア　トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成：助成件数 23 社

〇トライアル助成：申込件数 10 社、助成件数 10 社

〇開発ステップアップ助成：申込件数 21 社、助成件数 10 社

〇実用化製品化助成：申込件数 11 社、助成件数３社

イ　新製品・新技術コンクール

申込件数 26 件、表彰件数９件（最優秀賞：１件、優秀賞：２件、奨励賞等：６件）

次世代産業創造・産業クラスター形成事業	技術・研究開発
令和７年度予算額：52,808 千円　（補）50,124 千円 令和６年度決算額：50,624 千円　（補）48,504 千円	

【事業概要】

大学・公的研究機関・医療機関等との連携により、多様化・先進化する開発ニーズを捉え、区内中小企業のライフサイエンス・ヘルスケア（医療、福祉・介護、健康等）、ロボティクス、次世代モビリティ、農工連携、危機管理・防衛、航空・宇宙、IoT、AI、環境・資源・新エネルギー分野等の次世代の産業分野への参入を支援します。また、大田区を拠点とした新しい産業クラスターを創出するため、ニーズの掘り起こしやマッチングを通じて区内中小企業の共同研究・部材供給・新製品

開発の取組を支援し、新たな市場開拓先として次世代の産業分野に対応します。

併せて、産業クラスター形成に向け、羽田空港跡地成長戦略拠点の事業展開に沿う大田区企業の産業クラスター形成を図り、地域産業の対応力の向上と受注の獲得に取り組みます。

ア　区内の研究開発型企業に関する情報の発信

大学等研究機関の開発ニーズと区内の研究開発型企業の技術とのマッチング促進のため、研究開発型企業を紹介する web サイト「mirai」の運営、大田区研究開発型企業ガイド（冊子）の発行、展示会への出展、研究開発型企業向けのメルマガ配信及び大学・研究機関に対する協会事業等の情報発信を実施します。

イ　産学交流相談

区内中小企業に対し、産学連携相談や大学・研究機関等とのマッチングを行い、新製品・新技術の事業化を伴走支援します。

ウ　オープンイノベーションマッチング

大学等研究開発機関や大手企業の開発ニーズを捉え、区内中小企業とのマッチングを推進することにより、区内中小企業の新産業、次世代産業への参入の機会提供を行います。

エ　各種ワークショップの開催

ライフサイエンス・ヘルスケア、ロボティクス、次世代モビリティ、資源・レアアース泥（でい）開発、環境・海洋プラスチックごみ、農工連携、危機管理、意匠デザイン等、新技術や新分野をテーマにしたセミナーやワークショップを開催します。

オ　新産業分野の展示会への出展

次世代産業分野を中心に出展し、区内中小企業の技術力を PR するとともに、研究開発型案件を獲得します。

【対象者】

区内中小企業

【令和６年度実績】

ア　研究開発マッチングシステム（登録企業 149 社、メルマガ発信 23 回）、Future innovation OTA ニュースメルマガ配信 22 回、大田区研究開発型企業ガイド発行 2,500 部、大学や企業研究機関からの mirai を通じた技術相談 81 件

イ　研究開発相談　196 件

ウ　大田区・川崎市・品川区企業との連携による大手自動車メーカーへのオープンイノベーション（出張展示会）実施に向けて、各種調整作業を実施した（令和７年７月に実施予定）。

エ　医工連携セミナー（16 人参加）、3D 金属積層造形活用セミナー（18 人参加）、アルミニウムセミナー（101 人参加）、ナノテラス活用セミナー（22 人参加）、デザインセミナー（33 人参加）

オ　新産業分野の展示会への出展（１展示会、相談件数 58 件）

おおた研究・開発フェア	技術・研究開発
令和７年度予算額：20,752 千円　（補）17,122 千円 令和６年度決算額：19,176 千円　（補）15,942 千円	

【事業概要】

区内中小企業と全国の大学及び区内外の研究開発型企業との出会いの場を提供し、産学・産産連携の促進や取引拡大を目指します。

【対象者】

国内外の企業・大学・高専・研究機関

【令和６年度実績】

出展者数 92 社・機関、登録者数 1,475 人、商談件数 5,129 件、特別講演２回、
受講者数延べ 200 人

（２）国内取引支援係（電話番号：03-3733-6126）

区内中小企業の受注拡大、新市場開拓、ビジネスチャンス獲得に向け全力でサポートします。ものづくり産業をはじめ大田区の特色・魅力を持つ区内中小企業に対して、受・発注相談や、Meet New Solution in OTA 等、協会の自主展示会、各種商談会を実施するほか、国内の見本市への出展を支援します。これらの機会を通じて、区内中小企業の取引拡大を図ります。

受・発注相談	取引拡大
令和７年度予算額 :29,577 千円　（補）29,049 千円 令和６年度決算額 :27,894 千円　（補）27,401 千円	

【事業概要】

区内中小企業の取引機会を拡大するため、国内外からの受・発注あっせん相談に対応できる専門スタッフ（技術連携相談員）を配置し、適切な区内中小企業の紹介を行うとともに、幅広く商談機会を提供します。

ア　相談業務

技術連携相談員による受注・発注のあっせん相談及び区内中小企業の操業状況や、要望を把握・確認するための巡回訪問を行います。

イ　発注開拓

職員、技術連携相談員が中堅・大手メーカーの開発部門等への営業訪問を行い、発注案件の開拓を行います。

ウ　受・発注商談会

区内外のものづくり企業が一堂に会する商談、技術提携及び情報交換の場を設けます。

【対象者】

区内中小企業

【令和６年度実績】

ア　相談業務

成立件数 103 件、成立金額 67,299 千円、相談件数：受注 27 件・発注 654 件、
巡回件数 2,365 件（技術連携相談員 1,214 件、外部委託 1,151 件）

イ　発注開拓

職員、技術連携相談員による主に区外の中堅・大手企業への発注開拓
訪問先 67 件、成約案件 17 件、成約金額 4,445 千円

ウ　受・発注商談会（第 63 回ものづくり受発注商談会 in 大田）

令和６年 12 月３日、参加企業 167 社（発注 54 社、受注 113 社）、商談件数 501 件

大田区加工技術展示商談会	取引拡大
令和７年度予算額 :19,360 千円　（補）16,610 千円 令和６年度決算額：15,719 千円　（補）13,497 千円	

【事業概要】

主に従業員 10 人以下の加工専門企業を対象に、各社の技術力を全国の中堅・大手企業に PR し具体的な契約成立を図るため、展示商談会を開催します（年１回)。

【対象者】

区内中小企業

【令和６年度実績】

大田区加工技術展示商談会 2024　会場：大田区産業プラザ

令和６年９月 12 日開催

参加 103 社・団体、来場者 1,403 人、商談件数 1,355 件

国内見本市への出展支援	取引拡大
令和７年度予算額：17,405 千円　（補）13,521 千円 令和６年度決算額：15,144 千円　（補）12,033 千円	

【事業概要】

区内中小企業が開発・生産した優秀な製品や技術のアピールと取引拡大を目的として、全国的な展示会に出展するための支援を行います。

ア　ものづくり産業 PR 展示会への出展支援

イ　新製品・新技術コンクール受賞企業褒賞出展

【対象者】

区内中小企業

【令和６年度実績】

ア　国内見本市への出展、１展示会（テクノフロンティア 2024)、商談件数 1,069 件

イ　新製品・新技術コンクール受賞企業褒賞出展企業９社

Meet New Solution in OTA	取引拡大
令和７年度予算額：16,676 千円　（補）14,135 千円 令和６年度決算額：19,686 千円　（補）17,673 千円	

【事業概要】

社会的課題を解決する新しいソリューションを世の中に生み出す全国のスタートアップ企業などが大田区に集結することで、区内製造業を含めたさまざまな「出会い」が日本産業の発展へつながる場とすることを目的に開催します。

【出展対象者】

区内中小企業他

【令和６年度実績】

Meet New Solution in OTA　　会場:大田区産業プラザ

令和７年２月７日

参加事業者数：100 社（団体）　来場者数：957 人

＋ＷＯＲＫ（内職あっせん・相談）事業	その他の業種
令和７年度予算額：　407 千円　（補）　407 千円 令和６年度決算額：5,859 千円　（補）5,859 千円	

【事業概要】

区内の求職者及び求人企業を対象として、内職のあっせん・相談を行います。

ア　あっせん相談

①　常設窓口（大田区産業プラザ３階）

毎週月～金曜日実施、9:00～12:00（登録 9:00～11：30）

13:00～17:00（登録 13:00～16：30）

②　出張相談（ハローワーク大森）

年６回（偶数月に実施、9:30～11:30）

イ　求人企業開拓　　普及・啓発用印刷物（求人募集パンフレット）の作成・配布

産業情報誌に業務記事掲載、企業訪問（新規登録及び追跡調査）

【対象者】

求職者：大田区在住者　求人企業：大田区または近隣地域の企業

【令和６年度実績】

ア　あっせん・相談

求職状況	求人状況		あっせん状況		採用状況	問合せ状況（求職相談）
登録人数	事業所数	人数	事業所数	人数	人数	件数
353	108	170	229	244	143	2,293

・出張相談　６回開催

イ　求人企業開拓

・企業訪問　46 社

・渋谷区・港区企業へ投函　750 社

・東京都立城南職業能力開発センター 大田校、各工場アパート等にポスター掲示　約 10 枚

ウ　求職者向け周知活動

・大田区子育て支援課、保育サービス課、子ども家庭支援センター、区内図書館、特別出張所、大田文化の森、ハローワーク大森、マザーズコーナー等にチラシ設置及びポスター掲示　約 5,400 枚

（３）産業人財係（電話番号：03-3733-6109）

区内中小企業の人材確保のため、求人ウェブサイトの運営や採用力の向上事業を行っています。また、区内中小企業の技術力の高度化を図るため、都立産業技術高等専門学校と連携し人材育成を行っています。

おしごとナビ大田区	人材育成・確保
令和７年度予算額：2,406 千円　（補）482 千円 令和６年度決算額：1,708 千円　（補）46 千円	

【事業概要】

インターネット上で、区内中小企業の求人情報と企業 PR を行う場を提供し、掲載企業の求人活動を支援します。

【対象者】

区内中小企業・一般求職者

【令和６年度実績】

求人広告掲載企業：133 社

新規登録企業件数：23 件

中小企業次世代ものづくり人材の育成事業	人材育成・確保
令和７年度予算額：6,614 千円　（補）6,514 千円 令和６年度決算額：701 千円　（補）701 千円	

【事業概要】

ア　都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校の教員と連携し、学校施設を活用して、区内中小企業の新人向け基礎講座を実施し、人材育成を行います（品川区との連携事業）。学校施設を活用した講座の他に、教員が企業へ出張する出前講座を実施します。

イ　おおた少年少女発明クラブの支援

小学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を支援します。

ウ　産業人材育成事業（新規）

高校生を対象に、職業観の醸成を促し、併せて区内への就職につながるような取組を実施します。

【対象者】

ア　区内中小企業

イ　区内在住小学４～６年生

ウ　区内にある高等学校の生徒

【令和６年度実績】

ア　都立産業技術高等専門学校との連携

受講者数：34 人（基礎講座：34 人、出前講座：０人）

イ　クラブ参加人数：28 人、活動期間：令和６年４月～令和７年３月まで

定期活動：20 日　臨時活動：11 日

若者と中小企業とのマッチング事業	人材育成・確保
令和７年度予算額：1,757 千円　（補）1,657 千円 令和６年度決算額：810 千円　（補）750 千円	

【事業概要】

採用力の向上を図ることを主眼とし、採用力向上セミナー、個別指導、合同企業説明会等の

マッチングイベント、フィードバックセミナー等を組み合わせた総合的な採用支援を行います。

【対象者】

区内中小企業及び就職活動・企業調査中の大学生、専門学校生、既卒者を中心とした若者

【令和６年度実績】

参加企業数	６社
採用力向上セミナー	令和６年 12 月 13 日
参加企業への個別指導	令和７年１月 17 日、１月 27 日、２月 13 日
区内専門学校の大田区近隣業界セミナーへの参加	令和７年２月 12 日（参加企業４社）
オンラインマッチングイベント	令和７年２月 17 日（参加企業３社　面談参加者 14 人） 令和７年２月 18 日（参加企業３社　面談参加者９人）
フィードバックセミナー	令和７年２月 25 日

工場表彰制度（優工場）	表彰事業
令和７年度予算額：　4,586 千円　　（補）4,486 千円 令和６年度決算額：　3,703 千円　　（補）3,703 千円	

【事業概要】

人に優しい(働きがいのある労働環境)、まちに優しい（周辺環境との調和)、経営や技術に優れた工場を「優工場」に認定（期間５年）するとともに、その中でも特に優秀な工場を表彰することにより、ものづくりに従事する人のやりがい、生きがいを引きだし、併せて区内中小企業の優秀性を内外に PR し、大田区工業の振興を図ります。

【対象者】

区内で操業中の工場（要工場認可）

【実績】　認定期間　５年

年度	認定工場数等
令和６年度	12 工場　（内、表彰　３工場）
令和５年度	９工場　（内、表彰　４工場）
令和４年度	10 工場　（内、表彰　３工場）
令和３年度	８工場　（内、表彰　４工場）
令和２年度	５工場　（内、表彰　３工場）

（４）広報情報係（電話番号：03-3733-6404）

情報化推進、情報セキュリティ、協会の IT インフラの調達・情報共有化等の事業運営のサポートを行います。

区内中小企業の強みや最新の取組を、国内・海外へ向けて情報発信し、受注拡大を図り、産業振興につなげます。また、区内中小企業が、区及び協会の様ざまなサービスを利用できるよう各種事業を紹介します。

大田ものづくりプラットフォームデータベース構築事業	取引拡大
令和７年度予算額：　　0 千円　（補）　　0 千円 令和６年度決算額：2,376 千円　（補）2,376 千円	

区内中小企業の受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築し、一般公開を実施。さらにデータベースの拡充を行った。なお、平成 31 年度からスタートした本事業は、令和６年度をもって終了した。

大田区産業振興普及事業	情報提供・ネットワーク
令和７年度予算額：7,167 千円　（補）538 千円 令和６年度決算額：585 千円　（補）585 千円	

【事業概要】

協会ホームページ、事業案内等を活用し、広く大田区の産業をプロモーションするとともに、協会事業の周知を図ります。また、国内外からの視察対応を通じて区内産業の魅力や強みを直接アピールすることで、ビジネスチャンスの拡大を図ります。

【対象者】

区内外産業者

【令和６年度実績】

事業案内の作成

「産業者のための支援メニュー2025」の作成

産業情報誌の発行	情報提供・ネットワーク
令和７年度予算額：70 千円　（補）70 千円 令和６年度決算額：25 千円　（補）25 千円	

【事業概要】

区内ものづくり中小企業へ産業や行政施策の情報を発信し、自社の事業展開等に有効活用してもらうことを目的に、協会ホームページ上のビジネスコンテンツ「テクノプラザ」に随時記事を掲載していきます。

【対象者】

区内外産業者

【令和６年度実績】

協会ホームページ内の「テクノプラザ ウェブ版」において、先進的な取組を行う企業・経営者の取材記事を随時掲載（10 回）。

産業情報受発信事業	情報提供・ネットワーク
令和７年度予算額：4,822 千円　（補）4,522 千円 令和６年度決算額：8,018 千円　（補）7,483 千円	

【事業概要】

区内外の産業情報を広く収集するとともに、適切な媒体を用いてタイムリーに提供します。

協会ホームページでは、産業施策、協会、区等の施策の案内を中心に、企業成長や経営革新・勤労者に有用な最新の情報を切れ目なく発信します。

公式LINE「OTAデジタル×PiO」では、産業者の皆様に向けた支援メニューをはじめとした様々な情報を随時、発信します。

【対象者】

区内外産業者

【令和６年度実績】

協会ホームページ：リニューアル実施

年間アクセス件数　87,417件

年間閲覧ページ数（ページビュー）229,026件

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」にて情報発信（12回）

公式LINE「OTAデジタル×PiO」：登録者1,349人

コンテンツ発信件数148件

４　MICE・施設部

（１）施設・観光係（電話番号：03-3733-6477）

区内産業の活性化のため、経済波及効果の高いMICEの誘致に注力します。さらに、協力会社を通じてケータリング、ホテル、展示装飾等をあっせんするほか、周辺の飲食店等を紹介することでMICE施設としての利便性向上にも努めます。

また、区の産業振興の拠点である「大田区産業プラザ及び東京都城南地域中小企業振興センター」の施設維持に関する管理を行います。

産業プラザ展示ホール等の管理運営事業	産業プラザの管理運営
令和７年度予算額：(利)　145,786千円 令和６年度決算額：(利)　201,851千円	

【事業概要】

大田区産業プラザ展示ホール等の指定管理者として、区内産業振興につながる利用を促進するとともに、施設の認知度と集客力を高め、幅広い交流や情報交換の場を提供します。

また、令和７年度から３か年で行う大規模改修工事期間においては、利用者への丁寧な案内、区内代替施設の提案を行い、利用者本位かつオール大田での MICE 受入による経済活性化を目指します。

【対象者】

区内中小企業、区民その他一般

【令和６年度実績】

≪利　用　率≫ホール系：70.7%、会議室系：71.7%（年間平均）

≪利 用 者 数≫　726,225人

≪利用料金収入≫　248,197,733円

（うち、駐車場利用料：8,367,200円）

≪利用料金支出≫　201,850,431円

≪区への納付金≫　46,347,302円

施設貸与に伴う付加サービス事業	産業プラザの管理運営
令和７年度予算額： 4,882 千円 令和６年度決算額： 5,296 千円	

【事業概要】

条例等で定められた管理代行業務のほか、自主事業サービスを展開することで、施設利用者の満足度向上及び地域産業活性化を図ります。具体的には、各種会議・イベントをサポートする企業等の紹介冊子である「PiO 倶楽部」で、掲載企業等との協力関係を築きながら、施設利用者が要望するサービスにワンストップで対応しています。また、食事や宿泊、ショッピング等の情報を提供する「周辺マップ」を通じて、近隣の事業者・店舗に経済波及効果を生み出し、地域産業の活性化につなげています。

【対象者】

産業プラザ貸館利用者

【令和６年度実績】

・看板作成料収入：1,881,880 円

・PiO 倶楽部掲載料収入：558,800 円（34 社掲載）

・周辺マップ掲載料収入 ：396,000 円（72 店舗掲載） 等

産業プラザ施設維持の管理運営	産業プラザの管理運営
令和７年度予算額：（委）59,990 千円 令和６年度決算額：（委）48,792 千円	

【事業概要】

大田区産業プラザの施設維持管理における監督業務を受託し効率的な施設運営を行います。また、施設・設備の状況を把握して、小破修繕工事を適切に実施し利用者へ安全な施設を提供します。

令和７年度から開始される大規模改修工事が円滑に進むよう、区、東京都及び各委託先との連絡調整・補助業務を行います。

【令和６年度実績】

維持補修工事：17,754,379 円（58 件）等

５ 羽田 PiO 推進部

（１） PiO PARK・海外取引支援係（電話番号：03-5579-7971）

PiO PARK

PiO PARK（ピオパーク）の利用者に対する産業支援として、区内企業とのビジネスマッチング等を行い、利用者と区内中小企業とのハブ機能を担います。その実現に向けて、イベントの主催・招聘、コワーキング及びショーケーシング用スペースの運営など、PiO PARK の利用促進に向けたサービス、周知活動を行います。

羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業	取引拡大
令和７年度予算額　：37,814 千円　　（補）23,930 千円 令和６年度決算額：　30,739 千円　　（補）10,055 千円	

羽田空港に隣接する「Pi0 PARK」において自主イベントの開催ほか、企業・機関の利用促進を図り、国内外の様々な産業分野のトップランナーやスタートアップ、Pi0 PARK 利用者、区内企業間の交流をサポートします。これらの交流を通じて新たなサプライチェーンや高度技術連携の構築を促し、イノベーションの創出と区内産業の更なる活性化を目指します。

また、Pi0　PARK 発の情報や製品・サービスについて、ホームページや SNS 等で発信することで、新たな利用促進への好循環につなげます。

【対象者】

区内外の企業及び一般区民

【令和６年度実績】

ア　Pi0 PARK 利用実績

延べ利用者数：　29,613 人

＜主な内訳＞

イベント

・イベント件数：　227 件

・来場者総数：　14,909 人(オンライン参加 655 人を含む)

コワーキング

・月額プラン契約件数:　30 件（令和７年３月末時点）

・月額プラン利用者数：　延べ 2,931 人

・１日利用・時間利用：　延べ 126 人

・無料体験者数：　231 人

・特別会議室利用：　69 件、1,001 人

ゲスト来訪者

・ショーケーシング見学者数：7,584 人

・視察者数：1,753 人　（海外関係機関視察者 384 人、23 件含む）

イ　主な主催事業

・超専門技術ミニ展示会（「代替合体展」「熱展」「そし展」）

３回、延べ出展企業数 62 社、来場者数延べ 874 人

・HANEDA 共創プラットフォーム（グローバルビジネス勉強会、ベンチャーフレンドリー塾、自社商品のつくりかた勉強会、ビジネス英会話サロン）

23 回、延べ参加者 675 人

・大田区始発！鉄道技術交流会

２回、延べ参加企業数 47 社、参加者数 105 人

・アイデアソン/ハッカソン「未来の都市課題をモビリティで解決してみよう」

各１回、延べ参加者数 57 人

・ショーケーシング企画展　２件

「大田区始発！鉄道関連技術交流会とのコラボ展示」

「令和５年度新製品・新技術コンクールの受賞製品・技術を展示」

海外取引支援

区内企業の海外取引拡大に向けて、個別の窓口・訪問相談や海外見本市への共同出展などを行います。

海外取引相談事業	取引拡大
令和７年度予算額： 23,526 千円　（補） 23,407 千円 令和６年度決算額： 17,416 千円　（補） 17,327 千円	

【事業概要】

区内企業の海外展開を促進するため、地域に密着したワンストップ窓口として企業の個別課題に職員及び専門スタッフ（海外ビジネス相談員）が対応します。

ア　窓口・訪問相談

貿易実務や売買契約等、国際ビジネス全般に関する相談業務を行います。職員及び海外ビジネス相談員が助言するほか、国内外の公的機関とのネットワークを駆使して区内企業の課題やニーズに対応します。

イ　国際連携の推進

海外市場の開拓を行うとともに、国内においても各国の出先機関との連携強化を図ります。また、グローバルビジネス勉強会及び海外セミナーを通じて各国の市場性、投資環境などの情報や発注案件を区内中小企業に提供します。同時に国際化に向けた区内企業間の連携関係を構築します。

ウ　外国語文書翻訳・海外企業信用調査

区内中小企業の企業カタログ、マニュアル、契約書等の翻訳サービスを行います。また、取引開始時に貴重な判断材料となる外国企業の信用調査をサポートします。

エ　英文企業ガイドの活用

区内中小企業の製品・技術を海外市場に向けて発信するため、英文の企業ガイドを作成し、Web 上で展開してプロモーションを行います。

オ　国際ビジネス商談会の実施

海外ビジネスパーソンの来日時にタイムリーに開催します。

カ　海外企業・機関誘致

東京に拠点づくりを目指す海外企業・機関に、大田区の利便性や支援制度の充実度、製造業の集積などの強みをアピールすることで、区内への立地を促します。

キ　海外向け PR 強化支援

区内中小企業の海外向け PR 支援を行い、海外取引拡大を加速させます。

【対象者】

区内中小企業

【令和６年度実績】

ア　窓口・訪問相談

・相談件数

479 件（中国 21 件、台湾 85 件、ASEAN 48 件、欧州 115 件、北米 27 件、その他 183 件）

・国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数

292 件（中国 28 件、台湾 61 件、ASEAN 37 件、欧州 108 件、北米 19 件、その他 39 件）

・区内企業への海外機関・企業からの発注案件紹介件数：57 件

・国際取引あっせん件数：成約案件 14 件　取引成約金額 18,408 千円

イ　海外市場開拓（商談会）

・日時：令和７年２月 25 日～28 日　訪問国：タイ
　協会単独出展、訪問企業数：日系企業など６か所
　各所にて区内産業を PR

・日時：令和７年３月３日～６日　訪問地域：台湾
　参加企業数：区内中小企業　５社、訪問企業数：台湾研究機関や企業など７か所
　商談件数　11 件、継続案件　７件

ウ　海外取引セミナー・グローバルビジネス勉強会・ビジネス英会話サロン

・セミナー：４回開催　参加人数　延べ 148 人

・勉強会/サロン：12 回開催　参加人数　延べ 345 人

エ　外国語文書翻訳・海外企業信用調査

・文書翻訳サービス：14 件

・海外企業信用調査：20 件

オ　英文企業ガイドの活用

Web 版の英文企業ガイド（PROFILES OF COMPANIES in Ota City）を活用し、海外見本市への出展や、海外企業・機関との打合せの際に区内中小企業の PR をしました。

海外見本市への出展支援	取引拡大
令和７年度予算額：　12,009 千円　（補）10,951 千円 令和６年度決算額：　11,270 千円　（補）　9,964 千円	

【事業概要】

大田区の優れた製品・技術やサービスを国際的に PR し、市場開拓につなげるため、区内中小企業との共同出展を行います。

【対象者】

区内中小企業

【令和６年度実績】

共同出展

・台湾 TAIROS（自動化・ロボティクス）展(台湾・台北市)
　令和６年８月 21 日～24 日
　商談件数 52 件 、継続案件 20 件

・ドイツ COMPAMED2024（医療機器用部品）　（ドイツ・デュッセルドルフ市）
　令和６年 11 月 11 日～14 日
　商談件数 121 件 、継続案件 34 件

第７　一般社団法人大田観光協会の事務事業

※　記載している事業は「主な事業」です。

※　社会経済情勢の変化などを受けて、変更になる場合があります。

※　記載の予算・決算額を積算しても端数処理等により、実際の事業予算・決算額と一致しない場合があります。

※　各事業枠内の予算・決算額のうち、（補）は区補助金を充当した額を示しています。また、（委）は区が委託した事業で区委託料により実施した事業。

水辺の賑わい事業	観光振興事業
令和７年度予算額：　50 千円　（補）　50 千円 令和６年度決算額：　50 千円　（補）　50 千円	

【事業概要】

大田区特有の地域資源である水辺を観光資源として活かし、他団体との連携事業を通じ、区内外に魅力を PR する他、来訪（体験）機会の提供や、地域の活性化、区の認知度向上と、水辺に親しむ体験機会の充実を図ります。

【対象者】

区内外一般

【令和６年度実績】

〇実施内容：丸子の渡し祭り

・実施日：11 月 10 日

・会場：大田区側／多摩川丸子橋緑地、川崎市側／丸子橋第一広場

・内容：丸子の渡し乗船体験　乗船者数 559 名

多摩川ミニ水族館（うのき水辺の楽校）

大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」グッズ販売及び大田区観光案内

食品ロス削減パネル展示及び塗り絵コーナー（大田区環境公社）

バルーンアート（川崎市との共通イベント）

くりらぼ多摩川運営事業	観光振興事業
令和７年度予算額：　2,119 千円　（補）2,119 千円 令和６年度決算額：　2,110 千円　（補）2,110 千円	

【事業概要】

魅力ある「モノづくりのまちづくり」を推進する拠点として公・民・学が協同してモノづくり体験や地域イベントへの出展などを行い、モノづくりへの興味喚起・観光振興につなげます。

【対象者】

区内外一般

【令和６年度実績】

〇オープンらぼ：327 回、利用者数 2,847 人

おおたオープンファクトリー	観光振興事業
令和７年度予算額：　3,670 千円　（補）3,670 千円 令和６年度決算額：　3,535 千円　（補）3,535 千円	

【事業概要】

大田区が誇る地域資源であるモノづくりをテーマに、一般の方が工場を訪れ職人と直接話したり、モノづくり体験企画などを実施したりすることにより、町工場・モノづくりの魅力を発信し、区内外からの来訪者誘致及び地域の活性化につなげ、産業観光及び産業振興を推進する取組とします。

【対象者】

区内製造業、区内外一般

【令和６年度実績】

○工場オープン・体験プログラム

・実施日：11 月 30 日

・エリア：新田丸・蒲田エリア、南蒲田・本羽田エリア、大森町・梅屋敷エリア、六郷エリア、城南島エリア

・参加団体数：72 団体

・来場者数：約 3,800 人

区内の回遊性向上促進事業	観光振興事業
令和７年度予算額　：　6,448 千円　（補）6,448 千円 令和６年度決算額　：　3,675 千円　（補）3,675 千円	

【事業概要】

観光まちづくりを担う人材の育成と回遊性向上に向けたイベントの実施により、大田の魅力 PR と商業振興を同時に推進し地域の更なる活性化を図ります。

観光まちづくりの担い手や区民・事業者が区の魅力を再認識し、シビックプライドを醸成できるよう事業を通じて働きかけます。

【対象者】

区内外一般・事業者

【令和６年度実績】

○ガイドグループや関係団体と連携し、付加価値をつけたまち歩きガイドツアーを実施

・アプリコイベント連携企画まちあるき「撮影所があった時代の蒲田を歩く」
　参加者数：26 名（当日キャンセル１名）

・銭湯入浴券・桜スイーツ付きの「おおたの桜マラニックツアー」
　参加者数：19 名（事前キャンセル４名、当日キャンセル１名）

・馬込文士村大桜まつり開催に合わせてスイーツ付きの「大森・馬込さんぽツアー」開催
　参加者数：25 名（当日キャンセル３名）

○「みんなでつくるおおたの桜フォトギャラリー」を実施　3 月 14 日～4 月 17 日
　大田観光協会 HP で募集＆作品公開：写真掲載数 323 件

○「おおたの桜デジタルスタンプラリー」を実施　3 月 14 日～4 月 10 日
　スタンプラリー参加者数：461 人、マップ利用ユーザー数：1,267 人、特典応募総数：162 件

○地域団体からの相談、打合せ（大田・品川まちめぐりガイドの会、大田区外国語ボランティア

ガイドグループ、馬込文士村ガイドの会）

・大田・品川まちめぐりガイドの会による羽田空港定期ガイドツアーを毎月実施

参加者数（４月から３月）：670 名

・大田区外国語ボランティアガイドグループによる外国人向け羽田空港定期ガイドツアー、日本文化体験を実施（当日受付）

・地域イベントでのインバウンド向けツアーの実施

〇インバウンド受入実証事業としてテンプル大学ジャパンキャンパスの留学生を対象としたツアーを実施

参加者数：12 名

〇羽田空港第一ターミナル展望デッキ（羽田ヨガ）や池上本門寺仁王門前（池上ヨガ）でヨガを実施

参加者数：240 名（すべての回が満席）

〇カヌー&SUP 体験

参加者数：計 202 名（シーカヤック・スクール 34 名、シーカヤック・ツーリング 31 名、親子カヌー教室 49 名、SUP 体験 40 名、親子 SUP 体験 48 名）

〇観光 SDGs 公募イベント

・～大田区で生まれた最強段差フリー車いすで巡る～おおたパワースポット巡り開運ツアー

・まちよみ展 2025

〇池上まつり（8/25）蒲田東口こどもフェスタ（11/4）などの区内イベントで、観光パンフレットの配布及び会場周辺案内を行い大田区の地域 PR を実施

「撮影所があった時代の蒲田を歩く」

桜マラニックツアー

大田観光協会ホームページ管理運営	観光振興事業
令和７年度予算額：　10,471 千円　（補）10,471 千円 令和６年度決算額：　15,345 千円　（補）15,345 千円	

【事業概要】

インターネットを活用し地域の見どころを区民や観光客に対して、ニーズに応じた PR を行ない、観光スポットをはじめ区内の回遊性を高め、街中に賑わいを創出させます。

区民・来訪者が大田区を回遊・訪れるきっかけ作りとして大田区の魅力発信となるような話題を提供します。

【令和６年度実績】

〇Web サイト

・特集記事　20 本

○SNS

・Instagram フォトコンテストの実施

「おしえて！ #おおたで過ごす夏」

期間：８月 15 日から９月 30 日、応募数：254 件

「#みんなのはねぴょん第二弾」

期間：10 月 25 日から 12 月２日、応募数：90 件

「あつまれ！ #おおたの推しグルメ」

期間：１月 20 日から２月 25 日、応募数：87 件

大田区学	観光振興事業
令和７年度予算額：　1,150 千円　（補）1,150 千円 令和６年度決算額：　790 千円　（補）　790 千円	

【事業概要】

大田区に関する様々な事柄を収集・整理し問題形式にしたものを「大田区学」として発信することで区の魅力の再発見・再認識に繋げていきます。

また今後検定化して、区内外の多くの方に受検してもらうことで区民にはシビックプライドの醸成を図り、区外からは大田区ファンの獲得を図ります。

【令和６年度実績】

・大田区学の認知度向上を目的とし区報１日号に毎月クイズを出題

・大田区学プレ検定の実施（問題作成＆検定サイト構築）

日時：令和７年１月 31 日 15～16 時開催　対象者：大田区職員（特別職・管理職）

設問：50 問（100 点満点 80 点以上合格）

観光パンフレット等の発行	観光振興事業
令和７年度予算額：　3,872 千円　（補）3,872 千円 令和６年度決算額：　6,065 千円　（補）6,065 千円	

【事業概要】

大田区来訪者への大田区の観光情報の提供と、大田区在住者に対するシビックプライドを醸成する発行物を作成し、効果的に配布します。

テーマ別に深堀りした大田の特性を発信することで、様々な角度で大田の観光の魅力を伝えると共に、街へ来訪するきっかけをつくり、区内外からの誘客に繋げ、産業振興に資するものとします。協会ならではの視点や取材力を生かしたパンフレットを制作し、魅力発信の強化に努めます。

【対象者】

区内外一般

【令和６年度実績】

○「あそびつくせ！大田区」

・第 10 号：８月発行、特集エリア：田園調布

６ページ（Z 折）、発行部数：A4 版 10,000 部・縮小版 5,000 部

・第 11 号：11 月発行、特集エリア：下丸子・武蔵新田・矢口渡

６ページ（Z 折）、発行部数：A4 版 6,000 部・縮小版 9,000 部

・第 12 号：３月発行、特集テーマ：おおたの桜を楽しもう
仕上がり A4 サイズ（展開 A2 サイズ）17,500 部

○大田区観光ガイド～ダイジェスト版～
大田区観光ガイドシリーズ「蒲田ガイド」「羽田×大田」「島めぐり」「フォト＆ロケーション」「パン＆スイーツ」「銭湯マップ」を１冊にまとめたダイジェスト版
18 ㎝×18cm 16 ページ、15,000 部

○冊子「馬池洗～MAISEN」
Vol.1(歴史・文化・人物編)、vol.２（特色・イベント編)、vol.３（桜編)、vol.４（芸術編）
いずれも A5　16 ページ、発行部数：5,000 部

○「大田区観光イラストマップ」の増刷（日本語版 20,000 部／英語版 5,000 部）

○「蒲田今昔マップ」の増刷　A3 二折、8,000 部

○「大田区再発見マップ～六郷～」の増刷　A4 版、発行部数：2,500 部

品川区・大田区広域連携事業	観光振興事業
令和７年度予算額：　900 千円　（委）900 千円 令和６年度決算額：　850 千円　（委）850 千円	

【事業概要】

品川区、大田区が共有する観光資源等を活用した地域 PR 事業を実施して、近隣諸都市から区への誘客、にぎわいの創出を図ります。

【対象者】

区内外一般

【令和６年度実績】

○品川×大田　旧東海道でつながるまち wakuwaku ラリー　～大森編～

・内容：大田区及び品川区が連携し、両区にまたがる魅力的な観光コンテンツが集積する「東海道エリア」と「大森エリア」の周辺観光スポットを回遊するラリーイベントを開催。クイズラリーと重ね捺しスタンプラリーを組み合わせ、W（ダブル）で楽しめるイベント内容とした。

（１）クイズラリー
ラリーポイント（各区７か所：計 14 か所）のエリアに掲示されたポスターにクイズが掲載されており、そのクイズに答えながら回遊する。
指定のフォームにてクイズの答えの入力とアンケートに回答すると抽選で賞品（大田区・品川区のお土産セット　各 3,000 円相当、各 30 名様）がもらえる。

（２）重ね捺しスタンプラリー
クイズラリーで巡る計 14 か所のスポットのうち、６か所で重ね捺しスタンプラリーを実施。ラリー用紙内に切り取りができるはがき大のスタンプ用紙があり、参加者はそれを切り取りスタンプラリーへ参加。完成したはがきはそのまま絵はがきとして利用することができ、イベント参加の記念品となる。

・期間：10 月１日～11 月 17 日

・ラリーシート配布数：17,150 枚

・クイズラリー応募人数：600 名

第８　参考資料

令和７年度 大田区産業経済部予算

歳出

（単位：千円）

目　　名	令和７年度当初	令和６年度当初	増△減
産業経済総務費 （時間外勤務手当のみ）	25,199	27,227	△ 2,028
産 業 振 興 費　※	9,738,958	4,165,326	5,573,632
産 業 施 設 費	2,479,098	2,061,346	417,752
計　※	12,243,255	6,253,899	5,989,356

※産業のまち未来基金積立金を含む

歳入

（単位：千円）

款　項	令和７年度当初	令和６年度当初	増△減
使用料及び手数料 使用料	376,972	383,235	△ 6,263
国庫支出金 国庫補助金	0	0	0
都支出金 都補助金	277,405	287,673	△ 10,268
財産収入 財産運用収入	977,589	962,021	15,568
寄附金 寄附金	2,800	2,750	50
諸収入 特別区預金利子	1	1	0
受託事業収入	476,941	368,494	108,447
雑入	82,763	169,430	△ 86,667
計	2,194,471	2,173,604	20,867

令和７年度　公益財団法人大田区産業振興協会予算

１　区補助金分

（単位：千円）

	令和7年度	令和6年度	増△減
大田区産業振興協会に対する補助金	763,937	698,037	65,900
運営費補助	382,524	316,598	65,926
事業費補助	381,413	381,439	△ 26
大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業	5,130	13,172	△ 8,042
大田区産業振興普及事業	538	1,131	△ 593
産業情報誌の発行	70	2,539	△ 2,469
産業情報受発信事業	4,522	9,502	△ 4,980
区内中小企業の経営支援に関する事業	48,901	60,198	△ 11,297
中小企業情報化支援	3,090	3,105	△ 15
ビジネスサポートサービス	8,127	10,281	△ 2,154
銘店への道事業（旧繁盛店創出事業）	10,547	22,742	△ 12,195
創業者支援事業	22,651	19,525	3,126
工場表彰制度	4,486	4,545	△ 59
区内中小企業の取引拡大支援に関する事業	158,159	144,785	13,374
受・発注相談	29,049	32,300	△ 3,251
海外取引相談事業	23,407	21,391	2,016
大田区加工技術展示商談会	16,610	13,528	3,082
国内見本市への出展支援	13,521	12,897	624
海外見本市への出展支援	10,951	12,805	△ 1,854
自主企画展示会　おおたイチ推しマルシェ	2,554	2,311	243
自主企画展示会　Meet New　Solution inOTA	14,135	18,330	△ 4,195
商い・サービス産業取引相談	23,172	7,099	16,073
羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業	23,930	24,124	△ 194
知的財産・シンクタンク事業	830	0	830
区内中小企業の人材育成・確保の支援に関する事業	9,060	8,422	638
おしごとナビ大田区	482	77	405
中小企業次世代ものづくり人材の育成事業	6,514	900	5,614
若者と中小企業とのマッチング事業	1,657	1,599	58
＋WORK（内職あっせん・相談）事業	407	5,846	△ 5,439
区内中小企業の技術開発支援に関する事業	145,009	149,888	△ 4,879
新製品・新技術開発支援事業	77,763	76,610	1,153
次世代産業創造・産業クラスター形成事業	50,124	57,079	△ 6,955
おおた研究・開発フェア	17,122	16,199	923
中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業費＜共済会＞	15,416	5,643	9,773
運営費	15,416	5,643	9,773
調整額(収益事業収入調整)	△ 262	△ 669	407

２　区からの委託事業等

（単位：千円）

	令和7年度	令和6年度	増△減
産業プラザ施設維持の管理運営	59,990	54,035	5,955

＊「産業プラザ展示ホール等の管理運営」は利用料金制のため、区からの委託料はない

令和７年度　一般社団法人大田観光協会予算

１　区補助金分

（単位:千円）

	令和7年度	令和6年度	増△減
大田観光協会に対する補助金	68,248	68,527	△ 279
事業費補助	27,780	33,249	△ 5,469
区内の回遊性向上促進事業	6,448	4,218	2,230
水辺の賑わい事業	50	50	0
くりらぼ多摩川運営事業	2,119	2,119	0
おおたオープンファクトリー	3,670	3,550	120
大田観光協会ホームページ管理運営	10,471	15,489	△ 5,018
観光パンフレット等の発行	3,872	6,147	△ 2,275
大田区学	1,150	1,676	△ 526
運営費補助	4,568	4,478	90
人件費補助	32,700	27,468	5,232
区職員事業者負担分	3,200	3,332	△ 132

２　区からの委託事業等

（単位：千円）

	令和7年度	令和6年度	増△減
品川区・大田区広域連携事業	900	850	50
羽田空港「空の日」フェスティバル2025	957	0	957

事業開始年度一覧（産業振興課、公益財団法人大田区産業振興協会、一般社団法人大田観光協会）

事業名	開始年度	備考
野菜と花の品評会	昭和23年	
農業振興連絡協議会関連事業(農業見学会)	昭和28年	
産業団体実地研修会助成	昭和33年	平成22年度から 工業系団体:「次世代ものづくり人材育成事業」に統合 商業系団体：「商店街活性化推進事業」に統合
産業情報誌「テクノプラザ」の発行	昭和38年	
中小企業融資あっせん制度(区補償付以外)	昭和44年	
中小企業融資あっせん制度(区補償付)	昭和46年	平成25年度終了
内職あっせん・相談事業	昭和46年	
受・発注相談	昭和47年	平成元年から情報交換会開始 平成8年度から産業情報サービス相談開始
工業・小売業景気動向調査	昭和47年	平成26年度から「産業基礎調査」に統合
中小企業勤労者生活資金融資あっせん制度	昭和49年	平成25年度終了
商工資料の作成	昭和50年	平成26年度から「産業基礎調査」に統合
中小企業従業員永年勤続等感謝状贈呈	昭和51年	
区民農園	昭和51年	
中小企業倒産防止共済掛金助成	昭和53年	平成29年6月終了
商店街振興組合等推進事業	昭和56年	平成29年度から組合青年部設立費補助及び組合青年部活動費補助を追加
商店街活性化推進事業	昭和59年	平成27年度から：事業構成及び事業内容を改定 平成29年度：大田区商店街PR動画コンテスト（平成29年度終了） 平成30年度：商店街エリアサポーター事業開始（平成30年度終了） 令和元年度：商店街・個店グループモデル事業開始（令和元年度終了） 令和２年度：商店街ステップアップ応援事業開始 令和３年度：商店街戦略的ＰＲ事業開始
公衆浴場施設改善助成	昭和59年	
建築工事あっせん相談事業	昭和59年	
大田区勤労者共済会報の発行等(運営費)	昭和60年	
福利厚生事業	昭和60年	
給付事業	昭和60年	
中小企業者に対する勤労者福祉事業	昭和60年	
商店街装飾灯整備助成(設置補助)	昭和60年	
公衆浴場事業助成	昭和63年	

事業名	開始年度	備考
新製品・新技術コンクール	平成元年	
国内見本市出展支援	平成元年	
商店街会館建設改築助成	平成２年	令和３年度から「商店街チャレンジ戦略支援事業」に統合
外国人技術研修受入団体助成	平成３年	令和３年度終了
海外取引相談（アジアネットワーク展開事業）	平成４年	平成19年度からアジアネットワーク展開事業を開始
商店街装飾灯整備助成（維持管理費補助）	平成５年	
農業振興連絡協議会関連事業（農業振興連絡協議会）	平成５年	
海外見本市出展支援	平成６年	
下丸子テンポラリー工場	平成６年 開設	
工場表彰制度(優工場)	平成７年	
マシンツールフェア	平成７年	平成22年度終了
総合事業案内	平成７年	
産業プラザ維持管理	平成７年	
おおた工業フェア	平成７年	令和４年度「Meet New Solution in OTA ～NEXT おおた工業フェア」に名称変更し、令和４年度で終了
大田区産業情報冊子	平成７年	
中小企業都市連絡協議会	平成８年	平成21年度から「ものづくり集積都市間連携事業」に統合。令和３年度終了
産業のまちネットワーク推進協議会	平成８年	平成22年度から「ものづくり集積都市間連携事業」に統合
産業団体名簿の作成	平成８年	令和元年度終了
おしごとナビ大田区（旧：求人企業ガイド）	平成８年	平成11年度「おしごとナビ大田区」開設
本羽田二丁目工場アパート	平成９年 ２月開設	
産学公交流推進事業	平成９年	平成28年度から「次世代産業創造事業」に統合
産業団体経営革新支援事業	平成10年	平成22年度から 工業系団体：「次世代ものづくり人材育成事業」に統合 商業・サービス系団体：事業名を変更し継続（旧事業名：産業団体経営・技術指導講習会等補助） 平成28年度から：対象を産業団体等とし、外国人対応事業、平成29年度にPR対応事業を補助対象として追加 令和２年度終了
公衆浴場バリアフリー化促進事業	平成11年	平成21年度から「公衆浴場施設改善助成」に統合
大型店対策	平成12年	
本羽田二丁目第2工場アパート（テクノWING）	平成12年 ５月開設	住宅棟は同年９月

事業名	開始年度	備考
新製品・新技術開発支援事業	平成13年	都補助事業として平成８年から開始
ビジネスサポートサービス	平成13年	
中小企業情報化支援	平成13年	
区内産業のIT活用支援事業	平成13年	平成20年から財団事業「情報化支援事業」に統合
大田区工業PR事業	平成13年	製造業ものづくりマップ「輝け！大田のまち工場」（平成14年２月～）
工業地域・準工業地域における集団住宅建設の開発指導	平成14年	
子ども起業家育成セミナー	平成14年	平成13年度まで商店セミナー ・発明クラブは平成17年度から開始
研究開発マッチング事業	平成15年	平成28年度から「次世代産業創造事業」に統合
新・元気を出せ！商店街事業	平成15年	都補助事業として平成３年から開始 令和元年度から「商店街チャレンジ戦略支援事業」に名称変更
創業支援施設（BICあさひ）	平成15年 ５月開設	令和３年３月使用終了
中小企業知的財産戦略支援	平成16年	平成14年度から特許取得支援開始 平成28年度から「ビジネスサポートサービス」に統合
商店街再生支援事業	平成16年	平成27年度から「商店街コーディネーター派遣事業」に名称変更
大田ブランド発信事業	平成17年	平成20年度から「おおたモノづくりブランド発信事業」（補助金）開始 平成29年度終了
新事業展開グループ活動促進	平成18年	
高等専門学校を活用した中小企業人材育成事業	平成18年	平成20年度までは国の管理法人事業
若者と中小企業とのマッチング事業	平成18年	平成20年度から名称変更
新産業創造支援施設	平成18年 ４月開設	令和６年３月使用終了
産学連携施設	平成18年 ８月開設	令和３年５月使用終了
大田区産業振興基本戦略検討委員会	平成19年	平成20年度終了
戦略的基盤技術高度化支援事業	平成19年	平成21年度までの３か年
次世代経営者育成支援	平成19年	平成20年度から大田工連に移行
環境配慮型経営への取組み支援	平成19年	平成26年度から「ビジネスサポートサービス」に統合
中小企業融資あっせん制度（利子補給）	平成19年	平成19年9月に信用保証料補助終了
区内立地・操業環境整備事業	平成20年	平成26年度から「ものづくり企業立地継続補助金」実施 平成27年度から「ファブレス企業等立地助成事業」（令和５年度終了） 平成27年度から「企業立地サポート業務」実施 令和６年度から「企業立地・ＳＤＧｓ促進助成金」実施

事業名	開始年度	備考
大田区加工技術展示商談会	平成20年	
おおた商い・観光展	平成20年	令和5年度から「アキナイ・クロス事業」に名称変更
観光情報の提供	平成20年	平成25年度から（一社）大田観光協会への支援へ名称変更
おおたの観光魅力創出事業	平成20年	平成25年度から（一社）大田観光協会への支援へ名称変更
(一社)大田観光協会への支援	平成20年	【大田観光協会に対する補助金交付に関する要綱】 平成25年度から名称変更（「おおたの魅力創出事業」、「観光情報の提供」を統合）
品川・大田広域観光まちづくりの支援	平成20年	品川・大田地域観光まちづくり推進協議会事業に対する補助金交付に関する要綱　平成28年度で終了
大田観光協会ホームページ管理運営	平成20年	令和４年度から区公式観光サイトと統合
事業承継・モノづくり技術継承事業	平成20年	平成23年度から「大田モノづくりライブラリ」実施 平成26年度から「ビジネスサポートサービス」に統合
商店街コミュニティ活性化事業	平成20年	スタートアップ支援事業、お休み処周知事業、空きスペース活用事業への移行により、平成30年度から維持管理費補助、利用促進費補助を廃止
商店街景観整備事業	平成20年	令和３年度終了
大森南四丁目工場アパート(テクノFRONT森ヶ崎)	平成20年 ５月開設	
海外交流事業・工業団体海外交流支援事業	平成20年	令和３年度終了
大田区ものづくり優秀技能者(大田の工匠100人)表彰	平成20年	平成25年度から「大田の工匠Next Generation」開始 平成27年度から（公財）大田区産業振興協会へ事務移管 平成29年度から「大田の工匠　技術・技能承継」開始
次世代経営者育成セミナー	平成20年	産業振興協会事業「次世代経営者育成支援」（平成19年～）から移行 平成22年度から「次世代ものづくり人材育成事業」に統合
産業のまちスクール	平成20年	産業振興協会事業「産業のまちスクール」（平成９年～）から移行 平成22年度から「次世代ものづくり人材育成事業」に統合
ロボット教室	平成20年	産業振興協会事業「ものづくり体験事業」（平成14年～）から移行 平成22年度から「次世代ものづくり人材育成事業」に統合
工業用地再開発支援事業	平成20年	
明日のものづくり懇談会	平成21年	工業振興対策委員会（昭和25～平成12年）から移行 明日のものづくりひろば（平成13年～平成20年）：平成21年度終了

事業名	開始年度	備考
繁盛店創出事業	平成21年	平成23年度から「あきない経営事例研究会」、商業情報誌「あきｎｏｗ」実施
創業者支援事業	平成21年	
観光案内サインの整備	平成21年	平成21年度にて整備計画を策定。22年度からサインを設置
大田区観光大使	平成21年	平成27年度から「国際都市おおた大使」として国際都市・多文化共生推進課に移管
観光紹介用パンフレットの作成	平成21年	
観光・産業情報コーナーの運営	平成21年	産業振興協会事業「情報コーナーの運営」（平成8年～）から移行 平成26年度から産業振興課に移管 令和５年度で終了
商店(飲食店)表彰制度(OTA!いちおしグルメ)	平成22年	産業振興協会事業として、平成22年度から平成30年度まで表彰事業を実施 令和６年度から産業振興課へ事務移管 新規の表彰は行わず、PRのみ実施
次世代ものづくり人材育成事業	平成22年	「産業団体実地研修会助成」「産業団体経営・技術指導講習会等補助（旧事業名）」「次世代経営者育成セミナー」「産業のまちスクール」「ロボット教室」を事業統合し新規事業として実施
ものづくり集積都市間連携事業	平成22年	「中小企業都市連絡協議会」「産業のまちネットワーク推進協議会」を事業統合。新規事業として「大手中堅企業懇談会」を実施。平成25年度川崎市との産業連携に関する基本協定を締結。平成25年度文京区との医療関連産業の連携に関する覚書を締結。令和３年度中小企業都市連絡協議会終了。
羽田空港国際線旅客ターミナル大田区観光情報コーナーの運営	平成22年	羽田空港第３ターミナル国際線到着ロビー
健康増進型浴場改築等助成(公衆浴場施設改善助成の一部)	平成23年	
小規模事業者経営改善資金(マル経融資)利子補給制度	平成23年	
観光まちづくり助成金	平成23年	観光振興に取り組む区民活動団体に対する助成、平成24年度で終了
訪日外国人旅行者受入環境整備事業	平成23年	
大田区まちかど観光案内所事業	平成23年	令和４年度、大田区ウェルカムショップと統合
六郷用水せせらぎウォーキング	平成23年	六郷用水400周年、六郷水門80周年　平成23年度限り
羽田空港国際化1周年事業「いらっしゃいＯＴＡ」	平成23年	平成23年度限り
梅ちゃん先生観光ＰＲ事業	平成23年	平成24年度で終了
観光展示会出展事業	平成23年	平成25年度からインバウンド誘致事業へ統合
海外等へ向けての観光情報の提供	平成23年	
観光パンフレット等の発行	平成23年	令和４年度から順次区から（一社）大田観光協会へ移管

事業名	開始年度	備考
ものづくり戦略人材育成事業	平成24年	平成25年度から「大田の工匠による技術指導・相談事業」実施（平成28年度から（公財）大田区産業振興協会へ移管。令和６年度で終了）
東糀谷六丁目工場アパート（OTAテクノCORE）	平成24年６月開設	
医工連携支援	平成24年	平成28年度から「次世代産業創造事業」に統合
大田区観光推進協議会の運営	平成24年	令和６年度で終了
大田区観光PR特使	平成24年	【大田区観光ＰＲ特使設置要綱】
おおたオープンファクトリー	平成24年	
農業機械技術研究会	平成25年	平成26年度：「農工連携セミナー」から名称変更。 平成26年度から「受・発注相談」に統合
フードビジネス支援事業	平成25年	平成26年度：「フード商談会」から名称変更し「受・発注相談」に統合 平成29年度から「商い・サービス産業取引相談」へ移行
大田区優秀技術者表彰事業	平成25年	平成27年度から産業振興協会へ事務移管
観光まちづくり推進支援事業	平成25年	事業者や団体による観光まちづくりに関する取り組みに対する助成、平成26年度で終了
大田区産業観光促進事業	平成25年	【大田区産業観光資源整備補助金交付要綱】 平成29年度から、大田の観光にぎわい創出事業補助金に統合
インバウンド誘致事業	平成25年	
MICE誘致事業	平成25年	
映画・ドラマを活かした観光PR事業	平成25年	
京急線品川駅構内大田区観光情報コーナーの運営	平成25年	平成29年度で終了
蒲田映画祭	平成25年	令和３年度廃止
くりらぼ多摩川運営事業	平成25年	
創業支援事業計画の認定	平成26年	
経営革新等支援業務の認定	平成26年	
羽田空港跡地の産業交流施設整備	平成26年	
国家戦略特区制度（東京圏）	平成26年	
ものづくり人材育成事業	平成26年	「次世代ものづくり人材育成事業」「ものづくり戦略人材育成事業」を事業統合
女性・若手商人支援事業	平成26年	平成27年度から若手商人ネットワーク事業は区内商店街連携強化推進事業に移管。平成29年度に商店街女性・若手チャレンジ事業を廃止
商店街PR事業	平成26年	平成29年度に廃止
空き店舗対策事業	平成26年	平成27年度から（公財）大田区産業振興協会へ事務移管

事業名	開始年度	備考
買い物弱者支援事業	平成26年	平成27年度から新・元気を出せ！商店街事業に統合
産業基礎調査	平成26年	「工業・小売業景気動向調査」「商工資料の作成」を事業統合 平成26年度：新規事業として「商店街調査」「ものづくり産業等実態調査」を実施
中小企業融資あっせん制度「チャレンジ企業応援資金」	平成26年	
観光マーケティング調査	平成26年	平成29年度 第２回目実施
川崎市連携事業	平成26年	【大田区と川崎市との産業連携に関する基本協定】 【大田区・川崎市観光まちづくり連携事業に係る協定書】
観光サポーター育成事業	平成26年	平成27年度で終了
水辺の賑わい事業	平成26年	
地方創生先行事業「大田区イノベーション創造サロン」の開設	平成27年	
モデル商店街事業	平成27年	平成29年度廃止
オリンピック・パラリンピック・アクションプログラム「文化交流・多言語習得でおもてなし事業」	平成27年	平成29年度廃止
商店街活性化テーマ別選択事業 （商店街活性化推進事業の一部）	平成27年	平成29年度から商店街女性・若手チャレンジ事業、商店街PR事業、文化交流・多言語習得でおもてなし事業、モデル商店街事業を廃止・統合（令和２年度終了）
区内商店街連携強化推進事業	平成27年	令和７年度商店街活性化推進事業へ統合 大田区商店街連合会へ委託して実施
東京都の装飾灯LED化補助制度への上乗せ補助	平成27年	商店街装飾灯整備助成（設置補助）に追加（令和元年度終了）
商店街コーディネーター派遣事業	平成27年	平成28年度から「区内商店街連携強化推進事業」に統合 令和２年度から「商店街ステップアップ応援事業」に移行
耐震化促進支援事業（公衆浴場施設改善助成の一部）	平成27年	
大田区海外市場開拓支援調査研究員の設置	平成27年	平成28年度廃止
中小企業融資あっせん制度「開業資金（商店街空き店舗活用・ものづくり事業）」	平成27年	
地域課題解決型ビジネス支援	平成27年	令和５年度で終了
公衆無線LAN（Wi-Fi環境）整備事業	平成27年	令和３年度で運用終了
大田区公式観光サイトの運営	平成27年	令和４年度から（一社）大田観光協会HPと統合
大田区観光情報センターの運営	平成27年	
新創業融資資金利子補給制度	平成28年	
次世代産業創造事業	平成28年	「研究開発ﾏｯﾁﾝｸﾞ事業」「産学公交流推進事業」「医工連携支援」を統合 令和２年度から「次世代産業創造・産業クラスター形成事業」に統合

事業名	開始年度	備考
大田のお土産100選 表彰事業	平成28年	産業振興協会事業として、平成28年度から令和２年度まで表彰事業を実施 令和６年度から産業振興課へ事務移管 新規の表彰は行わず、PRのみ実施
商業事業者相談員（あきない活性化コーディネーター）の設置	平成28年	平成29年度から「商い・サービス産業取引相談」へ移行
オーダーメイド型福祉用具製作事業	平成28年	
医工連携自治体協議会	平成28年	
区内大学等との連携講座	平成28年	
大田区観光PR動画制作	平成28年	平成29年度で終了
商店街お休み処認定制度（商店街コミュニティ活性化事業の一部）	平成29年	令和３年度終了
商店街お休み処活性化事業（商店街コミュニティ活性化事業の一部）	平成29年	スタートアップ支援事業、お休み処周知事業、空きスペース活用事業を創設。令和３年度終了
商い・サービス産業取引相談	平成29年	商業事業者相談員（あきない活性化コーディネーター）、フードビジネス支援事業を統合
障がい者用スポーツ用具の開発	平成29年	令和２年度終了
国際都市おおたフェスティバルin「空の日」羽田	平成29年	平成29年度、国際都市・多文化共生推進課から事務移管 令和３年度から「空の日に実施する羽田空港イベントとの連携事業」に名称変更
大田の観光にぎわい創出事業補助金	平成29年	令和３年度終了
大田の魅力PR事業	平成29年	令和５年度から「区内の回遊性向上促進事業」へ統合
産業クラスター形成事業	平成30年	令和2年度から「次世代産業創造事業」に統合
ものづくりベンチャー連携創出事業	平成30年	令和元年度から産業振興協会へ事務移管
生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画の認定	平成30年	
大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の活用	平成30年	平成30年度、総務課から事務移管
事業承継の取組	令和元年	
商店街チャレンジ戦略支援事業	令和元年	「新・元気を出せ！商店街事業」から名称変更
インダストリアルパーク羽田大田区産業施設（Techno Square Haneda）開設	令和元年	
来訪者向け観光コンテンツ及び推奨ルートの造成	令和元年	令和元年度限り
観光まちづくり事業	令和元年	令和５年度から「区内の回遊性向上促進事業」へ統合
次世代産業創造・産業クラスター形成事業	令和２年	「次世代産業創造事業」と「産業クラスター形成事業」を統合
商店街戦略的PR事業費補助金	令和２年	
池上駅大田区観光情報コーナー設置	令和２年	

事業名	開始年度	備考
羽田イノベーションシティ　まち開き	令和２年	
HANEDA×PiO（ハネダピオ）の開設	令和２年	
スタートアップ×大田区企業ユナイト助成事業	令和３年	
南六郷創業支援施設（六郷BASE）	令和３年 10月開設	
事業承継資金利子補給制度	令和３年	
PiO PARK（ピオパーク）の開設	令和３年	
デジタル・データ活用による持続可能な稼ぐ力の創出支援事業	令和３年	令和６年度から「SDGs人材ネットワーク構築・活用事業」に名称変更
おおたプライド事業「大田区学」	令和３年	令和５年度から（一社）大田観光協会へ事務移管
大田区探訪「はねぴょんさんぽ」	令和３年	令和５年度から大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の活用と統合
東京2020大会を契機とした地域活性化事業	令和３年	令和３年度限り
プレミアム付デジタル商品券事業	令和３年	令和３、４年度、緊急経済対策として補正予算にて実施 令和５・６年度、区内経済循環創出、キャッシュレス決済定着を目的に当初予算により実施
ビズビーチ　コワーキングの運営	令和４年	令和４年度から大田区産業プラザ指定管理に含めて開始 令和５年度で終了
PiOフロントの開設	令和４年	
商店会装飾灯等一斉点検事業	令和５年	令和５年度から７年度にかけて区内商店会の装飾灯、アーチ、アーケードを点検予定
区内の回遊性向上促進事業	令和５年	
アキナイ・クロス事業	令和５年	旧おおた商い・観光展　後継事業 令和６年度から「おおたイチ推しマルシェ」に名称変更
Meet New Solution in OTA	令和５年	旧おおた工業フェア　後継事業
羽田イノベーションシティ　グランドオープン	令和５年	
大田区ウェルカムスポットへの支援	令和５年	「大田区ウェルカムショップ」「大田区まちかど観光案内所」統合
ウェルカムセンターの設置(羽田空港第2旅客ターミナル国際線到着ロビー)	令和５年	令和６年度で終了
中小企業融資あっせん制度「原油価格・物価高騰対策資金」	令和６年	令和６年度終了
おおたイチ推しマルシェ	令和６年	旧アキナイ・クロス事業　後継事業
実証実験・実装促進事業	令和６年	
インバウンド受入実証事業	令和６年	
観光SDGs公募イベント	令和６年	

事業名	開始年度	備考
産業のまち未来基金	令和７年	
オープンイノベーション促進事業	令和７年	
銘店への道事業	令和７年	旧繁盛店創出事業　後継事業
知的財産・シンクタンク事業	令和７年	
キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン事業	令和７年	
ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援事業	令和７年	

大田区産業プラザ施設概要

１ 施設概要

所　在　地　大田区南蒲田一丁目20番20号

建物の概要　鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）／地下１階・地上６階建

建物形態　東京都と大田区との合築。
旋盤等での切削加工に用いる工具・バイトをイメージした、先鋭的な外観。

敷地面積　9,877.72㎡　（産業棟の延床面積　22,758.78㎡）

延床面積　26,823.79㎡　（大田区の配分面積　14,704.17㎡）

設 置 目 的　中小企業が目まぐるしく変化する内外の環境へ的確に対応できるよう、将来の需要や先端技術の動向を情報として提供するとともに、産業人が製品の展示や技術の紹介を相互にしあえる場（ステージ）を設定し、交流を通して新しいネットワークを形成できる広場（プラザ）を作り上げることを目的としている。

沿　　革

平成２年３月	産業プラザ建設基本計画書作成
平成４年３月	プロポーザル方式により産業プラザの設計確定
平成５年５月	東京都労働経済局・住宅局・大田区との間で建築協定締結
平成５年６月	着工
平成７年11月30日	竣工
平成８年２月１日	開館
２月６日	都区合同開所式 （１階ロビー正面玄関脇に、陶板画のレリーフ（＊）を展示）
平成12年５月	公共建築賞優秀賞受賞

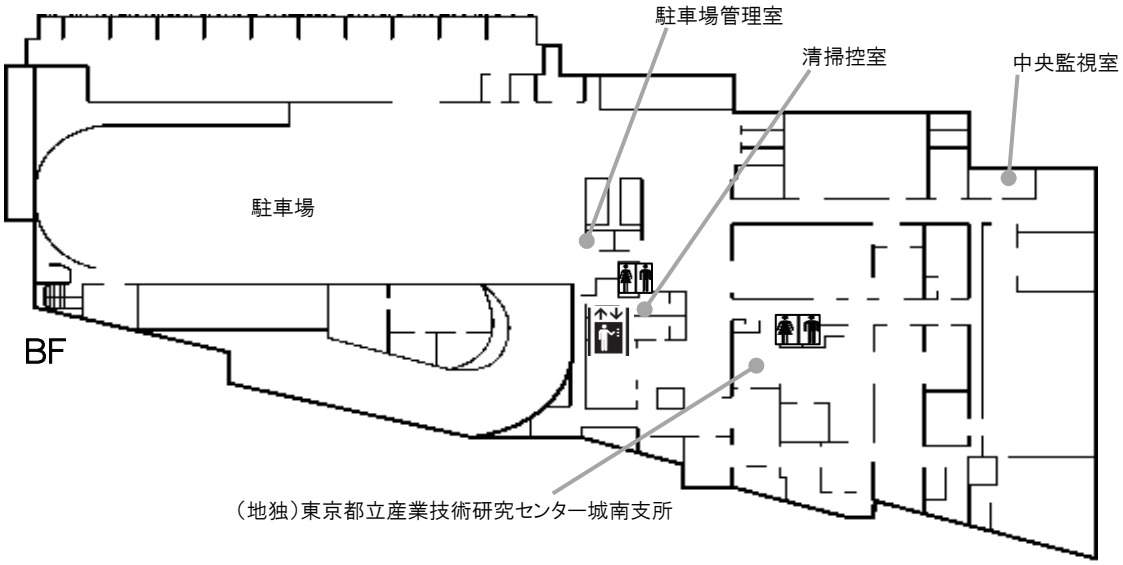
＊ レリーフについて	題名　「飛騰（ひとう）」
・大田区と交流事業を行っている北京市から、機械工業管理局(当時)を通して贈呈された。 ・中国陶板画の第一人者であった陳進海氏の設計、中国中央工芸美術学院の製作である。 ・中国で基礎をつくり、産業プラザ内で一週間かけて完成した。 ・「飛騰」とは、急速に上昇するという意味であり、画には車と龍が描かれ、産業発展をイメージしている。	

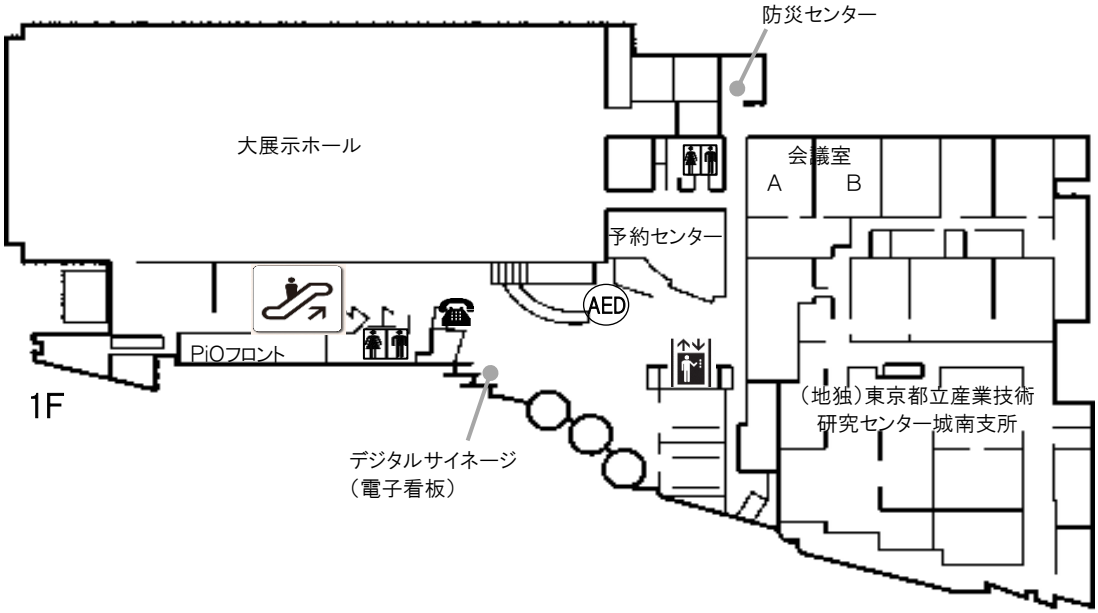
開館時間等

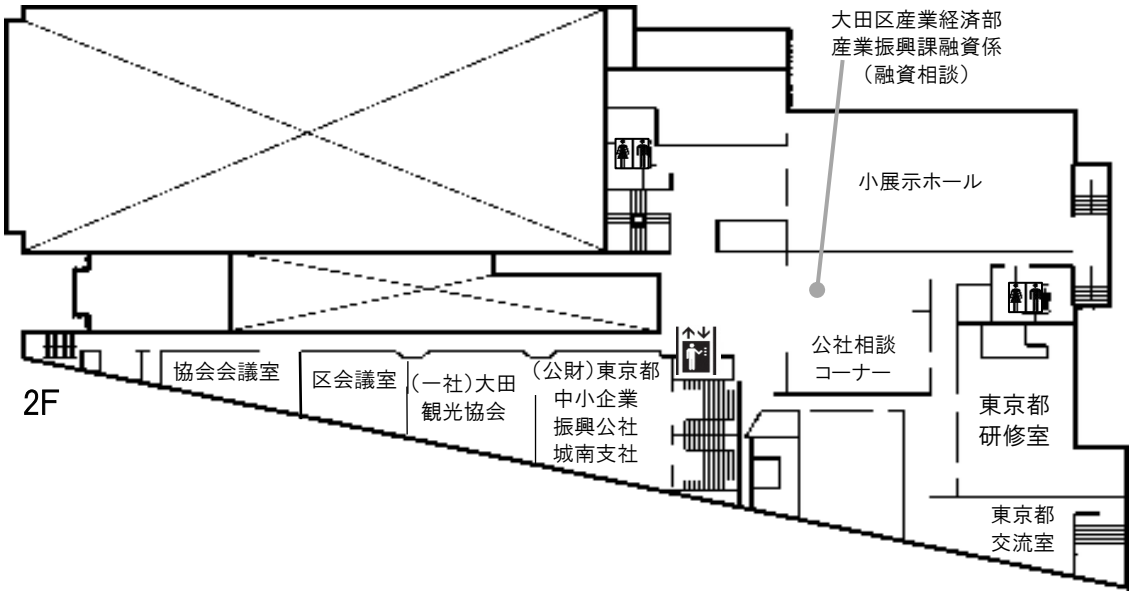
① 開館時間　午前９時～午後10時

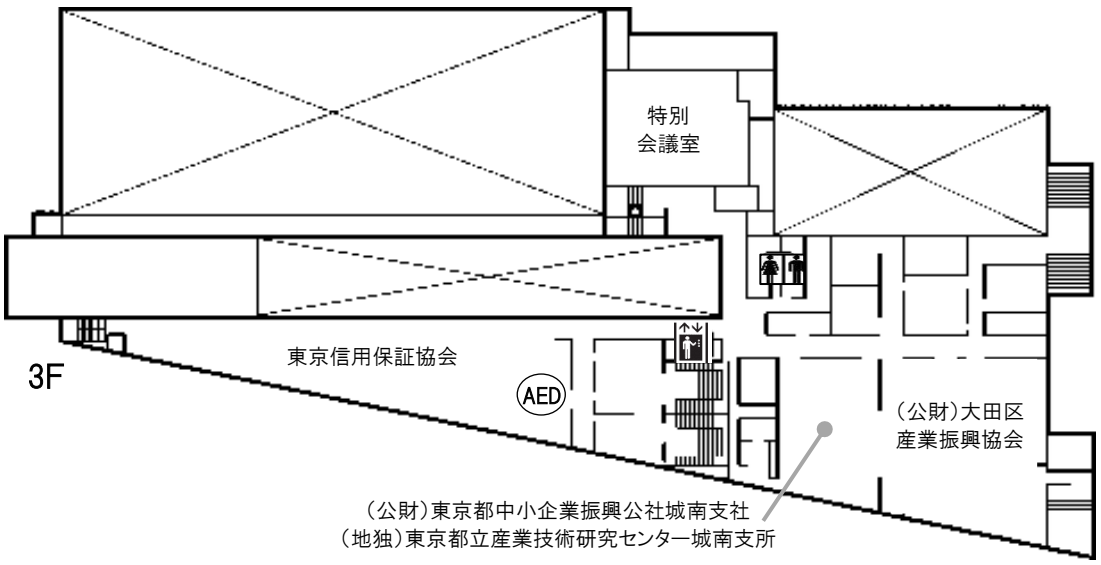
② 休 館 日　12月29日～１月３日 及び 施設保守点検日（原則、月に１回）

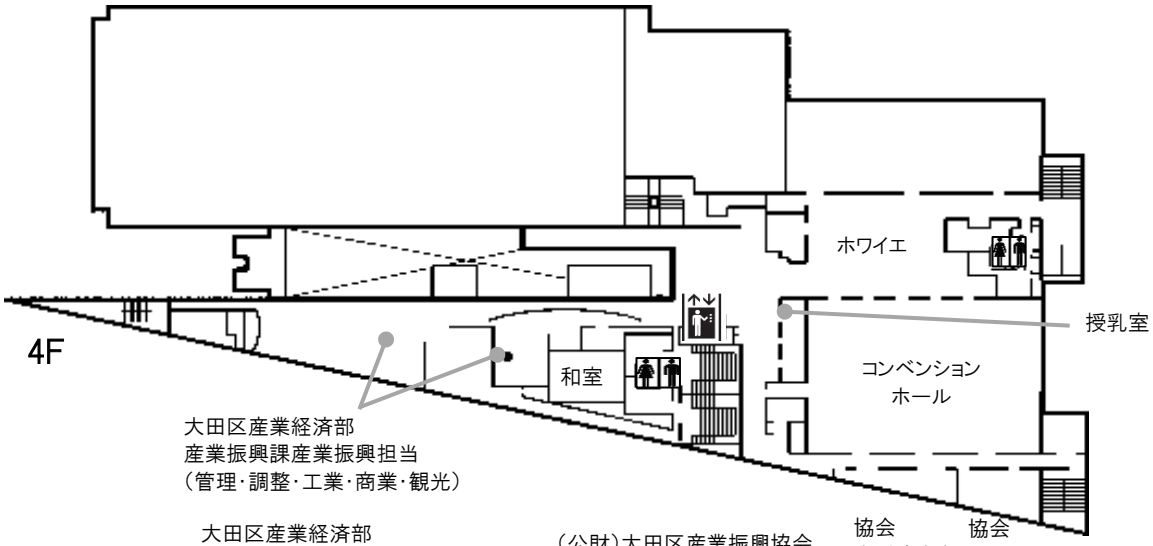
2 産業プラザ館内案内図

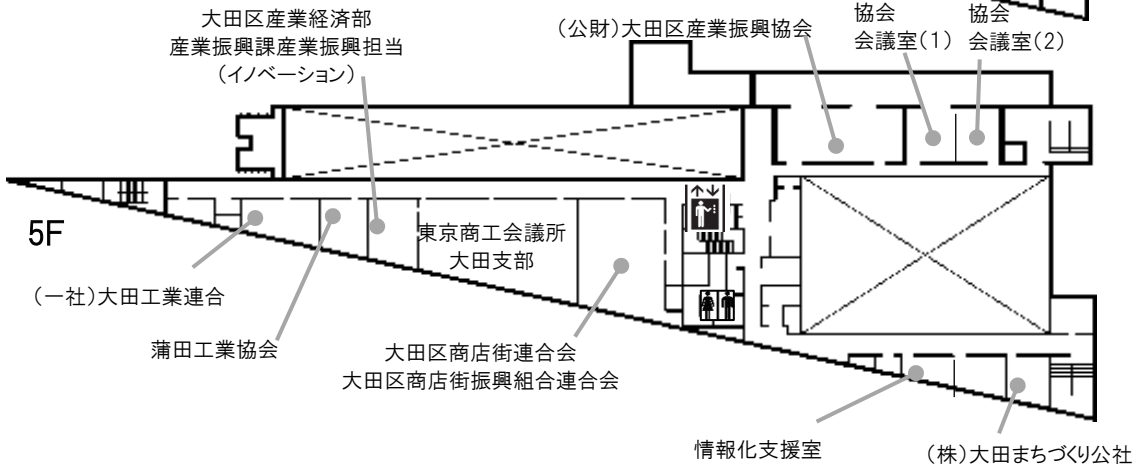


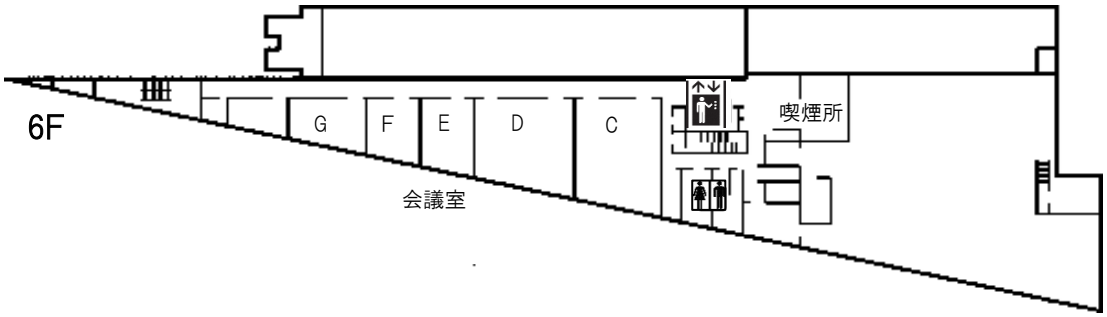





特別
会議室
3F
東京信用保証協会
AED
(公財)大田区
産業振興協会
(公財)東京都中小企業振興公社城南支社
(地独)東京都立産業技術研究センター城南支所


ホワイエ
授乳室
4F
和室
コンベンション
ホール
大田区産業経済部
産業振興課産業振興担当
(管理・調整・工業・商業・観光)


大田区産業経済部
産業振興課産業振興担当
(イノベーション)
(公財)大田区産業振興協会
協会
会議室(1)
協会
会議室(2)
5F
東京商工会議所
大田支部
(一社)大田工業連合
蒲田工業協会
大田区商店街連合会
大田区商店街振興組合連合会
情報化支援室
(株)大田まちづくり公社


6F
G
F
E
D
C
喫煙所
会議室

３ アクセス

〈所在地〉
〒144-0035
大田区南蒲田一丁目20番20号

〈交通手段〉
・京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分
・JR京浜東北線、東急池上・多摩川線「蒲田」駅より徒歩約13分

〈開館時間〉
・9:00～22:00

〈駐車場〉
・利用時間　8:00～22:00
・利用料金　100円/30分（最初の30分無料）
・進入可能車両　車高3.2m×7.6m以内
・駐車可能車両　平置き50台（その他、荷さばきスペースあり）
　　区画により車高制限あり。2.3mまたは2.7m

〈電話番号〉
・ＰｉＯフロント　　03-3733-6144
・産業プラザ予約センター　03-3733-6600

©大田区

はねぴょん

令和7年7月発行

View 2025-大田区産業経済部事業概要-

編集･発行　大田区産業経済部
〒144-0035
東京都大田区南蒲田一丁目 20 番 20 号
大田区産業プラザ　PiO 4 階
電話　03(5744)1363
FAX　03(6424)8233

地域産業委員会 令和７年７月 15 日
産業経済部　資料３番
所管　産業振興課

オープンイノベーション促進事業について

１　事業概要

羽田イノベーションシティ内の大田区発産業交流空間「PiO PARK（ピオパーク）」を拠点に、技術・開発ニーズを有する大企業やハードウェアスタートアップ等と、匠の技術を有する区内企業をマッチングすることで、製品開発等の新たなプロジェクトを創出する。

また、本取組を積極的に広報することで、PiO PARK のオープンイノベーション拠点としての機能を区内外に PR し、企業集積を図る。

２　委託先事業者

フォースタートアップス株式会社　代表取締役　志水　雄一郎
東京都港区麻布台一丁目３番１号　麻布台ヒルズ森 JP タワー31F

３　事業スケジュール（想定）

事業者からの技術・開発ニーズ募集	令和７年７月下旬～随時募集
PR イベント	令和７年８月下旬
支援プロジェクト決定、伴走支援	令和７年９月～令和８年２月
成果報告会	令和８年３月上旬

４　事業者からの技術・開発ニーズ募集

大企業やハードウェアスタートアップ等からの技術・開発ニーズを募集する。収集したニーズを区及び委託先事業者で整理の上、（公財）大田区産業振興協会とも連携しながら適切な区内企業を選定し、マッチングを図る。

ニーズの募集については通年で行う予定だが、よりプロモーションの効果が高いオープンイノベーション案件を２件選定し、委託先事業者による伴走支援や、さらなる案件を呼び込むための成果の PR を行う。

なお、公募については区のホームページにて７月中を目途に開始予定。